

佐世保市老人福祉計画及び第9期佐世保市介護保険事業計画策定に係る
佐世保市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
報 告 書

令和5年3月
佐世保市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 回収の結果	1
4. 報告書の見方	1
第2章 リスクの発生状況	2
1. 運動器の機能低下	2
(1) リスク判定方法	2
(2) 運動器の機能低下者に係る考察	2
(3) リスク者の状況	3
2. 転倒リスク	5
(1) リスク判定方法	5
(2) 転倒リスク者に係る考察	5
(3) リスク者の状況	5
3. 閉じこもり傾向	7
(1) リスク判定方法	7
(2) 閉じこもり傾向に係る考察	7
(3) リスク者の状況	10
4. 認知機能の低下	11
(1) リスク判定方法	11
(2) 認知機能の低下に係る考察	11
(3) リスク者の状況	12
5. うつ傾向	14
(1) リスク判定方法	14
(2) うつ傾向に係る考察	14
(3) リスク者の状況	15
第3章 リスク分析	16
1. IADLの低下	16
(1) IADLの判定方法	16
(2) IADL低下による各リスク者の割合増加	17
2. 主観的幸福感	19

第4章 設問ごとの分析	21
本調査票の記入者や、あて名のご本人の情報についてうかがいます	21
問1 あなたのご家族や生活状況について.....	26
問2 からだを動かすことについて	37
問3 食べることについて.....	53
問4 毎日の生活について.....	72
問5 地域での活動について.....	106
問6 たすけあいについて.....	123
問7 健康について	137
問8 介護保険制度について.....	149
問9 認知症にかかる相談窓口の把握について.....	151
問10 地域包括ケアシステムについて	158
問11 地域包括支援センターについて.....	162
問12 成年後見制度について	170
参考資料 調査票.....	178

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

佐世保市老人福祉計画及び第9期介護保険事業計画を策定するにあたり、佐世保市民の生活状況や健康状態、介護・福祉サービスに対するご意見等を聴取し、計画策定の基礎資料とするとともに、今後の保健福祉行政に活かすために調査を行いました。

2. 調査の設計

- 調査地域 佐世保市
- 調査対象 令和4年7月15日現在、一般高齢者、総合事業対象者、要支援認定者
- 調査方法 郵送による配付・回収
- 調査期間 令和4年10月17日～令和4年11月30日
- 抽出方法 介護保険被保険者台帳から無作為抽出

3. 回収の結果

発送者数	有効回収数	有効回収率
2,000人	1,120人	56.0%

4. 報告書の見方

- 回答は、各質問の回答者数（計）を基数とした百分率（%）で示しています。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えます。
- 回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は、表・グラフには「0.0」と表記しています。

第2章 リスクの発生状況

1. 運動器の機能低下

(1) リスク判定方法

No.	設問内容	選択肢
①	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
②	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
③	15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
④	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
⑤	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

上記の設問のうち、3問以上該当する選択肢（上の表の網掛け箇所）が回答された場合、運動器機能の低下している高齢者と判定されます。

(2) 運動器の機能低下者に係る考察

「運動器」とは、身体を動かすために働く組織を指し、筋肉や骨、関節だけではなく、脳、脊髄、末梢神経、軟骨、椎間板も含まれます。様々な組織が連動することで私たちの身体が動くことから、どれかひとつの組織が欠けても歩行や日常生活活動に支障をきたしてしまいます。

運動器の障がいは、要支援・要介護状態となる大きな要因の1つであることから、健康寿命を伸ばすためにも運動器の機能低下者を減らすことが大切です。

加齢に伴い、特に下肢や体幹の筋力が低下し、膝や腰の痛みや転倒不安などの要因が重なることで身体活動が徐々に減少していきます。図表2を見ると、加齢による運動機能の低下が著しく、年齢階層が上がるごとにリスク者が急増していることが分かります。

身体活動の減少が起こると、バランス機能や歩行能力が低下し、容易に転倒・骨折するようになります。そこで、運動器の機能低下のリスク判定には、直近の転倒経験（④）や転倒

に対する不安（⑤）を含めています。

[運動器の機能低下の各設問該当割合]

設問	階段	椅子	継続歩行	転倒経験	転倒不安
該当	86.5%	74.6%	55.4%	76.2%	99.0%

上の表は、運動器の機能低下リスクがあると判定された本市の高齢者が、判定に用いた5つの設問のどれにより多く該当したのかを集計したものです。

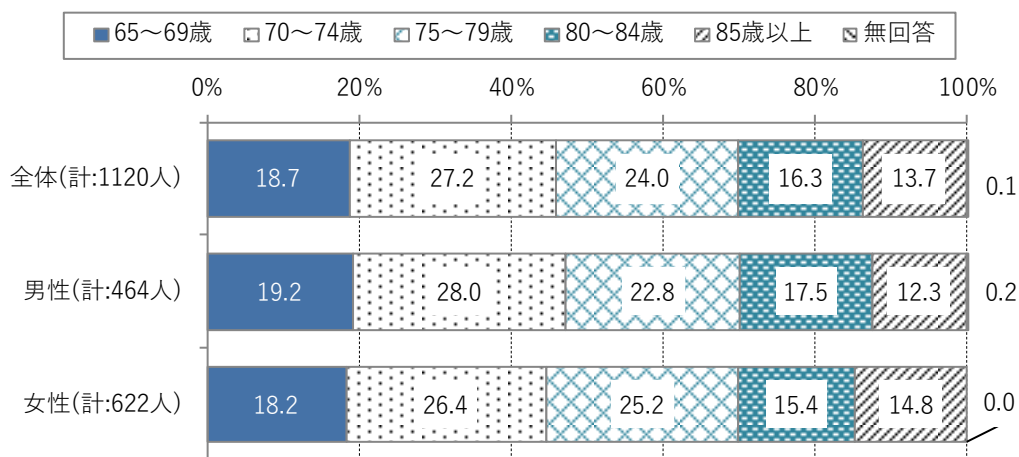
運動器の機能低下リスク者の中での転倒経験者は76.2%であることに加え、ほぼすべての方が転倒不安を抱えている(99.0%)ことから、運動器の機能低下に係るリスク者の割合を減らすためには転倒を防ぐこと、高齢者の転倒に対する不安を軽減することが非常に大切であることが分かります。

仮に転倒に絞って対策を講じ転倒経験及び転倒不安を解消した場合、本市の運動器の機能低下者の割合は17.2%から6.8%となり、リスク者が約6割(60.5%)減少するものと試算できます。

(3) リスク者の状況

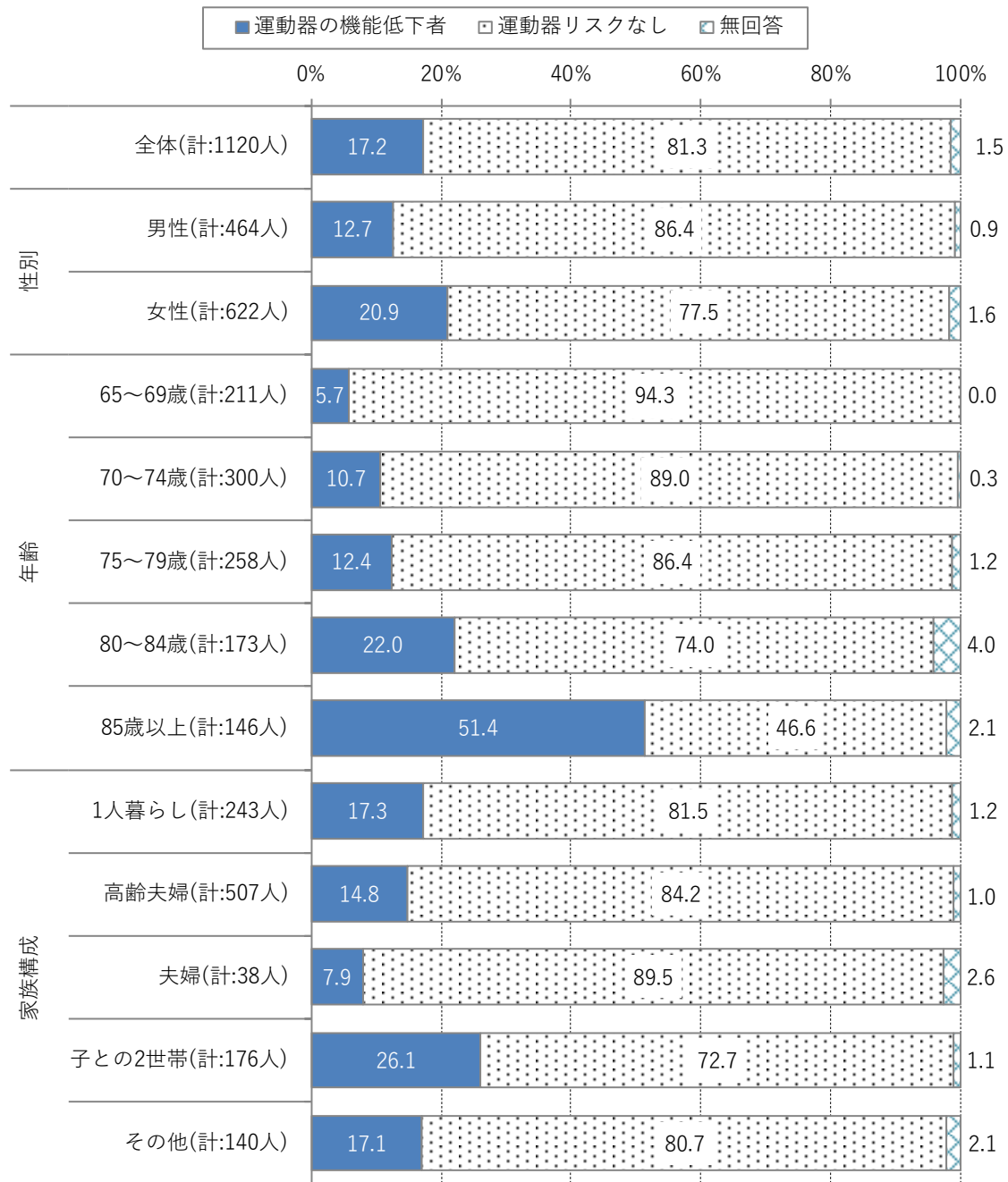
運動器の機能低下者の割合は男性(12.7%)よりも女性(20.9%)の方が高くなっています。先に述べた通り、運動器の機能低下者の割合は年齢階層が高くなるに従って急激に増加する傾向にあるため、分析をする際にはそれぞれの集団の年齢構成をおさえておく必要があります。調査対象者のうち後期高齢者の割合は男性(52.6%)に比べて女性(55.4%)の方が高いことが性差に影響しているものと考えられます。

図表 1 性別年齢構成



* 年齢は被保険者番号を元に介護保険被保険者台帳とマッチングしたデータに基づき集計

図表 2 運動機能の低下者の状況



* 家族構成の「高齢夫婦」とは、「夫婦2人暮らし」であり、かつ、「配偶者が65歳以上」の世帯、「夫婦」とは、「夫婦2人暮らし」であり、かつ、「配偶者が64歳以下」の世帯（以下、同じ）

2. 転倒リスク

(1) リスク判定方法

No.	設問内容	選択肢
④	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

④で「1. 何度もある」または「2. 1度ある」の選択肢を回答された場合、転倒リスクのある高齢者と判定されます。

(2) 転倒リスク者に係る考察

転倒リスク者は、運動器の機能低下リスク判定に用いた5つの設問のうち1設問の回答に基づき判定されるものであり、その意味においては運動器の機能低下リスクに内包された指標であるともいえます。先で述べたとおり、運動器の機能低下者の76.2%が転倒リスク者でもあることを踏まえれば、両指標は密接な関連があると言えます。

一方、転倒経験があっても他の2設問に該当しない場合は運動器の機能低下者とはならないため、別途独立した指標を定め分析することとします。

図表3をみると、1年に1回以上転倒の経験がある高齢者は74歳までは約2割であるものの、75歳以上になると約3割、85歳以上になると半数を超える人が過去1年以内に転倒経験があることが分かります。

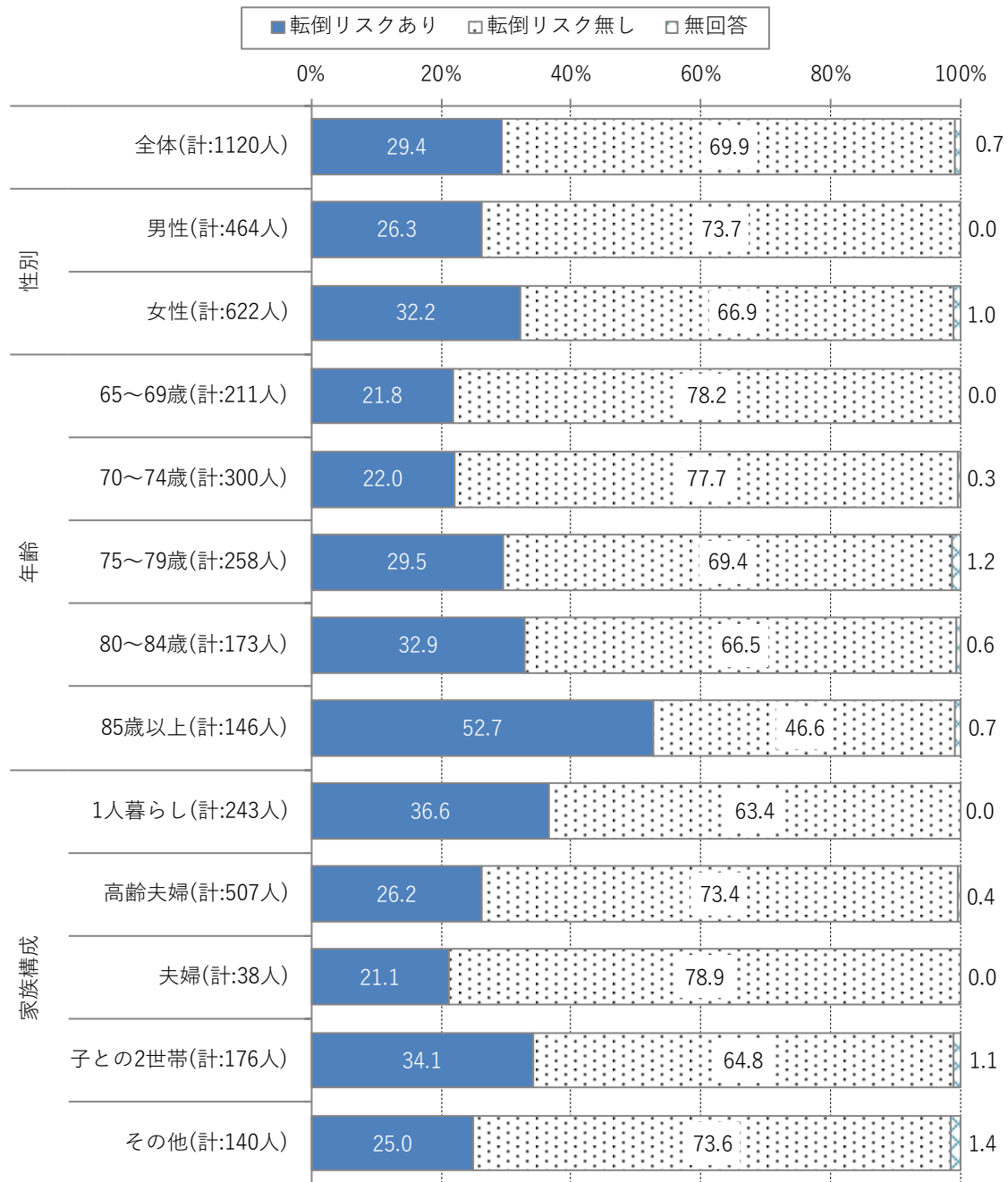
転倒の要因は、コードや段差につまずくなどの偶発的な環境要因と、歩行やバランス障がい、筋力低下等による身体的な要因によるものです。従って、転倒リスク者の減少のためにはサルコペニア（加齢性筋肉減弱症）対策と併せて、自宅や施設のバリアフリー化、歩道の整備等の環境整備が必要となります。

運動器の機能低下の頁で述べた通り、転倒リスク者を減じる取組は高齢者の転倒不安を軽減するだけでなく、運動器の機能低下者を減らすことにつながります。

(3) リスク者の状況

家族構成別にみると、転倒リスク者の割合は1人暮らし世帯が最も高く、36.6%となっており、一人暮らし世帯の約3人に1人は過去1年以内に転倒経験があることが分かります。

図表 3 転倒リスク者の状況



3. 閉じこもり傾向

(1) リスク判定方法

No.	設問内容	選択肢
⑥	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上

⑥で「1. ほとんど外出しない」または「2. 週1回」の選択肢が回答された場合は、閉じこもり傾向のある高齢者と判定されます。

(2) 閉じこもり傾向に係る考察

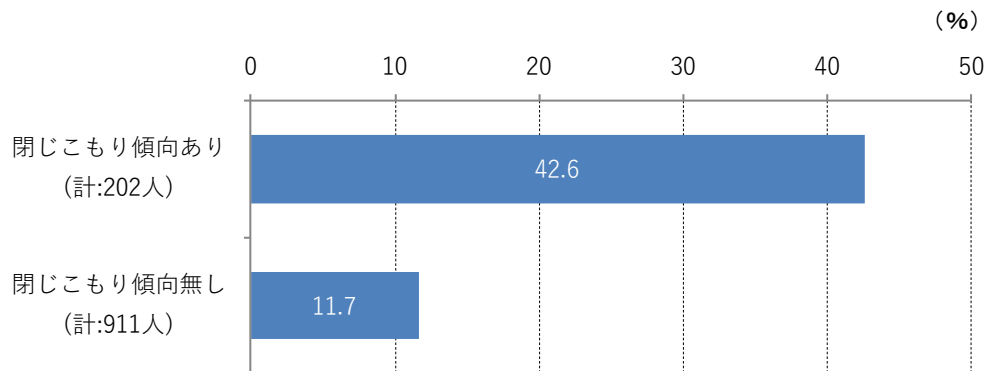
上記に記しているとおり、本調査において閉じこもり傾向の高齢者とは、外出頻度が週に1回以下であることです。

外出頻度が低下する要因は数多く考えられます。そもそも、外出する目的が無ければ無理に自宅の外に出る必要性も無く、現に自宅内で穏やかに過ごすことを好む高齢者も多くいらっしゃいます。しかしながら、一般的に閉じこもり状態が長くなることで、人との交流が減り、うつ傾向になったり、認知機能が低下したりすると考えられています。運動器の機能低下や転倒リスク、低栄養と閉じこもりは関連があると言われていたことから、他のリスク者の割合を低減するためにも外出頻度を増やし閉じこもり傾向のある高齢者を減らすことが大切です。

① 閉じこもり傾向と運動器の機能低下との関係

本市の閉じこもり傾向のある高齢者のうち、運動器の機能低下者でもある人の割合は42.6%であり、閉じこもり傾向なしの場合（11.7%）と比べて3.64倍リスクが高いことが分かります。

図表 4 閉じこもり傾向の有無と運動器の機能低下者割合の関係



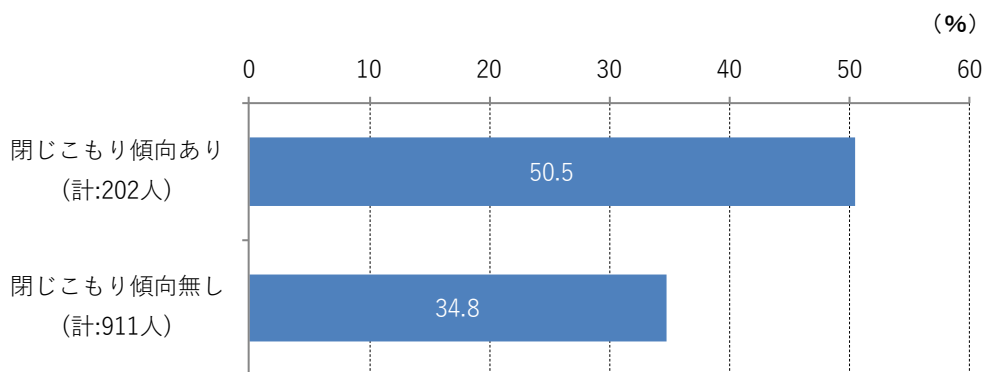
② 閉じこもり傾向とうつ傾向との関係

閉じこもり傾向が精神的な落ち込みを生じ、結果としてうつ傾向に至る可能性について仮説を立てた場合、本市の閉じこもり傾向のある高齢者のうち、うつ傾向にある高齢者の割合をクロス集計することで検証できます。

閉じこもり傾向がある高齢者のうち、うつ傾向にもある人の割合は50.5%であり、閉じこもり傾向なしの場合（34.8%）と比べて1.45倍リスクが高くなっています。

このことから、閉じこもり傾向の有無と運動器の機能低下、うつ傾向とは相互に関連があることが分かります。

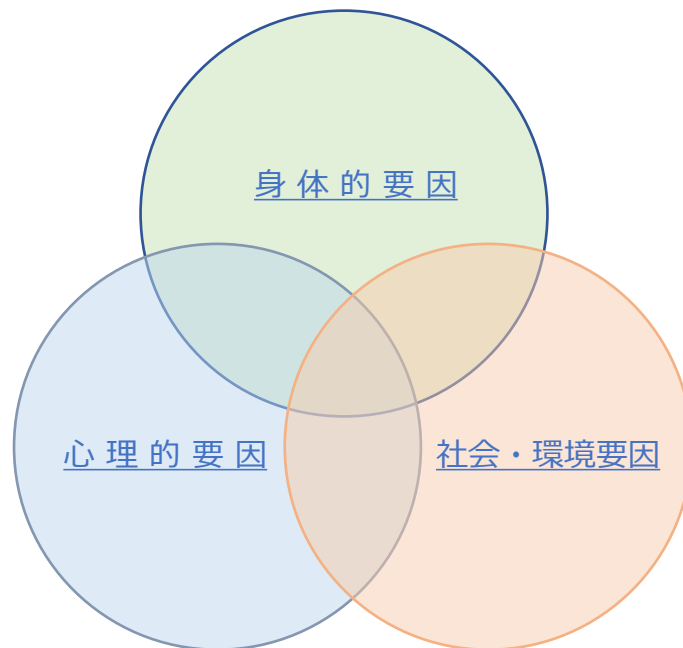
図表 5 閉じこもり傾向の有無とうつ傾向のある割合の関係



③ 閉じこもり傾向の要因

閉じこもり傾向となる要因は、「身体的要因」の他、「心理的要因」、「社会・環境要因」が考えられます。「身体的要因」については運動器の機能低下者や転倒リスク者の割合を低減する取組によってある程度取り除くことが可能ですが、「心理的要因」及び「社会・環境要因」は家庭や地域で役割を持ち、積極的に地域に関わること、高齢者が自然に地域と関われる環境づくり等、それぞれ特有の取組が必要となります。

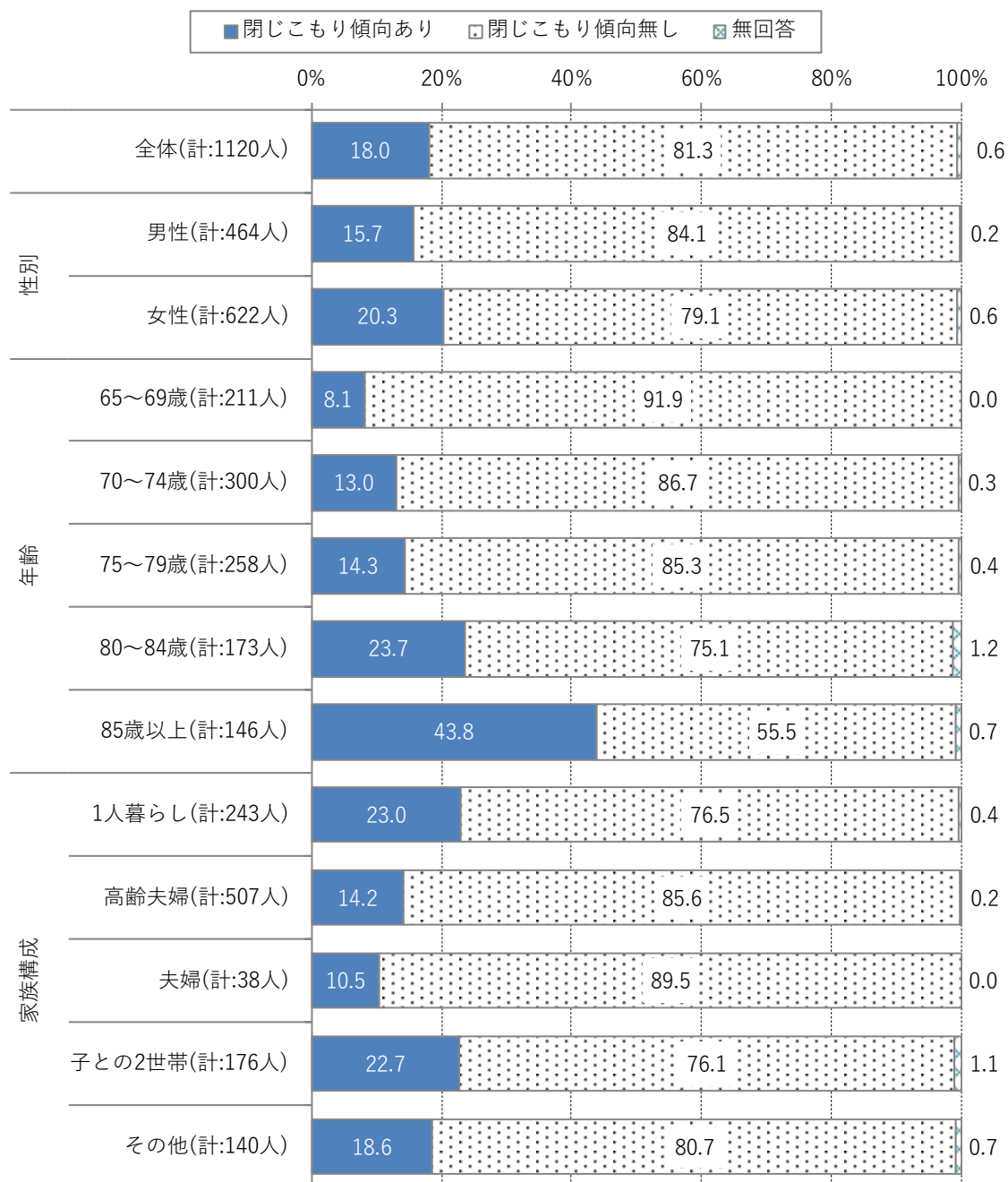
図表 6 閉じこもり傾向の要因



(3) リスク者の状況

閉じこもり傾向のある高齢者は、転倒リスク同様性差は見られません。一方、年齢階層が高くなるに従って閉じこもり傾向がある高齢者の割合は高くなる傾向にあり、85歳以上では約4割の高齢者が週1回以下の外出頻度であることが分かります。

図表 7 閉じこもりリスク者の状況



4. 認知機能の低下

(1) リスク判定方法

No.	設問内容	選択肢
⑦	物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ

⑦で「1. はい」に該当する選択肢が回答された場合は、認知機能の低下がみられる高齢者と判定されます。

(2) 認知機能の低下に係る考察

認知症を引き起こす原因疾患は多数存在しますが、認知症が進行する最大の原因は加齢です。今後、いわゆる団塊の世代が後期高齢者に移行することで、認知症の高齢者の数は増加することが見込まれています。

認知症（特にアルツハイマー病）による症状が出現する十数年前から脳内ではタンパク質の異常な蓄積が既に始まっており、認知症と診断される時期には相当の神経細胞が機能不全に陥っていると考えられています。従って、明らかな認知症を発症した時点では予防対策は極めて困難といえます。

認知症を予防するためには、その前段階とされる「軽度認知機能障害」(MCI)の時期で認知機能低下を抑制する方法が現時点では最も効果的であると考えられています。MCIの診断では、記憶障害の有無とそのほかの認知機能障害の有無でタイプ分けされます。記憶障害がある場合は「健忘型MCI」、注意などに障害がある場合は「非健忘型MCI」に分類され、さらに単一または複数の機能障害の有無によって「単一領域」と「多重領域」へと細分化されます。

本調査では、「物忘れが多いと感じますか」という設問に「1. はい」と回答した人の割合を認知機能の低下リスク有りと判定しており、一見すると認知症に係る実態を把握するにはあまりに精度に劣る判定のように思えます。言うまでもなく、単なる「物忘れ」は加齢に伴い生じる自然な現象であり、認知症とは異なるからです。

一方、厚生労働省によると「物忘れが進んだ状態」とも言える軽度認知障害(MCI)に該当する高齢者は全国で400万人存在すると言われており、これは高齢者の約4人に1人に相当するとされています。このデータと今回の調査結果を比較します。本市の65~69歳について、認知機能低下者が31.8%、70~74歳では27.3%（約3.7人に1人）であることを踏まえると、本調査は極めて簡易的な判定であることは否めないものの、判定結果の規模感としては「当たらずとも遠からず」であることが分かります。

軽度認知障害を放置しておくると将来的に症状が悪化する可能性が非常に高く、軽度認知障害と診断された高齢者のうち、約半分が認知症になると言われています。今回の調査結果では本市の高齢者の38.7%が認知機能低下を疑われており、本調査で判定された「認知機能の低下者」が軽度認知障害（MCI）であると仮定すると、将来的にはその半分の19.4%が認知症に移行すると考えることもできます。

令和2年9月末現在、本市の要介護認定率は19.8%であることを踏まえ、要介護認定を受けていない高齢者のうち認知症予備軍と考えられる人数を試算すると約12,000人となります。すでに要介護認定を受けている高齢者の中にはさらに高い割合で予備軍が存在していることを考えれば事態の深刻さが分かります。

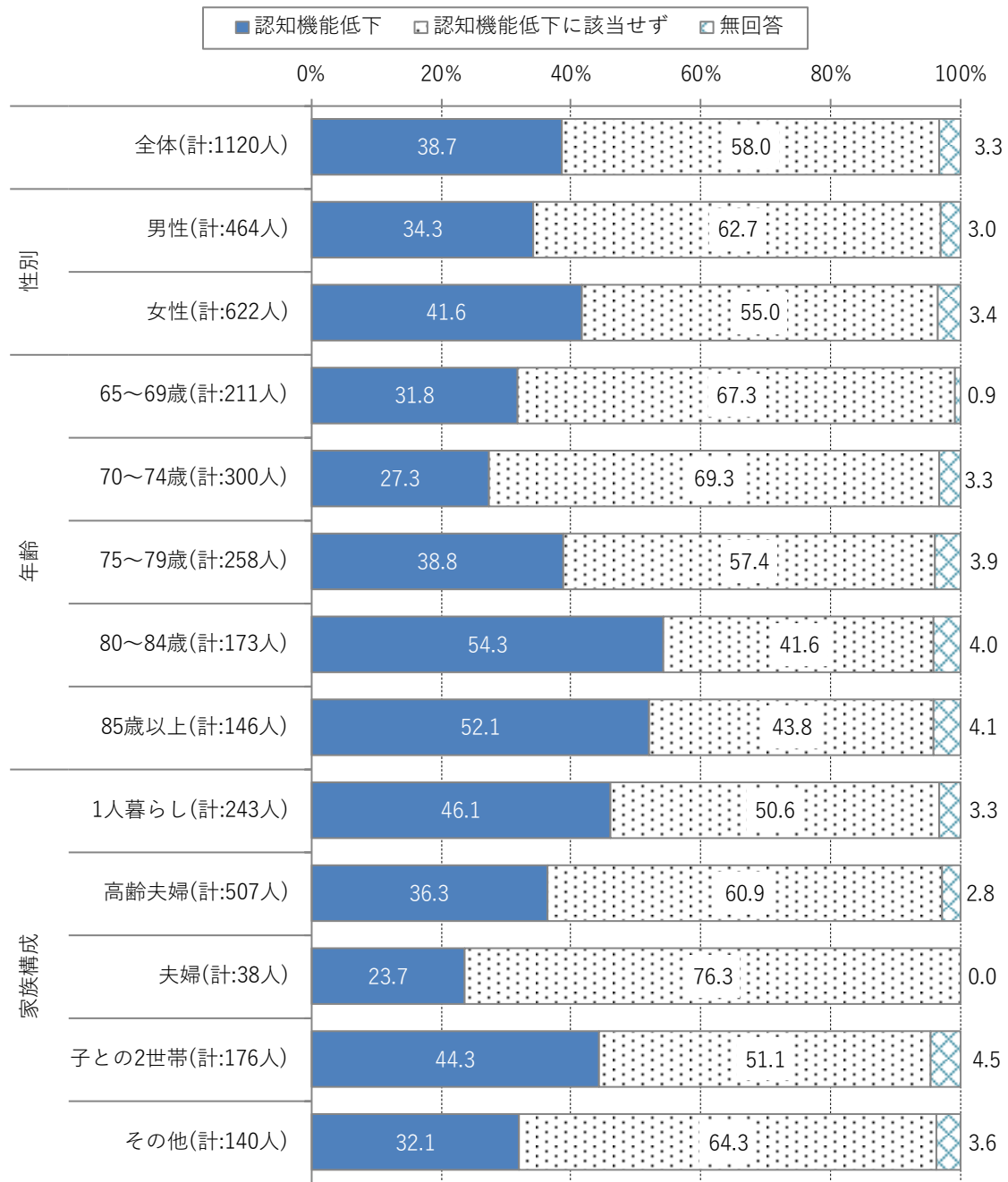
（3）リスク者の状況

認知機能低下者の出現率は女性（41.6%）の方が男性（34.3%）より高くなっています。年齢別にみると70～74歳では27.3%であったのが、年齢階層が高くなるに従って認知機能低下者の割合が高くなり、80歳以上では過半数になっています。

一般に、認知症の高齢者は年齢階層が5歳上がるごとに約2倍になると言われていますが、本調査結果では、85歳以上では若干、リスク者の割合が低下しています。その要因として、認知機能低下者は要介護認定者になる確率が高く、認知症に移行したことで調査対象者から外れていることが考えられます。

MCIである高齢者の4人に1人は5年後に認知症になるという研究結果もありますが、65～69歳の認知機能低下者の4分の1が5年後に認知症になることは考えにくいので、年齢階層によってはこの結果をそのまま当てはめることは妥当ではないと考えられます。

図表 8 認知機能の低下リスク者の状況



5. うつ傾向

(1) リスク判定方法

No.	設問内容	選択肢
⑧	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ
⑨	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ

⑧、⑨でいずれか1つでも「1. はい」に該当する選択肢が回答された場合は、うつ傾向の高齢者と判定されます。

(2) うつ傾向に係る考察

「うつ」は、気分が落ち込んだり何事にも興味を持てなくなったりすることに強い苦痛を感じ、日常生活の支障をきたすまでになった状態です。高齢者は、身体的にも社会的にも喪失に関連した様々なストレスを感じる事が多いことから、うつ状態になりやすいと考えられます。うつ状態が強くなると身体の状態にも影響することから、高齢者のうつ対策は介護予防のためにも重要です。

大うつ病診断基準 DSM-IV によると、うつ病の診断基準は下記ようになります。

以下の症状のうち、少なくとも1つある。

- | | |
|----------|---------------|
| 1. 抑うつ気分 | 2. 興味または喜びの喪失 |
|----------|---------------|

さらに、以下の症状を併せて、合計で5つ以上が認められる。

- | |
|--|
| 3. 食欲の減退あるいは増加、体重の減少あるいは増加
4. 不眠あるいは睡眠過多
5. 精神運動性の焦燥または制止(沈滞)
6. 易疲労感または気力の減退
7. 無価値感または過剰(不適切)な罪責感
8. 思考力や集中力の減退または決断困難
9. 死についての反復思考、自殺念慮、自殺企図 |
|--|

これらの症状がほとんど1日中、ほとんど毎日あり2週間にわたっている症状のために著しい苦痛または社会的、職業的、または他の重要な領域における機能障害を引き起こしている。これらの症状は一般身体疾患や物質依存(薬物またはアルコールなど)では説明できない。

本調査において「うつ傾向」のリスク判定は、上に挙げた大うつ病診断基準 DSM-IVのうち、「1. 抑うつ気分」及び「2. 興味または喜びの喪失」に相当する質問の回答のみに基づい

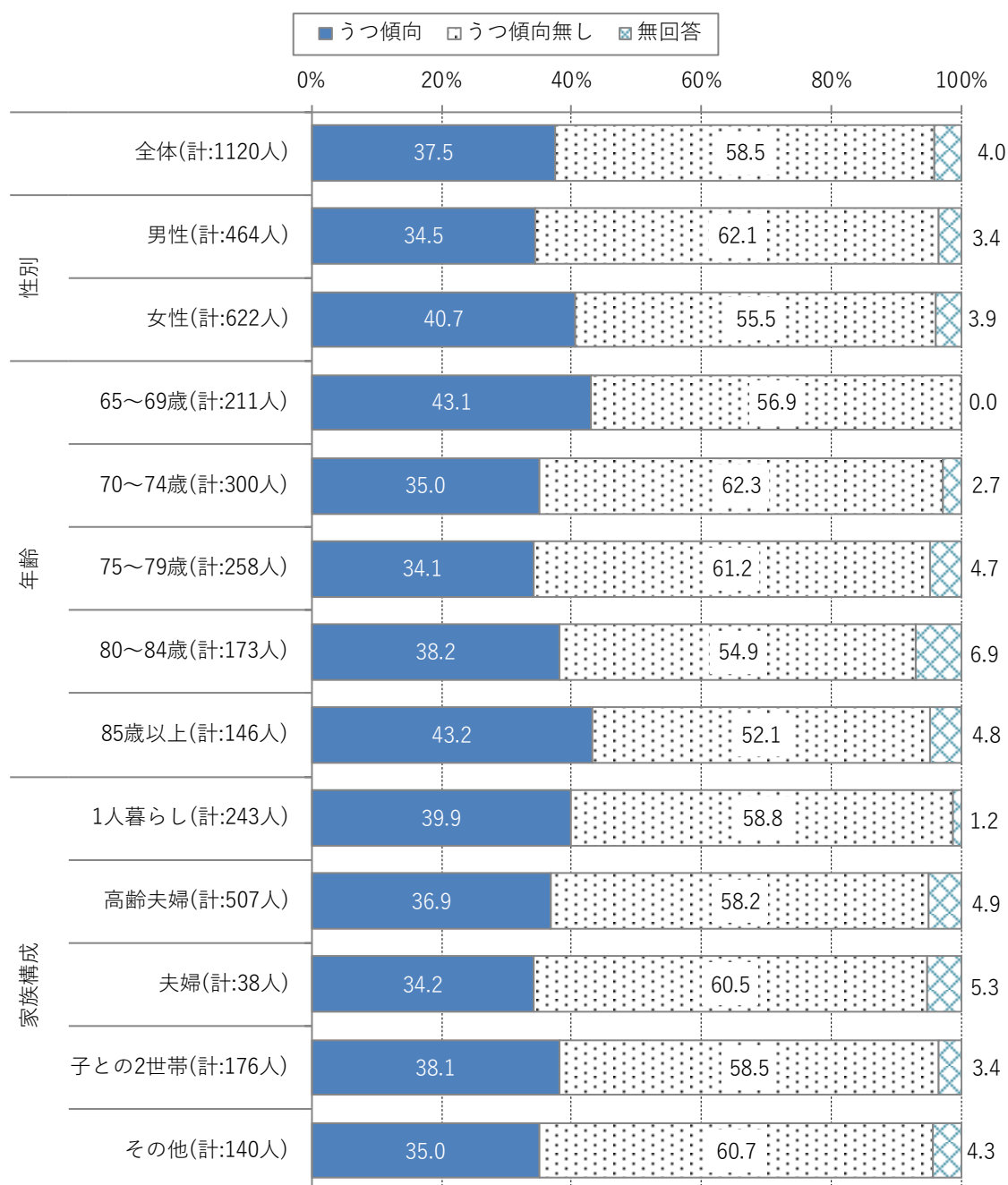
ています。よって、本調査による判定結果と「うつ病」は同一視することができません。

(3) リスク者の状況

うつ傾向がある人の割合は男性（34.5%）よりも女性（40.7%）の方が高くなっています。年齢階層別にみると、65～69歳では43.1%となっており、他の年齢階層に比べて高くなっています。

また、家族構成別にみると、1人暮らしが他の家族構成に比べてリスク者の割合が若干高くなっており、39.9%となっています。

図表 9 うつ傾向リスク者の状況



第3章 リスク分析

1. IADLの低下

(1) IADLの判定方法

No.	設問内容	選択肢
⑩	バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
⑪	自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
⑫	自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
⑬	自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
⑭	自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

上記設問で、「1. できるし、している」「2. できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点でIADLを評価します（5点を「1. 高い」、4点を「2. やや低い」、3点以下を「3. 低い」とします）。

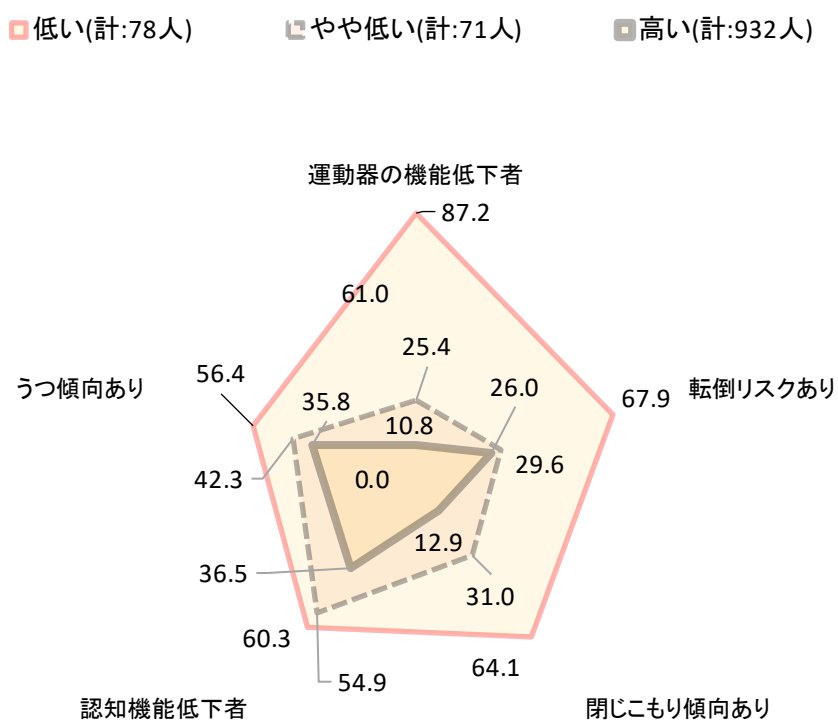
※ IADLとは

IADL（Instrumental Activities of Daily Living）とは、「手段的日常生活動作」とも言われ、電話の使い方、買い物、家事、移動、外出、服薬の管理、金銭の管理など、日常生活動作ではとらえられない高次の生活機能の水準を測定するもの。

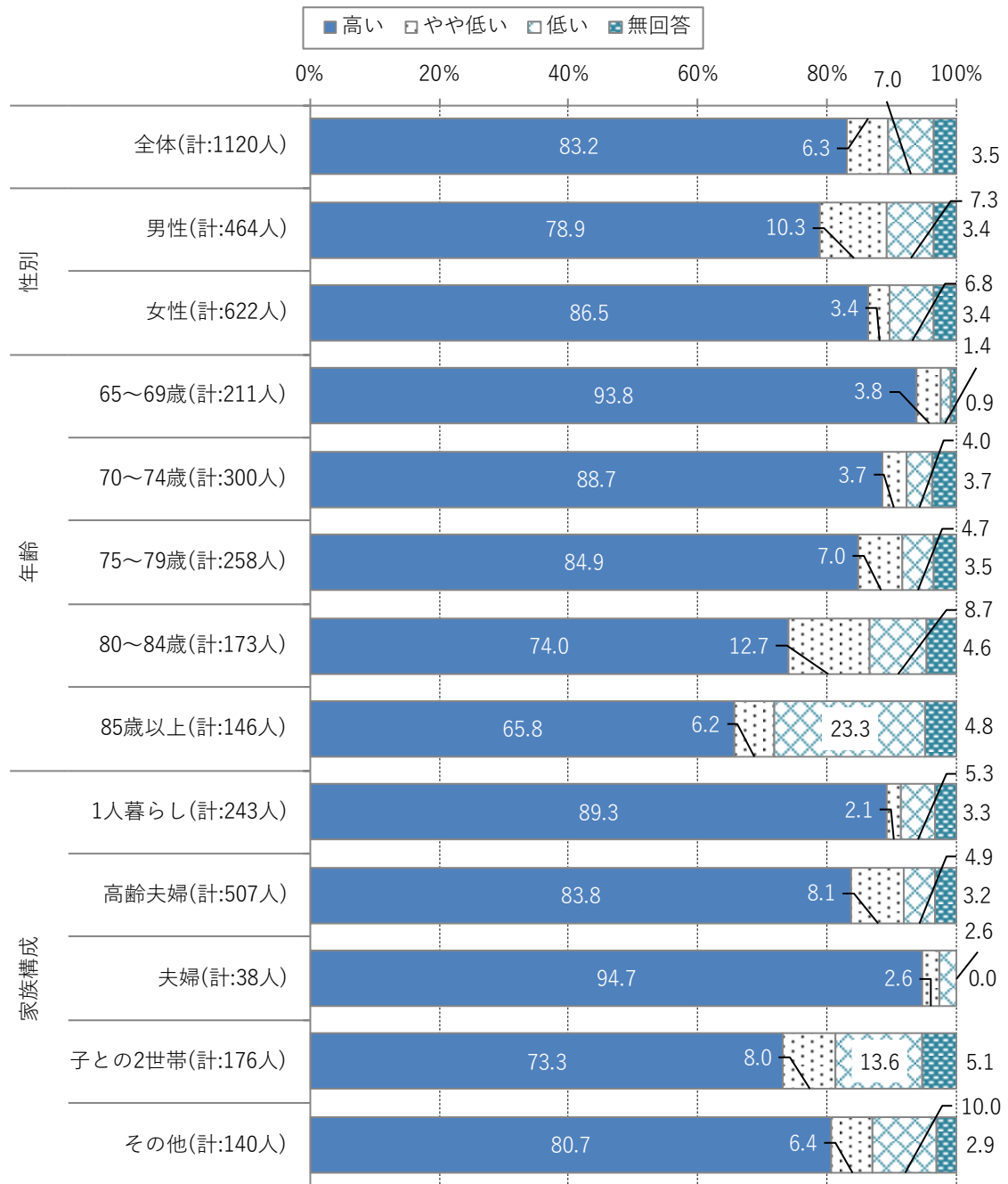
(2) IADL低下による各リスク者の割合増加

IADLが低下するに従って各リスク者の割合がどの程度変化するかを視覚的に把握できるようにレーダーチャートを描画しました。多くのリスクにおいて、IADLが5点（高い）と4点（やや低い）では大きな差異がみられないものの、4点（やや低い）から3点（低い）に移行する過程でリスク者の割合が大幅に増加していることが分かります。

図表 10 IADLと各リスク者割合の関係



図表 11 IADL の状況



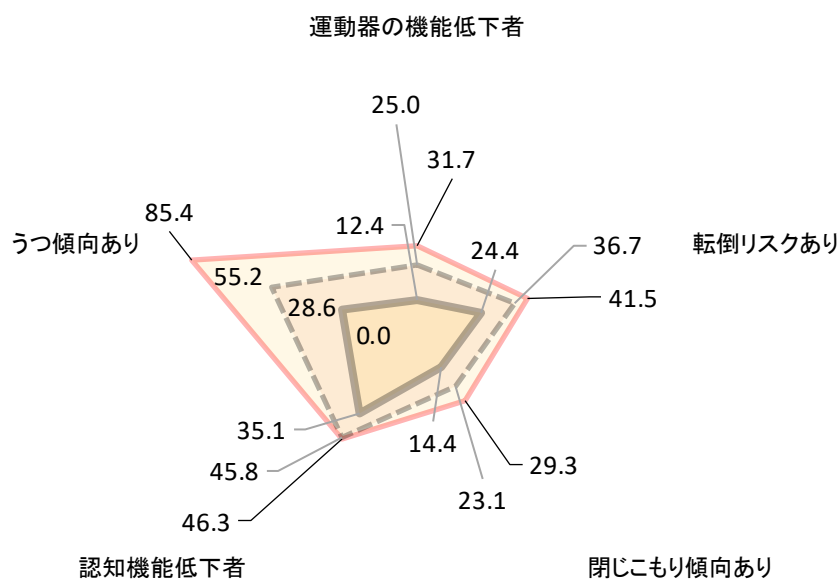
2. 主観的幸福感

主観的幸福感と各リスク者との関係を見ると、主観的幸福感が高い人ほど、リスク者の割合が低くなる傾向にあることが分かります。

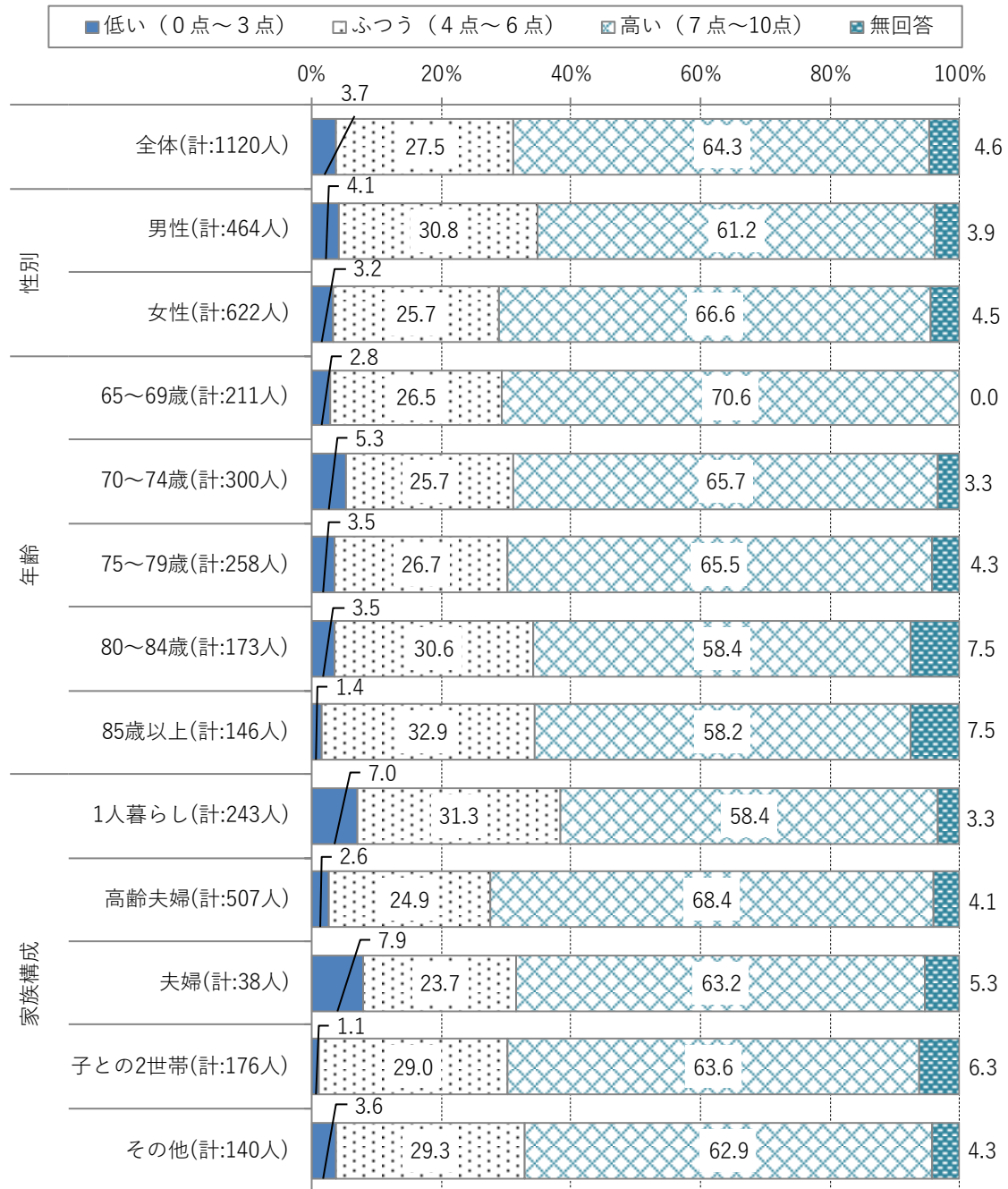
幸福度が低い（0～3点）である人は85.4%が「うつ傾向」があり、主観的幸福感の相関は非常に高くなっています。他のリスクについても、主観的幸福感の低さがリスク要因になっていることが分かります。

図表 12 主観的幸福感と各リスクの関係

■低い(0点～3点)(計:41人) ■ふつう(4点～6点)(計:308人) ■高い(7点～10点)(計:720人)



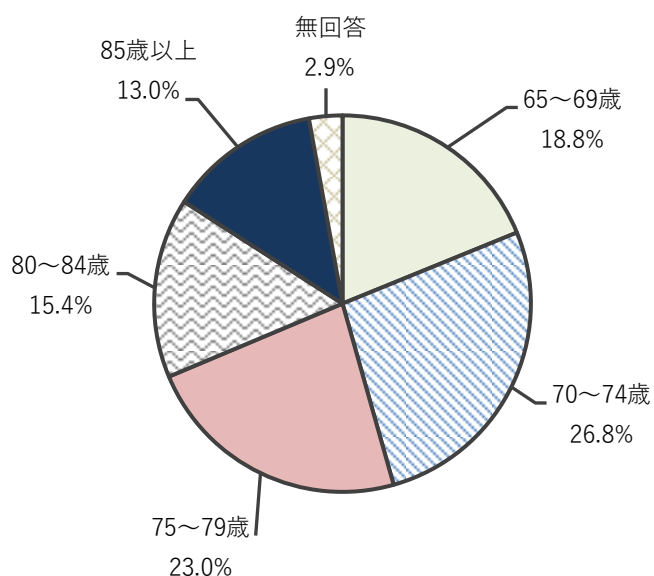
図表 13 主観的幸福感の状況



第4章 設問ごとの分析

本調査票の記入者や、あて名のご本人の情報についてうかがいます

(年齢)

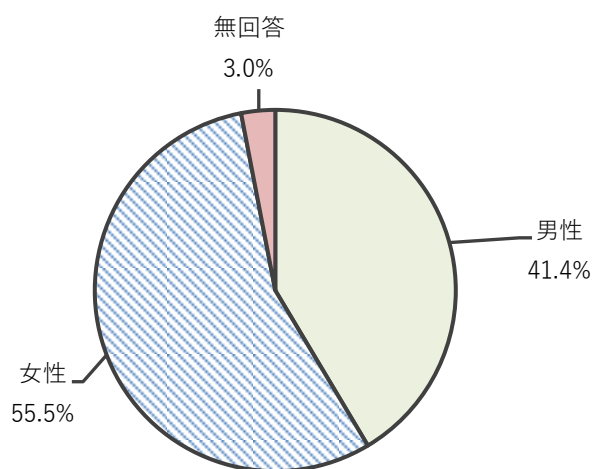


計：1,120人

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上	無回答
全体		1,120	18.8	26.8	23.0	15.4	13.0	2.9
圏域	早岐	191	19.4	25.7	23.6	19.9	9.9	1.6
	日宇	121	19.0	28.1	14.0	19.0	13.2	6.6
	山澄	156	23.1	26.3	23.1	9.6	16.7	1.3
	中部	80	16.3	31.3	23.8	16.3	11.3	1.3
	清水	126	19.8	24.6	26.2	11.9	14.3	3.2
	大野	164	15.9	28.7	24.4	14.0	14.6	2.4
	相浦	177	13.0	30.5	22.6	20.3	10.2	3.4
	吉井	89	28.1	18.0	27.0	10.1	14.6	2.2
	宇久	15	20.0	13.3	26.7	6.7	20.0	13.3
要介護度	要支援1	55	5.5	10.9	14.5	20.0	47.3	1.8
	要支援2	39	5.1	17.9	10.3	23.1	43.6	0.0
	要介護認定は受けていない	965	20.7	28.8	24.2	14.7	9.3	2.2

(性別)

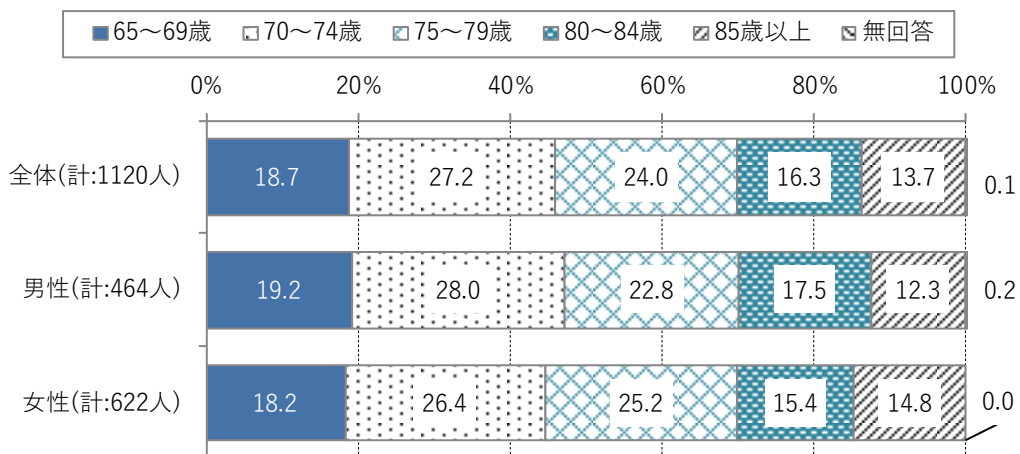


計：1,120人

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	男性	女性	無回答
全体		1,120	41.4	55.5	3.0
圏域	早岐	191	38.7	58.6	2.6
	日宇	121	43.8	51.2	5.0
	山澄	156	42.3	56.4	1.3
	中部	80	43.8	55.0	1.3
	清水	126	44.4	51.6	4.0
	大野	164	34.8	62.2	3.0
	相浦	177	47.5	49.2	3.4
	吉井	89	39.3	58.4	2.2
	宇久	15	20.0	66.7	13.3
要介護度	要支援1	55	29.1	69.1	1.8
	要支援2	39	25.6	74.4	0.0
	要介護認定は受けていない	965	43.2	54.5	2.3

(年齢×性別)

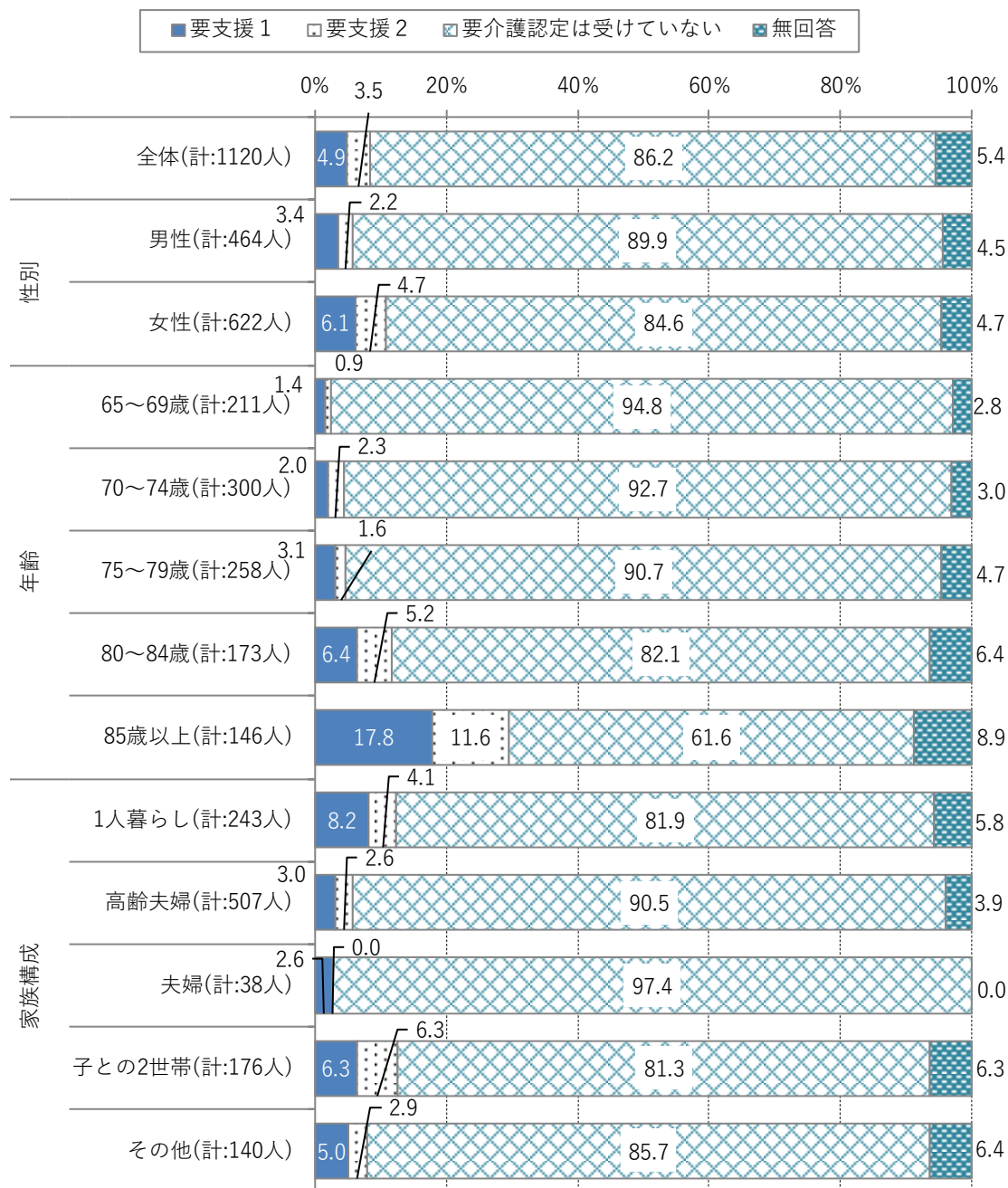


(居住地区)

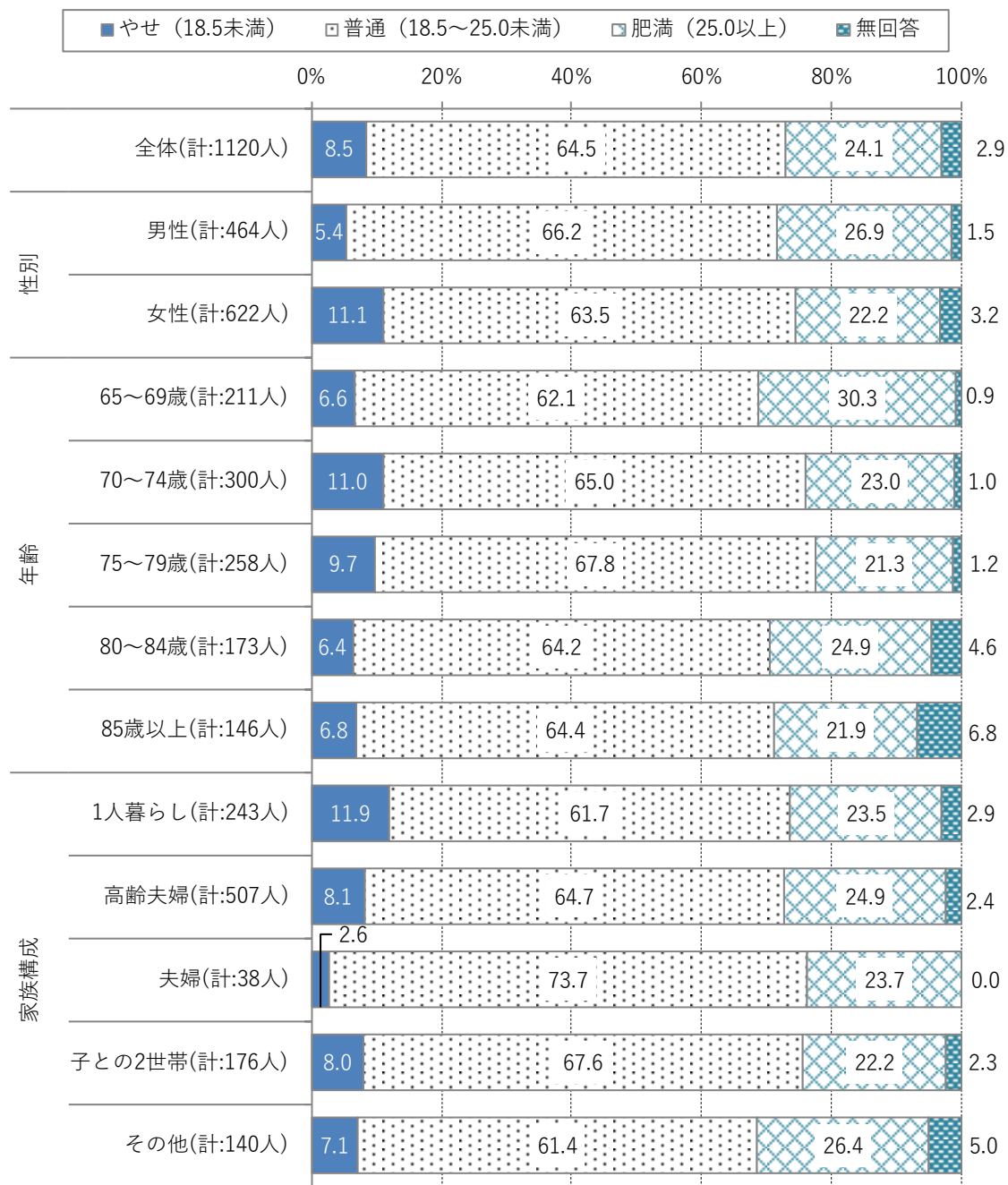
(%)

		早岐	日宇	山澄	中部	清水	大野	相浦	吉井	宇久	無回答
全体(計:1120人)		17.1	10.8	13.9	7.1	11.3	14.6	15.8	7.9	1.3	0.1
性別	男性(計:464人)	15.9	11.4	14.2	7.5	12.1	12.3	18.1	7.5	0.6	0.2
	女性(計:622人)	18.0	10.0	14.1	7.1	10.5	16.4	14.0	8.4	1.6	0.0
年齢	65~69歳(計:211人)	17.5	10.9	17.1	6.2	11.8	12.3	10.9	11.8	1.4	0.0
	70~74歳(計:300人)	16.3	11.3	13.7	8.3	10.3	15.7	18.0	5.3	0.7	0.3
	75~79歳(計:258人)	17.4	6.6	14.0	7.4	12.8	15.5	15.5	9.3	1.6	0.0
	80~84歳(計:173人)	22.0	13.3	8.7	7.5	8.7	13.3	20.8	5.2	0.6	0.0
	85歳以上(計:146人)	13.0	11.0	17.8	6.2	12.3	16.4	12.3	8.9	2.1	0.0
家族構成	1人暮らし(計:243人)	13.2	11.1	18.5	10.3	9.9	14.0	15.6	6.2	1.2	0.0
	高齢夫婦(計:507人)	16.8	9.7	12.0	7.9	12.4	17.0	14.8	8.1	1.2	0.2
	夫婦(計:38人)	18.4	13.2	15.8	5.3	21.1	7.9	10.5	2.6	5.3	0.0
	子との2世帯(計:176人)	22.2	12.5	11.9	5.7	8.0	13.6	16.5	9.1	0.6	0.0
	その他(計:140人)	19.3	11.4	15.7	1.4	10.0	10.7	19.3	10.0	2.1	0.0

(要介護度)

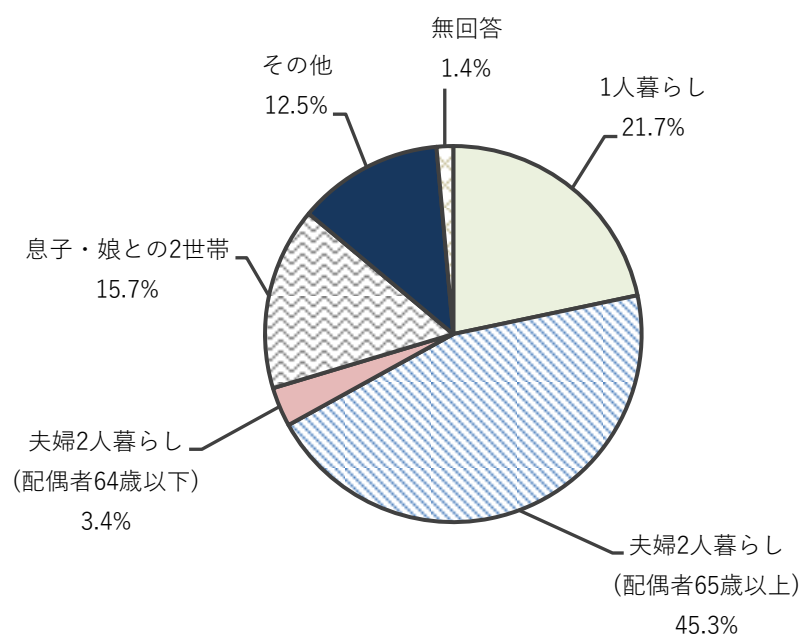


(BMI)



問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) (家族構成)



計：1,120人

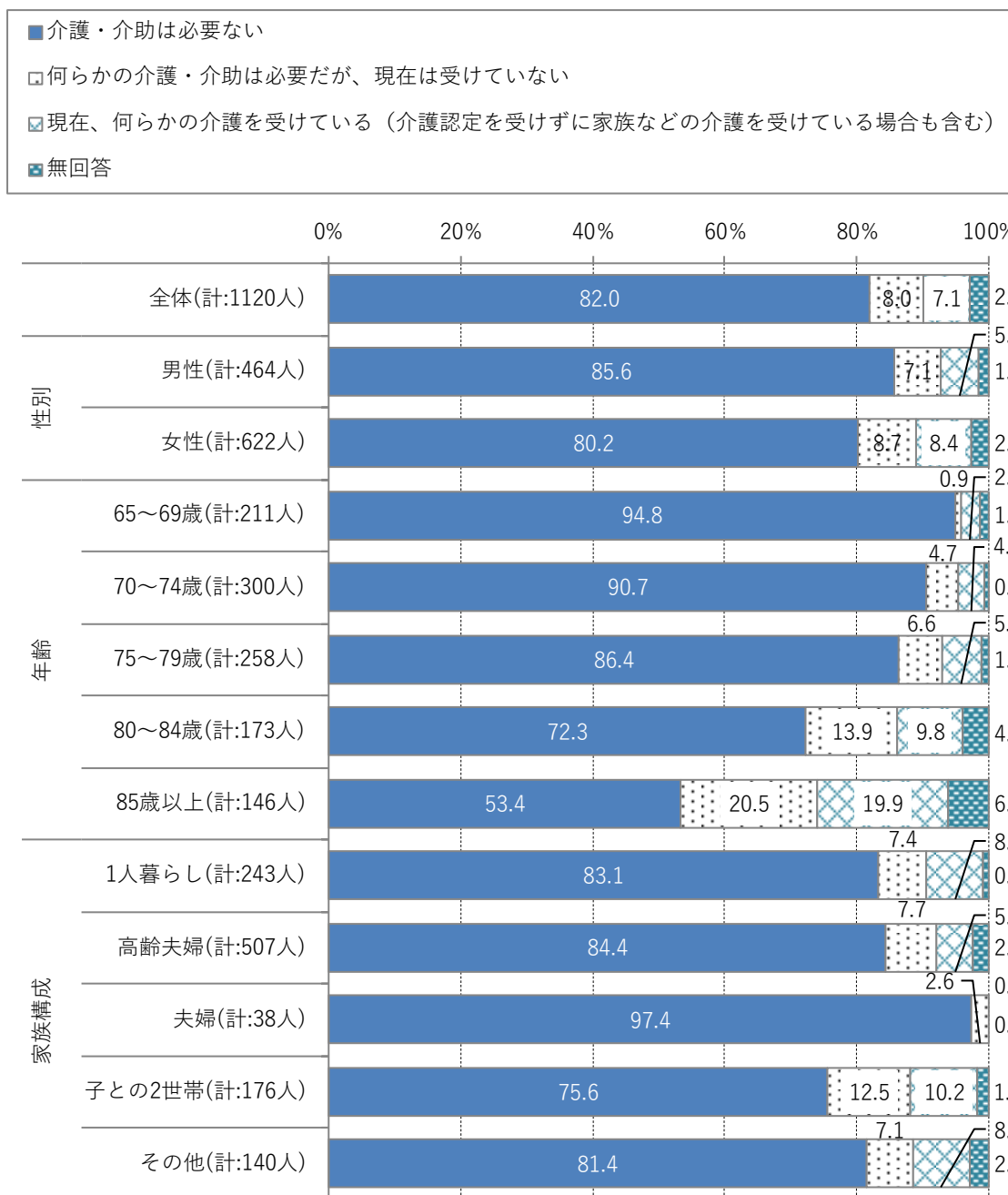
- 家族構成をみると、「1人暮らし」と回答した人の割合は21.7%となっています。「夫婦2人暮らし」であり、かつ、「配偶者が65歳以上」の世帯は世帯員の全員が高齢者であるため、「1人暮らし」と合わせた67.0%は高齢者のみの世帯となります。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	1人暮らし	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他	無回答
全体		1,120	21.7	45.3	3.4	15.7	12.5	1.4
圏域	早岐	191	16.8	44.5	3.7	20.4	14.1	0.5
	日宇	121	22.3	40.5	4.1	18.2	13.2	1.7
	山澄	156	28.8	39.1	3.8	13.5	14.1	0.6
	中部	80	31.3	50.0	2.5	12.5	2.5	1.3
	清水	126	19.0	50.0	6.3	11.1	11.1	2.4
	大野	164	20.7	52.4	1.8	14.6	9.1	1.2
	相浦	177	21.5	42.4	2.3	16.4	15.3	2.3
	吉井	89	16.9	46.1	1.1	18.0	15.7	2.2
	宇久	15	20.0	40.0	13.3	6.7	20.0	0.0
要介護度	要支援1	55	36.4	27.3	1.8	20.0	12.7	1.8
	要支援2	39	25.6	33.3	0.0	28.2	10.3	2.6
	要介護認定は受けていない	965	20.6	47.6	3.8	14.8	12.4	0.7

- 圏域別に分析すると、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」と回答した割合が最も高い圏域は「大野」(52.4%)、2番目に高いのは「中部」「清水」(50.0%)、3番目に高いのは「吉井」(46.1%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(47.6%)、2番目に高いのは「要支援2」(33.3%)、3番目に高いのは「要支援1」(27.3%)となっています。

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。



- 普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですかとたずねたところ、「介護・介助は必要ない」と回答した人の割合が最も高く、82.0%となっています。次いで、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」(8.0%)、「現在、何らかの介護・介助を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」(7.1%)と続いています。
- 年齢階層別にみると、加齢に伴って「介護・介助は必要ない」と回答した人の割合が減少する傾向にあり、65～69歳では94.8%であったのが、85歳以上では53.4%になっています。

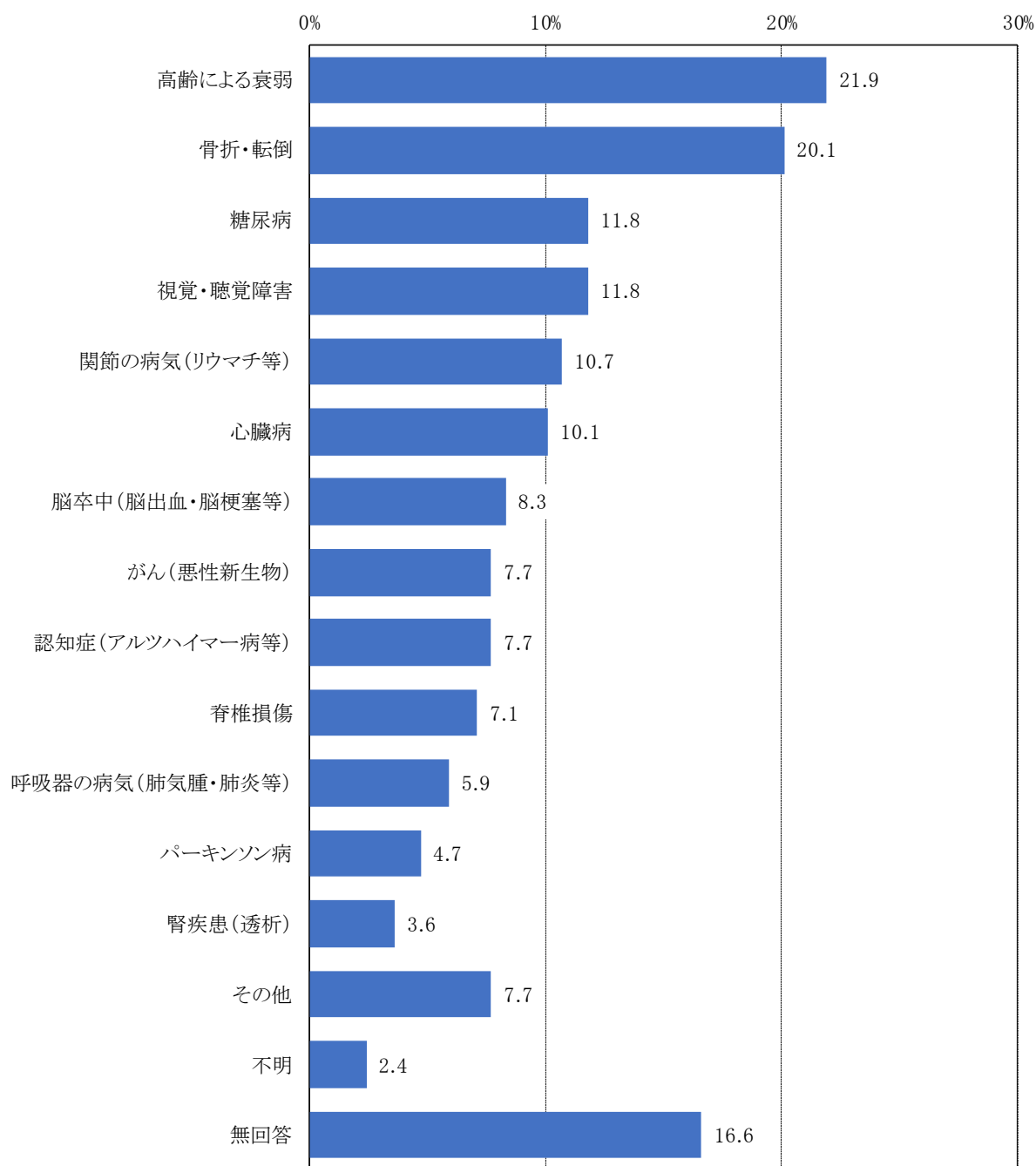
(圏域・要介護度別クロス)

		合計	介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)	無回答
全体		1,120	82.0	8.0	7.1	2.9
圏域	早岐	191	84.8	5.8	6.8	2.6
	日宇	121	83.5	7.4	8.3	0.8
	山澄	156	80.8	9.6	8.3	1.3
	中部	80	85.0	6.3	5.0	3.8
	清水	126	81.0	7.9	6.3	4.8
	大野	164	78.0	11.0	7.9	3.0
	相浦	177	80.8	7.9	7.9	3.4
	吉井	89	85.4	5.6	4.5	4.5
	宇久	15	73.3	20.0	0.0	6.7
要介護度	要支援1	55	25.5	38.2	30.9	5.5
	要支援2	39	5.1	17.9	74.4	2.6
	要介護認定は受けていない	965	89.9	5.8	2.6	1.7

- 圏域別に分析すると、「介護・介助は必要ない」と回答した割合が最も高い圏域は「吉井」(85.4%)、2番目に高いのは「中部」(85.0%)、3番目に高いのは「早岐」(84.8%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「介護・介助は必要ない」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(89.9%)、2番目に高いのは「要支援1」(25.5%)、3番目に高いのは「要支援2」(5.1%)となっています。

【(2) において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

① 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。



計:169人

● 普段の生活でどなたかの介護・介助が必要だと回答した人に、介護・介助が必要になった主な原因はなにかとたずねたところ、「高齢による衰弱」と回答した人が最も多く 21.9%となっています。次いで、「骨折・転倒」(20.1%)、「糖尿病」「視覚・聴覚障害」(11.8%)と続いています。

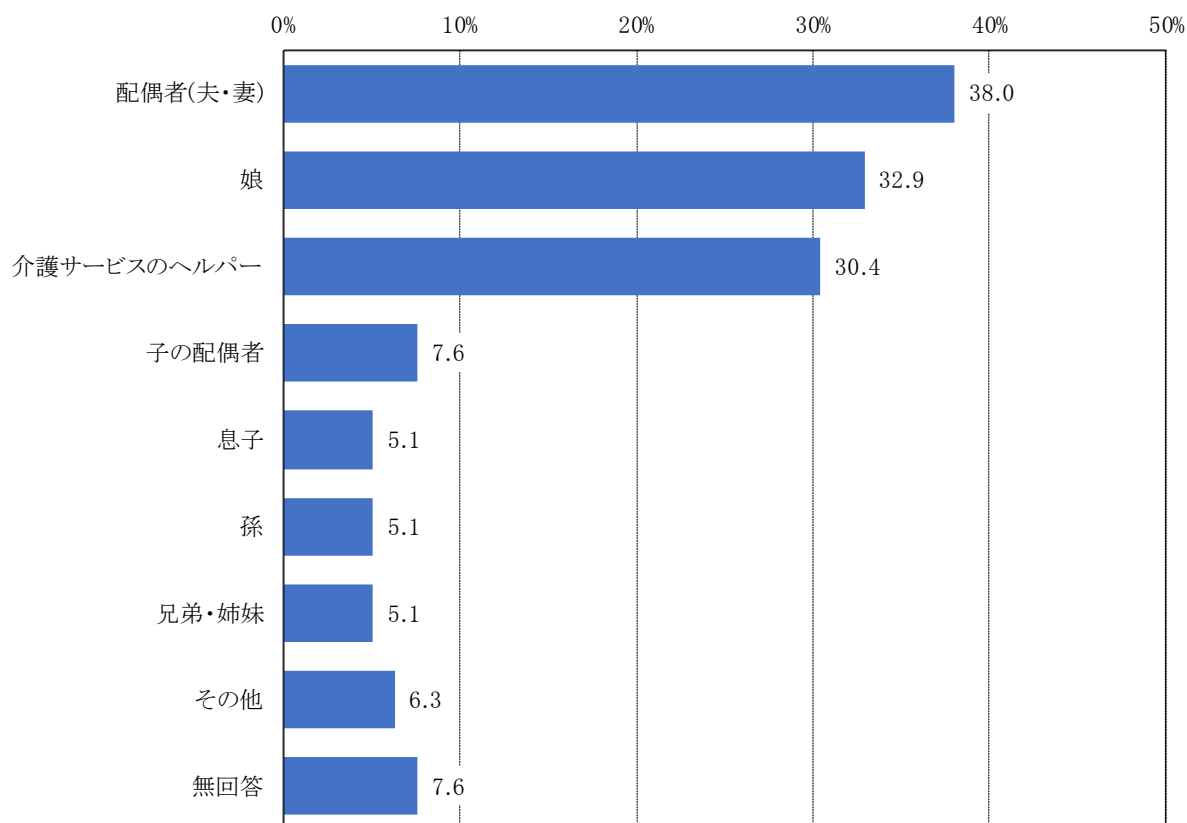
(圏域・要介護度別クロス)

		合計	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)	関節の病気(リウマチ等)	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病
全体		169	8.3	10.1	7.7	5.9	10.7	7.7	4.7	11.8
圏域	早岐	24	12.5	12.5	12.5	8.3	16.7	8.3	0.0	33.3
	日宇	19	10.5	15.8	5.3	10.5	15.8	5.3	0.0	5.3
	山澄	28	3.6	7.1	3.6	3.6	3.6	7.1	7.1	3.6
	中部	9	0.0	22.2	11.1	0.0	22.2	11.1	0.0	11.1
	清水	18	16.7	11.1	16.7	11.1	11.1	0.0	5.6	11.1
	大野	31	9.7	6.5	0.0	3.2	6.5	3.2	6.5	16.1
	相浦	28	7.1	3.6	7.1	3.6	7.1	17.9	7.1	7.1
	吉井	9	0.0	22.2	22.2	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0
	宇久	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
要介護度	要支援1	38	10.5	7.9	5.3	2.6	7.9	5.3	7.9	7.9
	要支援2	36	19.4	11.1	11.1	8.3	19.4	5.6	0.0	25.0
	要介護認定は受けていない	81	3.7	9.9	8.6	6.2	9.9	6.2	6.2	8.6
		合計	腎疾患(透析)	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
全体		169	3.6	11.8	20.1	7.1	21.9	7.7	2.4	16.6
圏域	早岐	24	4.2	4.2	25.0	16.7	25.0	8.3	0.0	12.5
	日宇	19	0.0	21.1	15.8	5.3	36.8	10.5	0.0	15.8
	山澄	28	3.6	10.7	14.3	10.7	17.9	7.1	7.1	25.0
	中部	9	0.0	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	33.3
	清水	18	5.6	5.6	22.2	0.0	16.7	22.2	0.0	5.6
	大野	31	9.7	6.5	22.6	0.0	22.6	9.7	0.0	19.4
	相浦	28	0.0	25.0	21.4	10.7	28.6	0.0	7.1	14.3
	吉井	9	0.0	11.1	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	宇久	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3
要介護度	要支援1	38	2.6	18.4	26.3	2.6	10.5	21.1	5.3	15.8
	要支援2	36	5.6	19.4	38.9	16.7	25.0	2.8	0.0	5.6
	要介護認定は受けていない	81	3.7	6.2	11.1	6.2	23.5	4.9	2.5	22.2

- 圏域別に分析すると、「高齢による衰弱」と回答した割合が最も高い圏域は「日宇」(36.8%)、2番目に高いのは「宇久」(33.3%)、3番目に高いのは「相浦」(28.6%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「高齢による衰弱」と回答した割合が最も高い要介護度は「要支援2」(25.0%)、2番目に高いのは「要介護認定は受けていない」(23.5%)、3番目に高いのは「要支援1」(10.5%)となっています。

【(2) において「3. 現在、何らかの介護を受けている」を選択した方のみ】

② 主にどなたの介護、介助を受けていますか。



計:79人

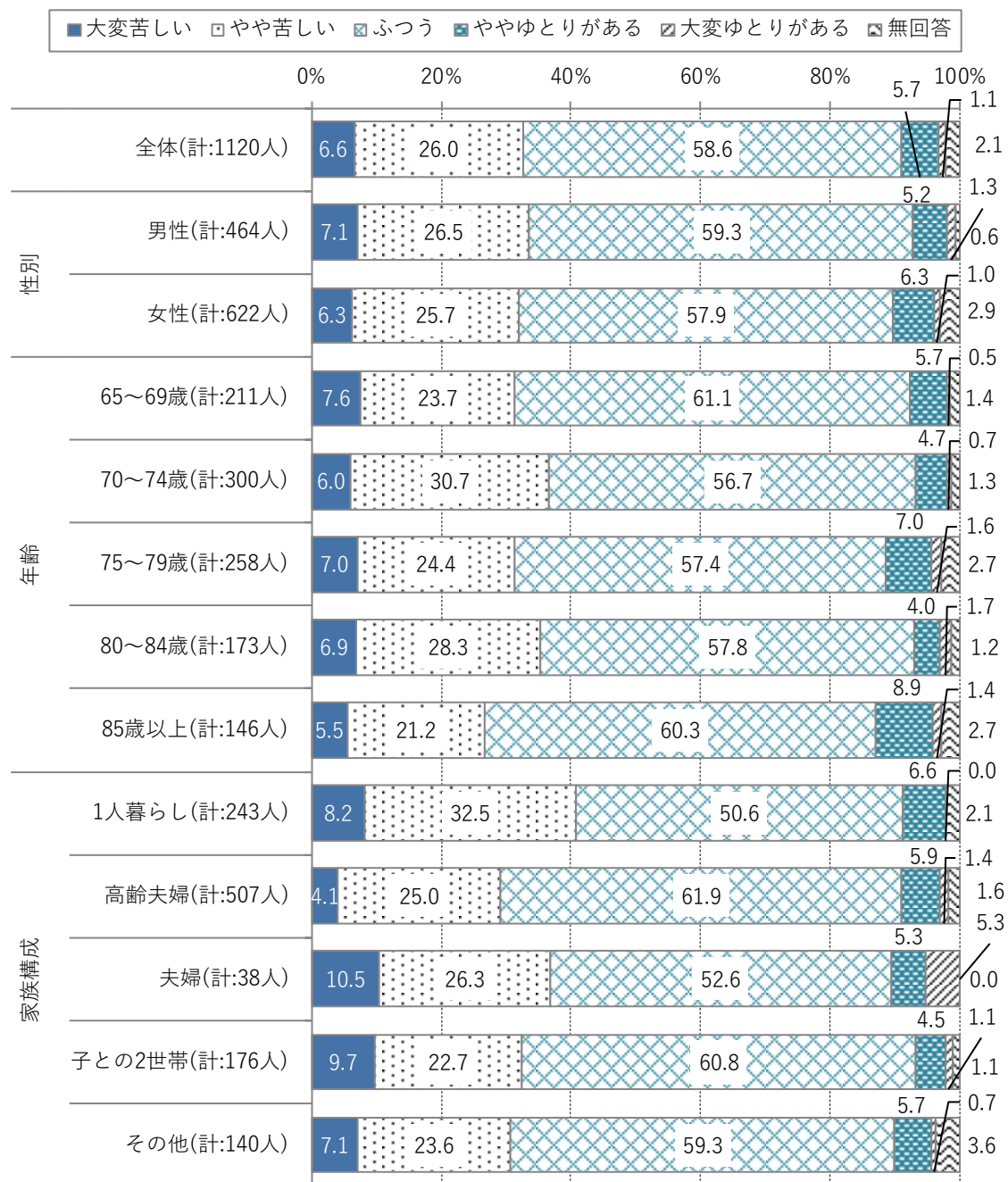
- 普段の生活で、現在、何らかの介護を受けていると回答した人に、主にどなたの介護、介助を受けていますかとたずねたところ、「配偶者(夫・妻)」と回答した人が最も多く、38.0%となっています。次いで、「娘」(32.9%)、「介護サービスのヘルパー」(30.4%)、「子の配偶者」(7.6%)と続いています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	配偶者(夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答
全体		79	38.0	5.1	32.9	7.6	5.1	5.1	30.4	6.3	7.6
圏域	早岐	13	38.5	0.0	38.5	7.7	0.0	7.7	23.1	0.0	7.7
	日宇	10	40.0	10.0	30.0	20.0	10.0	0.0	20.0	10.0	0.0
	山澄	13	23.1	15.4	30.8	0.0	0.0	7.7	46.2	15.4	7.7
	中部	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0
	清水	8	50.0	12.5	37.5	25.0	12.5	0.0	12.5	0.0	12.5
	大野	13	46.2	0.0	23.1	0.0	7.7	0.0	53.8	0.0	7.7
	相浦	14	42.9	0.0	42.9	7.1	7.1	7.1	35.7	0.0	0.0
	吉井	4	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
	宇久	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要介護度	要支援1	17	17.6	5.9	29.4	11.8	0.0	5.9	29.4	11.8	11.8
	要支援2	29	34.5	10.3	31.0	10.3	10.3	3.4	48.3	3.4	0.0
	要介護認定は受けていない	25	60.0	0.0	28.0	0.0	4.0	8.0	12.0	8.0	12.0

- 圏域別に分析すると、「配偶者(夫・妻)」と回答した割合が最も高い圏域は「清水」「吉井」(50.0%)、2番目に高いのは「大野」(46.2%)、3番目に高いのは「相浦」(42.9%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「配偶者(夫・妻)」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(60.0%)、2番目に高いのは「要支援2」(34.5%)、3番目に高いのは「要支援1」(17.6%)となっています。

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。



- 現在の暮らしの状況を経済的に見てどう感じていますかとたずねたところ、「ふつう」と回答した人の割合が最も高く、58.6%となっています。次いで「やや苦しい」(26.0%)、「大変苦しい」(6.6%)と続いています。
- 家族構成別にみると、「1人暮らし」は他の家族構成に比べて「大変苦しい」「やや苦しい」と回答した人の割合が高い傾向にあることがわかります。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
全体		1,120	6.6	26.0	58.6	5.7	1.1	2.1
圏域	早岐	191	8.4	23.6	57.6	6.3	1.6	2.6
	日宇	121	5.8	20.7	66.1	5.0	0.8	1.7
	山澄	156	5.1	28.2	50.6	10.9	1.9	3.2
	中部	80	5.0	33.8	55.0	3.8	1.3	1.3
	清水	126	7.1	25.4	57.9	6.3	1.6	1.6
	大野	164	9.1	26.8	58.5	3.7	0.6	1.2
	相浦	177	4.5	27.7	62.7	3.4	0.0	1.7
	吉井	89	7.9	24.7	57.3	6.7	0.0	3.4
	宇久	15	0.0	20.0	73.3	0.0	6.7	0.0
要介護度	要支援1	55	9.1	27.3	50.9	5.5	0.0	7.3
	要支援2	39	5.1	30.8	53.8	7.7	2.6	0.0
	要介護認定は受けていない	965	6.6	25.2	59.8	5.9	0.9	1.6

- 圏域別に分析すると、「ふつう」と回答した割合が最も高い圏域は「宇久」(73.3%)、2番目に高いのは「日宇」(66.1%)、3番目に高いのは「相浦」(62.7%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「ふつう」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(59.8%)、2番目に高いのは「要支援2」(53.8%)、3番目に高いのは「要支援1」(50.9%)となっています。

(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。

(%)

		持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	借家	その他	無回答
全体(計:1120人)		78.1	3.2	6.6	1.5	4.5	3.1	1.5	1.4
性別	男性(計:464人)	82.5	3.0	5.0	1.9	3.0	2.6	1.1	0.9
	女性(計:622人)	74.3	3.5	8.2	1.3	5.6	3.7	1.8	1.6
年齢	65～69歳(計:211人)	76.8	2.4	6.6	1.4	6.2	4.3	1.4	0.9
	70～74歳(計:300人)	74.7	3.7	6.3	3.0	7.3	3.3	1.3	0.3
	75～79歳(計:258人)	78.3	4.3	6.6	0.8	3.1	3.9	1.9	1.2
	80～84歳(計:173人)	82.1	2.9	8.1	0.0	2.9	1.7	0.6	1.7
	85歳以上(計:146人)	79.5	2.7	6.8	2.1	1.4	2.1	2.1	3.4
家族構成	1人暮らし(計:243人)	60.1	3.3	10.7	2.1	14.8	3.7	3.3	2.1
	高齢夫婦(計:507人)	84.6	3.2	6.1	1.6	1.2	2.4	0.6	0.4
	夫婦(計:38人)	76.3	7.9	5.3	2.6	2.6	5.3	0.0	0.0
	子との2世帯(計:176人)	80.7	3.4	6.3	1.1	1.7	4.5	1.1	1.1
	その他(計:140人)	82.9	2.1	2.9	0.7	2.9	2.1	2.9	3.6

- お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですかとたずねたところ、「持家（一戸建て）」と回答した人の割合が最も高く、78.1%となっています。次いで「公営賃貸住宅」（6.6%）、「民間賃貸住宅（集合住宅）」（4.5%）と続いています。
- 家族構成別にみると、「一人暮らし」は他の家族構成に比べて「持ち家（一戸建て）」と回答した人の割合が低く、かわりに「民間賃貸住宅（集合住宅）」と回答した人の割合が高い傾向にあることが分かります。

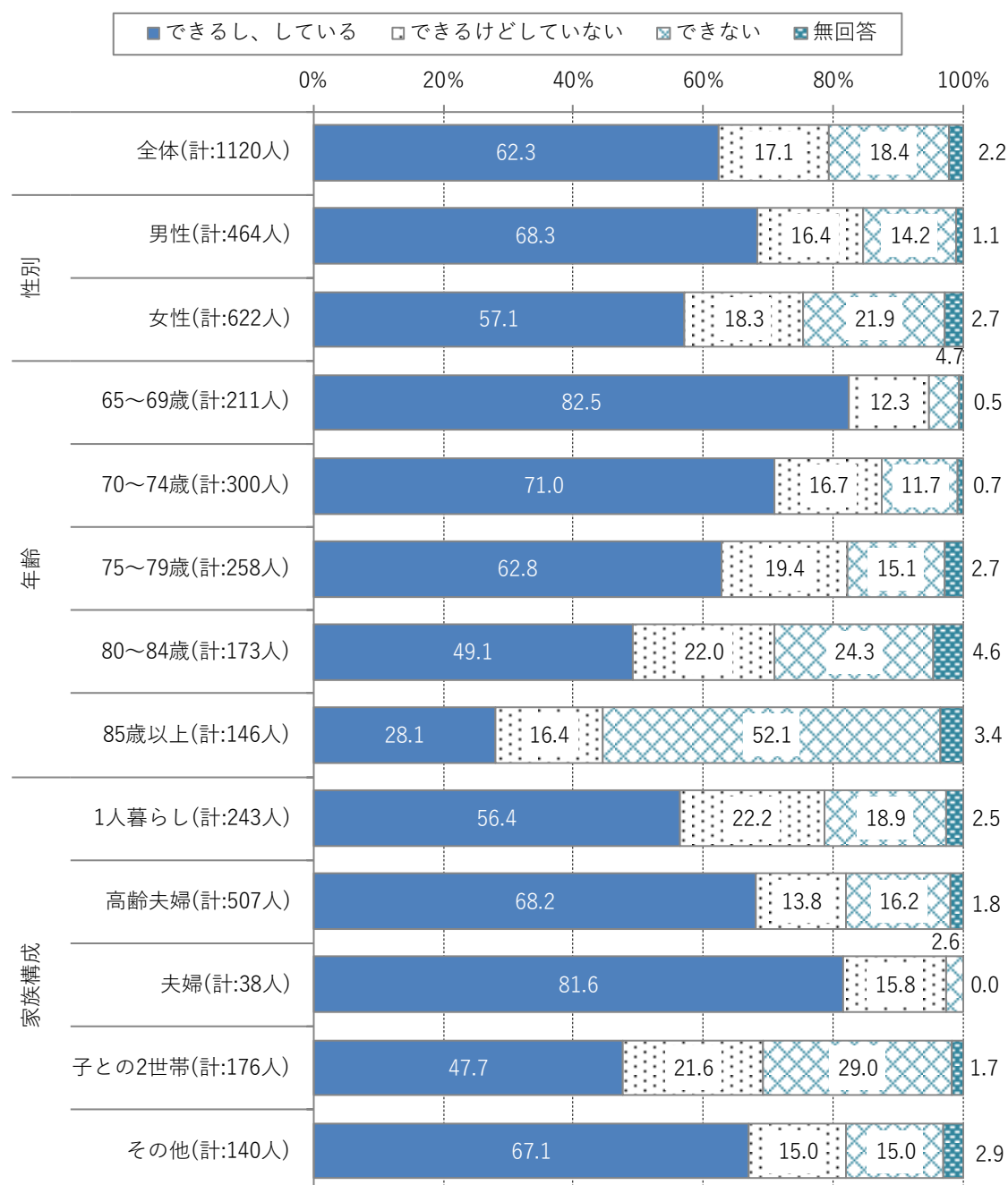
(圏域・要介護度別クロス)

		合計	持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	借家	その他	無回答
全体		1,120	78.1	3.2	6.6	1.5	4.5	3.1	1.5	1.4
圏域	早岐	191	81.2	1.6	7.9	1.0	3.7	1.0	2.1	1.6
	日宇	121	81.0	0.8	1.7	2.5	6.6	5.8	0.8	0.8
	山澄	156	66.7	8.3	10.3	1.3	7.1	2.6	1.9	1.9
	中部	80	58.8	8.8	2.5	3.8	12.5	7.5	3.8	2.5
	清水	126	80.2	5.6	1.6	0.8	2.4	5.6	1.6	2.4
	大野	164	75.0	1.2	15.2	1.2	2.4	3.7	1.2	0.0
	相浦	177	89.3	1.1	1.1	2.3	4.0	1.1	0.0	1.1
	吉井	89	84.3	0.0	11.2	0.0	0.0	1.1	2.2	1.1
	宇久	15	86.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7
要介護度	要支援1	55	72.7	0.0	12.7	3.6	1.8	3.6	1.8	3.6
	要支援2	39	74.4	0.0	15.4	2.6	2.6	2.6	2.6	0.0
	要介護認定は受けていない	965	79.4	3.5	5.8	1.3	4.2	3.2	1.6	0.9

- 圏域別に分析すると、「持家（一戸建て）」と回答した割合が最も高い圏域は「相浦」（89.3%）、2番目に高いのは「宇久」（86.7%）、3番目に高いのは「吉井」（84.3%）となっています。
- 要介護度別に分析すると、「持家（一戸建て）」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」（79.4%）、2番目に高いのは「要支援2」（74.4%）、3番目に高いのは「要支援1」（72.7%）となっています。

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。



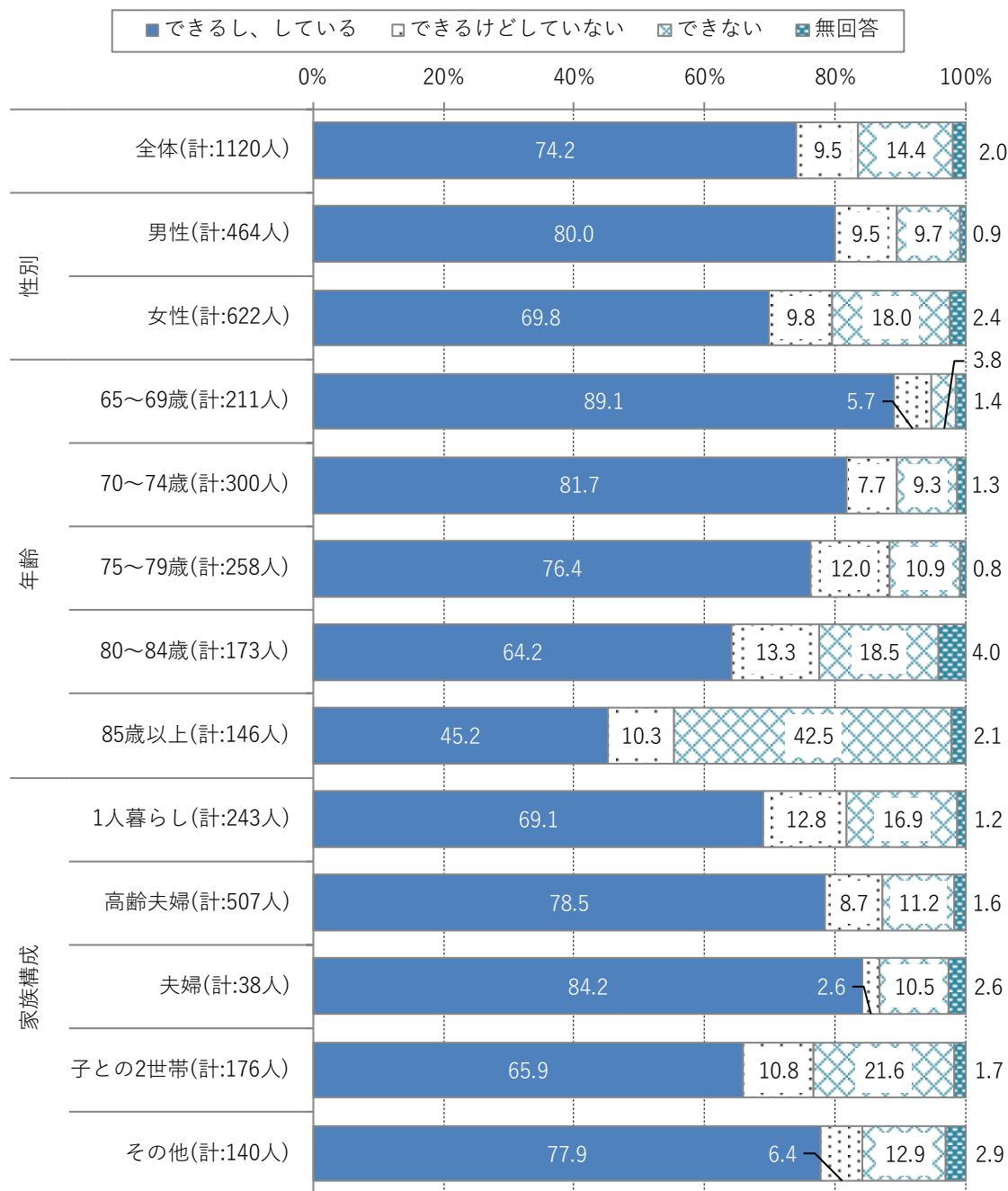
- 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますかとたずねたところ、「できるし、している」と回答した人の割合が最も高く、62.3%となっています。次いで「できない」(18.4%)、「できるけどしていない」(17.1%)と続いています。
- 年齢階層別にみると、加齢に伴って「できるし、している」と回答した人の割合が減少する傾向にあり、65～69歳では82.5%であったのが、85歳以上では28.1%になっています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答
全体		1,120	62.3	17.1	18.4	2.2
圏域	早岐	191	63.9	18.8	14.1	3.1
	日宇	121	59.5	15.7	21.5	3.3
	山澄	156	62.8	16.0	19.9	1.3
	中部	80	68.8	15.0	16.3	0.0
	清水	126	68.3	11.9	18.3	1.6
	大野	164	62.2	15.9	21.3	0.6
	相浦	177	57.1	19.8	19.2	4.0
	吉井	89	59.6	23.6	15.7	1.1
	宇久	15	53.3	13.3	20.0	13.3
	要介護度	要支援1	55	16.4	12.7	69.1
要支援2		39	7.7	5.1	84.6	2.6
要介護認定は受けていない		965	68.2	17.7	12.2	1.9

- 圏域別に分析すると、「できるし、している」と回答した割合が最も高い圏域は「中部」(68.8%)、2番目に高いのは「清水」(68.3%)、3番目に高いのは「早岐」(63.9%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「できるし、している」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(68.2%)、2番目に高いのは「要支援1」(16.4%)、3番目に高いのは「要支援2」(7.7%)となっています。

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。



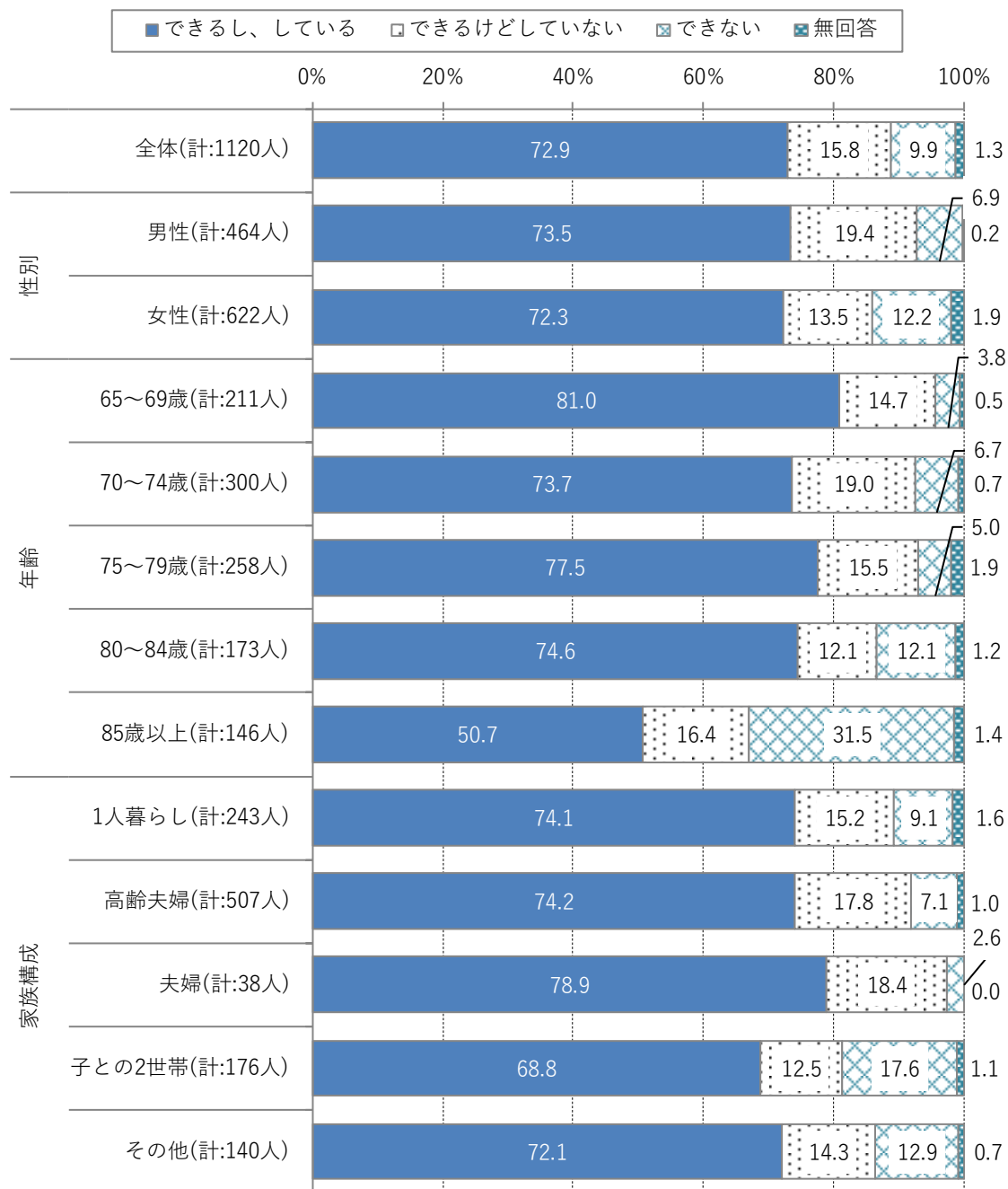
- 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますかとたずねたところ、「できるし、している」と回答した人の割合が最も高く、74.2%となっています。次いで「できない」(14.4%)、「できるけどしていない」(9.5%)と続いています。
- 年齢階層別にみると、加齢に伴って「できるし、している」と回答した人の割合が減少する傾向にあり、65~69歳では89.1%であったのが、85歳以上では45.2%になっています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答
全体		1,120	74.2	9.5	14.4	2.0
圏域	早岐	191	74.3	10.5	13.6	1.6
	日宇	121	74.4	9.9	13.2	2.5
	山澄	156	72.4	10.3	15.4	1.9
	中部	80	88.8	2.5	8.8	0.0
	清水	126	77.0	4.8	15.9	2.4
	大野	164	72.6	11.0	15.2	1.2
	相浦	177	70.1	11.3	15.3	3.4
	吉井	89	69.7	13.5	15.7	1.1
	宇久	15	80.0	0.0	13.3	6.7
要介護度	要支援 1	55	34.5	9.1	56.4	0.0
	要支援 2	39	20.5	5.1	71.8	2.6
	要介護認定は受 けていない	965	79.6	9.8	8.9	1.7

- 圏域別に分析すると、「できるし、している」と回答した割合が最も高い圏域は「中部」(88.8%)、2番目に高いのは「宇久」(80.0%)、3番目に高いのは「清水」(77.0%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「できるし、している」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(79.6%)、2番目に高いのは「要支援 1」(34.5%)、3番目に高いのは「要支援 2」(20.5%)となっています。

(3) 15分位続けて歩いていますか。



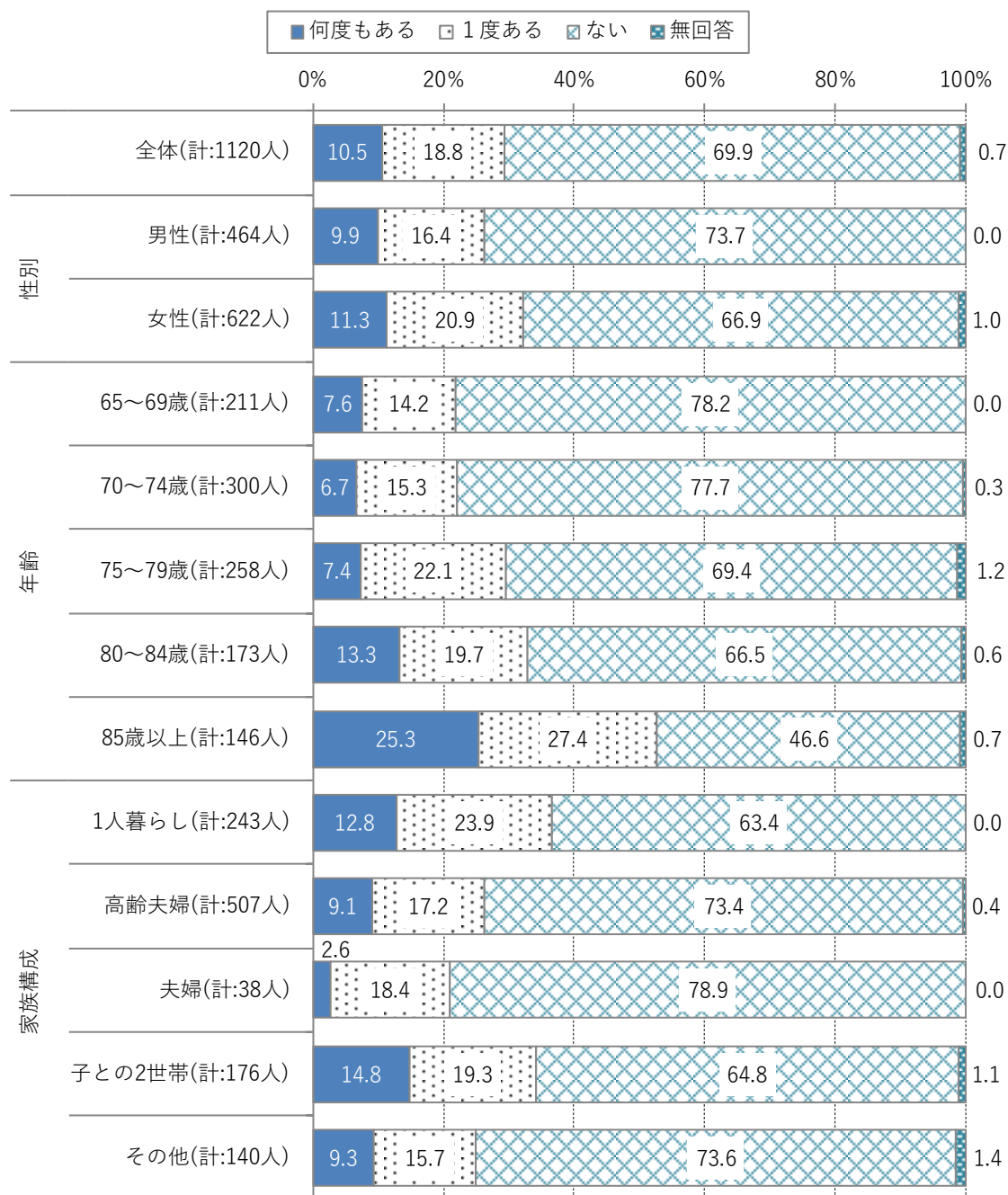
- 15分位続けて歩いていますかとたずねたところ、「できるし、している」と回答した人の割合が最も高く、72.9%となっています。次いで「できるけどしていない」(15.8%)、「できない」(9.9%)と続いています。
- 年齢階層別にみると、加齢に伴って「できるし、している」と回答した人の割合が概ね減少する傾向にあり、65~69歳では81.0%であったのが、85歳以上では50.7%になっています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答
全体		1,120	72.9	15.8	9.9	1.3
圏 域	早岐	191	77.0	16.2	6.3	0.5
	日宇	121	67.8	19.8	9.9	2.5
	山澄	156	74.4	14.7	8.3	2.6
	中部	80	83.8	12.5	3.8	0.0
	清水	126	73.8	14.3	10.3	1.6
	大野	164	72.0	14.0	12.8	1.2
	相浦	177	71.2	15.3	13.0	0.6
	吉井	89	64.0	22.5	12.4	1.1
	宇久	15	66.7	6.7	20.0	6.7
	要 介 護 度	要支援1	55	43.6	14.5	40.0
要支援2		39	20.5	10.3	66.7	2.6
要介護認定は受 けていない		965	77.2	16.5	5.3	1.0

- 圏域別に分析すると、「できるし、している」と回答した割合が最も高い圏域は「中部」(83.4%)、2番目に高いのは「早岐」(77.0%)、3番目に高いのは「山澄」(74.4%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「できるし、している」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(77.2%)、2番目に高いのは「要支援1」(43.6%)、3番目に高いのは「要支援2」(20.5%)となっています。

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。



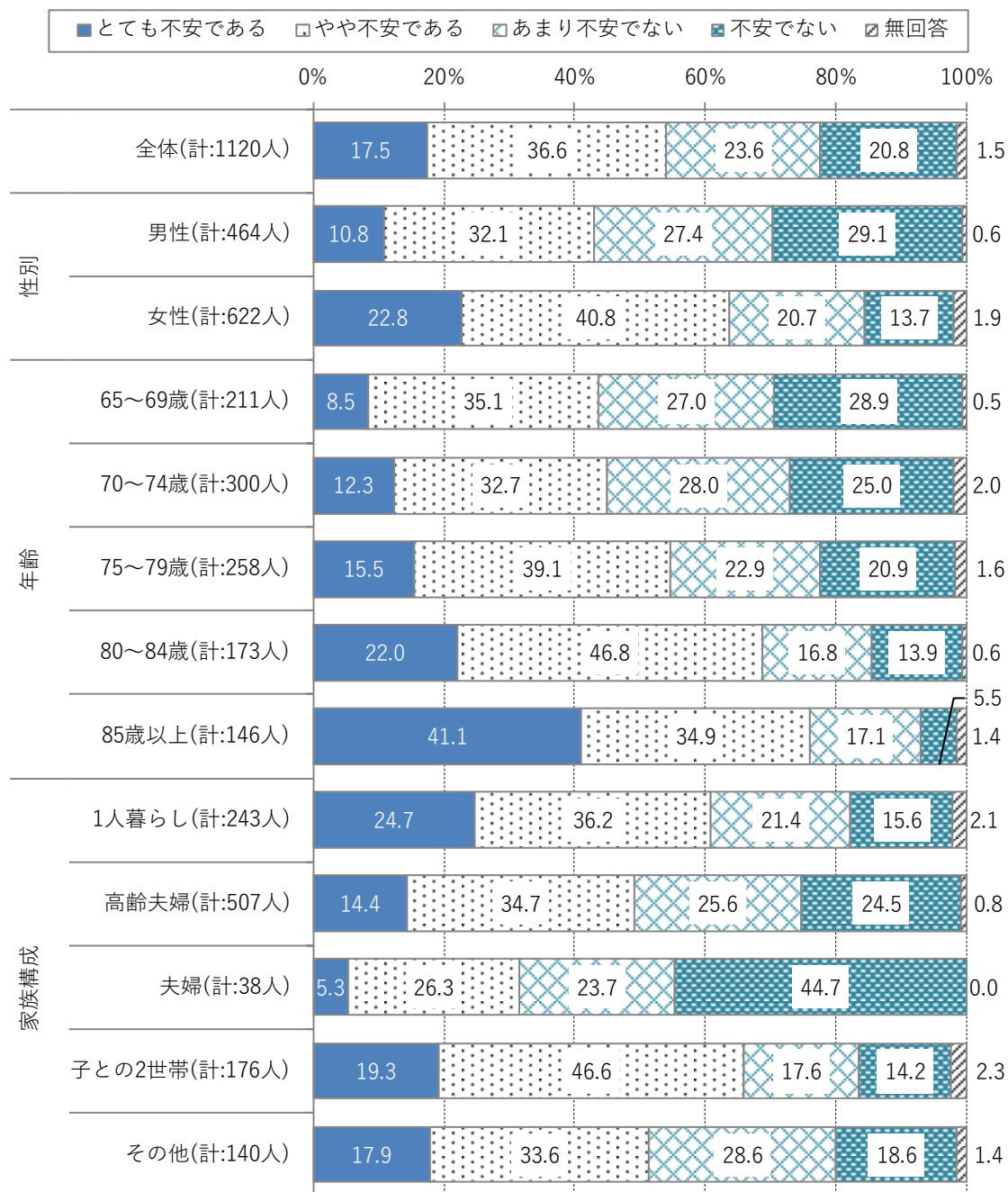
- 過去1年間に転んだ経験がありますかとたずねたところ、「ない」と回答した人の割合が最も高く、69.9%となっています。次いで「1度ある」(18.8%)、「何度もある」(10.5%)と続いています。
- 年齢階層別にみると、加齢に伴って「何度もある」と回答した人の割合が増加する傾向にあり、65~69歳では7.6%であったのが、85歳以上では25.3%になっています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	何度もある	1度ある	ない	無回答
全体		1,120	10.5	18.8	69.9	0.7
圏域	早岐	191	8.9	22.5	68.6	0.0
	日宇	121	9.9	14.9	74.4	0.8
	山澄	156	8.3	19.2	70.5	1.9
	中部	80	11.3	21.3	67.5	0.0
	清水	126	12.7	19.0	67.5	0.8
	大野	164	12.2	18.3	69.5	0.0
	相浦	177	11.3	16.9	70.6	1.1
	吉井	89	10.1	21.3	68.5	0.0
	宇久	15	13.3	0.0	80.0	6.7
要介護度	要支援1	55	29.1	25.5	43.6	1.8
	要支援2	39	43.6	23.1	33.3	0.0
	要介護認定は受けていない	965	8.1	17.9	73.5	0.5

- 圏域別に分析すると、「ない」と回答した割合が最も高い圏域は「宇久」(80.0%)、2番目に高いのは「日宇」(74.4%)、3番目に高いのは「相浦」(70.6%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「ない」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(73.5%)、2番目に高いのは「要支援1」(43.6%)、3番目に高いのは「要支援2」(33.3%)となっています。

(5) 転倒に対する不安は大きいですか。



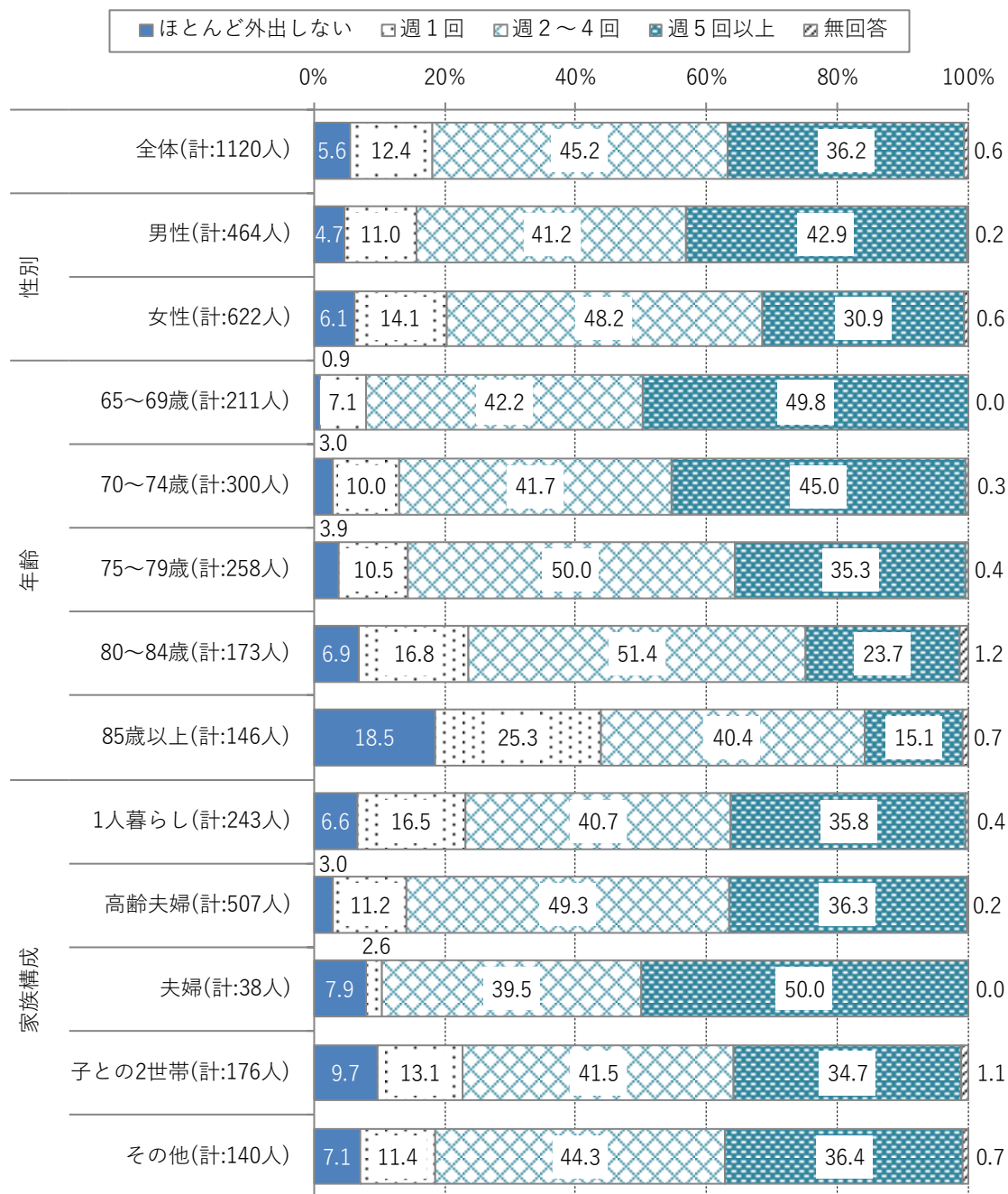
- 転倒に対する不安は大きいですかとたずねたところ、「やや不安である」と回答した人の割合が最も高く、36.6%となっています。次いで「あまり不安でない」(23.6%)、「不安でない」(20.8%)と続いています。
- 年齢階層別にみると、加齢に伴って「とても不安である」と回答した人の割合が増加する傾向にあり、65～69歳では8.5%であったのが、85歳以上では41.1%になっています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	とても不安 である	やや不安で ある	あまり不安 でない	不安でない	無回答
全体		1,120	17.5	36.6	23.6	20.8	1.5
圏 域	早岐	191	14.1	37.2	24.1	23.0	1.6
	日宇	121	20.7	33.9	17.4	25.6	2.5
	山澄	156	18.6	39.1	23.7	16.0	2.6
	中部	80	16.3	41.3	22.5	18.8	1.3
	清水	126	15.1	32.5	28.6	22.2	1.6
	大野	164	19.5	36.6	20.7	23.2	0.0
	相浦	177	18.1	33.3	27.7	20.3	0.6
	吉井	89	20.2	46.1	20.2	11.2	2.2
	宇久	15	6.7	20.0	26.7	40.0	6.7
要 介 護 度	要支援1	55	43.6	49.1	1.8	3.6	1.8
	要支援2	39	79.5	15.4	2.6	0.0	2.6
	要介護認定は受 けていない	965	13.2	36.9	25.9	22.8	1.2

- 圏域別に分析すると、「やや不安である」と回答した割合が最も高い圏域は「吉井」(46.1%)、2番目に高いのは「中部」(41.3%)、3番目に高いのは「山澄」(39.1%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「やや不安である」と回答した割合が最も高い要介護度は「要支援1」(49.1%)、2番目に高いのは「要介護認定は受けていない」(36.9%)、3番目に高いのは「要支援2」(15.4%)となっています。

(6) 週に1回以上は外出していますか。



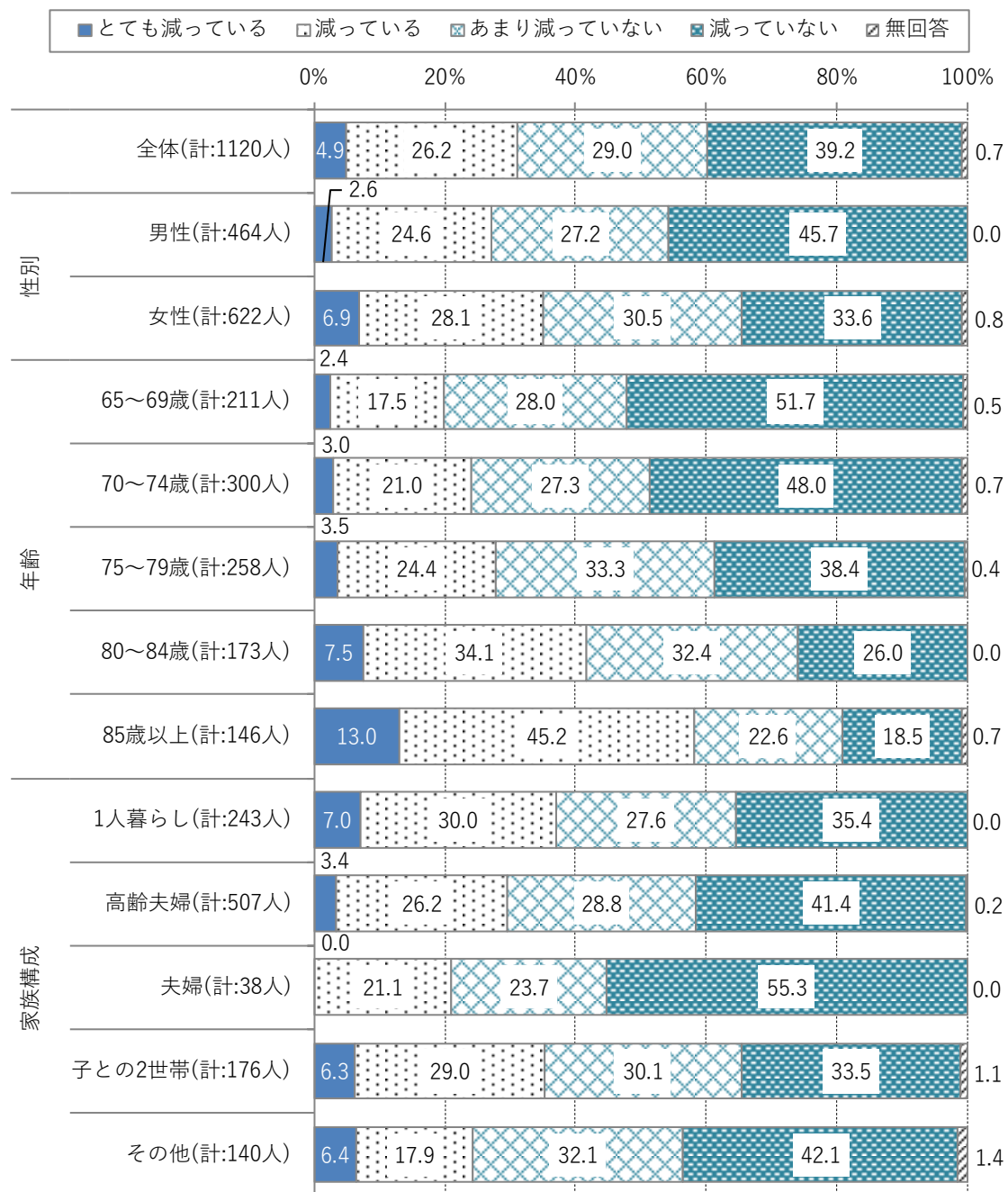
- 週に1回以上は外出していますかとたずねたところ、「週2~4回」と回答した人の割合が最も高く、45.2%となっています。次いで「週5回以上」(36.2%)、「週1回」(12.4%)と続いています。
- 年齢階層別にみると、加齢に伴って「ほとんどが外出しない」と回答した人の割合が増加する傾向にあり、65~69歳では0.9%であったのが、85歳以上では18.5%になっています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全体		1,120	5.6	12.4	45.2	36.2	0.6
圏域	早岐	191	2.6	11.5	44.0	41.9	0.0
	日宇	121	4.1	9.1	46.3	39.7	0.8
	山澄	156	3.8	10.9	50.6	34.0	0.6
	中部	80	6.3	16.3	47.5	30.0	0.0
	清水	126	5.6	15.9	41.3	36.5	0.8
	大野	164	7.9	11.6	44.5	36.0	0.0
	相浦	177	8.5	10.7	45.2	34.5	1.1
	吉井	89	5.6	20.2	44.9	27.0	2.2
	宇久	15	13.3	0.0	26.7	60.0	0.0
要介護度	要支援1	55	16.4	27.3	45.5	10.9	0.0
	要支援2	39	33.3	20.5	41.0	5.1	0.0
	要介護認定は受けていない	965	3.6	10.8	46.0	39.1	0.5

- 圏域別に分析すると、「週2～4回」と回答した割合が最も高い圏域は「山澄」(50.6%)、2番目に高いのは「中部」(47.5%)、3番目に高いのは「日宇」(46.3%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「週2～4回」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(46.0%)、2番目に高いのは「要支援1」(45.5%)、3番目に高いのは「要支援2」(41.0%)となっています。

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。



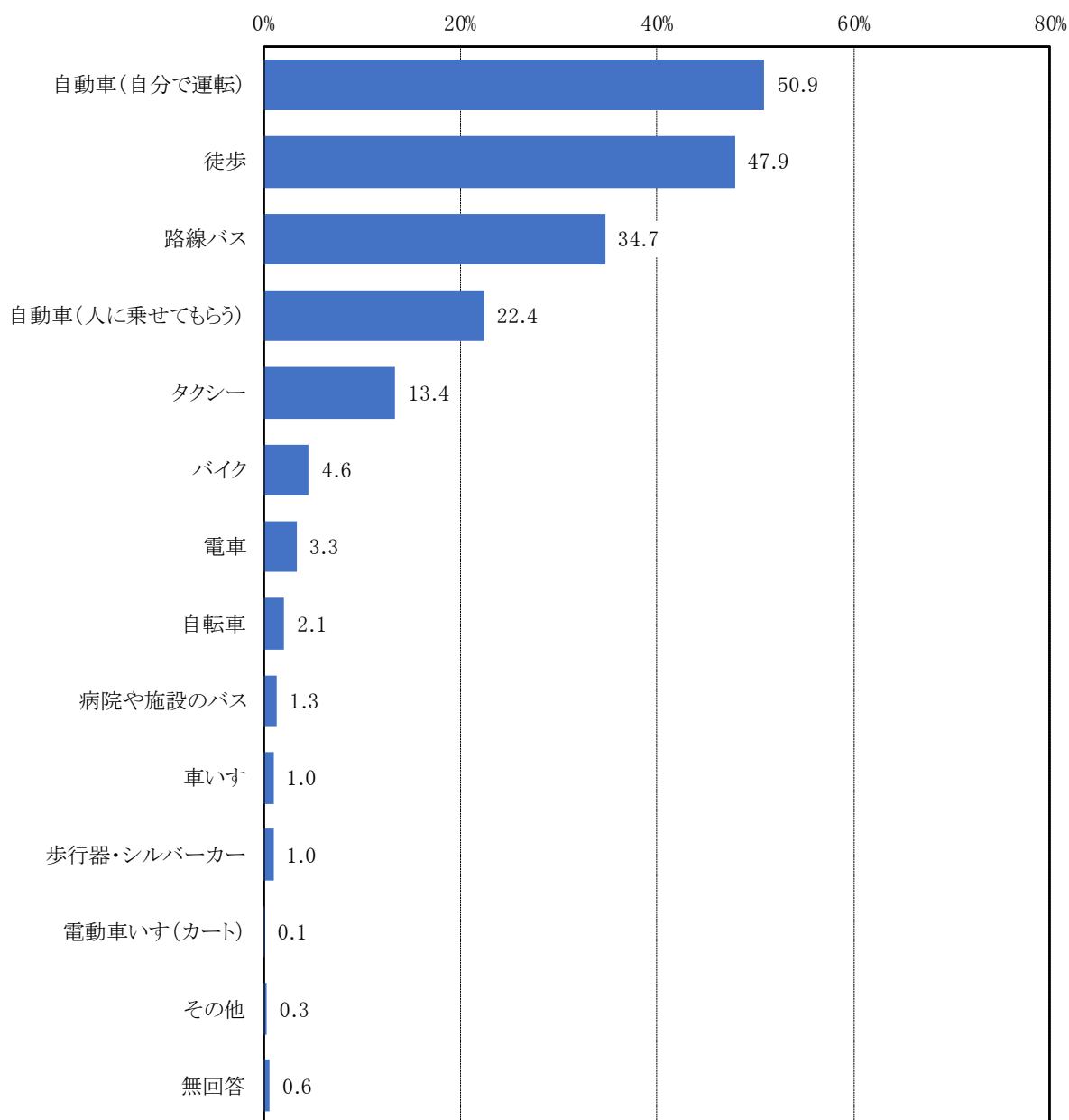
- 昨年と比べて外出の回数が減っていますかとたずねたところ、「減っていない」と回答した人の割合が最も高く 39.2%となっています。次いで、「あまり減っていない」(29.0%)、「減っている」(26.2%)と続いています。
- 年齢階層別にみると、加齢に伴って「とても減っている」と回答した人の割合が増加する傾向にあり、65～69歳では2.4%であったのが、85歳以上では13.0%になっています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答
全体		1,120	4.9	26.2	29.0	39.2	0.7
圏域	早岐	191	4.2	22.0	28.8	45.0	0.0
	日宇	121	6.6	23.1	34.7	34.7	0.8
	山澄	156	5.1	31.4	26.3	36.5	0.6
	中部	80	1.3	30.0	35.0	33.8	0.0
	清水	126	4.0	27.8	22.2	45.2	0.8
	大野	164	6.1	25.6	29.3	39.0	0.0
	相浦	177	5.1	24.9	29.4	39.5	1.1
	吉井	89	4.5	30.3	30.3	31.5	3.4
	宇久	15	13.3	13.3	26.7	46.7	0.0
要介護度	要支援1	55	9.1	45.5	18.2	25.5	1.8
	要支援2	39	25.6	51.3	15.4	7.7	0.0
	要介護認定は受けていない	965	3.7	23.7	30.3	41.8	0.5

- 圏域別に分析すると、「減っていない」と回答した割合が最も高い圏域は「宇久」(46.7%)、2番目に高いのは「清水」(45.2%)、3番目に高いのは「早岐」(45.0%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「減っていない」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(41.8%)、2番目に高いのは「要支援1」(25.5%)、3番目に高いのは「要支援2」(7.7%)となっています。

(8) 外出する際の移動手段は何ですか。



計:1,120人

- 外出する際の移動手段は何ですかとたずねたところ、「自動車（自分で運転）」と回答した人が最も多く、50.9%となっています。次いで、「徒歩」（47.9%）、「路線バス」（34.7%）、「自動車（人に乗せてもらう）」（22.4%）といています。

(圏域・要介護度別クロス)

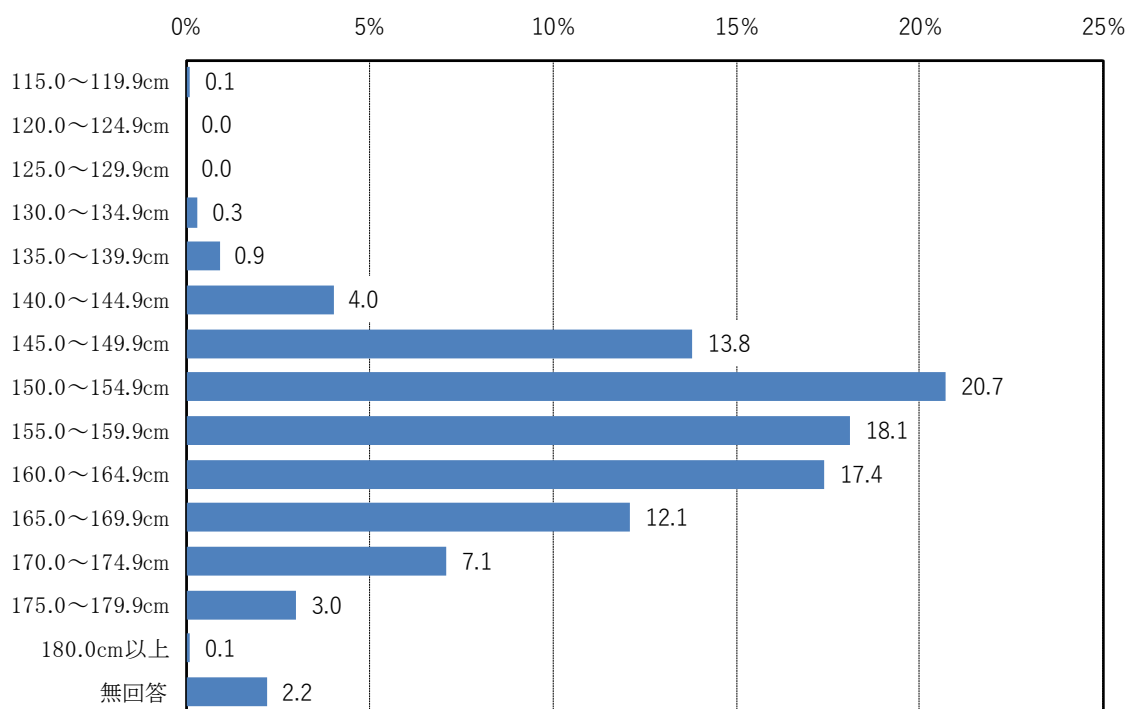
		合計	徒歩	自転車	バイク	自動車(自分で運転)	自動車(人に乗せてもらう)	電車	路線バス
全体		1,120	47.9	2.1	4.6	50.9	22.4	3.3	34.7
圏域	早岐	191	47.1	3.1	2.6	60.2	22.5	7.9	27.7
	日宇	121	41.3	1.7	2.5	51.2	22.3	2.5	38.0
	山澄	156	51.3	0.0	6.4	40.4	17.3	1.9	44.9
	中部	80	68.8	3.8	5.0	32.5	20.0	2.5	52.5
	清水	126	51.6	1.6	4.8	48.4	19.0	0.8	33.3
	大野	164	50.0	0.6	4.3	49.4	23.8	3.7	37.8
	相浦	177	42.9	3.4	5.1	59.9	24.9	2.8	28.2
	吉井	89	34.8	3.4	3.4	56.2	31.5	2.2	25.8
	宇久	15	46.7	6.7	26.7	33.3	20.0	0.0	6.7
要介護度	要支援1	55	49.1	1.8	0.0	9.1	40.0	0.0	58.2
	要支援2	39	15.4	0.0	0.0	5.1	56.4	0.0	20.5
	要介護認定は受けていない	965	49.9	2.3	5.3	55.9	20.0	3.6	33.8
		合計	病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体		1,120	1.3	1.0	0.1	1.0	13.4	0.3	0.6
圏域	早岐	191	0.0	1.6	0.0	0.5	7.9	0.0	0.0
	日宇	121	0.8	0.8	0.0	1.7	18.2	0.0	0.8
	山澄	156	1.9	1.3	0.6	0.6	17.3	0.0	0.6
	中部	80	5.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	清水	126	1.6	1.6	0.0	0.0	16.7	0.0	1.6
	大野	164	0.0	1.8	0.0	1.8	13.4	1.2	0.0
	相浦	177	1.1	0.0	0.0	0.6	9.6	0.0	0.6
	吉井	89	3.4	0.0	0.0	1.1	11.2	1.1	2.2
	宇久	15	0.0	0.0	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0
要介護度	要支援1	55	10.9	0.0	0.0	1.8	40.0	0.0	1.8
	要支援2	39	10.3	15.4	0.0	15.4	28.2	0.0	0.0
	要介護認定は受けていない	965	0.5	0.3	0.0	0.4	11.0	0.3	0.3

- 圏域別に分析すると、「自動車(自分で運転)」と回答した割合が最も高い圏域は「早岐」(60.2%)、2番目に高いのは「相浦」(59.9%)、3番目に高いのは「吉井」(56.2%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「自動車(自分で運転)」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(55.9%)、2番目に高いのは「要支援1」(9.1%)、3番目に高いのは「要支援2」(5.1%)となっています。

問3 食べることについて

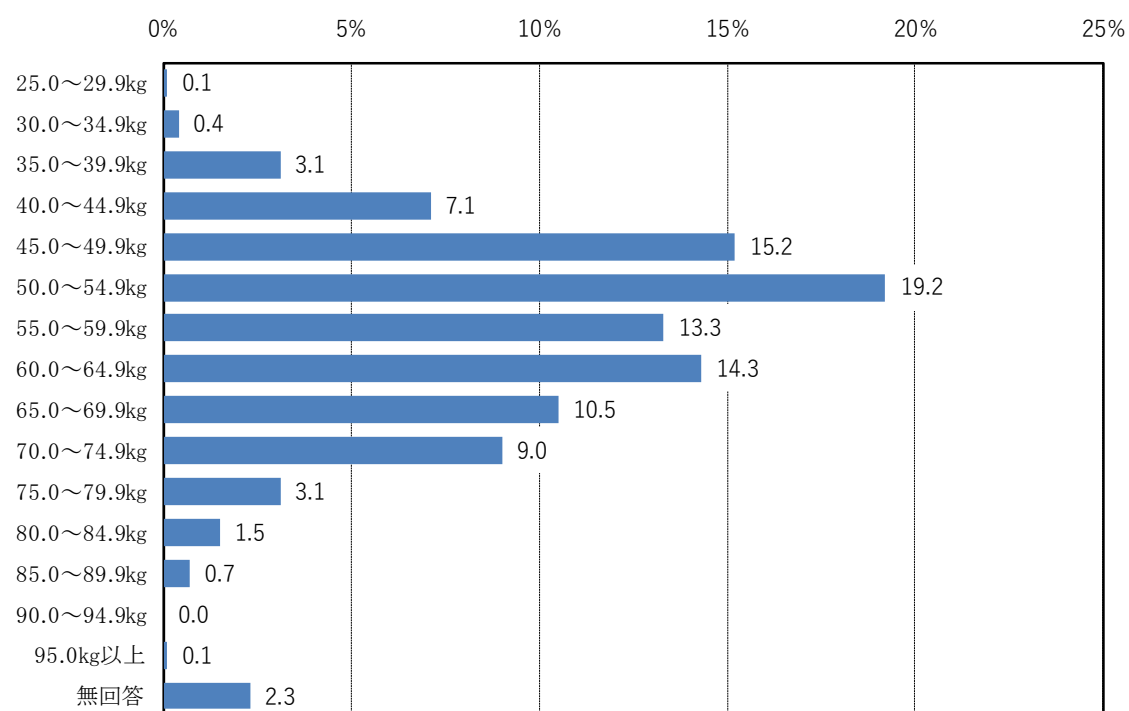
(1)

(身長)



計：1,120人

(体重)



計：1,120人

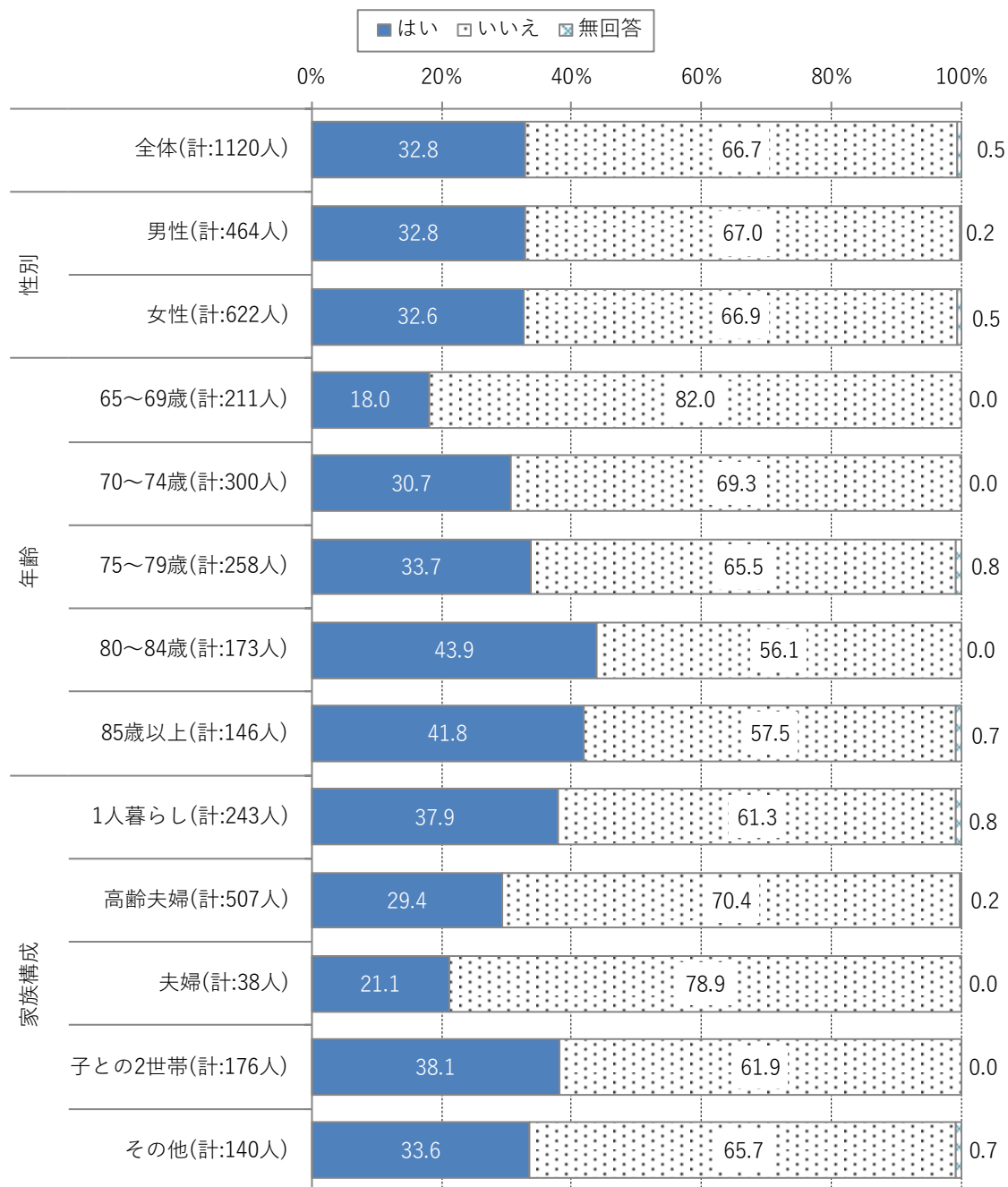
身長（圏域・要介護度別クロス）

		合計	115.0～ 119.9	120.0～ 124.9	125.0～ 129.9	130.0～ 134.9	135.0～ 139.9	140.0～ 144.9	145.0～ 149.9	
全体		1,120	0.1	0.0	0.0	0.3	0.9	4.0	13.8	
圏域	早岐	191	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	3.1	13.6	
	日宇	121	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.8	6.6	
	山澄	156	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	3.8	16.0	
	中部	80	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	2.5	15.0	
	清水	126	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	2.4	11.1	
	大野	164	0.6	0.0	0.0	0.6	1.2	4.3	14.6	
	相浦	177	0.0	0.0	0.0	0.6	0.6	5.6	14.1	
	吉井	89	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	4.5	19.1	
	宇久	15	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	26.7	
要介護度	要支援1	55	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	10.9	20.0	
	要支援2	39	0.0	0.0	0.0	2.6	2.6	12.8	20.5	
	要介護認定は受けていない	965	0.1	0.0	0.0	0.2	0.7	3.1	13.6	
		合計	150.0～ 154.9	155.0～ 159.9	160.0～ 164.9	165.0～ 169.9	170.0～ 174.9	175.0～ 179.9	180.0以上	無回答
全体		1,120	20.7	18.1	17.4	12.1	7.1	3.0	0.1	2.2
圏域	早岐	191	23.0	17.8	17.8	13.1	4.7	4.2	0.0	1.6
	日宇	121	25.6	21.5	10.7	13.2	10.7	4.1	0.0	1.7
	山澄	156	17.3	17.9	15.4	16.7	7.7	2.6	0.0	1.3
	中部	80	18.8	15.0	22.5	12.5	3.8	5.0	0.0	3.8
	清水	126	19.8	15.1	22.2	10.3	11.1	2.4	0.0	4.8
	大野	164	24.4	22.0	15.2	10.4	3.7	3.0	0.0	0.0
	相浦	177	18.1	16.9	18.6	10.7	10.7	0.6	0.6	2.8
	吉井	89	18.0	16.9	20.2	10.1	2.2	3.4	0.0	4.5
	宇久	15	13.3	20.0	13.3	0.0	13.3	6.7	0.0	0.0
要介護度	要支援1	55	21.8	18.2	10.9	3.6	1.8	1.8	0.0	7.3
	要支援2	39	23.1	12.8	12.8	2.6	7.7	0.0	0.0	2.6
	要介護認定は受けていない	965	20.1	18.4	18.1	13.2	7.7	3.3	0.1	1.3

体重（圏域・要介護度別クロス）

		合計	25.0~29.9	30.0~34.9	35.0~39.9	40.0~44.9	45.0~49.9	50.0~54.9	55.0~59.9	60.0~64.9
全体		1,120	0.1	0.4	3.1	7.1	15.2	19.2	13.3	14.3
圏域	早岐	191	0.0	0.0	2.6	7.3	14.1	17.3	20.4	11.5
	日宇	121	0.0	0.0	5.8	5.8	13.2	16.5	14.9	12.4
	山澄	156	0.0	0.6	1.9	10.3	13.5	21.2	12.8	14.7
	中部	80	0.0	0.0	0.0	10.0	13.8	17.5	8.8	15.0
	清水	126	0.8	0.0	0.8	4.8	18.3	14.3	8.7	15.1
	大野	164	0.0	0.6	4.9	7.3	17.7	22.6	12.2	11.6
	相浦	177	0.0	0.6	4.0	5.1	14.1	23.7	12.4	15.3
	吉井	89	0.0	1.1	3.4	5.6	18.0	18.0	13.5	21.3
	宇久	15	0.0	0.0	6.7	20.0	13.3	13.3	0.0	26.7
	要介護度	要支援 1	55	0.0	1.8	5.5	10.9	18.2	20.0	14.5
要支援 2		39	0.0	0.0	10.3	12.8	10.3	17.9	12.8	10.3
要介護認定は受けていない		965	0.0	0.3	2.8	6.3	14.9	19.8	12.8	14.8
		合計	65.0~69.9	70.0~74.9	75.0~79.9	80.0~84.9	85.0~89.9	90.0~94.9	95.0以上	無回答
全体		1,120	10.5	9.0	3.1	1.5	0.7	0.0	0.1	2.3
圏域	早岐	191	10.5	9.9	1.6	1.6	0.5	0.0	0.0	2.6
	日宇	121	15.7	7.4	4.1	0.8	1.7	0.0	0.0	1.7
	山澄	156	6.4	10.9	3.8	1.3	0.0	0.0	0.6	1.9
	中部	80	18.8	5.0	2.5	5.0	1.3	0.0	0.0	2.5
	清水	126	16.7	8.7	4.8	2.4	0.8	0.0	0.0	4.0
	大野	164	6.1	11.6	3.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.6
	相浦	177	7.9	8.5	4.5	0.0	1.7	0.0	0.0	2.3
	吉井	89	6.7	6.7	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	4.5
	宇久	15	13.3	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	要介護度	要支援 1	55	3.6	7.3	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0
要支援 2		39	12.8	7.7	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	2.6
要介護認定は受けていない		965	11.3	9.3	3.4	1.7	0.7	0.0	0.1	1.7

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。



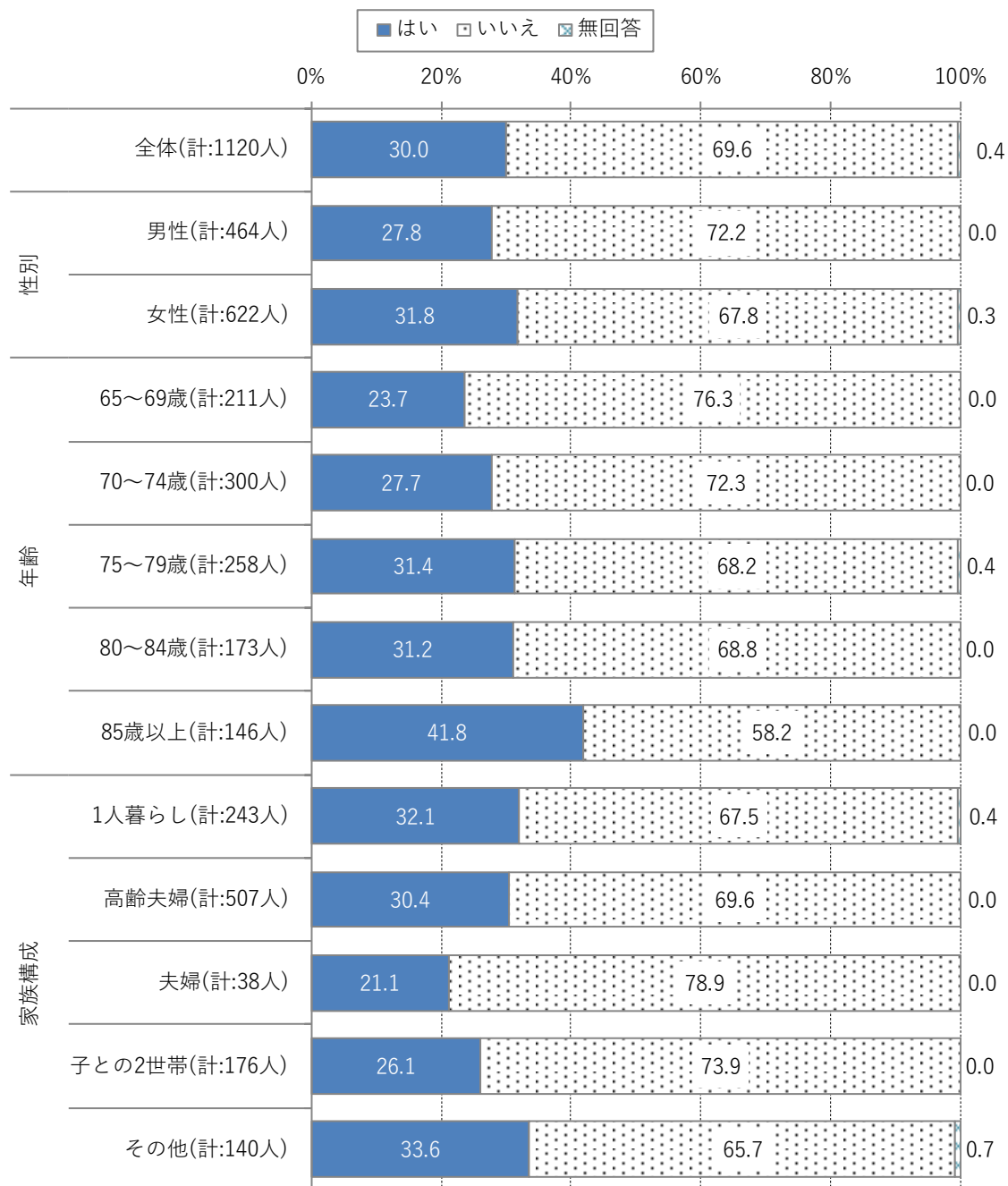
●半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は32.8%でした。一方、「いいえ」と回答した人の割合は66.7%となっています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	はい	いいえ	無回答
全体		1,120	32.8	66.7	0.5
圏域	早岐	191	30.4	69.6	0.0
	日宇	121	27.3	72.7	0.0
	山澄	156	35.9	62.2	1.9
	中部	80	38.8	61.3	0.0
	清水	126	29.4	69.0	1.6
	大野	164	32.9	67.1	0.0
	相浦	177	36.7	62.7	0.6
	吉井	89	32.6	67.4	0.0
	宇久	15	20.0	80.0	0.0
要介護度	要支援1	55	40.0	60.0	0.0
	要支援2	39	43.6	56.4	0.0
	要介護認定は受けていない	965	31.2	68.5	0.3

- 圏域別に分析すると、「いいえ」と回答した割合が最も高い圏域は「宇久」(80.0%)、2番目に高いのは「日宇」(72.7%)、3番目に高いのは「早岐」(69.6%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「いいえ」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(68.5%)、2番目に高いのは「要支援1」(60.0%)、3番目に高いのは「要支援2」(56.4%)となっています。

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか。



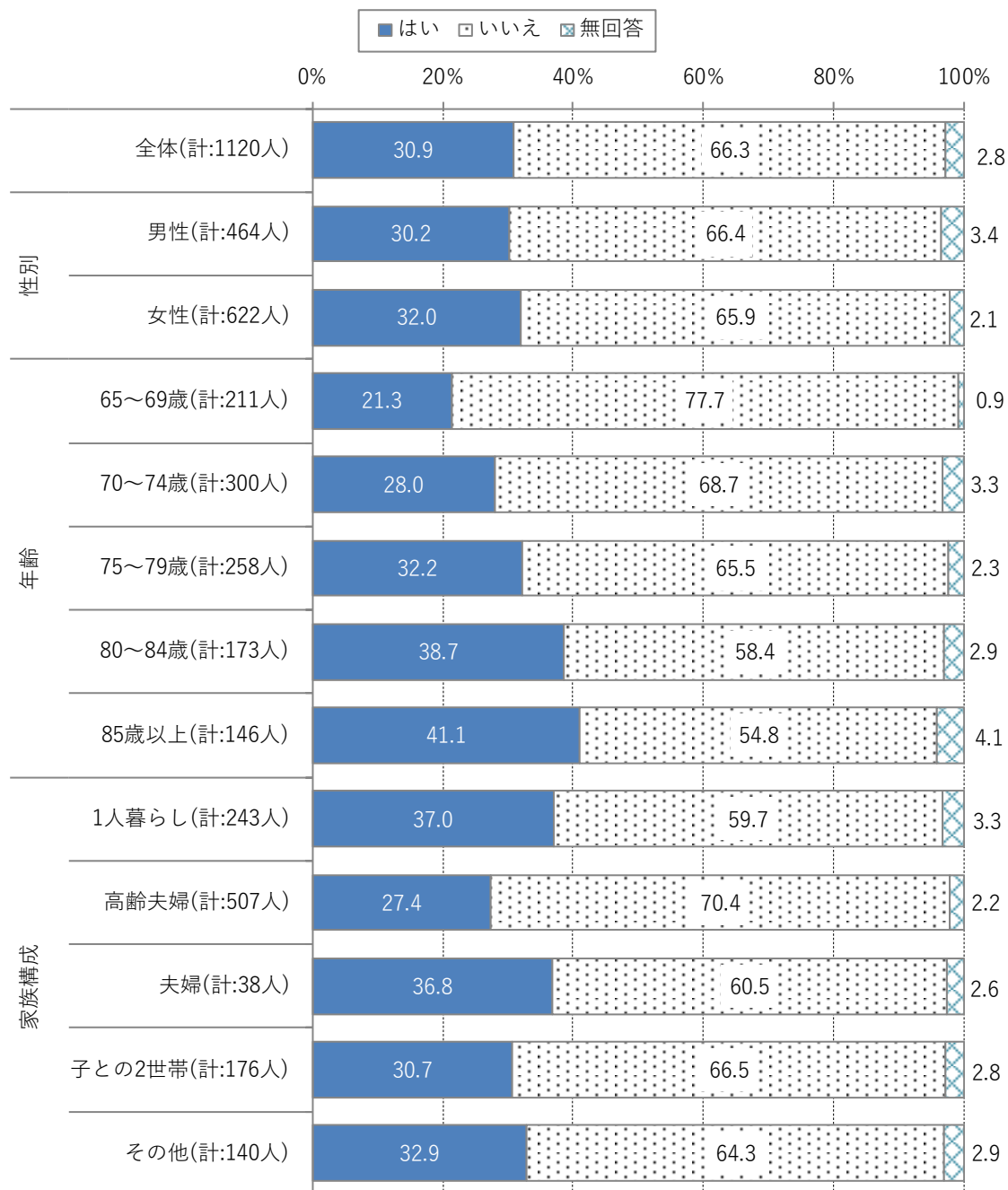
- お茶や汁物等でむせることがありますかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は30.0%でした。一方、「いいえ」と回答した人の割合は69.6%となっています。
- 年齢階層別にみると、加齢に伴って「はい」と回答した人の割合が概ね増加する傾向にあり、65～69歳では23.7%であったのが、85歳以上では41.8%になっています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	はい	いいえ	無回答
全体		1,120	30.0	69.6	0.4
圏域	早岐	191	29.3	70.7	0.0
	日宇	121	19.0	81.0	0.0
	山澄	156	33.3	65.4	1.3
	中部	80	32.5	67.5	0.0
	清水	126	27.8	71.4	0.8
	大野	164	31.1	68.9	0.0
	相浦	177	36.2	63.3	0.6
	吉井	89	29.2	70.8	0.0
	宇久	15	13.3	86.7	0.0
要介護度	要支援1	55	43.6	56.4	0.0
	要支援2	39	61.5	38.5	0.0
	要介護認定は受けていない	965	28.2	71.6	0.2

- 圏域別に分析すると、「いいえ」と回答した割合が最も高い圏域は「宇久」(86.7%)、2番目に高いのは「日宇」(81.0%)、3番目に高いのは「清水」(71.4%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「いいえ」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(71.6%)、2番目に高いのは「要支援1」(56.4%)、3番目に高いのは「要支援2」(38.5%)となっています。

(4) 口の渇きが気になりますか。



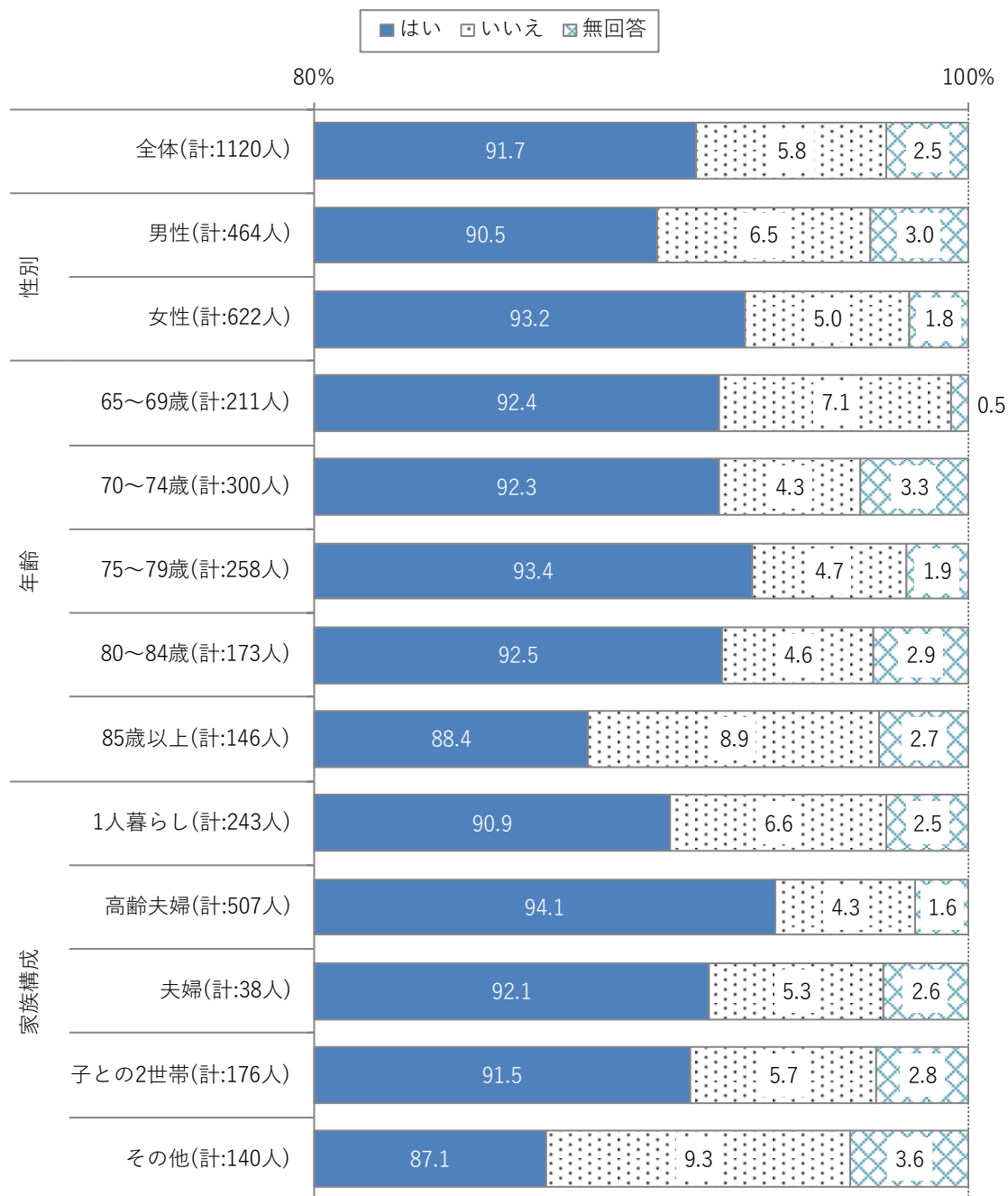
- 口の渇きが気になりますかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は30.9%でした。一方、「いいえ」と回答した人の割合は66.3%となっています。
- 年齢階層別にみると、加齢に伴って「はい」と回答した人の割合が増加する傾向にあり、65～69歳では21.3%であったのが、85歳以上では41.1%になっています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	はい	いいえ	無回答
全体		1,120	30.9	66.3	2.8
圏域	早岐	191	33.0	63.9	3.1
	日宇	121	25.6	72.7	1.7
	山澄	156	31.4	62.8	5.8
	中部	80	36.3	63.8	0.0
	清水	126	27.8	68.3	4.0
	大野	164	31.1	67.1	1.8
	相浦	177	29.9	68.9	1.1
	吉井	89	36.0	60.7	3.4
	宇久	15	13.3	80.0	6.7
要介護度	要支援1	55	52.7	38.2	9.1
	要支援2	39	53.8	41.0	5.1
	要介護認定は受けていない	965	28.8	69.4	1.8

- 圏域別に分析すると、「いいえ」と回答した割合が最も高い圏域は「宇久」(80.0%)、2番目に高いのは「日宇」(72.7%)、3番目に高いのは「相浦」(68.9%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「いいえ」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(69.4%)、2番目に高いのは「要支援2」(41.0%)、3番目に高いのは「要支援1」(38.2%)となっています。

(5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。



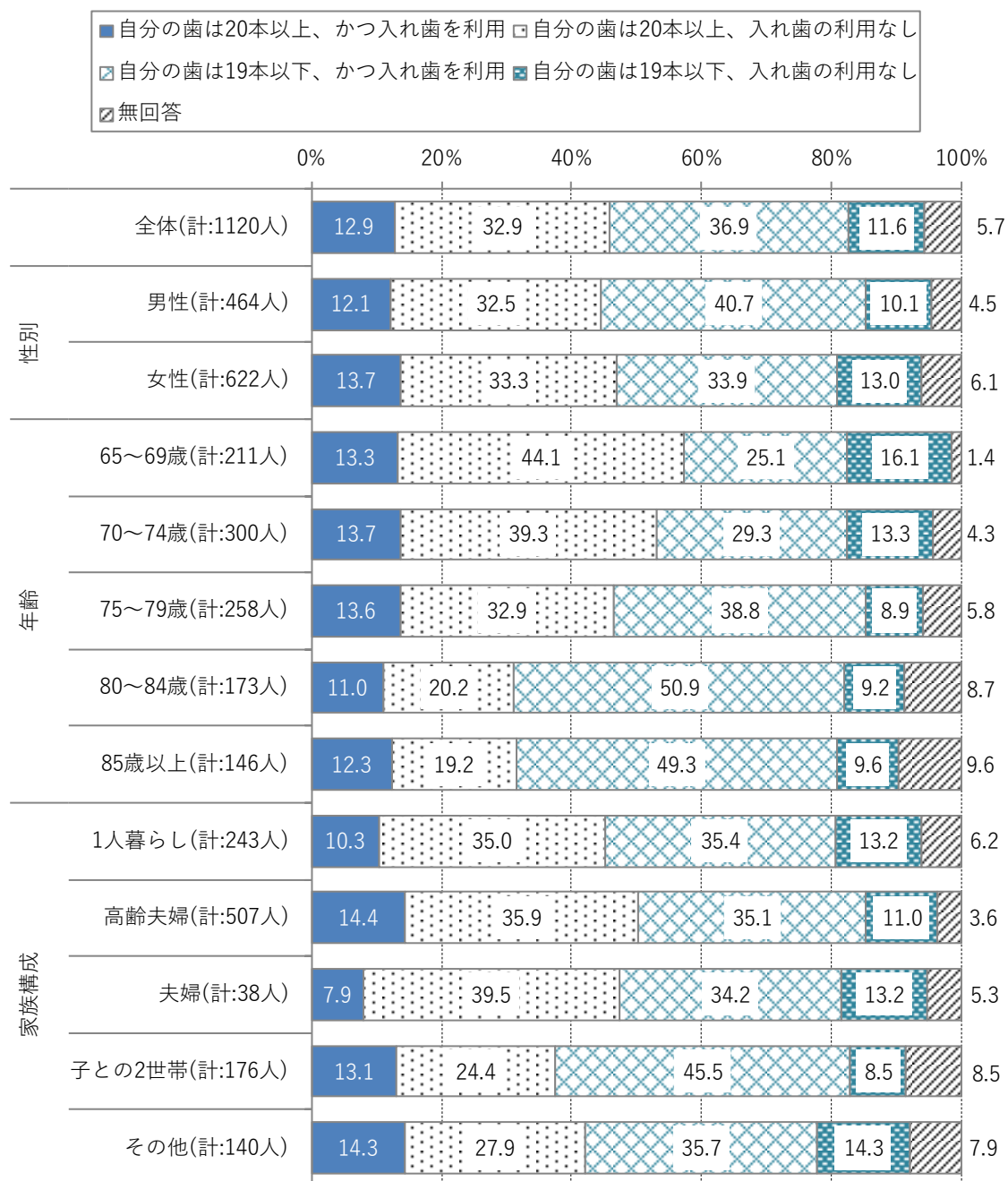
●歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は91.7%でした。一方、「いいえ」と回答した人の割合は5.8%となっています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	はい	いいえ	無回答
全体		1,120	91.7	5.8	2.5
圏域	早岐	191	90.1	6.3	3.7
	日宇	121	94.2	4.1	1.7
	山澄	156	89.7	6.4	3.8
	中部	80	95.0	3.8	1.3
	清水	126	92.1	4.0	4.0
	大野	164	93.3	5.5	1.2
	相浦	177	91.5	7.3	1.1
	吉井	89	88.8	7.9	3.4
	宇久	15	93.3	6.7	0.0
要介護度	要支援1	55	87.3	7.3	5.5
	要支援2	39	89.7	10.3	0.0
	要介護認定は受けていない	965	93.1	5.1	1.9

- 圏域別に分析すると、「はい」と回答した割合が最も高い圏域は「中部」(95.0%)、2番目に高いのは「日宇」(94.2%)、3番目に高いのは「大野」「宇久」(93.3%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「はい」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(93.1%)、2番目に高いのは「要支援2」(89.7%)、3番目に高いのは「要支援1」(87.3%)となっています。

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)



●歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてくださいとたずねたところ、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した人の割合が最も高く、36.9%となっています。次いで、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」(32.9%)、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(12.9%)と続いています。

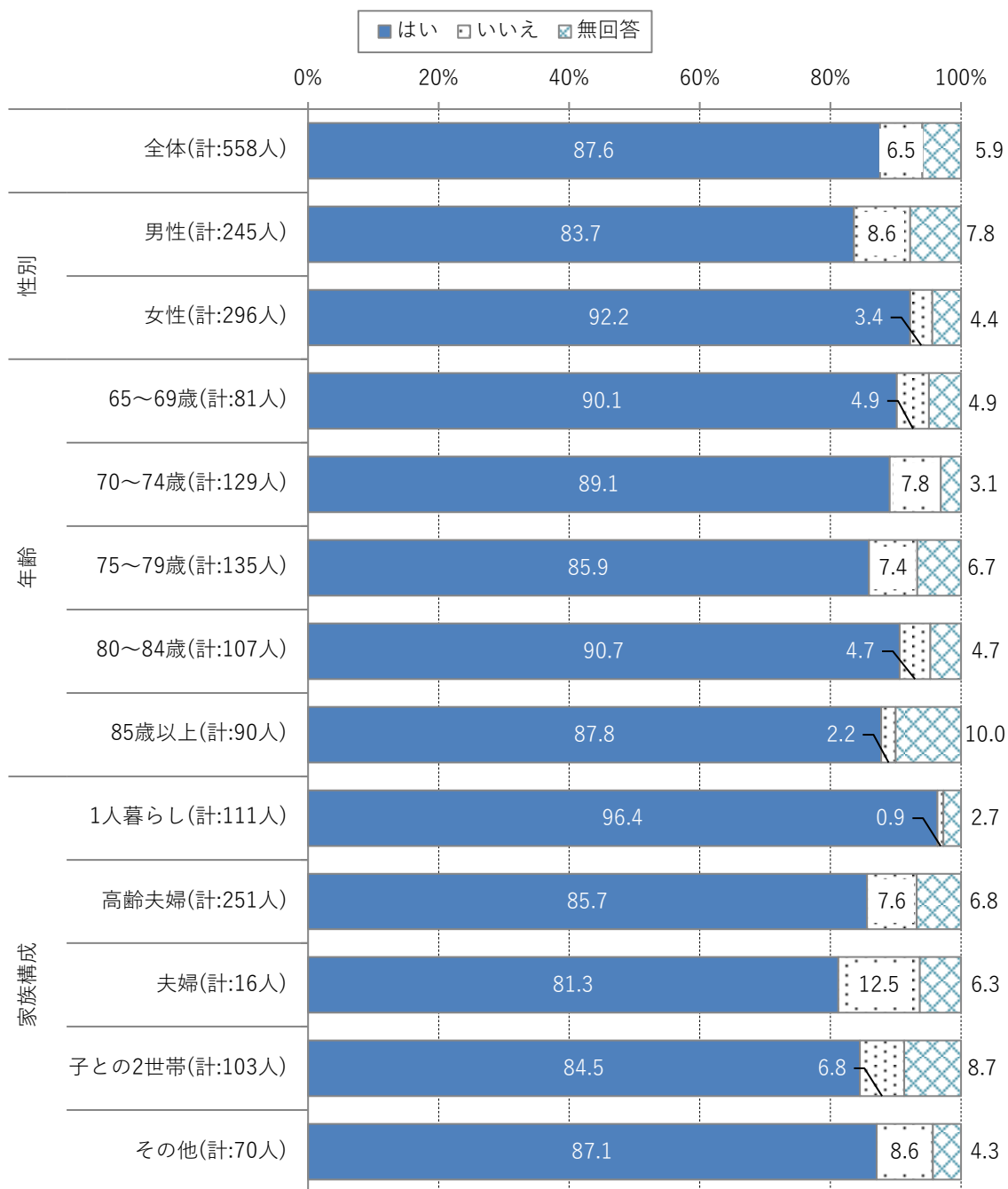
(圏域・要介護度別クロス)

		合計	自分の歯は 20本以上、 かつ入れ歯 を利用	自分の歯は 20本以上、 入れ歯の利 用なし	自分の歯は 19本以下、 かつ入れ歯 を利用	自分の歯は 19本以下、 入れ歯の利 用なし	無回答
全体		1,120	12.9	32.9	36.9	11.6	5.7
圏 域	早岐	191	14.1	33.5	34.0	9.9	8.4
	日宇	121	11.6	35.5	36.4	13.2	3.3
	山澄	156	12.8	30.8	40.4	9.6	6.4
	中部	80	16.3	40.0	26.3	11.3	6.3
	清水	126	14.3	31.0	34.1	15.1	5.6
	大野	164	11.6	31.7	39.6	11.6	5.5
	相浦	177	10.7	35.6	39.5	10.7	3.4
	吉井	89	14.6	28.1	37.1	14.6	5.6
	宇久	15	13.3	13.3	53.3	6.7	13.3
要 介 護 度	要支援1	55	9.1	30.9	45.5	5.5	9.1
	要支援2	39	10.3	20.5	48.7	15.4	5.1
	要介護認定は受 けていない	965	13.6	34.2	36.0	11.7	4.6

- 圏域別に分析すると、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した割合が最も高い圏域は「宇久」(53.3%)、2番目に高いのは「山澄」(40.4%)、3番目に高いのは「大野」(39.6%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した割合が最も高い要介護度は「要支援2」(48.7%)、2番目に高いのは「要支援1」(45.5%)、3番目に高いのは「要介護認定は受けていない」(36.0%)となっています。

【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と答えた方のみ】

① 毎日入れ歯の手入れをしていますか。



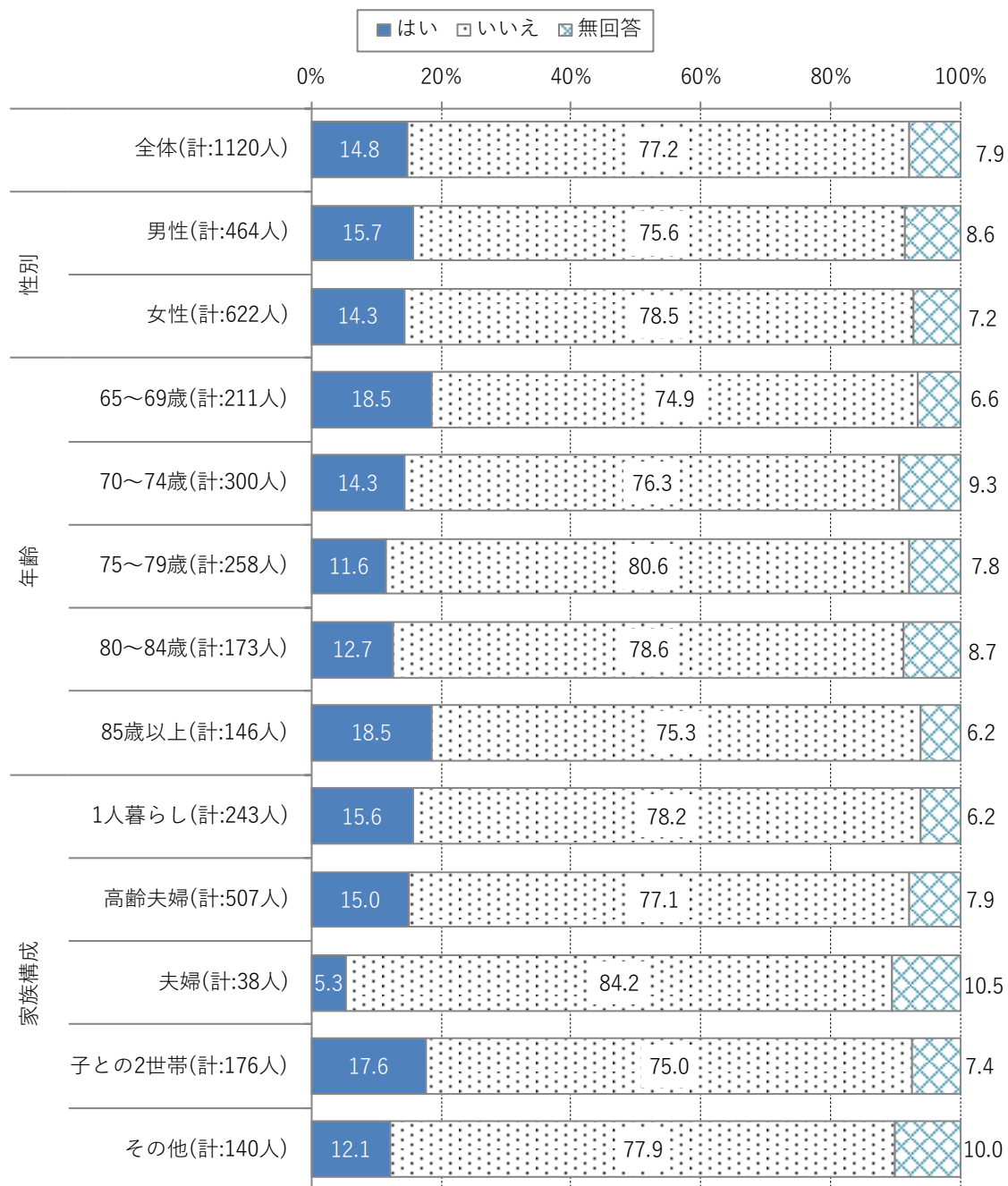
●歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」又は「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した人に、毎日入れ歯の手入れをしていますかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は87.6%でした。一方、「いいえ」と回答した人の割合は6.5%となっています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	はい	いいえ	無回答
全体		558	87.6	6.5	5.9
圏域	早岐	92	87.0	6.5	6.5
	日宇	58	84.5	8.6	6.9
	山澄	83	86.7	9.6	3.6
	中部	34	85.3	2.9	11.8
	清水	61	90.2	4.9	4.9
	大野	84	88.1	7.1	4.8
	相浦	89	88.8	4.5	6.7
	吉井	46	91.3	4.3	4.3
	宇久	10	80.0	10.0	10.0
要介護度	要支援1	30	86.7	10.0	3.3
	要支援2	23	87.0	4.3	8.7
	要介護認定は受けていない	478	88.5	5.9	5.6

- 圏域別に分析すると、「はい」と回答した割合が最も高い圏域は「吉井」(91.3%)、2番目に高いのは「清水」(90.2%)、3番目に高いのは「相浦」(88.8%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「はい」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(88.5%)、2番目に高いのは「要支援2」(87.0%)、3番目に高いのは「要支援1」(86.7%)となっています。

(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。



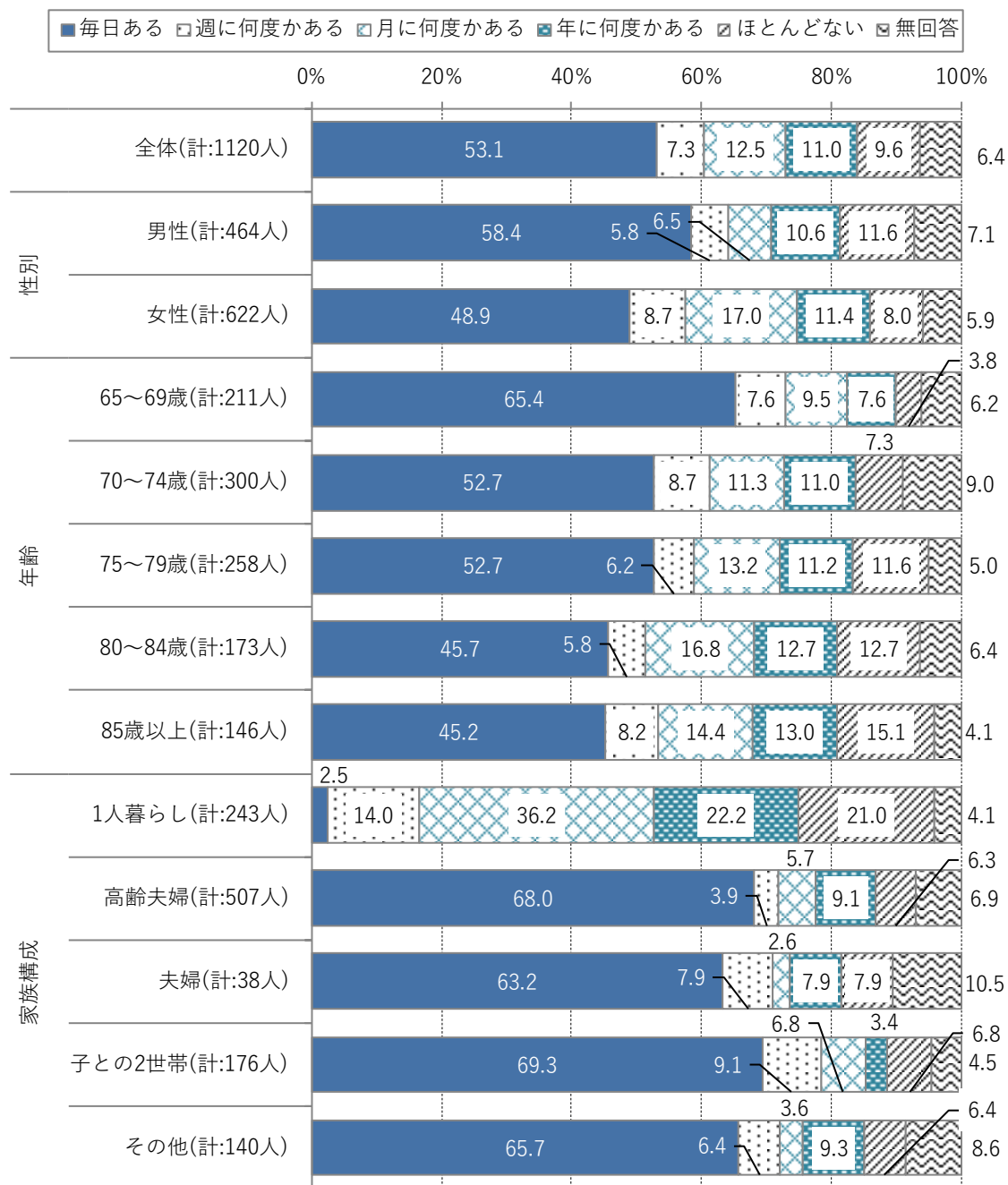
● 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は14.8%でした。一方、「いいえ」と回答した人の割合は77.2%となっています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	はい	いいえ	無回答
全体		1,120	14.8	77.2	7.9
圏域	早岐	191	16.8	75.9	7.3
	日宇	121	11.6	80.2	8.3
	山澄	156	14.7	77.6	7.7
	中部	80	18.8	68.8	12.5
	清水	126	12.7	79.4	7.9
	大野	164	15.9	75.6	8.5
	相浦	177	14.1	78.5	7.3
	吉井	89	15.7	77.5	6.7
	宇久	15	6.7	93.3	0.0
要介護度	要支援1	55	27.3	65.5	7.3
	要支援2	39	28.2	69.2	2.6
	要介護認定は受けていない	965	12.7	79.8	7.5

- 圏域別に分析すると、「いいえ」と回答した割合が最も高い圏域は「宇久」(93.3%)、2番目に高いのは「日宇」(80.2%)、3番目に高いのは「清水」(79.4%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「いいえ」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(79.8%)、2番目に高いのは「要支援2」(69.2%)、3番目に高いのは「要支援1」(65.5%)となっています。

(8) どなたかと食事をとる機会がありますか。



- どなたかと食事をとる機会がありますかとたずねたところ、「毎日ある」と回答した人の割合が最も高く、53.1%となっています。次いで、「月に何度かある」(12.5%)、「年に何度かある」(11.0%)と続いています。
- 家族構成別にみると、「一人暮らし」は一人で食事をとることが他の家族構成に比べて極端に多いことが分かります。どなたかと食事をとる機会が「ほとんどない」と回答した人の割合は21.0%となっています。

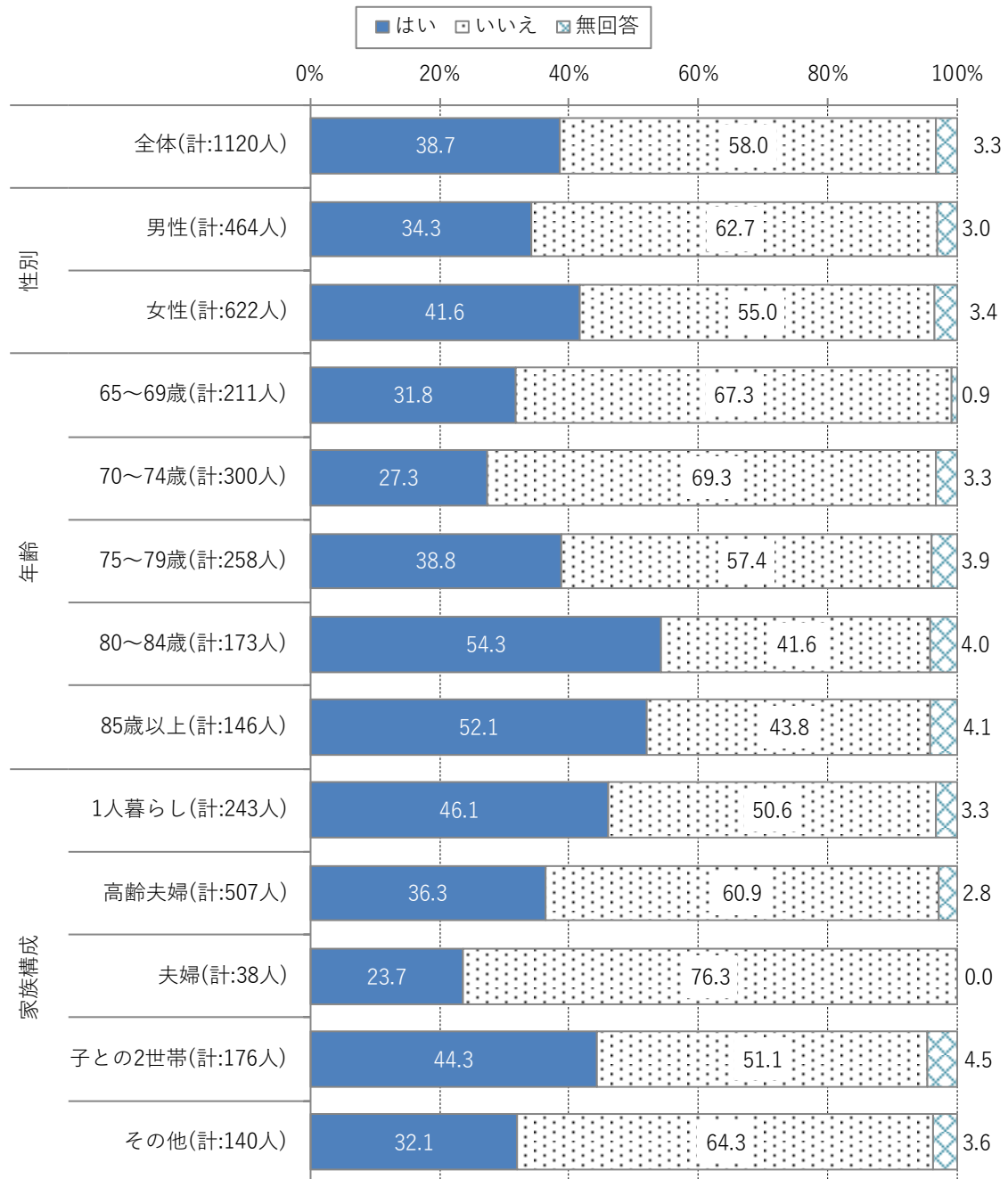
(圏域・要介護度別クロス)

		合計	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全体		1,120	53.1	7.3	12.5	11.0	9.6	6.4
圏域	早岐	191	57.1	5.8	12.0	13.1	7.3	4.7
	日宇	121	54.5	7.4	14.0	9.9	8.3	5.8
	山澄	156	44.9	10.3	10.3	9.6	17.9	7.1
	中部	80	38.8	7.5	17.5	12.5	16.3	7.5
	清水	126	55.6	7.9	12.7	6.3	8.7	8.7
	大野	164	58.5	8.5	11.6	9.1	4.9	7.3
	相浦	177	51.4	6.2	14.1	16.4	6.2	5.6
	吉井	89	59.6	5.6	10.1	9.0	9.0	6.7
	宇久	15	53.3	0.0	6.7	6.7	33.3	0.0
要介護度	要支援1	55	36.4	10.9	14.5	9.1	23.6	5.5
	要支援2	39	56.4	15.4	7.7	7.7	12.8	0.0
	要介護認定は受けていない	965	54.9	6.8	12.5	11.1	8.6	6.0

- 圏域別に分析すると、「毎日ある」と回答した割合が最も高い圏域は「吉井」(59.6%)、2番目に高いのは「大野」(58.5%)、3番目に高いのは「早岐」(57.1%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「毎日ある」と回答した割合が最も高い要介護度は「要支援2」(56.4%)、2番目に高いのは「要介護認定は受けていない」(54.9%)、3番目に高いのは「要支援1」(36.4%)となっています。

問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか。



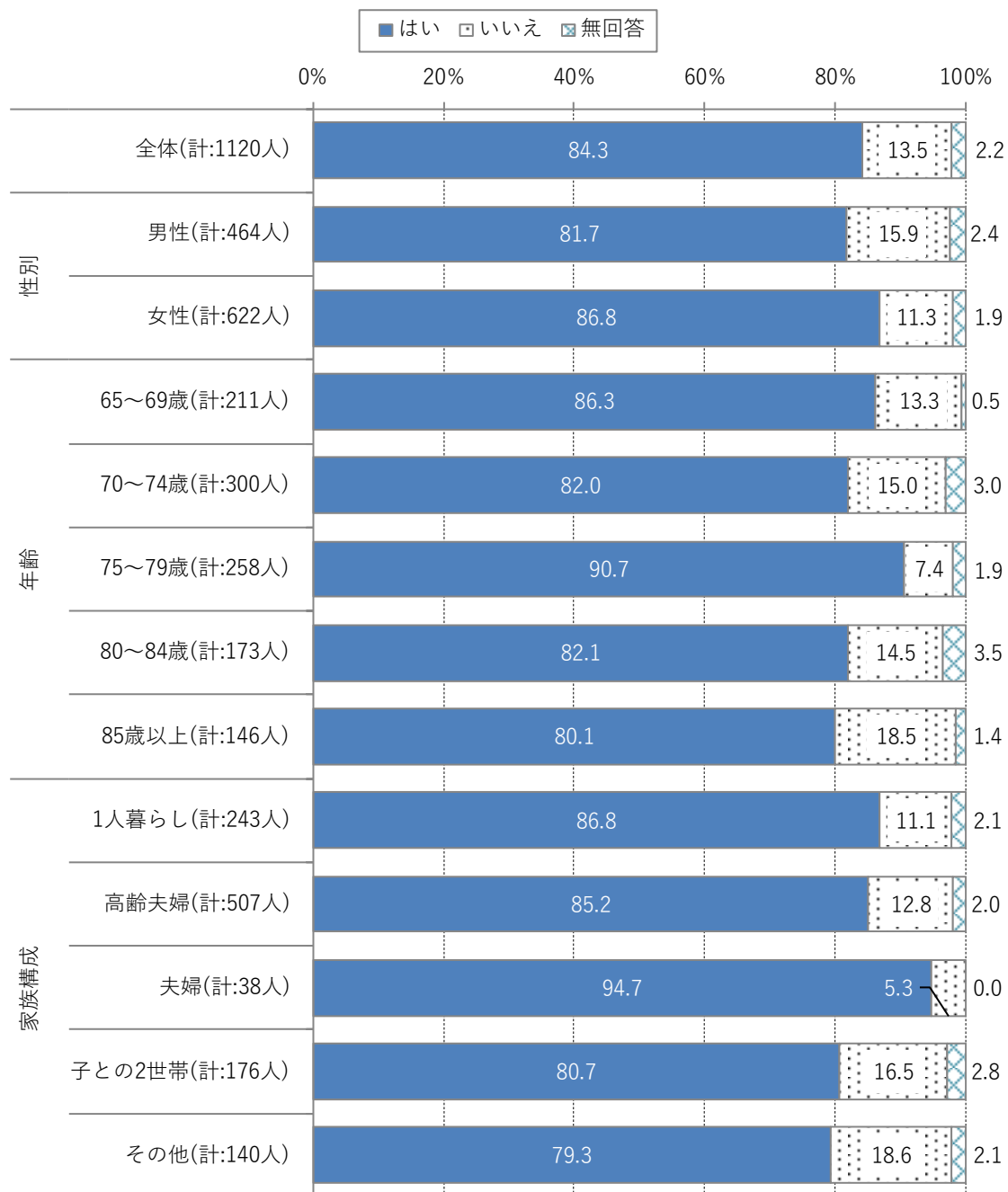
●物忘れが多いと感じますかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は38.7%でした。一方、「いいえ」と回答した人の割合は58.0%となっています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	はい	いいえ	無回答
全体		1,120	38.7	58.0	3.3
圏域	早岐	191	39.3	57.6	3.1
	日宇	121	31.4	64.5	4.1
	山澄	156	44.2	52.6	3.2
	中部	80	38.8	58.8	2.5
	清水	126	34.9	59.5	5.6
	大野	164	39.0	58.5	2.4
	相浦	177	36.2	61.0	2.8
	吉井	89	44.9	51.7	3.4
	宇久	15	46.7	53.3	0.0
要介護度	要支援1	55	54.5	41.8	3.6
	要支援2	39	56.4	38.5	5.1
	要介護認定は受けていない	965	37.2	60.4	2.4

- 圏域別に分析すると、「いいえ」と回答した割合が最も高い圏域は「日宇」(64.5%)、2番目に高いのは「相浦」(61.0%)、3番目に高いのは「清水」(59.5%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「いいえ」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(60.4%)、2番目に高いのは「要支援1」(41.8%)、3番目に高いのは「要支援2」(38.5%)となっています。

(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。



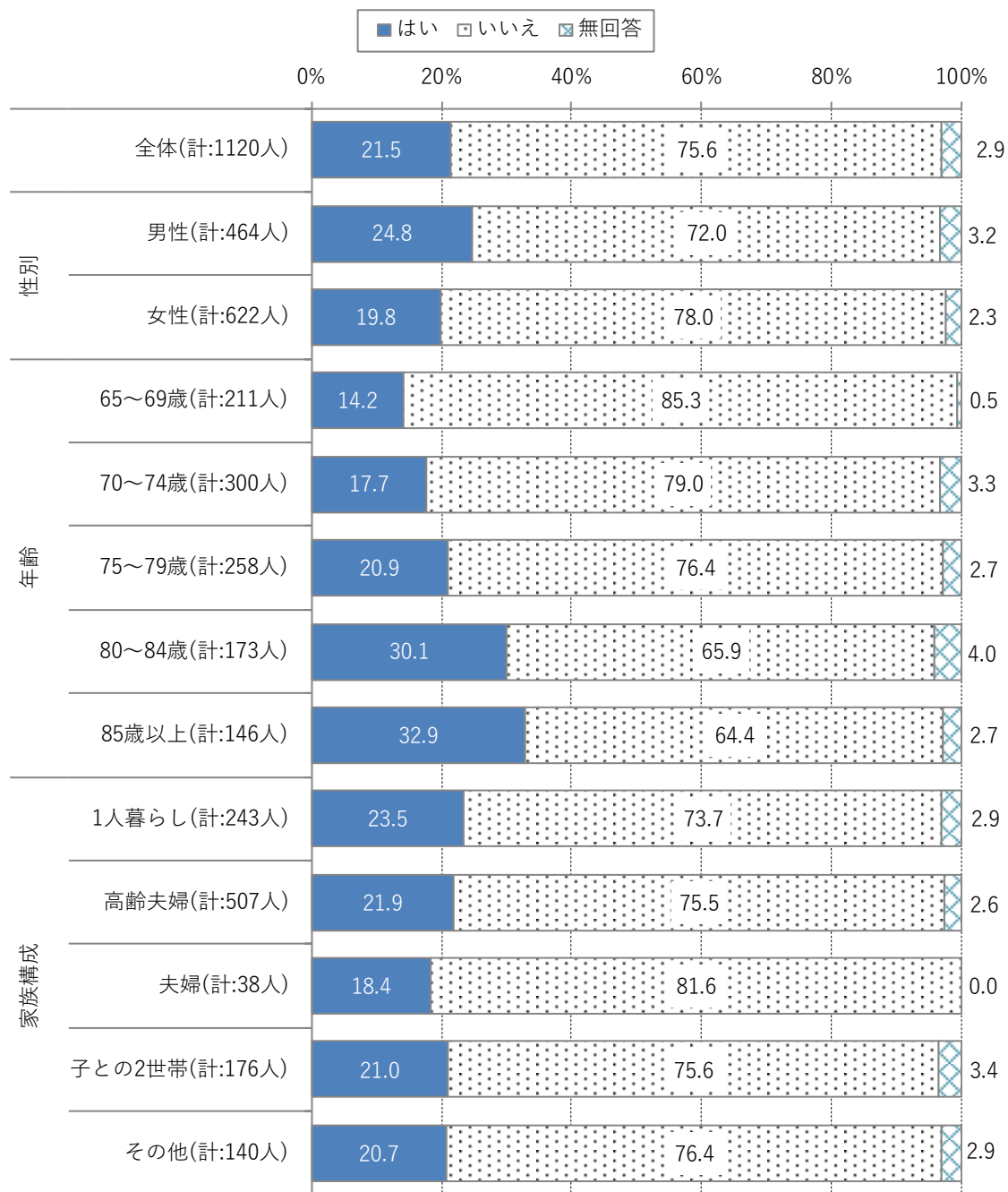
●自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は84.3%でした。一方、「いいえ」と回答した人の割合は13.5%となっています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	はい	いいえ	無回答
全体		1,120	84.3	13.5	2.2
圏域	早岐	191	84.3	13.1	2.6
	日宇	121	84.3	14.0	1.7
	山澄	156	82.7	14.7	2.6
	中部	80	88.8	11.3	0.0
	清水	126	79.4	15.9	4.8
	大野	164	86.0	11.6	2.4
	相浦	177	81.9	16.9	1.1
	吉井	89	88.8	9.0	2.2
	宇久	15	100.0	0.0	0.0
要介護度	要支援1	55	74.5	23.6	1.8
	要支援2	39	76.9	20.5	2.6
	要介護認定は受けていない	965	85.6	12.7	1.7

- 圏域別に分析すると、「はい」と回答した割合が最も高い圏域は「宇久」(100.0%)、2番目に高いのは「中部」「吉井」(88.8%)、3番目に高いのは「大野」(86.0%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「はい」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(85.6%)、2番目に高いのは「要支援2」(76.9%)、3番目に高いのは「要支援1」(74.5%)となっています。

(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか。



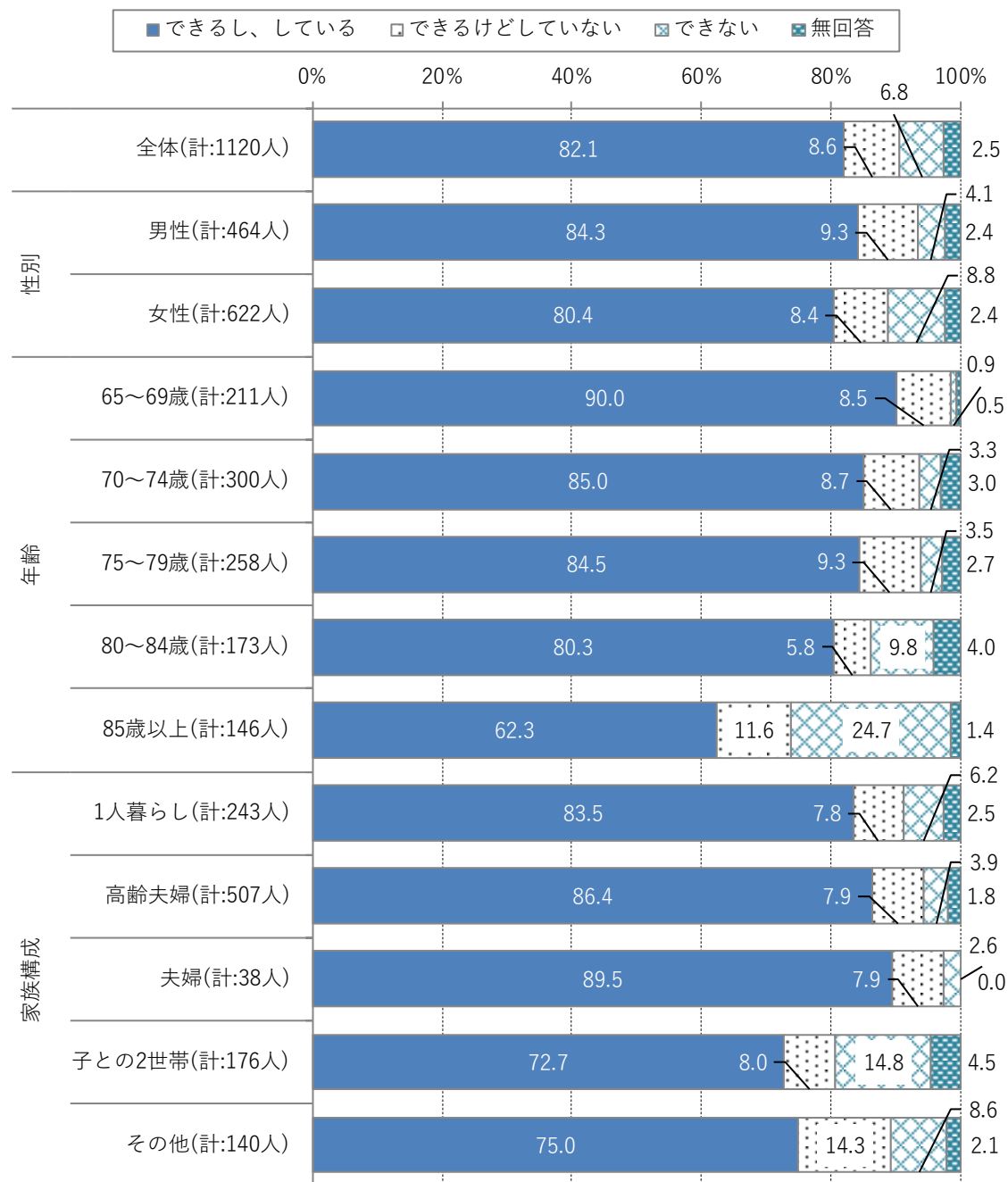
●今日が何月何日かわからない時がありますかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は21.5%でした。一方、「いいえ」と回答した人の割合は75.6%となっています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	はい	いいえ	無回答
全体		1,120	21.5	75.6	2.9
圏域	早岐	191	19.4	78.0	2.6
	日宇	121	19.0	79.3	1.7
	山澄	156	21.8	74.4	3.8
	中部	80	20.0	78.8	1.3
	清水	126	18.3	75.4	6.3
	大野	164	23.2	75.0	1.8
	相浦	177	25.4	72.9	1.7
	吉井	89	22.5	73.0	4.5
	宇久	15	26.7	73.3	0.0
要介護度	要支援1	55	40.0	54.5	5.5
	要支援2	39	38.5	61.5	0.0
	要介護認定は受けていない	965	19.6	78.1	2.3

- 圏域別に分析すると、「いいえ」と回答した割合が最も高い圏域は「日宇」(79.3%)、2番目に高いのは「中部」(78.8%)、3番目に高いのは「早岐」(78.0%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「いいえ」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(78.1%)、2番目に高いのは「要支援2」(61.5%)、3番目に高いのは「要支援1」(54.5%)となっています。

(4) バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)



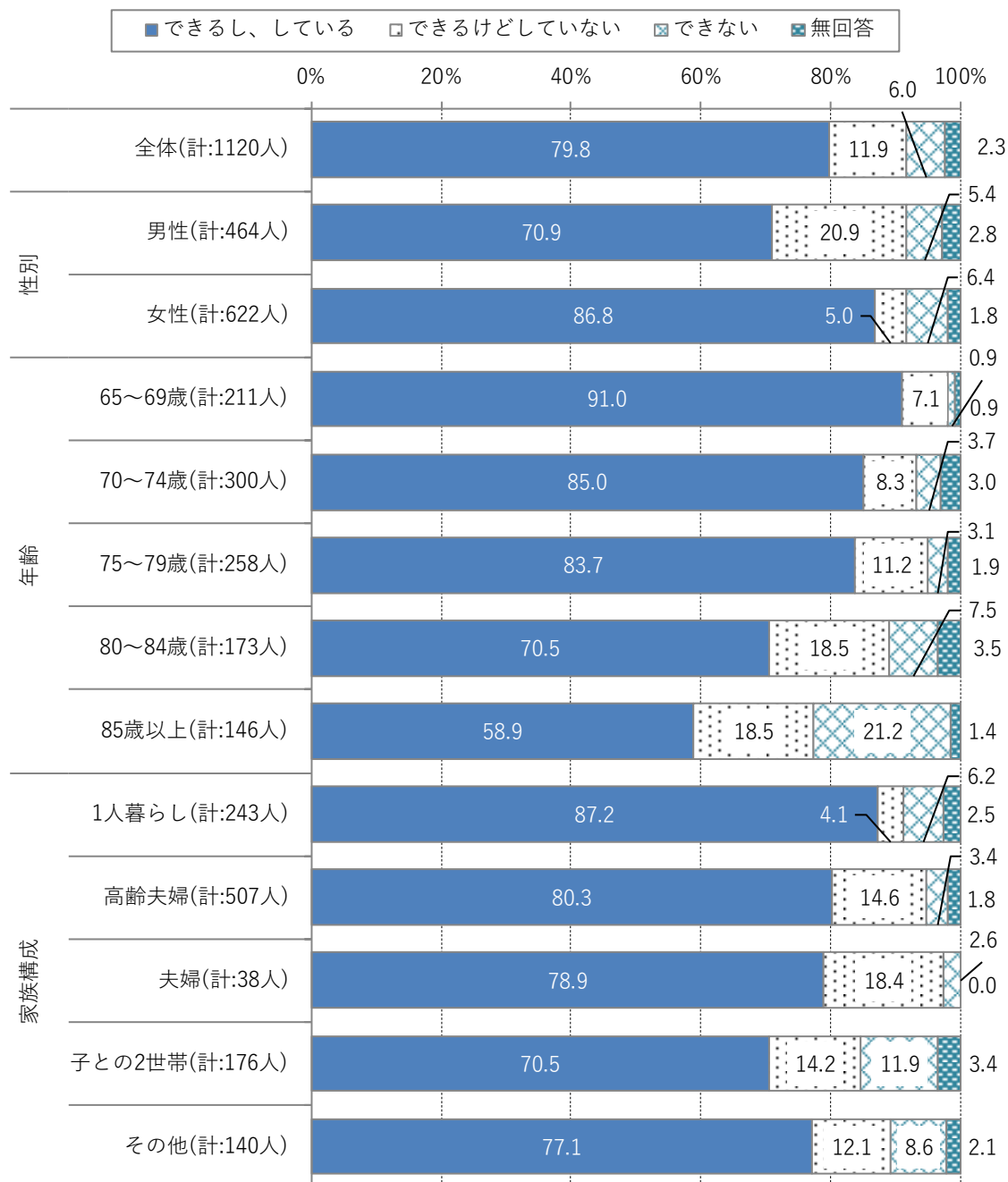
- バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)とたずねたところ、「できるし、している」と回答した人の割合が最も高く、82.1%となっています。次いで、「できるけどしていない」(8.6%)、「できない」(6.8%)と続いています。
- 年齢階層別にみると、加齢に伴って「できるし、している」と回答した人の割合が概ね減少する傾向にあり、65~69歳では90.0%であったのが、85歳以上では62.3%になっています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答
全体		1,120	82.1	8.6	6.8	2.5
圏 域	早岐	191	81.2	9.4	6.3	3.1
	日宇	121	81.0	8.3	8.3	2.5
	山澄	156	82.1	8.3	7.1	2.6
	中部	80	90.0	7.5	2.5	0.0
	清水	126	82.5	5.6	7.1	4.8
	大野	164	82.3	7.3	9.1	1.2
	相浦	177	83.6	9.0	5.6	1.7
	吉井	89	77.5	12.4	6.7	3.4
	宇久	15	66.7	20.0	6.7	6.7
要 介 護 度	要支援1	55	58.2	9.1	30.9	1.8
	要支援2	39	25.6	0.0	74.4	0.0
	要介護認定は受 けていない	965	86.6	9.1	2.2	2.1

- 圏域別に分析すると、「できるし、している」と回答した割合が最も高い圏域は「中部」(90.0%)、2番目に高いのは「相浦」(83.6%)、3番目に高いのは「清水」(82.5%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「できるし、している」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(86.6%)、2番目に高いのは「要支援1」(58.2%)、3番目に高いのは「要支援2」(25.6%)となっています。

(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。



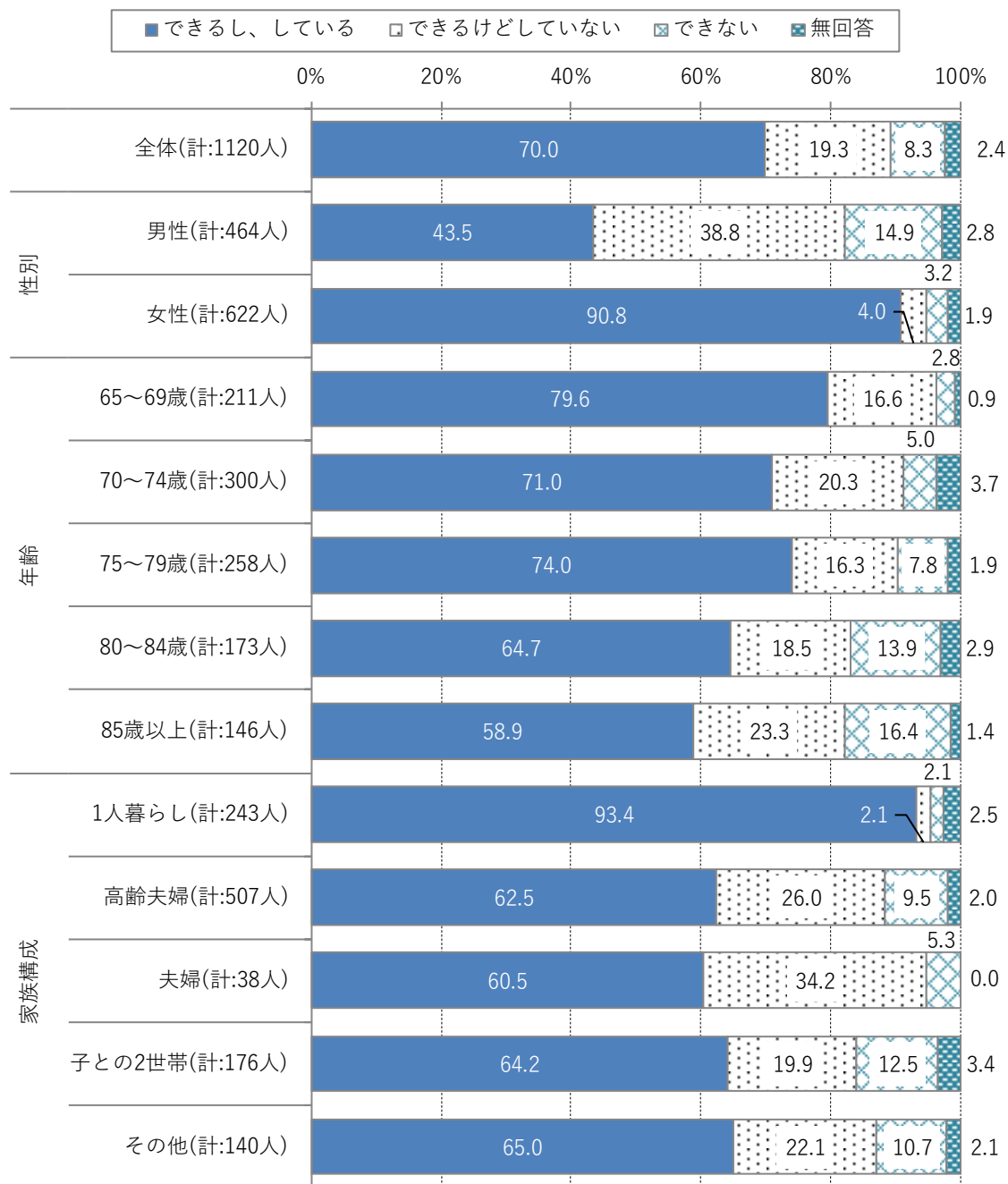
- 自分で食品・日用品の買物をしていますかとたずねたところ、「できるし、している」と回答した人の割合が最も高く、79.8%となっています。次いで、「できるけどしていない」(11.9%)、「できない」(6.0%)と続いています。
- 年齢階層別にみると、加齢に伴って「できるし、している」と回答した人の割合が減少する傾向にあり、65～69歳では91.0%であったのが、85歳以上では58.9%になっています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答
全体		1,120	79.8	11.9	6.0	2.3
圏域	早岐	191	81.2	12.6	3.7	2.6
	日宇	121	79.3	11.6	7.4	1.7
	山澄	156	76.3	13.5	7.1	3.2
	中部	80	90.0	7.5	2.5	0.0
	清水	126	76.2	12.7	6.3	4.8
	大野	164	81.1	9.8	7.9	1.2
	相浦	177	79.7	12.4	5.6	2.3
	吉井	89	78.7	13.5	5.6	2.2
	宇久	15	73.3	13.3	13.3	0.0
要 介 護 度	要支援1	55	58.2	12.7	25.5	3.6
	要支援2	39	25.6	15.4	59.0	0.0
	要介護認定は受 けていない	965	83.8	12.2	2.3	1.7

- 圏域別に分析すると、「できるし、している」と回答した割合が最も高い圏域は「中部」(90.0%)、2番目に高いのは「早岐」(81.2%)、3番目に高いのは「大野」(81.1%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「できるし、している」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(83.8%)、2番目に高いのは「要支援1」(58.2%)、3番目に高いのは「要支援2」(25.6%)となっています。

(6) 自分で食事の用意をしていますか。



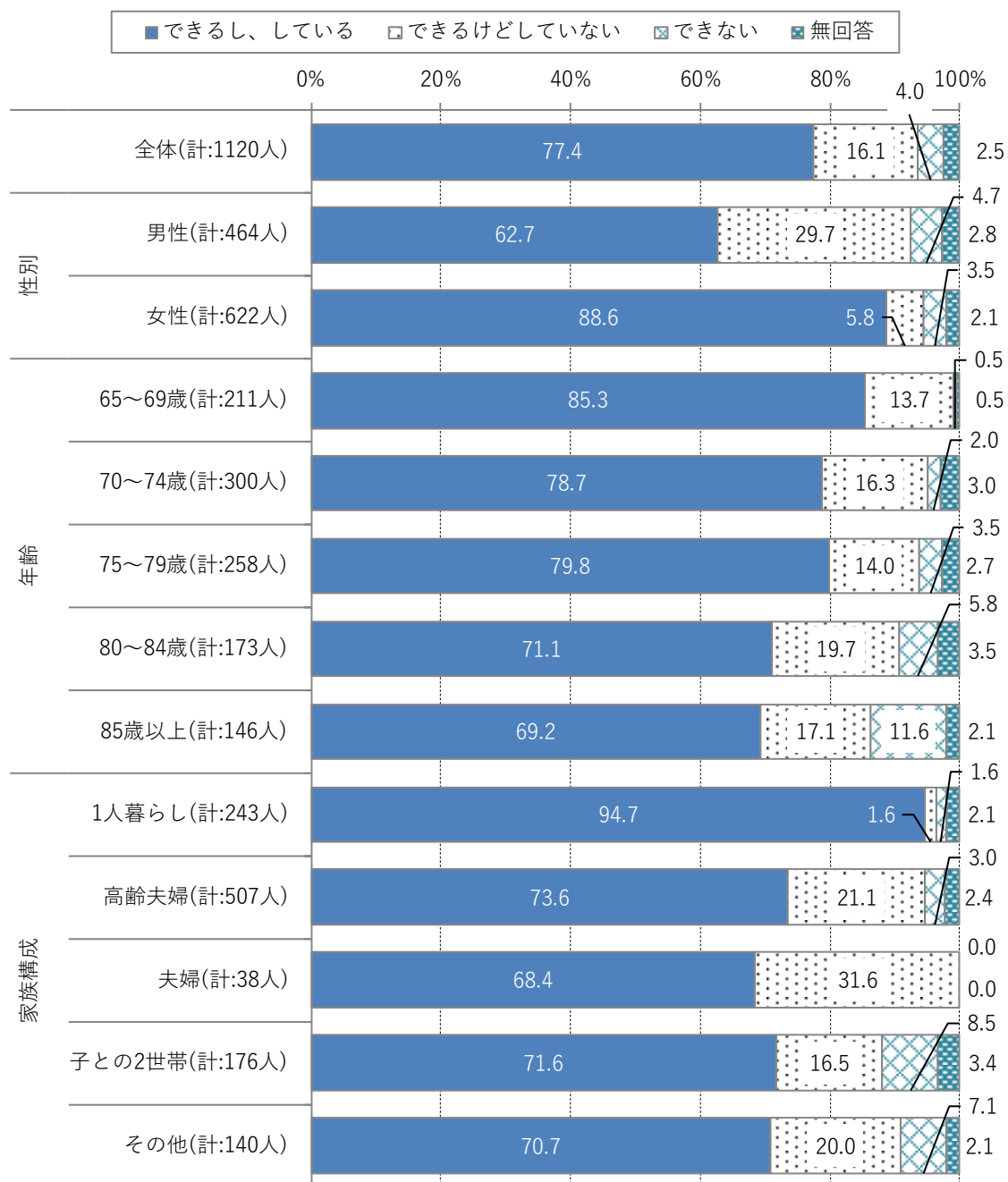
- 自分で食事の用意をしていますかとたずねたところ、「できるし、している」と回答した人の割合が最も高く、70.0%となっています。次いで、「できるけどしていない」(19.3%)、「できない」(8.3%)と続いています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答
全体		1,120	70.0	19.3	8.3	2.4
圏 域	早岐	191	71.2	19.9	5.8	3.1
	日宇	121	68.6	22.3	7.4	1.7
	山澄	156	73.1	19.9	4.5	2.6
	中部	80	80.0	13.8	6.3	0.0
	清水	126	65.1	21.4	8.7	4.8
	大野	164	74.4	17.1	7.3	1.2
	相浦	177	62.7	20.3	14.7	2.3
	吉井	89	69.7	15.7	11.2	3.4
	宇久	15	66.7	20.0	13.3	0.0
	要 介 護 度	要支援 1	55	65.5	14.5	18.2
要支援 2		39	41.0	17.9	41.0	0.0
要介護認定は受 けていない		965	71.9	19.7	6.4	2.0

- 圏域別に分析すると、「できるし、している」と回答した割合が最も高い圏域は「中部」(80.0%)、2番目に高いのは「大野」(74.4%)、3番目に高いのは「山澄」(73.1%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「できるし、している」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(71.9%)、2番目に高いのは「要支援 1」(65.5%)、3番目に高いのは「要支援 2」(41.0%)となっています。

(7) 自分で請求書の支払いをしていますか。



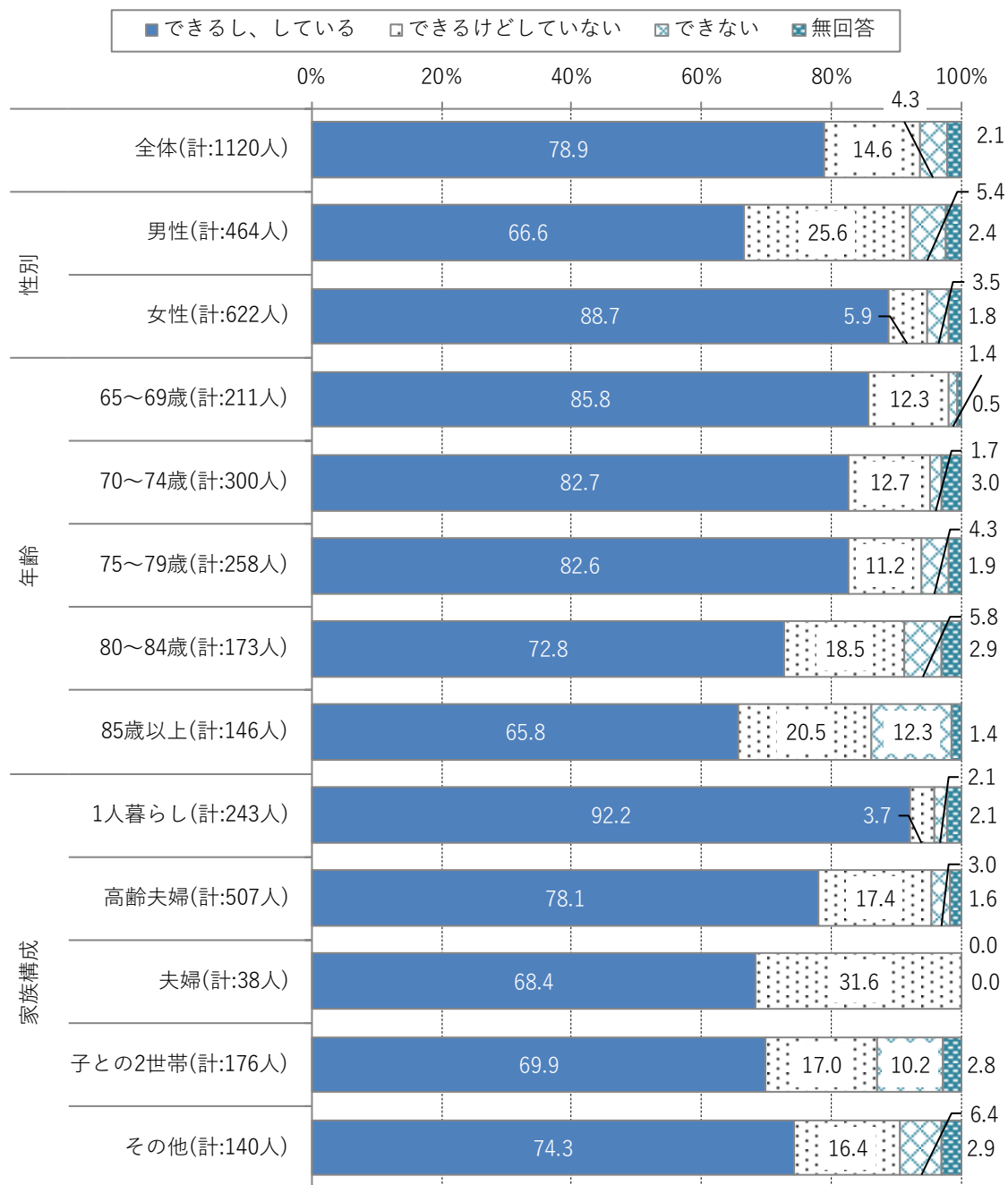
●自分で請求書の支払いをしていますかとたずねたところ、「できるし、している」と回答した人の割合が最も高く、77.4%となっています。次いで、「できるけどしていない」(16.1%)、「できない」(4.0%)と続いています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答
全体		1,120	77.4	16.1	4.0	2.5
圏域	早岐	191	79.6	15.2	2.1	3.1
	日宇	121	73.6	19.8	5.0	1.7
	山澄	156	80.1	14.1	3.2	2.6
	中部	80	80.0	16.3	2.5	1.3
	清水	126	69.8	19.0	6.3	4.8
	大野	164	84.1	11.0	2.4	2.4
	相浦	177	72.9	19.2	6.2	1.7
	吉井	89	75.3	18.0	4.5	2.2
	宇久	15	93.3	0.0	6.7	0.0
要介護度	要支援 1	55	69.1	12.7	16.4	1.8
	要支援 2	39	53.8	15.4	30.8	0.0
	要介護認定は受 けていない	965	79.5	16.8	1.8	2.0

- 圏域別に分析すると、「できるし、している」と回答した割合が最も高い圏域は「宇久」(93.3%)、2番目に高いのは「大野」(84.1%)、3番目に高いのは「山澄」(80.1%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「できるし、している」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(79.5%)、2番目に高いのは「要支援 1」(69.1%)、3番目に高いのは「要支援 2」(53.8%)となっています。

(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。



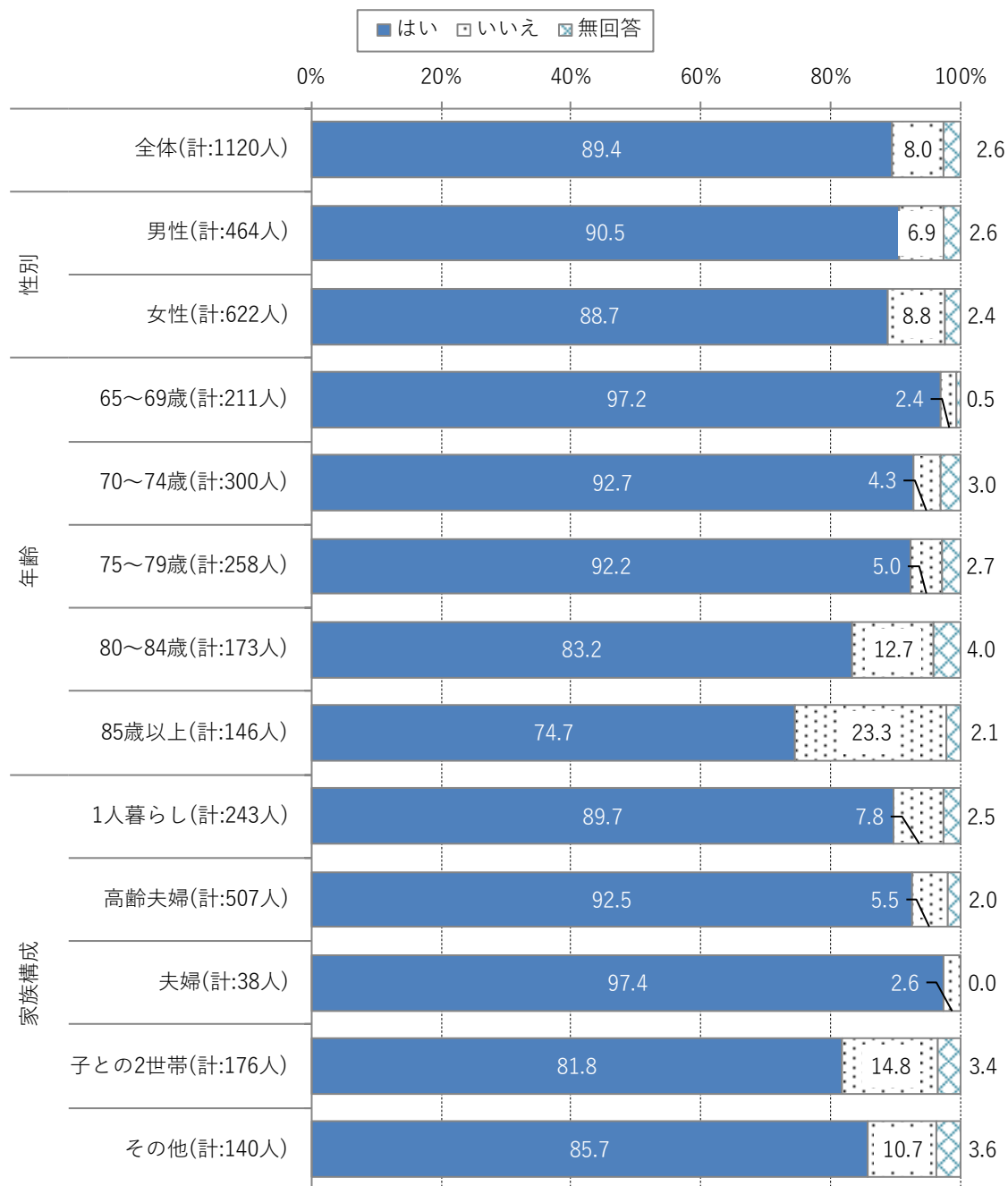
●自分で預貯金の出し入れをしていますかとたずねたところ、「できるし、している」と回答した人の割合が最も高く、78.9%となっています。次いで、「できるけどしていない」(14.6%)、「できない」(4.3%)と続いています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答
全体		1,120	78.9	14.6	4.3	2.1
圏域	早岐	191	82.2	12.6	2.1	3.1
	日宇	121	76.0	15.7	6.6	1.7
	山澄	156	79.5	13.5	4.5	2.6
	中部	80	86.3	11.3	2.5	0.0
	清水	126	73.0	15.9	6.3	4.8
	大野	164	85.4	11.6	1.8	1.2
	相浦	177	75.1	17.5	6.2	1.1
	吉井	89	73.0	20.2	4.5	2.2
	宇久	15	73.3	20.0	6.7	0.0
要介護度	要支援 1	55	74.5	9.1	14.5	1.8
	要支援 2	39	43.6	23.1	33.3	0.0
	要介護認定は受 けていない	965	81.5	14.8	2.1	1.7

- 圏域別に分析すると、「できるし、している」と回答した割合が最も高い圏域は「中部」(86.3%)、2番目に高いのは「大野」(85.4%)、3番目に高いのは「早岐」(82.2%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「できるし、している」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(81.5%)、2番目に高いのは「要支援 1」(74.5%)、3番目に高いのは「要支援 2」(43.6%)となっています。

(9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。



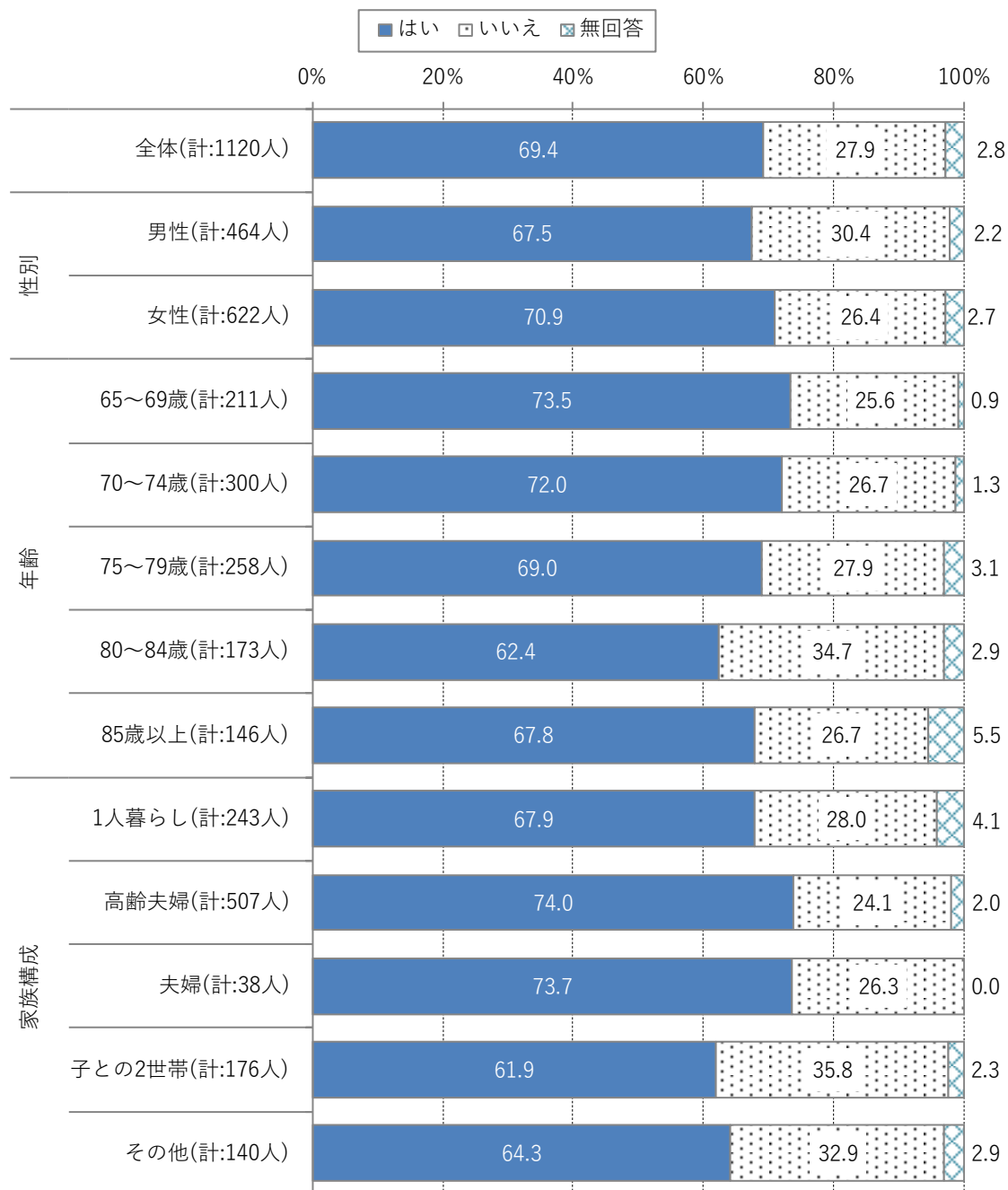
●年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は89.4%でした。一方、「いいえ」と回答した人の割合は8.0%となっています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	はい	いいえ	無回答
全体		1,120	89.4	8.0	2.6
圏域	早岐	191	90.1	6.3	3.7
	日宇	121	86.0	11.6	2.5
	山澄	156	92.3	5.1	2.6
	中部	80	97.5	1.3	1.3
	清水	126	87.3	7.1	5.6
	大野	164	90.2	8.5	1.2
	相浦	177	88.1	10.2	1.7
	吉井	89	84.3	13.5	2.2
	宇久	15	86.7	13.3	0.0
要介護度	要支援1	55	70.9	27.3	1.8
	要支援2	39	51.3	48.7	0.0
	要介護認定は受けていない	965	93.1	4.8	2.2

- 圏域別に分析すると、「はい」と回答した割合が最も高い圏域は「中部」(97.5%)、2番目に高いのは「山澄」(92.3%)、3番目に高いのは「大野」(90.2%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「はい」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(93.1%)、2番目に高いのは「要支援1」(70.9%)、3番目に高いのは「要支援2」(51.3%)となっています。

(10) 本や雑誌を読んでいますか。



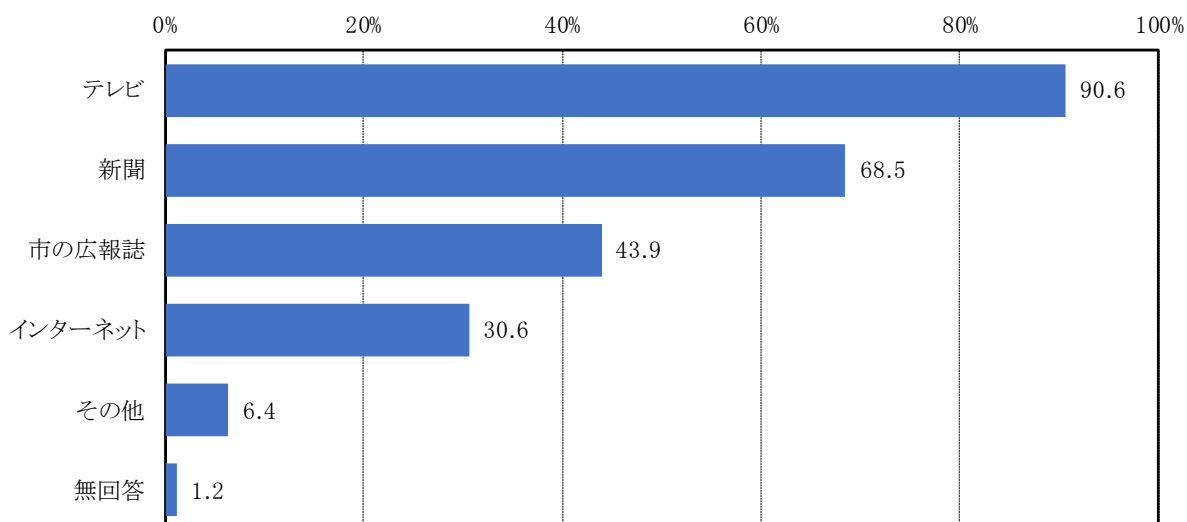
●本や雑誌を読んでいますかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は69.4%でした。一方、「いいえ」と回答した人の割合は27.9%となっています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	はい	いいえ	無回答
全体		1,120	69.4	27.9	2.8
圏域	早岐	191	71.7	26.2	2.1
	日宇	121	71.1	25.6	3.3
	山澄	156	66.7	31.4	1.9
	中部	80	72.5	23.8	3.8
	清水	126	73.0	24.6	2.4
	大野	164	72.6	25.6	1.8
	相浦	177	65.0	31.6	3.4
	吉井	89	60.7	33.7	5.6
	宇久	15	73.3	26.7	0.0
要介護度	要支援1	55	61.8	34.5	3.6
	要支援2	39	53.8	46.2	0.0
	要介護認定は受けていない	965	70.9	26.6	2.5

- 圏域別に分析すると、「はい」と回答した割合が最も高い圏域は「宇久」(73.3%)、2番目に高いのは「清水」(73.0%)、3番目に高いのは「大野」(72.6%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「はい」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(70.9%)、2番目に高いのは「要支援1」(61.8%)、3番目に高いのは「要支援2」(53.8%)となっています。

(11) どういったものから情報を得ていますか。



計:1,120人

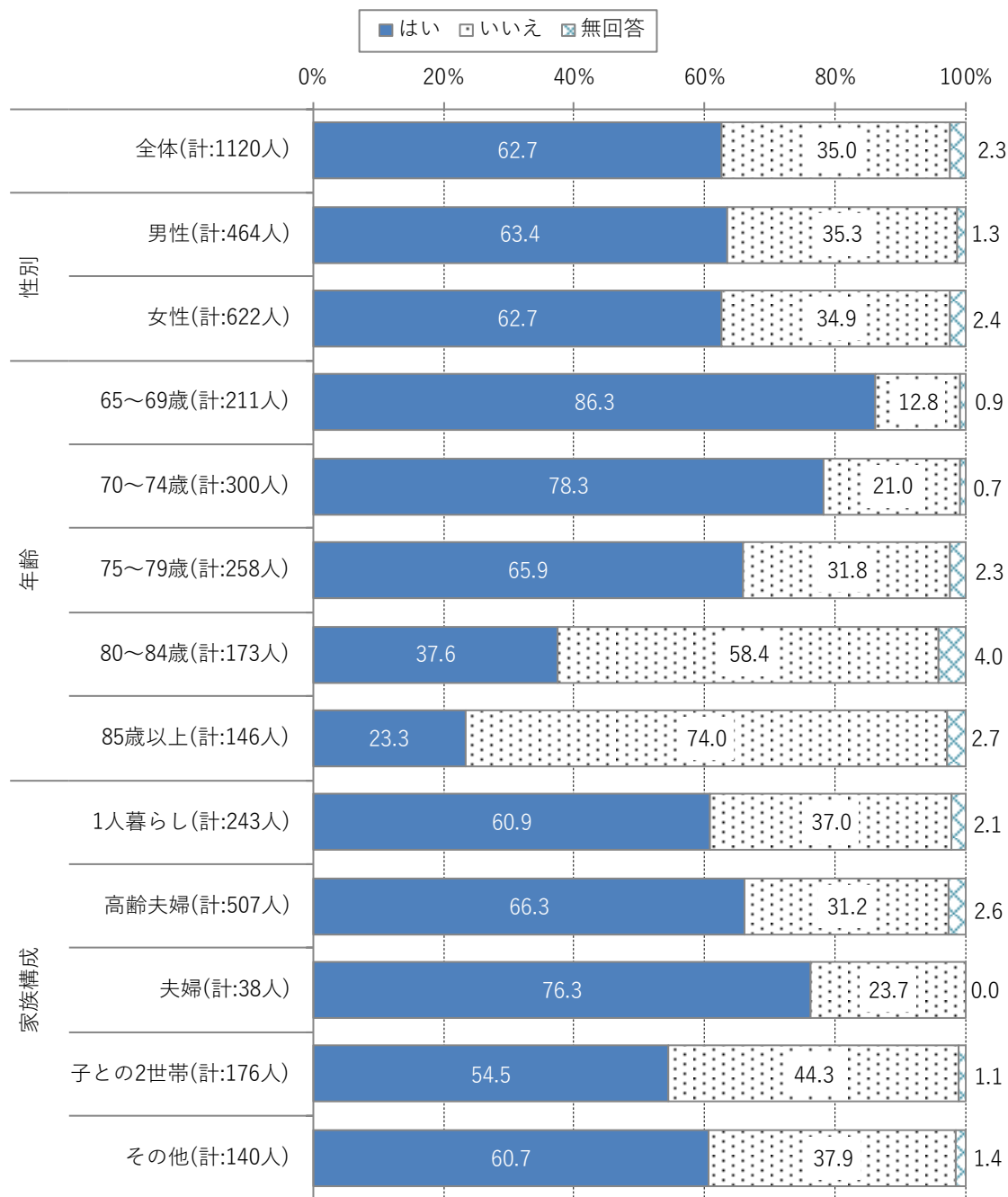
- どういったものから情報を得ていますかとたずねたところ、「テレビ」と回答した人が最も多く、90.6%となっています。次いで、「新聞」(68.5%)、「市の広報誌」(43.9%)、「インターネット」(30.6%)と続いています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	新聞	テレビ	市の広報誌	インターネット	その他	無回答
全体		1,120	68.5	90.6	43.9	30.6	6.4	1.2
圏域	早岐	191	67.0	90.1	48.2	30.4	6.8	1.0
	日宇	121	78.5	85.1	47.1	31.4	7.4	0.0
	山澄	156	68.6	91.7	35.9	30.8	7.1	0.0
	中部	80	67.5	91.3	42.5	37.5	7.5	1.3
	清水	126	70.6	91.3	38.1	37.3	7.9	2.4
	大野	164	70.1	89.0	43.9	27.4	5.5	1.2
	相浦	177	66.1	93.8	45.2	31.1	5.6	1.1
	吉井	89	65.2	93.3	52.8	20.2	3.4	3.4
	宇久	15	20.0	86.7	40.0	20.0	6.7	0.0
要介護度	要支援1	55	54.5	92.7	45.5	5.5	3.6	5.5
	要支援2	39	51.3	92.3	30.8	7.7	5.1	0.0
	要介護認定は受けていない	965	71.0	90.9	45.0	33.7	6.5	0.7

- 圏域別に分析すると、「テレビ」と回答した割合が最も高い圏域は「相浦」(93.8%)、2番目に高いのは「吉井」(93.3%)、3番目に高いのは「山澄」(91.7%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「テレビ」と回答した割合が最も高い要介護度は「要支援1」(92.7%)、2番目に高いのは「要支援2」(92.3%)、3番目に高いのは「要介護認定は受けていない」(90.9%)となっています。

(12) スマートフォンは利用していますか。



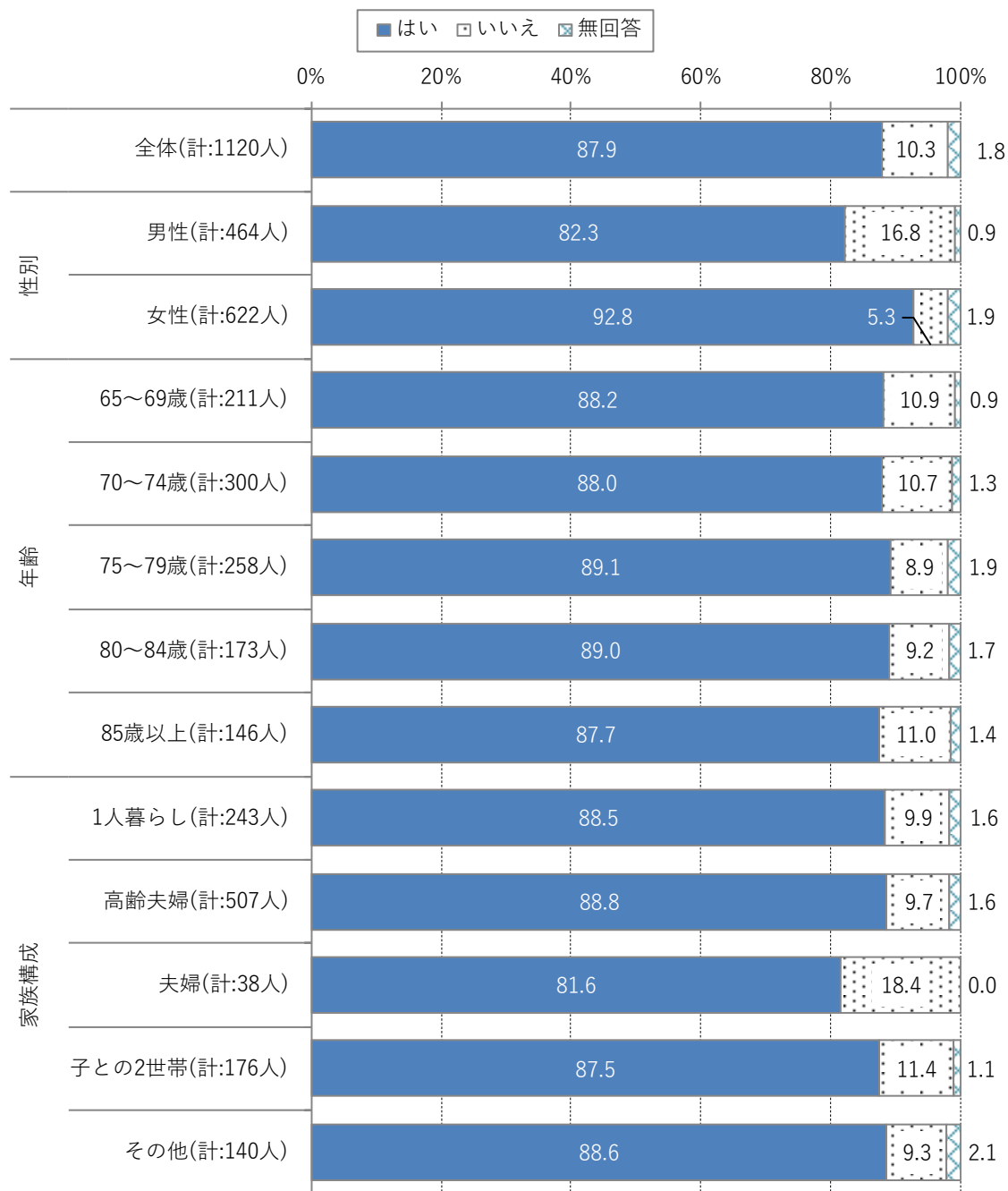
- スマートフォンは利用していますかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は 62.7% でした。一方、「いいえ」と回答した人の割合は 35.0% となっています。
- 年齢階層別にみると、加齢に伴って「はい」と回答した人の割合が減少する傾向にあり、65～69 歳では 86.3% であったのが、85 歳以上では 23.3% になっています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	はい	いいえ	無回答
全体		1,120	62.7	35.0	2.3
圏域	早岐	191	63.9	34.0	2.1
	日宇	121	65.3	33.1	1.7
	山澄	156	62.2	36.5	1.3
	中部	80	68.8	30.0	1.3
	清水	126	59.5	38.1	2.4
	大野	164	64.0	33.5	2.4
	相浦	177	61.6	35.6	2.8
	吉井	89	58.4	37.1	4.5
	宇久	15	46.7	46.7	6.7
要介護度	要支援1	55	34.5	61.8	3.6
	要支援2	39	38.5	59.0	2.6
	要介護認定は受けていない	965	65.9	32.0	2.1

- 圏域別に分析すると、「はい」と回答した割合が最も高い圏域は「中部」(68.8%)、2番目に高いのは「日宇」(65.3%)、3番目に高いのは「大野」(64.0%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「はい」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(65.9%)、2番目に高いのは「要支援2」(38.5%)、3番目に高いのは「要支援1」(34.5%)となっています。

(13) 健康についての記事や番組に関心がありますか。



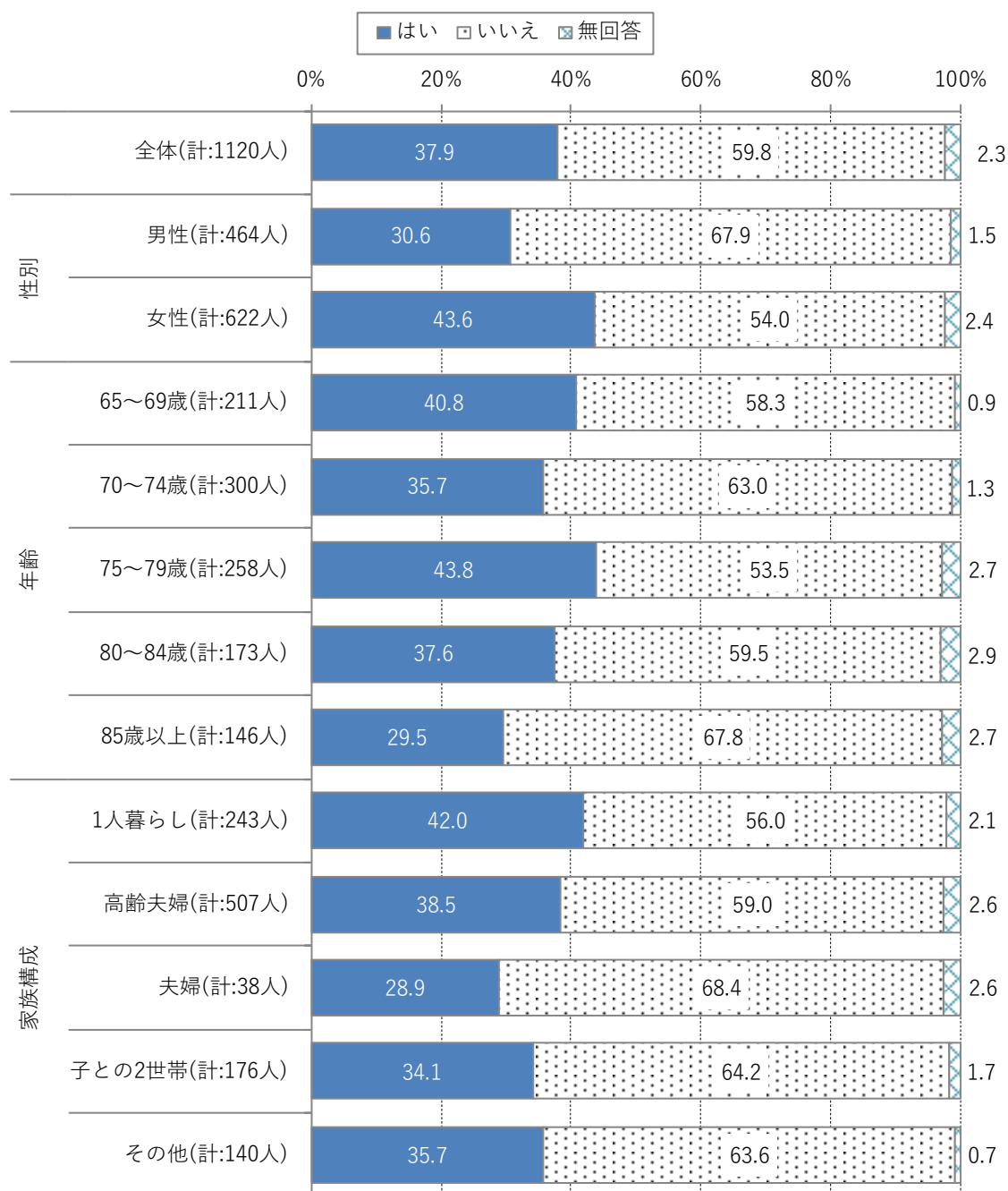
●健康についての記事や番組に関心がありますかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は87.9%でした。一方、「いいえ」と回答した人の割合は10.3%となっています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	はい	いいえ	無回答
全体		1,120	87.9	10.3	1.8
圏域	早岐	191	90.1	7.9	2.1
	日宇	121	90.1	9.1	0.8
	山澄	156	89.7	9.0	1.3
	中部	80	88.8	10.0	1.3
	清水	126	84.9	13.5	1.6
	大野	164	89.6	7.3	3.0
	相浦	177	84.7	13.6	1.7
	吉井	89	84.3	13.5	2.2
	宇久	15	86.7	13.3	0.0
要介護度	要支援1	55	87.3	12.7	0.0
	要支援2	39	84.6	12.8	2.6
	要介護認定は受けていない	965	88.5	9.8	1.7

- 圏域別に分析すると、「はい」と回答した割合が最も高い圏域は「早岐」「日宇」(90.1%)、2番目に高いのは「山澄」(89.7%)、3番目に高いのは「大野」(89.6%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「はい」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(88.5%)、2番目に高いのは「要支援1」(87.3%)、3番目に高いのは「要支援2」(84.6%)となっています。

(14) 友人の家を訪ねていますか。



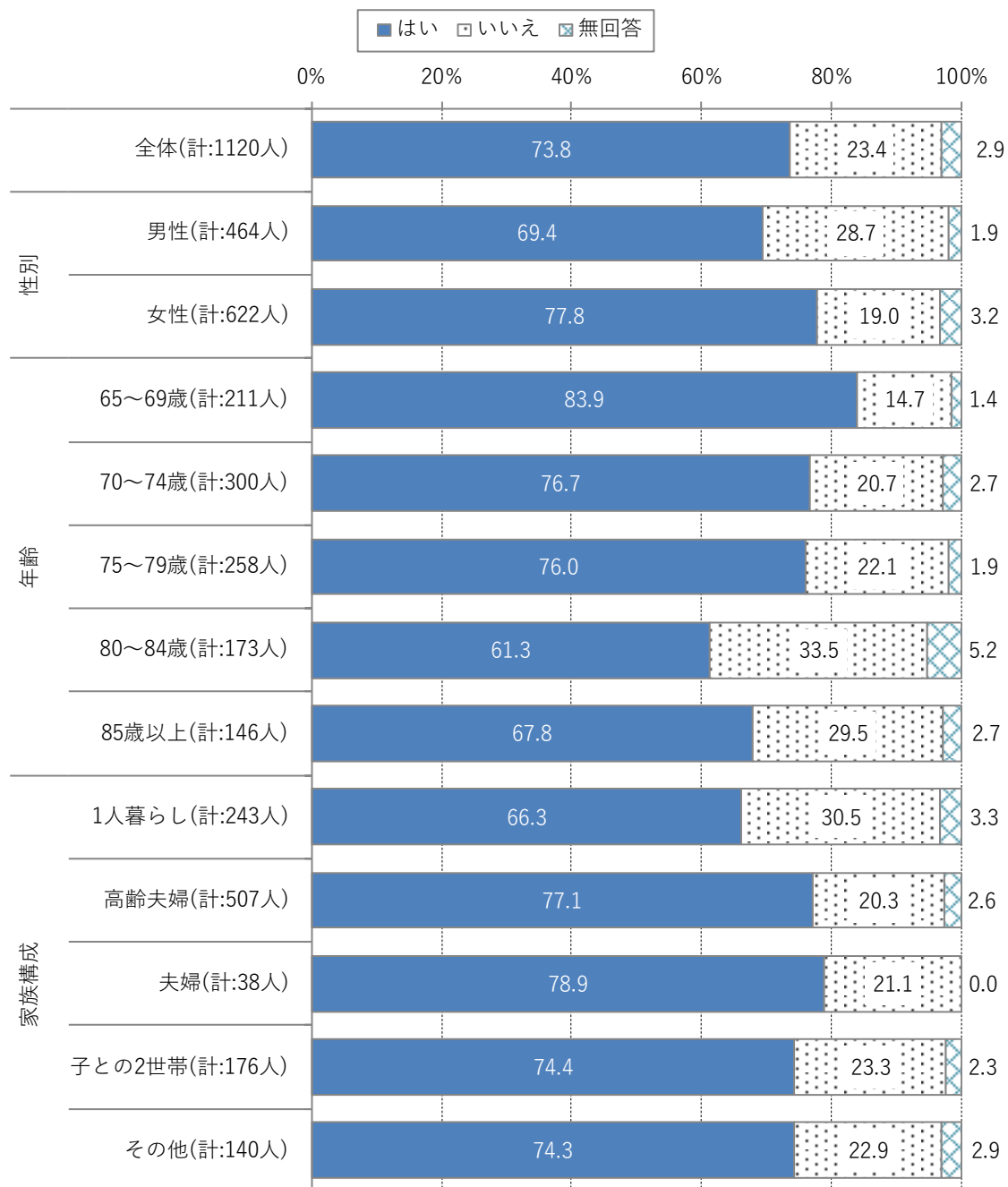
●友人の家を訪ねていますかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は37.9%でした。一方、「いいえ」と回答した人の割合は59.8%となっています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	はい	いいえ	無回答
全体		1,120	37.9	59.8	2.3
圏域	早岐	191	39.3	57.6	3.1
	日宇	121	34.7	63.6	1.7
	山澄	156	30.1	68.6	1.3
	中部	80	28.8	70.0	1.3
	清水	126	34.9	61.9	3.2
	大野	164	44.5	53.0	2.4
	相浦	177	39.0	58.8	2.3
	吉井	89	43.8	52.8	3.4
	宇久	15	73.3	26.7	0.0
要介護度	要支援1	55	30.9	65.5	3.6
	要支援2	39	7.7	89.7	2.6
	要介護認定は受けていない	965	40.0	57.9	2.1

- 圏域別に分析すると、「いいえ」と回答した割合が最も高い圏域は「中部」(70.0%)、2番目に高いのは「山澄」(68.6%)、3番目に高いのは「日宇」(63.6%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「いいえ」と回答した割合が最も高い要介護度は「要支援2」(89.7%)、2番目に高いのは「要支援1」(65.5%)、3番目に高いのは「要介護認定は受けていない」(57.9%)となっています。

(15) 家族や友人の相談にのっていますか。



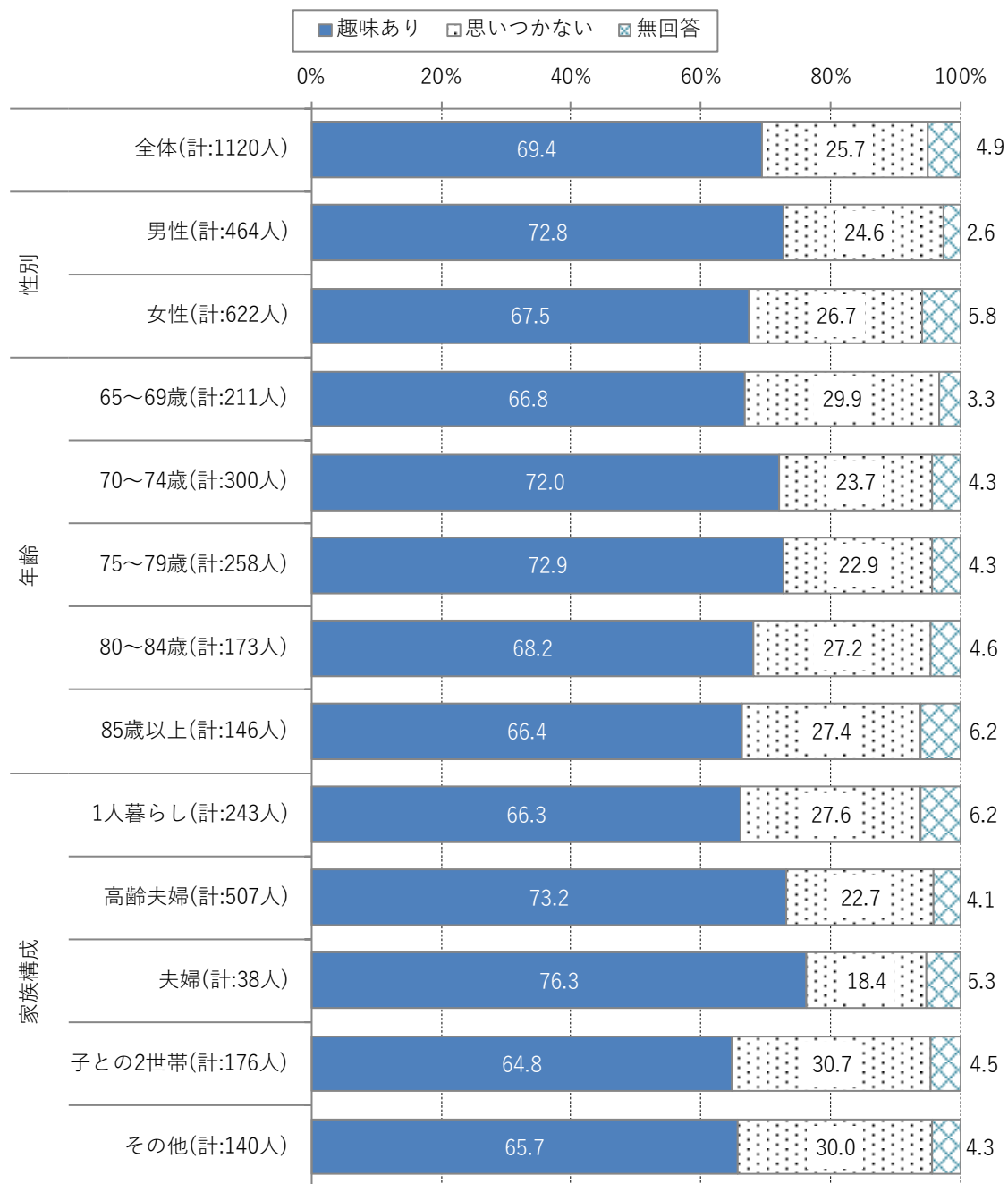
●家族や友人の相談にのっていますかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は73.8%でした。一方、「いいえ」と回答した人の割合は23.4%となっています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	はい	いいえ	無回答
全体		1,120	73.8	23.4	2.9
圏域	早岐	191	77.5	19.4	3.1
	日宇	121	71.1	28.9	0.0
	山澄	156	76.3	22.4	1.3
	中部	80	73.8	23.8	2.5
	清水	126	71.4	22.2	6.3
	大野	164	70.7	25.6	3.7
	相浦	177	70.6	26.6	2.8
	吉井	89	78.7	18.0	3.4
	宇久	15	80.0	20.0	0.0
要介護度	要支援1	55	54.5	40.0	5.5
	要支援2	39	43.6	51.3	5.1
	要介護認定は受けていない	965	77.1	20.5	2.4

- 圏域別に分析すると、「はい」と回答した割合が最も高い圏域は「宇久」(80.0%)、2番目に高いのは「吉井」(78.7%)、3番目に高いのは「早岐」(77.5%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「はい」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(77.1%)、2番目に高いのは「要支援1」(54.5%)、3番目に高いのは「要支援2」(43.6%)となっています。

(16) 趣味はありますか。



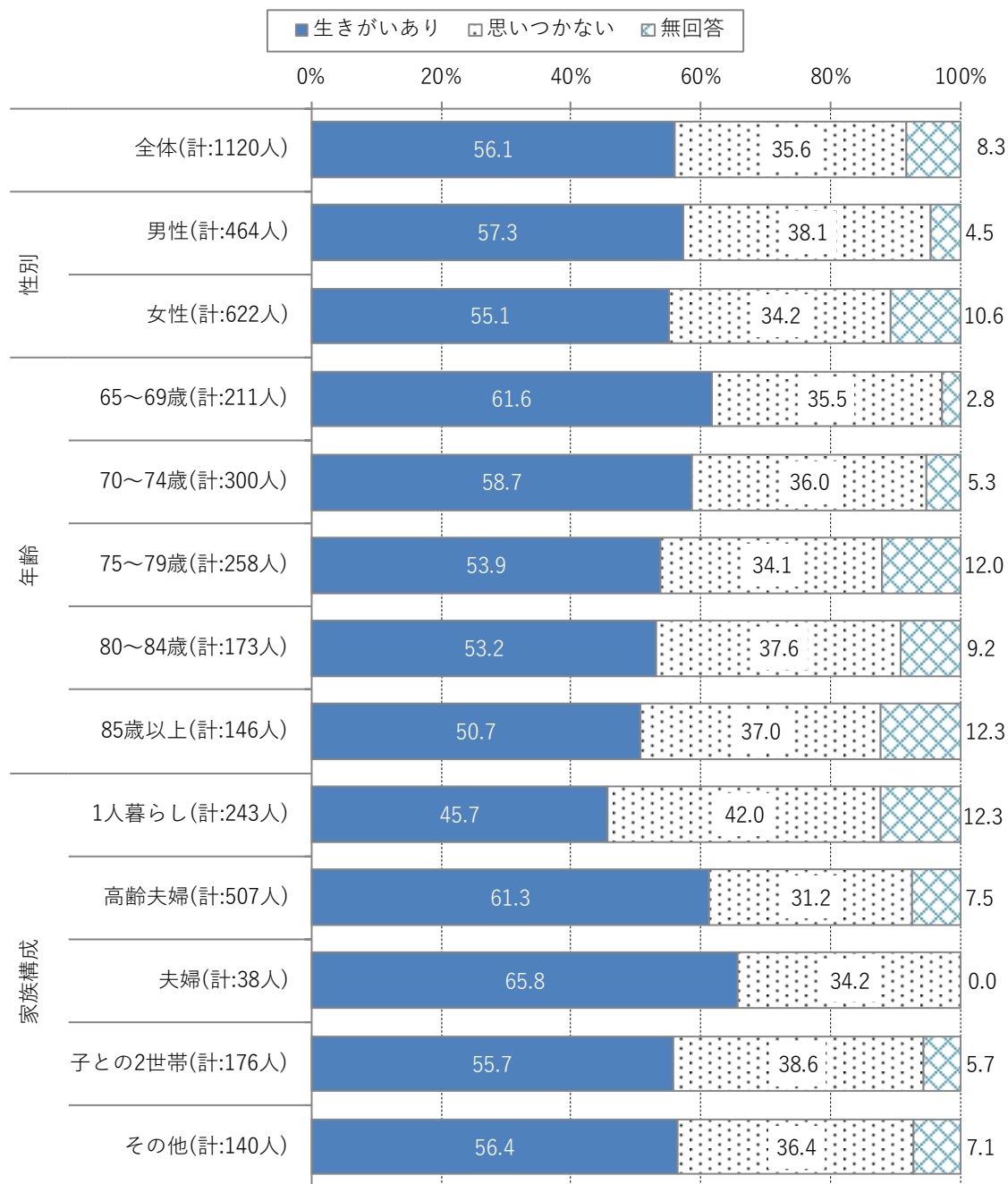
●趣味はありますかとたずねたところ、「趣味あり」と回答した人の割合は69.4%でした。一方、「思いつかない」と回答した人の割合は25.7%となっています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	趣味あり	思いつかない	無回答
全体		1,120	69.4	25.7	4.9
圏域	早岐	191	69.6	25.1	5.2
	日宇	121	74.4	21.5	4.1
	山澄	156	64.1	32.7	3.2
	中部	80	73.8	22.5	3.8
	清水	126	75.4	18.3	6.3
	大野	164	68.3	25.6	6.1
	相浦	177	72.3	23.2	4.5
	吉井	89	57.3	37.1	5.6
	宇久	15	53.3	40.0	6.7
要介護度	要支援1	55	50.9	45.5	3.6
	要支援2	39	56.4	38.5	5.1
	要介護認定は受けていない	965	72.3	23.4	4.2

- 圏域別に分析すると、「趣味あり」と回答した割合が最も高い圏域は「清水」(75.4%)、2番目に高いのは「日宇」(74.4%)、3番目に高いのは「中部」(73.8%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「趣味あり」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(72.3%)、2番目に高いのは「要支援2」(56.4%)、3番目に高いのは「要支援1」(50.9%)となっています。

(17) 生きがいがありますか。



●生きがいがありますかとたずねたところ、「生きがいあり」と回答した人の割合は56.1%となっています。一方、「思いつかない」と回答した人の割合は35.6%となっています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	生きがいあり	思いつかない	無回答
全体		1,120	56.1	35.6	8.3
圏域	早岐	191	57.1	36.1	6.8
	日宇	121	58.7	33.9	7.4
	山澄	156	55.1	39.7	5.1
	中部	80	51.3	35.0	13.8
	清水	126	61.1	30.2	8.7
	大野	164	52.4	38.4	9.1
	相浦	177	57.6	34.5	7.9
	吉井	89	55.1	32.6	12.4
	宇久	15	40.0	53.3	6.7
要介護度	要支援1	55	50.9	34.5	14.5
	要支援2	39	23.1	66.7	10.3
	要介護認定は受けていない	965	58.5	34.0	7.5

- 圏域別に分析すると、「生きがいあり」と回答した割合が最も高い圏域は「清水」(61.1%)、2番目に高いのは「日宇」(58.7%)、3番目に高いのは「相浦」(57.6%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「生きがいあり」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(58.5%)、2番目に高いのは「要支援1」(50.9%)、3番目に高いのは「要支援2」(23.1%)となっています。

(18) あなたが、日頃感じている「漠然とした不安感」のうちもっとも多いのはどのような不安ですか。 (%)

		健康	金銭	心の支え	災害・防犯	終末期・死	親族の将来	その他	無回答
全体(計:1120人)		59.7	9.7	1.4	3.6	1.2	4.1	2.1	18.1
性別	男性(計:464人)	61.6	9.5	1.5	3.0	1.1	3.2	3.4	16.6
	女性(計:622人)	58.7	9.8	1.3	4.2	1.3	4.8	1.3	18.6
年齢	65～69歳(計:211人)	56.9	12.8	0.9	0.9	1.4	3.8	2.4	20.9
	70～74歳(計:300人)	60.7	13.0	2.0	5.0	1.3	4.0	3.0	11.0
	75～79歳(計:258人)	57.0	10.5	0.8	4.3	0.8	4.3	2.3	20.2
	80～84歳(計:173人)	59.0	5.2	1.2	4.0	2.3	3.5	1.2	23.7
	85歳以上(計:146人)	69.2	2.7	2.1	3.4	0.0	5.5	1.4	15.8
家族構成	1人暮らし(計:243人)	58.4	9.9	3.7	4.5	3.7	0.8	0.8	18.1
	高齢夫婦(計:507人)	63.7	8.1	0.6	3.7	0.6	3.9	2.0	17.4
	夫婦(計:38人)	44.7	18.4	5.3	2.6	0.0	2.6	5.3	21.1
	子との2世帯(計:176人)	60.2	13.1	1.1	3.4	0.6	6.3	1.7	13.6
	その他(計:140人)	52.1	10.0	0.0	2.1	0.0	7.9	5.0	22.9

●あなたが、日頃感じている「漠然とした不安感」のうちもっとも多いのはどのような不安ですかとたずねたところ、「健康」に対するもの（病気や高齢化による衰え）」と回答した人の割合が最も高く、59.7%となっています。次いで、「金銭」に対するもの（年金・貯蓄等の生活資金がない、やり繰り管理が困難）」(9.7%)、「親族の将来」に対するもの（自身の死後に子・配偶者が生活できるか）」(4.1%)と続いています。

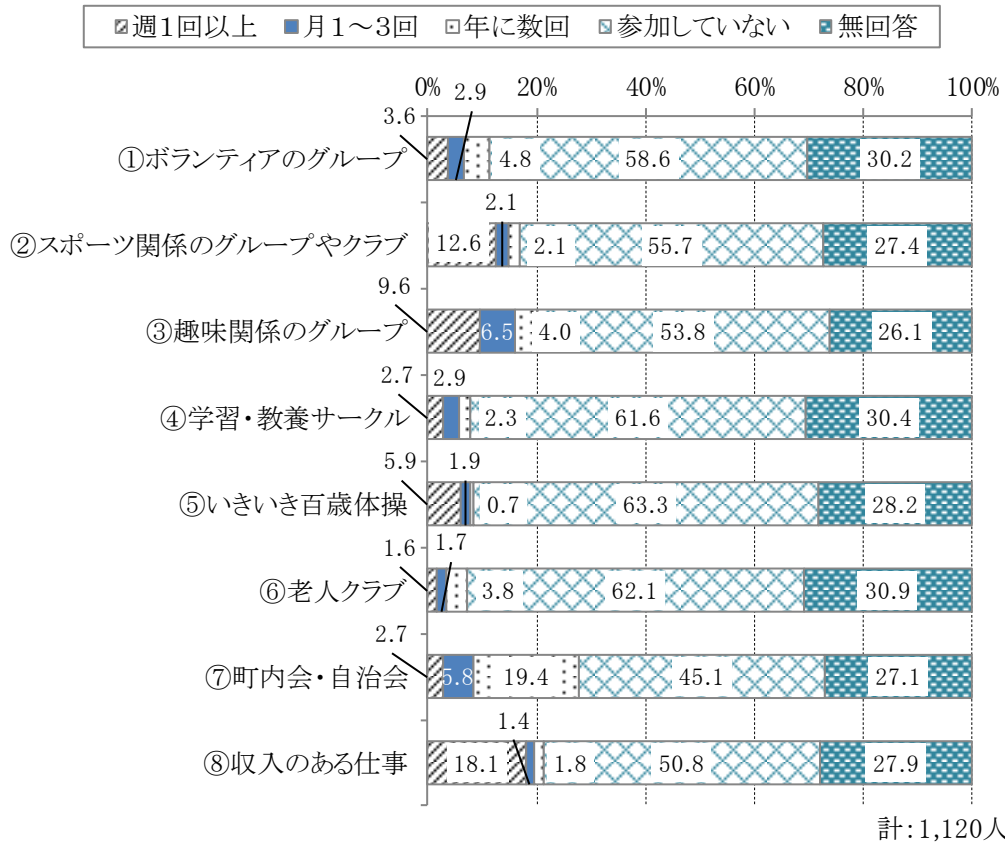
(圏域・要介護度別クロス)

		合計	健康	金銭	心の支え	災害・防犯	終末期・死	親族の将来	その他	無回答
全体		1,120	59.7	9.7	1.4	3.6	1.2	4.1	2.1	18.1
圏域	早岐	191	60.2	11.0	2.6	0.0	1.0	4.2	2.1	18.8
	目宇	121	57.9	7.4	0.0	2.5	3.3	5.8	2.5	20.7
	山澄	156	57.7	7.7	1.3	5.1	1.9	5.1	1.9	19.2
	中部	80	52.5	13.8	2.5	1.3	2.5	3.8	3.8	20.0
	清水	126	59.5	9.5	0.0	4.8	0.0	4.0	3.2	19.0
	大野	164	61.0	10.4	1.8	2.4	0.6	1.8	1.8	20.1
	相浦	177	65.0	8.5	1.1	7.3	0.0	4.0	1.7	12.4
	吉井	89	59.6	12.4	2.2	5.6	1.1	3.4	1.1	14.6
	宇久	15	60.0	6.7	0.0	0.0	0.0	13.3	0.0	20.0
要介護度	要支援1	55	63.6	1.8	7.3	0.0	3.6	5.5	1.8	16.4
	要支援2	39	61.5	2.6	2.6	5.1	2.6	5.1	0.0	20.5
	要介護認定は受けていない	965	60.4	10.4	0.9	3.6	0.9	3.8	2.4	17.5

- 圏域別に分析すると、「健康」と回答した割合が最も高い圏域は「相浦」(65.0%)、2番目に高いのは「大野」(61.0%)、3番目に高いのは「早岐」(60.2%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「健康」と回答した割合が最も高い要介護度は「要支援1」(63.6%)、2番目に高いのは「要支援2」(61.5%)、3番目に高いのは「要介護認定は受けていない」(60.4%)となっています。

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。



●会・グループへの参加状況を尋ねたところ、年に1度でも参加している人が最も多いのは「町内会・自治会」であり、27.9%となっています。次いで、「収入のある仕事」(21.3%)、「趣味関係のグループ」(20.1%)、「スポーツ関係のグループやクラブ」(16.8%)と続いています。

(圏域・要介護度別クロス)

①ボランティアのグループ

		合計	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		1,120	1.3	1.2	1.1	2.9	4.8	58.6	30.2
圏域	早岐	191	2.6	1.6	0.5	4.2	6.3	56.5	28.3
	日宇	121	1.7	0.8	0.0	5.0	2.5	59.5	30.6
	山澄	156	0.6	1.3	2.6	1.9	4.5	57.7	31.4
	中部	80	1.3	0.0	0.0	3.8	3.8	60.0	31.3
	清水	126	0.8	0.0	1.6	1.6	5.6	57.1	33.3
	大野	164	1.2	2.4	3.0	3.0	3.0	58.5	28.7
	相浦	177	1.1	0.6	0.0	1.7	4.5	62.7	29.4
	吉井	89	1.1	1.1	0.0	2.2	7.9	59.6	28.1
	宇久	15	0.0	6.7	0.0	0.0	13.3	33.3	46.7
要介護度	要支援1	55	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	47.3	49.1
	要支援2	39	0.0	0.0	2.6	0.0	2.6	74.4	20.5
	要介護認定は受けていない	965	1.5	1.2	1.1	3.1	5.2	58.7	29.2

②スポーツ関係のグループやクラブ

		合計	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		1,120	3.3	5.4	3.9	2.1	2.1	55.7	27.4
圏域	早岐	191	6.3	7.9	3.7	1.6	2.6	53.9	24.1
	日宇	121	1.7	3.3	5.0	2.5	0.8	59.5	27.3
	山澄	156	4.5	7.1	2.6	1.3	3.2	53.2	28.2
	中部	80	1.3	6.3	6.3	3.8	2.5	55.0	25.0
	清水	126	4.0	4.8	4.8	2.4	1.6	52.4	30.2
	大野	164	3.0	3.7	5.5	2.4	1.2	56.7	27.4
	相浦	177	1.7	7.9	3.4	1.7	1.7	57.1	26.6
	吉井	89	2.2	0.0	1.1	3.4	3.4	60.7	29.2
	宇久	15	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	46.7	53.3
要介護度	要支援1	55	0.0	0.0	1.8	3.6	0.0	49.1	45.5
	要支援2	39	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	74.4	23.1
	要介護認定は受けていない	965	3.7	5.9	4.4	2.3	2.2	55.1	26.4

③趣味関係のグループ

		合計	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		1,120	2.0	3.5	4.1	6.5	4.0	53.8	26.1
圏域	早岐	191	2.6	4.2	3.1	4.7	2.6	58.1	24.6
	日宇	121	2.5	1.7	6.6	4.1	5.8	54.5	24.8
	山澄	156	2.6	3.2	5.1	4.5	4.5	49.4	30.8
	中部	80	2.5	6.3	3.8	5.0	6.3	55.0	21.3
	清水	126	1.6	2.4	4.0	11.1	4.0	48.4	28.6
	大野	164	1.8	3.0	3.7	7.3	2.4	55.5	26.2
	相浦	177	1.7	5.1	4.5	8.5	5.1	52.0	23.2
	吉井	89	0.0	2.2	2.2	6.7	2.2	60.7	25.8
	宇久	15	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	46.7	46.7
要介護度	要支援1	55	0.0	1.8	5.5	5.5	0.0	47.3	40.0
	要支援2	39	0.0	2.6	0.0	5.1	0.0	71.8	20.5
	要介護認定は受けていない	965	2.3	3.6	4.4	6.7	4.6	53.3	25.2

④学習・教養サークル

		合計	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		1,120	0.6	0.4	1.7	2.9	2.3	61.6	30.4
圏域	早岐	191	1.0	0.5	1.6	2.1	1.0	65.4	28.3
	日宇	121	0.0	0.0	1.7	5.0	2.5	64.5	26.4
	山澄	156	1.3	1.3	1.3	3.8	3.2	57.1	32.1
	中部	80	0.0	0.0	0.0	2.5	2.5	62.5	32.5
	清水	126	0.8	0.0	2.4	3.2	4.0	60.3	29.4
	大野	164	0.0	0.0	3.7	1.8	1.8	62.2	30.5
	相浦	177	1.1	0.6	0.6	2.8	2.3	61.6	31.1
	吉井	89	0.0	0.0	2.2	3.4	2.2	59.6	32.6
	宇久	15	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	46.7	53.3
要介護度	要支援1	55	0.0	0.0	3.6	1.8	1.8	45.5	47.3
	要支援2	39	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	76.9	23.1
	要介護認定は受けていない	965	0.6	0.3	1.8	3.1	2.6	61.9	29.7

⑤いきいき百歳体操

		合計	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加して いない	無回答
全体		1,120	1.7	0.5	3.7	1.9	0.7	63.3	28.2
圏 域	早岐	191	1.0	0.5	4.2	3.1	1.0	64.9	25.1
	日宇	121	2.5	1.7	5.0	1.7	0.0	62.8	26.4
	山澄	156	2.6	1.3	6.4	1.3	1.3	57.1	30.1
	中部	80	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	66.3	31.3
	清水	126	0.8	0.8	4.0	1.6	0.0	64.3	28.6
	大野	164	1.8	0.0	1.8	3.0	0.6	63.4	29.3
	相浦	177	1.7	0.0	1.7	1.1	0.6	65.5	29.4
	吉井	89	3.4	0.0	3.4	2.2	2.2	65.2	23.6
宇久	15	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	46.7	46.7	
要 介 護 度	要支援1	55	1.8	1.8	1.8	1.8	0.0	50.9	41.8
	要支援2	39	0.0	5.1	2.6	0.0	0.0	74.4	17.9
	要介護認定は受 けていない	965	1.8	0.3	3.8	2.1	0.8	63.5	27.7

⑥老人クラブ

		合計	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加して いない	無回答
全体		1,120	0.5	0.4	0.7	1.7	3.8	62.1	30.9
圏 域	早岐	191	1.0	0.0	1.0	4.7	7.3	59.7	26.2
	日宇	121	0.8	1.7	1.7	0.0	3.3	65.3	27.3
	山澄	156	0.0	0.0	1.3	1.3	1.3	61.5	34.6
	中部	80	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	65.0	33.8
	清水	126	0.8	0.8	0.0	1.6	3.2	61.1	32.5
	大野	164	0.6	0.0	0.6	0.6	3.7	64.0	30.5
	相浦	177	0.6	0.0	0.6	1.7	2.3	62.7	32.2
	吉井	89	0.0	0.0	0.0	2.2	6.7	61.8	29.2
宇久	15	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	33.3	53.3	
要 介 護 度	要支援1	55	0.0	1.8	0.0	0.0	1.8	50.9	45.5
	要支援2	39	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	71.8	25.6
	要介護認定は受 けていない	965	0.5	0.3	0.8	1.8	3.9	62.5	30.2

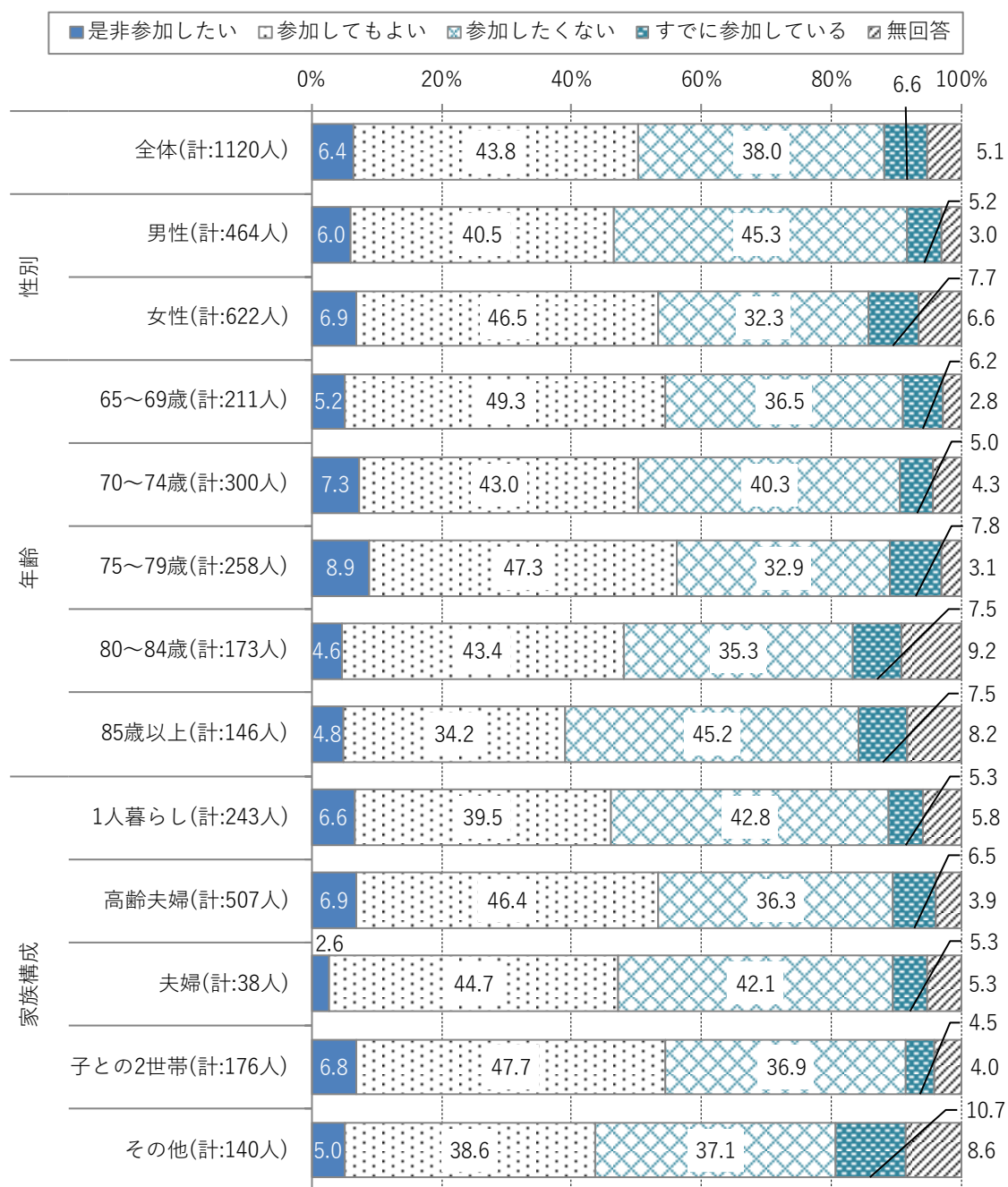
⑦町内会・自治会

		合計	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		1,120	0.9	0.5	1.3	5.8	19.4	45.1	27.1
圏域	早岐	191	2.6	0.0	0.0	10.5	26.7	38.7	21.5
	日宇	121	0.0	0.8	0.8	5.8	15.7	48.8	28.1
	山澄	156	0.0	1.9	3.8	2.6	9.6	50.6	31.4
	中部	80	0.0	0.0	1.3	6.3	10.0	50.0	32.5
	清水	126	0.0	0.0	0.8	7.9	18.3	45.2	27.8
	大野	164	1.8	0.0	1.8	3.0	18.9	48.8	25.6
	相浦	177	1.1	0.6	1.1	5.6	22.0	44.1	25.4
	吉井	89	0.0	0.0	0.0	4.5	31.5	38.2	25.8
	宇久	15	0.0	6.7	0.0	0.0	13.3	26.7	53.3
要介護度	要支援1	55	0.0	0.0	0.0	0.0	10.9	41.8	47.3
	要支援2	39	0.0	0.0	5.1	0.0	0.0	76.9	17.9
	要介護認定は受けていない	965	1.0	0.6	1.0	6.2	20.5	44.5	26.1

⑧収入のある仕事

		合計	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		1,120	11.3	5.4	1.4	1.4	1.8	50.8	27.9
圏域	早岐	191	12.6	5.2	1.0	2.6	2.6	49.7	26.2
	日宇	121	8.3	6.6	0.0	0.0	2.5	54.5	28.1
	山澄	156	14.7	5.8	1.3	1.9	1.3	46.2	28.8
	中部	80	12.5	3.8	1.3	3.8	0.0	52.5	26.3
	清水	126	9.5	4.0	1.6	0.8	0.8	55.6	27.8
	大野	164	11.0	7.9	2.4	1.2	1.2	50.6	25.6
	相浦	177	9.6	4.0	2.3	0.0	2.8	51.4	29.9
	吉井	89	10.1	6.7	1.1	2.2	2.2	49.4	28.1
	宇久	15	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	46.7
要介護度	要支援1	55	1.8	3.6	0.0	0.0	0.0	45.5	49.1
	要支援2	39	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	74.4	23.1
	要介護認定は受けていない	965	12.6	5.9	1.5	1.5	1.9	50.1	26.6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。



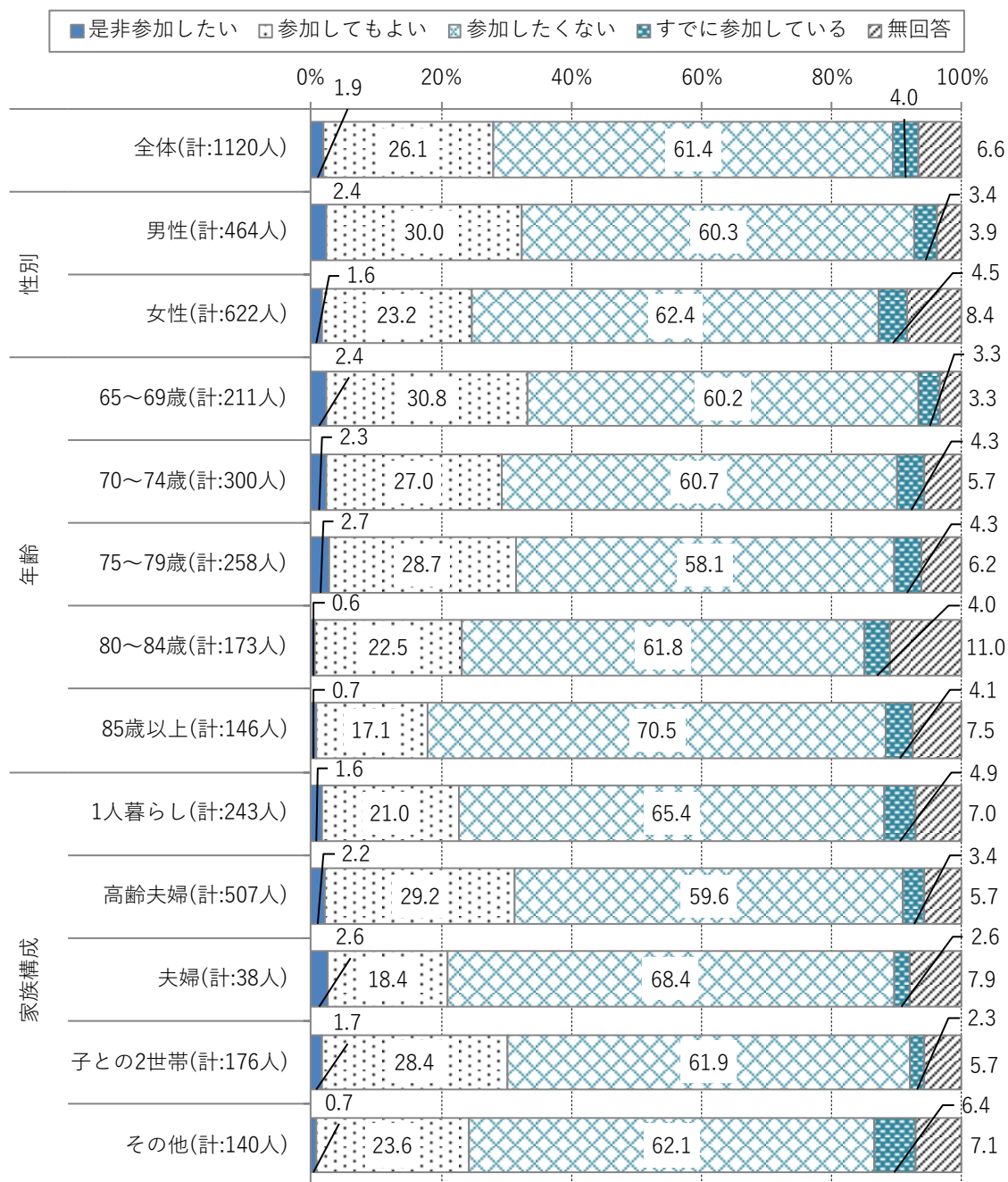
●地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますかとたずねたところ、「参加してもよい」と回答した人の割合が最も高く、43.8%となっています。次いで、「参加したくない」(38.0%)、「すでに参加している」(6.6%)と続いています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	是非参加し たい	参加しても よい	参加したく ない	すでに参加 している	無回答
全体		1,120	6.4	43.8	38.0	6.6	5.1
圏 域	早岐	191	8.9	44.0	34.0	10.5	2.6
	日宇	121	5.0	46.3	39.7	6.6	2.5
	山澄	156	5.8	43.6	38.5	5.8	6.4
	中部	80	6.3	47.5	38.8	3.8	3.8
	清水	126	7.9	37.3	39.7	7.1	7.9
	大野	164	7.3	42.1	37.2	6.7	6.7
	相浦	177	5.6	42.9	40.1	5.6	5.6
	吉井	89	2.2	50.6	38.2	3.4	5.6
	宇久	15	6.7	46.7	40.0	6.7	0.0
要 介 護 度	要支援1	55	9.1	32.7	50.9	1.8	5.5
	要支援2	39	2.6	28.2	56.4	2.6	10.3
	要介護認定は受 けていない	965	6.7	46.1	36.3	6.6	4.2

- 圏域別に分析すると、「参加してもよい」と回答した割合が最も高い圏域は「吉井」(50.6%)、2番目に高いのは「中部」(47.5%)、3番目に高いのは「宇久」(46.7%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「参加してもよい」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(46.1%)、2番目に高いのは「要支援1」(32.7%)、3番目に高いのは「要支援2」(28.2%)となっています。

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。



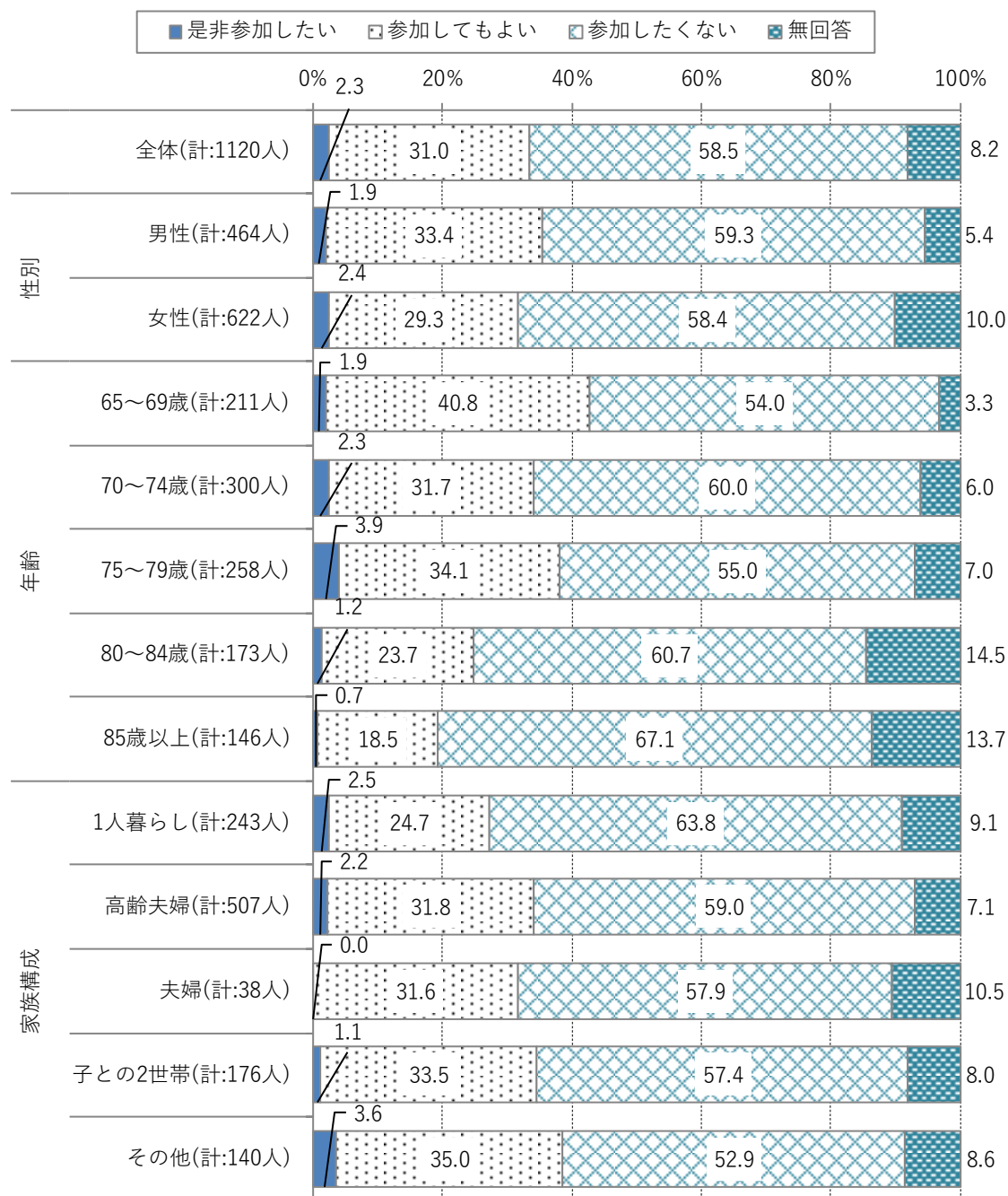
●地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますかとたずねたところ、「参加したくない」と回答した人の割合が最も高く、61.4%となっています。次いで、「参加してもよい」(26.1%)、「すでに参加している」(4.0%)と続いています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	是非参加し たい	参加しても よい	参加したく ない	すでに参加 している	無回答
全体		1,120	1.9	26.1	61.4	4.0	6.6
圏 域	早岐	191	4.2	23.6	61.3	7.3	3.7
	日宇	121	1.7	26.4	62.8	5.8	3.3
	山澄	156	0.0	29.5	59.6	3.2	7.7
	中部	80	5.0	32.5	56.3	2.5	3.8
	清水	126	2.4	27.0	60.3	2.4	7.9
	大野	164	0.0	22.6	65.2	5.5	6.7
	相浦	177	1.1	26.6	62.1	1.7	8.5
	吉井	89	2.2	23.6	59.6	2.2	12.4
	宇久	15	0.0	20.0	73.3	0.0	6.7
要 介 護 度	要支援1	55	1.8	16.4	70.9	1.8	9.1
	要支援2	39	0.0	15.4	76.9	2.6	5.1
	要介護認定は受 けていない	965	2.1	27.3	60.4	4.4	5.9

- 圏域別に分析すると、「参加したくない」と回答した割合が最も高い圏域は「宇久」(73.3%)、2番目に高いのは「大野」(65.2%)、3番目に高いのは「日宇」(62.8%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「参加したくない」と回答した割合が最も高い要介護度は「要支援2」(76.9%)、2番目に高いのは「要支援1」(70.9%)、3番目に高いのは「要介護認定は受けていない」(60.4%)となっています。

(4) 地域住民の有志によって高齢者支援に関するボランティア活動を始めるとしたら、あなたはその活動にボランティアとして参加してみたいと思いますか。



●地域住民の有志によって高齢者支援に関するボランティア活動を始めるとしたら、あなたはその活動にボランティアとして参加してみたいと思いますかとたずねたところ、「参加したくない」と回答した人の割合が最も高く、58.5%となっています。次いで、「参加してもよい」(31.0%)、「是非参加したい」(2.3%)と続いています。

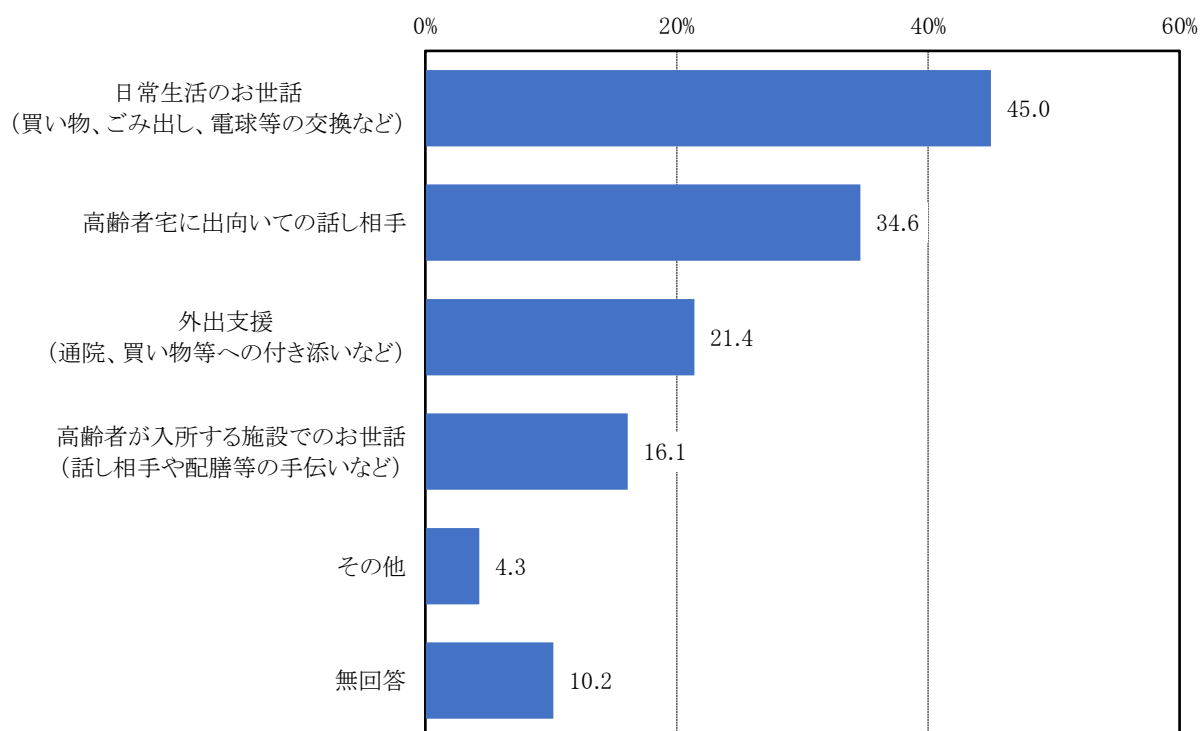
(圏域・要介護度別クロス)

		合計	是非参加し たい	参加しても よい	参加したく ない	無回答
全体		1,120	2.3	31.0	58.5	8.2
圏 域	早岐	191	2.6	32.5	57.1	7.9
	日宇	121	1.7	32.2	60.3	5.8
	山澄	156	2.6	31.4	55.8	10.3
	中部	80	5.0	30.0	58.8	6.3
	清水	126	0.8	34.1	56.3	8.7
	大野	164	3.0	26.8	60.4	9.8
	相浦	177	2.8	29.4	60.5	7.3
	吉井	89	0.0	29.2	60.7	10.1
	宇久	15	0.0	46.7	53.3	0.0
要 介 護 度	要支援 1	55	1.8	16.4	69.1	12.7
	要支援 2	39	0.0	15.4	74.4	10.3
	要介護認定は受 けていない	965	2.5	32.6	57.5	7.4

- 圏域別に分析すると、「参加したくない」と回答した割合が最も高い圏域は「吉井」(60.7%)、2番目に高いのは「相浦」(60.5%)、3番目に高いのは「大野」(60.4%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「参加したくない」と回答した割合が最も高い要介護度は「要支援 2」(74.4%)、2番目に高いのは「要支援 1」(69.1%)、3番目に高いのは「要介護認定は受けていない」(57.5%)となっています。

【(4)で「1.是非参加したい」「2.参加してもよい」と答えた方のみ】

(4) ① どんなボランティアなら参加できますか。



計:373人

- 地域住民の有志によって高齢者支援に関するボランティア活動を始めるとした場合に、その活動に「是非参加したい」「参加してもよい」と答えた方に、どんなボランティアなら参加できますかとたずねたところ、「日常生活のお世話（買い物、ごみ出し、電球等の交換など）」と回答した人の割合が最も高く、45.0%となっています。次いで、「高齢者宅に出向いての話し相手」（34.6%）、「外出支援（通院、買い物等への付き添いなど）」（21.4%）と続いています。

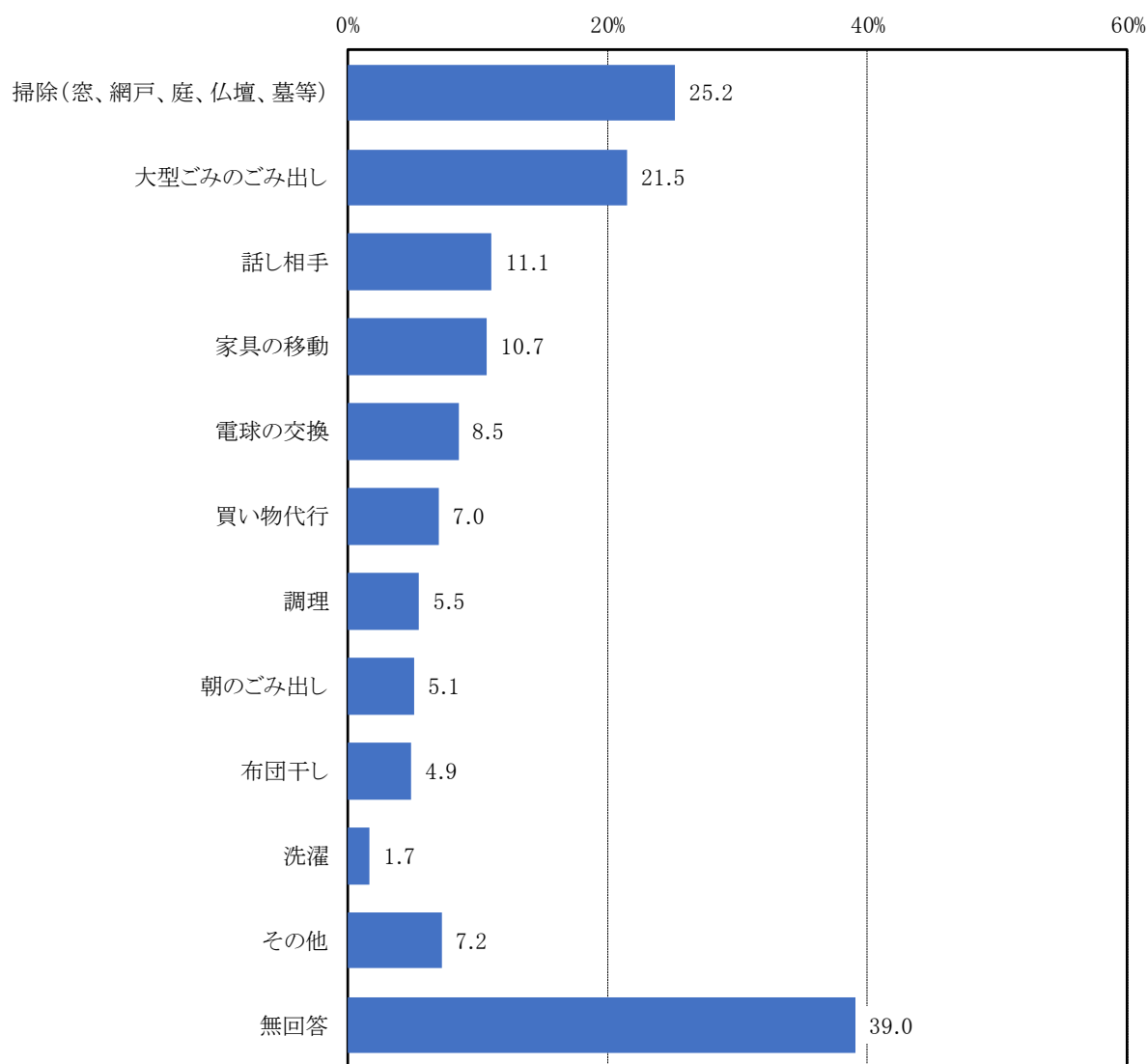
(圏域・要介護度別クロス)

		合計	日常生活のお世話 (買い物、ごみ出し、電球等の交換など)	外出支援 (通院、買い物等への付き添いなど)	高齢者宅に出向いての話し相手	高齢者が入所する施設でのお世話 (話し相手や配膳等の手伝いなど)	その他	無回答
全体		373	45.0	21.4	34.6	16.1	4.3	10.2
圏域	早岐	67	47.8	22.4	40.3	14.9	4.5	7.5
	日宇	41	48.8	26.8	31.7	19.5	2.4	12.2
	山澄	53	37.7	18.9	32.1	20.8	1.9	15.1
	中部	28	42.9	28.6	32.1	17.9	7.1	0.0
	清水	44	36.4	13.6	36.4	15.9	6.8	9.1
	大野	49	46.9	28.6	44.9	20.4	0.0	6.1
	相浦	57	61.4	19.3	22.8	7.0	5.3	10.5
	吉井	26	26.9	11.5	34.6	15.4	7.7	26.9
	宇久	7	28.6	14.3	42.9	0.0	14.3	0.0
要介護度	要支援1	10	40.0	30.0	40.0	10.0	0.0	20.0
	要支援2	6	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0	16.7
	要介護認定は受けていない	339	45.1	22.4	33.9	16.2	4.7	10.0

●圏域別に分析すると、「日常生活のお世話（買い物、ごみ出し、電球等の交換など）」と回答した割合が最も高い圏域は「相浦」（61.4%）、2番目に高いのは「日宇」（48.8%）、3番目に高いのは「早岐」（47.8%）となっています。

●要介護度別に分析すると、「日常生活のお世話（買い物、ごみ出し、電球等の交換など）」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」（45.1%）、2番目に高いのは「要支援1」（40.0%）、3番目に高いのは「要支援2」（0.0%）となっています。

(5) 地域住民の有志による高齢者支援に関するボランティア活動があったとしたら、あなたはどんなことをしてもらいたいと思いますか。



計:1,120人

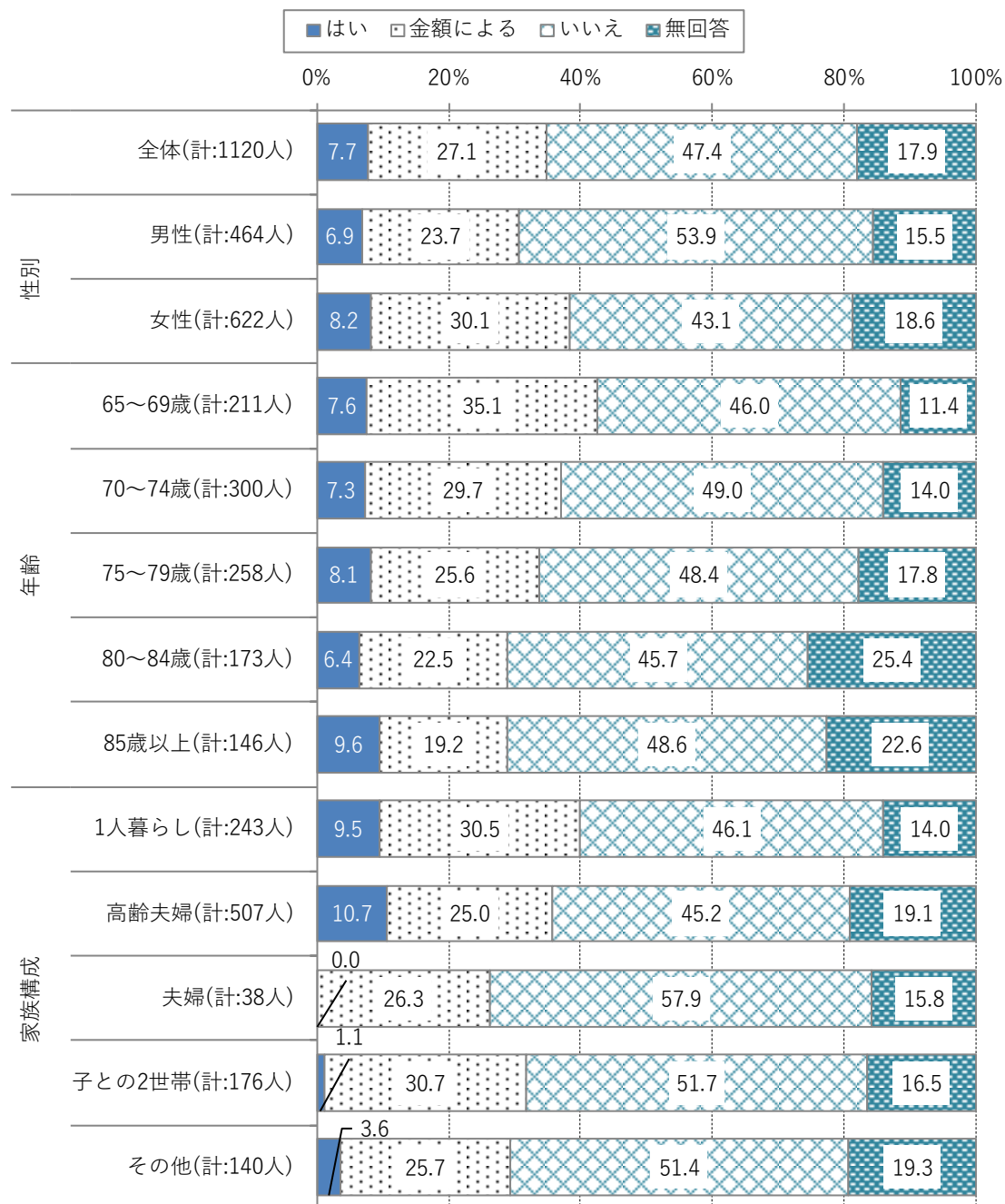
●地域住民の有志による高齢者支援に関するボランティア活動があったとしたら、あなたはどんなことをしてもらいたいと思いますかとたずねたところ、「掃除（窓、網戸、庭、仏壇、墓等）」と回答した人が最も多く、25.2%となっています。次いで、「大型ごみのごみ出し」（21.5%）、「話し相手」（11.1%）と続いています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	掃除（窓、網戸、庭、仏壇、墓等）	洗濯	家具の移動	大型ごみのごみ出し	朝のごみ出し	電球の交換
全体		1,120	25.2	1.7	10.7	21.5	5.1	8.5
圏域	早岐	191	28.3	2.6	11.0	19.9	4.7	9.4
	日宇	121	26.4	3.3	9.1	23.1	7.4	8.3
	山澄	156	23.1	2.6	9.0	17.9	5.8	10.3
	中部	80	25.0	1.3	15.0	25.0	0.0	8.8
	清水	126	24.6	0.0	11.1	21.4	5.6	7.1
	大野	164	25.0	1.2	12.2	25.0	3.7	11.0
	相浦	177	26.0	0.6	11.9	24.9	6.8	5.6
	吉井	89	21.3	2.2	6.7	14.6	5.6	7.9
	宇久	15	13.3	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0
要介護度	要支援1	55	45.5	9.1	7.3	27.3	9.1	14.5
	要支援2	39	38.5	5.1	12.8	23.1	15.4	12.8
	要介護認定は受けていない	965	23.9	1.2	11.2	22.0	4.2	8.3
		合計	布団干し	買い物代行	話し相手	調理	その他	無回答
全体		1,120	4.9	7.0	11.1	5.5	7.2	39.0
圏域	早岐	191	5.2	6.3	14.1	7.3	8.4	37.2
	日宇	121	5.8	7.4	9.9	6.6	7.4	37.2
	山澄	156	5.8	11.5	14.7	8.3	4.5	41.0
	中部	80	5.0	5.0	11.3	2.5	2.5	35.0
	清水	126	2.4	3.2	8.7	4.0	11.9	40.5
	大野	164	6.7	12.2	12.8	7.3	4.9	36.0
	相浦	177	3.4	4.0	9.0	4.0	8.5	36.2
	吉井	89	5.6	4.5	4.5	1.1	9.0	50.6
	宇久	15	0.0	0.0	6.7	0.0	6.7	66.7
要介護度	要支援1	55	14.5	12.7	20.0	10.9	0.0	29.1
	要支援2	39	15.4	12.8	20.5	15.4	2.6	28.2
	要介護認定は受けていない	965	3.8	6.5	9.6	4.8	8.1	39.3

- 圏域別に分析すると、「掃除（窓、網戸、庭、仏壇、墓等）」と回答した割合が最も高い圏域は「早岐」（28.3%）、2番目に高いのは「日宇」（26.4%）、3番目に高いのは「相浦」（26.0%）となっています。
- 要介護度別に分析すると、「掃除（窓、網戸、庭、仏壇、墓等）」と回答した割合が最も高い要介護度は「要支援1」（45.5%）、2番目に高いのは「要支援2」（38.5%）、3番目に高いのは「要介護認定は受けていない」（23.9%）となっています。

(6) (5) において、ボランティア活動を有料でも利用したいですか。



● (5) において、ボランティア活動を有料でも利用したいですかとたずねたところ、「いいえ」と回答した人の割合が最も高く、47.4%となっています。次いで、「金額による」(27.1%)、「はい」(7.7%)と続いています。

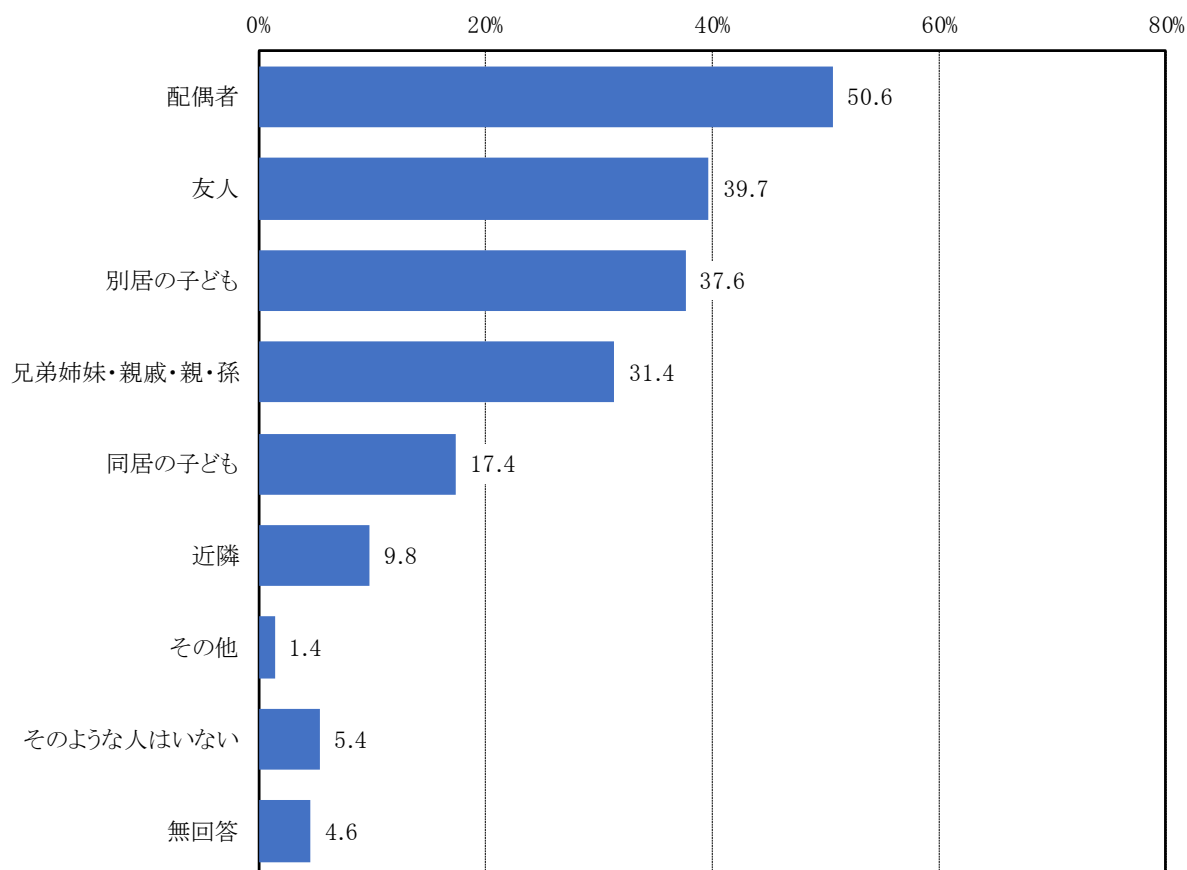
(圏域・要介護度別クロス)

		合計	はい	金額による	いいえ	無回答
全体		1,120	7.7	27.1	47.4	17.9
圏域	早岐	191	7.9	24.6	50.3	17.3
	日宇	121	9.9	29.8	47.1	13.2
	山澄	156	9.0	30.8	44.9	15.4
	中部	80	11.3	30.0	45.0	13.8
	清水	126	6.3	19.8	50.8	23.0
	大野	164	8.5	26.2	49.4	15.9
	相浦	177	6.2	28.2	47.5	18.1
	吉井	89	3.4	29.2	42.7	24.7
	宇久	15	0.0	20.0	33.3	46.7
要介護度	要支援1	55	7.3	36.4	36.4	20.0
	要支援2	39	7.7	30.8	48.7	12.8
	要介護認定は受けていない	965	8.0	27.2	48.0	16.9

- 圏域別に分析すると、「いいえ」と回答した割合が最も高い圏域は「清水」(50.8%)、2番目に高いのは「早岐」(50.3%)、3番目に高いのは「大野」(49.4%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「いいえ」と回答した割合が最も高い要介護度は「要支援2」(48.7%)、2番目に高いのは「要介護認定は受けていない」(48.0%)、3番目に高いのは「要支援1」(36.4%)となっています。

問6 たすけあいについて

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人



計:1,120人

- あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人についてたずねたところ、「配偶者」と回答した人が最も多く、50.6%となっています。次いで、「友人」（39.7%）、「別居の子ども」（37.6%）と続いています。

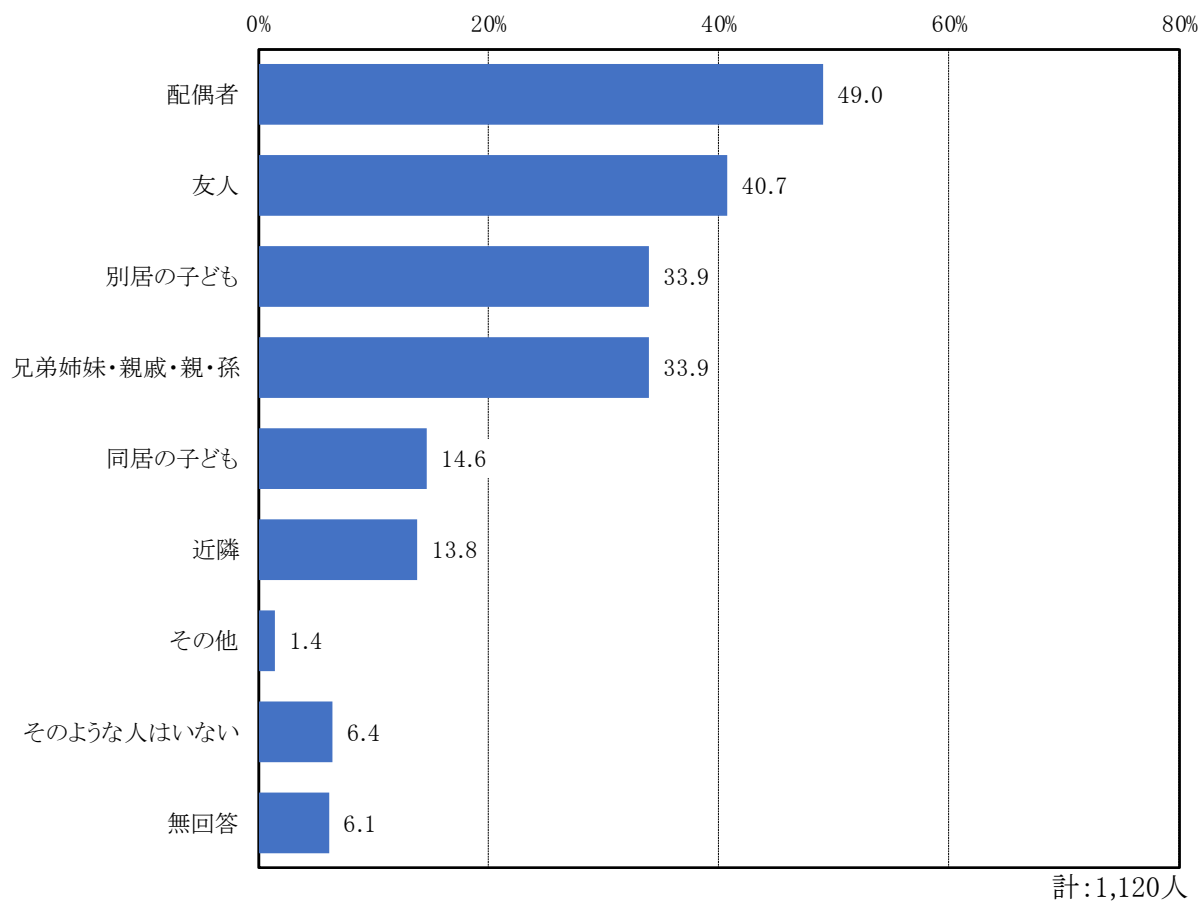
(圏域・要介護度別クロス)

		合計	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・ 親戚・親・ 孫	近隣	友人	その他	そのような 人はいない	無回答
全体		1,120	50.6	17.4	37.6	31.4	9.8	39.7	1.4	5.4	4.6
圏域	早岐	191	53.4	18.3	35.6	27.7	11.0	41.4	1.0	5.8	6.8
	日宇	121	47.9	17.4	39.7	24.0	9.9	39.7	0.8	6.6	4.1
	山澄	156	42.9	15.4	33.3	34.0	8.3	37.8	2.6	7.1	3.8
	中部	80	43.8	10.0	37.5	27.5	3.8	45.0	1.3	11.3	3.8
	清水	126	53.2	15.1	41.3	34.1	10.3	43.7	1.6	3.2	7.1
	大野	164	51.2	17.1	35.4	31.1	11.6	46.3	1.2	3.7	0.6
	相浦	177	58.2	22.0	41.2	33.9	10.7	29.4	2.3	4.0	4.5
	吉井	89	48.3	21.3	37.1	40.4	10.1	36.0	0.0	3.4	5.6
	宇久	15	46.7	13.3	40.0	33.3	6.7	46.7	0.0	6.7	6.7
要介護度	要支援1	55	27.3	16.4	43.6	23.6	20.0	41.8	1.8	9.1	7.3
	要支援2	39	41.0	33.3	33.3	28.2	12.8	28.2	0.0	5.1	2.6
	要介護認定は受けていない	965	53.2	16.5	38.4	32.3	8.8	40.6	1.3	5.0	3.9

圏域別に分析すると、「配偶者」と回答した割合が最も高い圏域は「相浦」(58.2%)、2番目に高いのは「早岐」(53.4%)、3番目に高いのは「清水」(53.2%)となっています。

要介護度別に分析すると、「配偶者」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(53.2%)、2番目に高いのは「要支援2」(41.0%)、3番目に高いのは「要支援1」(27.3%)となっています。

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人



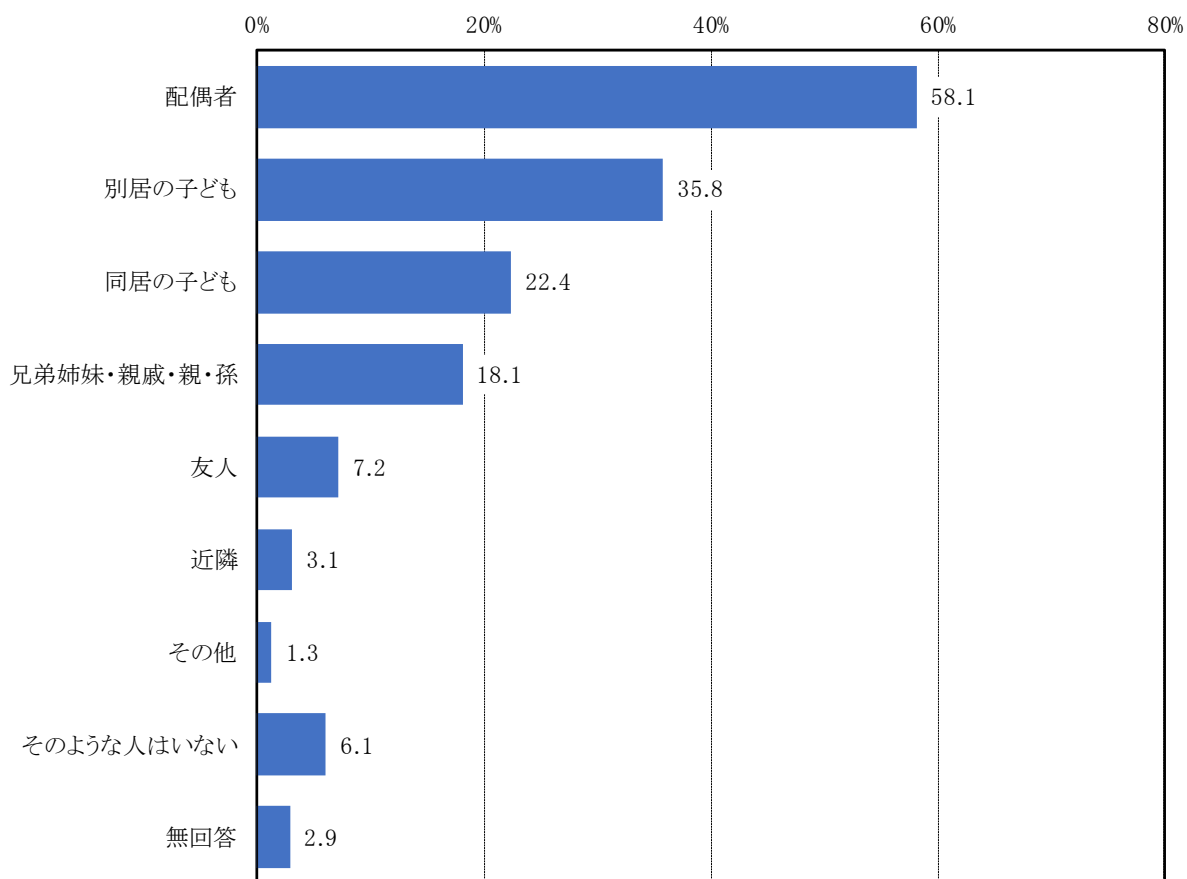
- あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人についてたずねたところ、「配偶者」と回答した人が最も多く、49.0%となっています。次いで、「友人」（40.7%）、「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（33.9%）と続いています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・ 親戚・親・ 孫	近隣	友人	その他	そのような 人はいない	無回答
全体		1,120	49.0	14.6	33.9	33.9	13.8	40.7	1.4	6.4	6.1
圏域	早岐	191	50.3	15.7	33.0	29.3	19.9	39.3	1.0	6.8	7.3
	日宇	121	46.3	18.2	39.7	33.9	11.6	41.3	0.8	7.4	4.1
	山澄	156	39.1	12.2	24.4	37.2	10.9	37.8	1.3	9.0	7.7
	中部	80	47.5	10.0	31.3	33.8	5.0	48.8	2.5	10.0	6.3
	清水	126	53.2	11.9	42.9	36.5	11.9	42.9	2.4	4.0	9.5
	大野	164	51.2	12.8	32.9	29.9	16.5	48.8	1.8	4.9	1.8
	相浦	177	56.5	18.1	37.9	35.0	13.6	28.8	1.7	5.6	4.0
	吉井	89	46.1	16.9	30.3	38.2	16.9	44.9	0.0	4.5	10.1
	宇久	15	33.3	6.7	20.0	46.7	6.7	46.7	0.0	6.7	6.7
要介護度	要支援1	55	23.6	9.1	27.3	27.3	16.4	38.2	0.0	14.5	9.1
	要支援2	39	33.3	15.4	23.1	35.9	15.4	28.2	0.0	12.8	7.7
	要介護認定は受 けていない	965	52.0	14.7	35.2	34.4	13.6	42.1	1.7	5.4	5.0

- 圏域別に分析すると、「配偶者」と回答した割合が最も高い圏域は「相浦」(56.5%)、2番目に高いのは「清水」(53.2%)、3番目に高いのは「大野」(51.2%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「配偶者」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(52.0%)、2番目に高いのは「要支援2」(33.3%)、3番目に高いのは「要支援1」(23.6%)となっています。

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人



計:1,120人

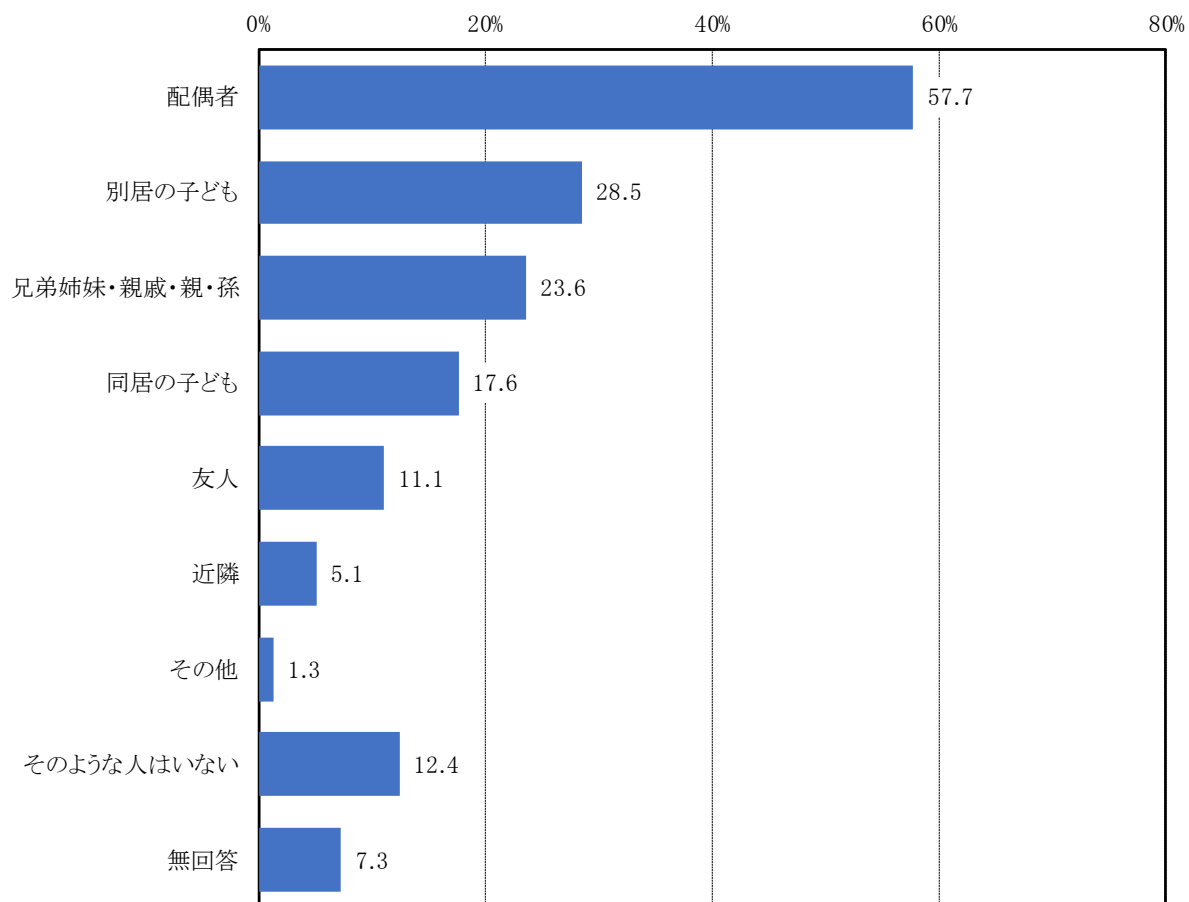
- あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人についてたずねたところ、「配偶者」と回答した人が最も多く、58.1%となっています。次いで、「別居の子ども」(35.8%)、「同居の子ども」(22.4%)と続いています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・ 親戚・親・ 孫	近隣	友人	その他	そのような 人はいない	無回答
全体		1,120	58.1	22.4	35.8	18.1	3.1	7.2	1.3	6.1	2.9
圏域	早岐	191	58.1	26.7	33.5	13.1	3.1	5.8	1.6	8.4	2.1
	日宇	121	59.5	22.3	33.1	18.2	3.3	3.3	1.7	7.4	0.8
	山澄	156	46.8	21.2	26.9	21.8	3.8	9.6	1.9	7.1	5.8
	中部	80	53.8	12.5	36.3	13.8	1.3	10.0	1.3	11.3	1.3
	清水	126	62.7	17.5	42.9	16.7	2.4	9.5	0.8	4.0	6.3
	大野	164	59.1	24.4	40.2	12.8	3.0	7.3	1.2	3.7	1.2
	相浦	177	61.0	24.9	39.5	20.9	3.4	5.1	0.6	5.6	2.8
	吉井	89	66.3	24.7	37.1	29.2	3.4	9.0	1.1	1.1	2.2
	宇久	15	53.3	13.3	13.3	40.0	6.7	6.7	0.0	6.7	6.7
要介護度	要支援1	55	32.7	21.8	43.6	16.4	9.1	5.5	1.8	14.5	7.3
	要支援2	39	43.6	38.5	35.9	20.5	0.0	2.6	0.0	7.7	2.6
	要介護認定は受けていない	965	60.9	21.7	35.9	18.2	3.1	7.6	1.1	5.4	2.5

- 圏域別に分析すると、「配偶者」と回答した割合が最も高い圏域は「吉井」(66.3%)、2番目に高いのは「清水」(62.7%)、3番目に高いのは「相浦」(61.0%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「配偶者」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(60.9%)、2番目に高いのは「要支援2」(43.6%)、3番目に高いのは「要支援1」(32.7%)となっています。

(4) 反対に、看病や世話をしあける人



計:1,120人

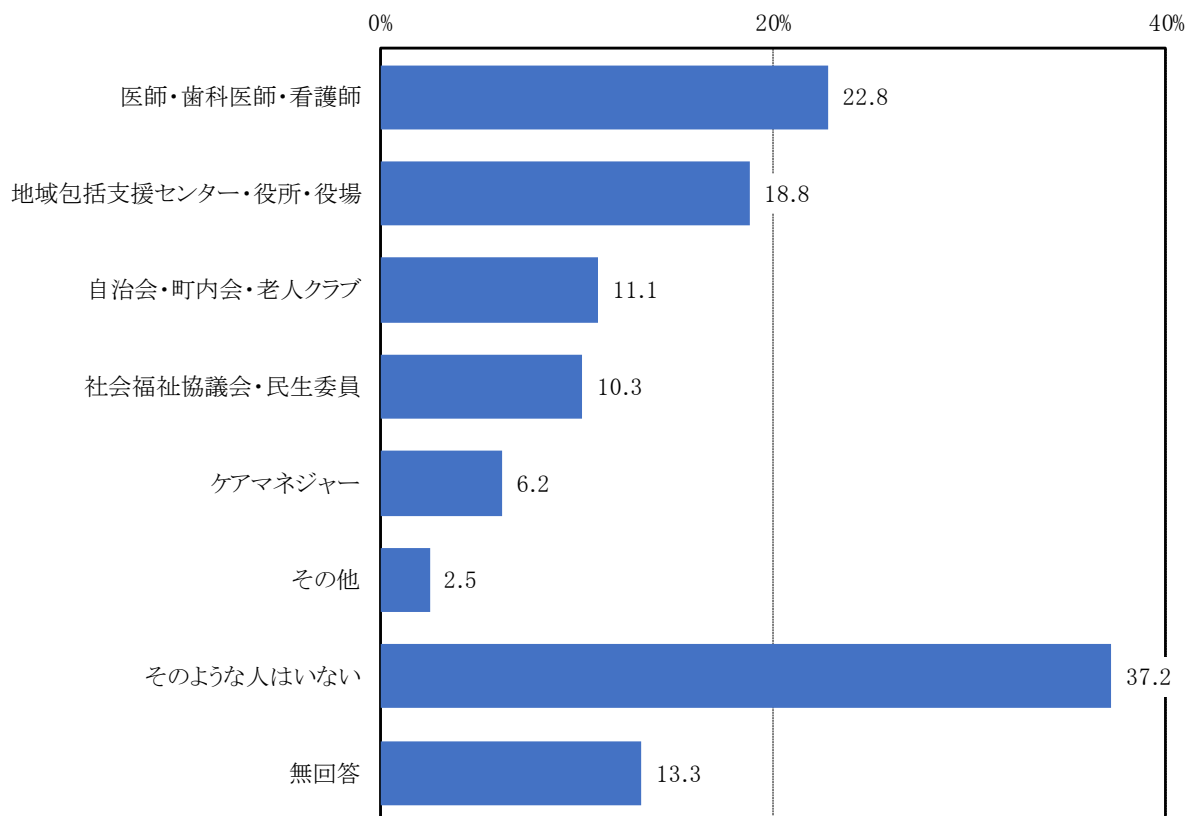
- 看病や世話をしあける人についてたずねたところ、「配偶者」と回答した人が最も多く、57.7%となっています。次いで、「別居の子ども」(28.5%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(23.6%)と続いています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・ 親戚・親・ 孫	近隣	友人	その他	そのような 人はいない	無回答
全体		1,120	57.7	17.6	28.5	23.6	5.1	11.1	1.3	12.4	7.3
圏域	早岐	191	62.3	23.0	27.2	20.4	6.3	8.4	2.6	8.9	4.7
	日宇	121	57.0	16.5	28.1	24.8	5.8	10.7	3.3	13.2	5.8
	山澄	156	50.0	16.7	26.3	23.7	4.5	14.1	0.6	16.0	7.7
	中部	80	52.5	11.3	31.3	30.0	2.5	11.3	1.3	16.3	6.3
	清水	126	58.7	11.9	33.3	24.6	6.3	12.7	1.6	11.9	8.7
	大野	164	58.5	17.1	31.1	17.1	6.7	11.6	0.0	11.0	8.5
	相浦	177	59.3	18.1	28.2	23.2	2.8	7.9	1.1	14.1	9.0
	吉井	89	61.8	23.6	24.7	34.8	4.5	12.4	0.0	9.0	6.7
	宇久	15	46.7	13.3	6.7	20.0	6.7	20.0	0.0	13.3	13.3
要介護度	要支援1	55	25.5	10.9	14.5	12.7	5.5	9.1	3.6	25.5	21.8
	要支援2	39	35.9	10.3	5.1	7.7	0.0	5.1	7.7	30.8	15.4
	要介護認定は受けていない	965	61.0	18.2	30.8	25.3	5.5	11.3	0.8	10.5	5.7

- 圏域別に分析すると、「配偶者」と回答した割合が最も高い圏域は「早岐」(62.3%)、2番目に高いのは「吉井」(61.8%)、3番目に高いのは「相浦」(59.3%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「配偶者」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(61.0%)、2番目に高いのは「要支援2」(35.9%)、3番目に高いのは「要支援1」(25.5%)となっています。

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。



計:1,120人

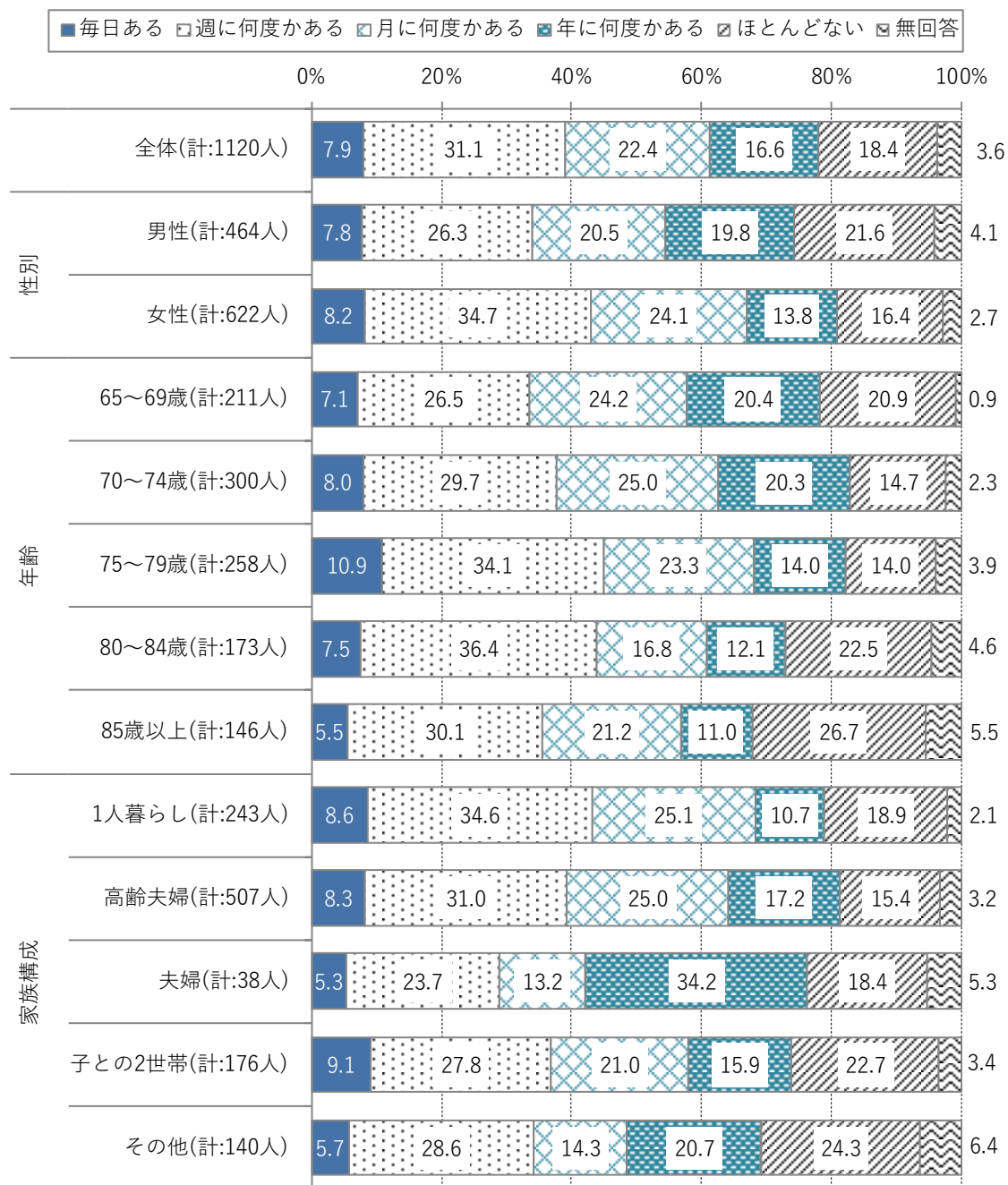
- 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手についてたずねたところ、「そのような人はいない」と回答した人が最も多く、37.2%となっています。次いで、「医師・歯科医師・看護師」(22.8%)、「地域包括支援センター・役所・役場」(18.8%)と続いています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役所・役場	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,120	11.1	10.3	6.2	22.8	18.8	2.5	37.2	13.3
圏域	早岐	191	18.8	9.9	5.8	19.9	22.0	1.6	35.6	12.6
	日宇	121	9.1	9.9	5.0	24.8	20.7	0.8	39.7	11.6
	山澄	156	9.0	6.4	9.6	15.4	19.2	2.6	39.7	16.7
	中部	80	10.0	3.8	3.8	22.5	17.5	2.5	43.8	6.3
	清水	126	9.5	15.1	6.3	36.5	16.7	1.6	23.0	13.5
	大野	164	9.1	12.2	7.9	23.8	22.0	2.4	39.6	10.4
	相浦	177	11.3	7.9	5.6	19.2	11.9	4.5	44.6	15.8
	吉井	89	7.9	16.9	3.4	24.7	20.2	3.4	32.6	15.7
	宇久	15	6.7	20.0	0.0	20.0	20.0	6.7	13.3	26.7
要介護度	要支援1	55	10.9	10.9	40.0	29.1	45.5	0.0	14.5	9.1
	要支援2	39	2.6	5.1	43.6	23.1	38.5	0.0	20.5	7.7
	要介護認定は受けていない	965	11.0	10.6	2.7	23.1	16.7	2.9	39.4	13.1

- 圏域別に分析すると、「そのような人はいない」と回答した割合が最も高い圏域は「相浦」(44.6%)、2番目に高いのは「中部」(43.8%)、3番目に高いのは「日宇」(39.7%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「そのような人はいない」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(39.4%)、2番目に高いのは「要支援2」(20.5%)、3番目に高いのは「要支援1」(14.5%)となっています。

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。



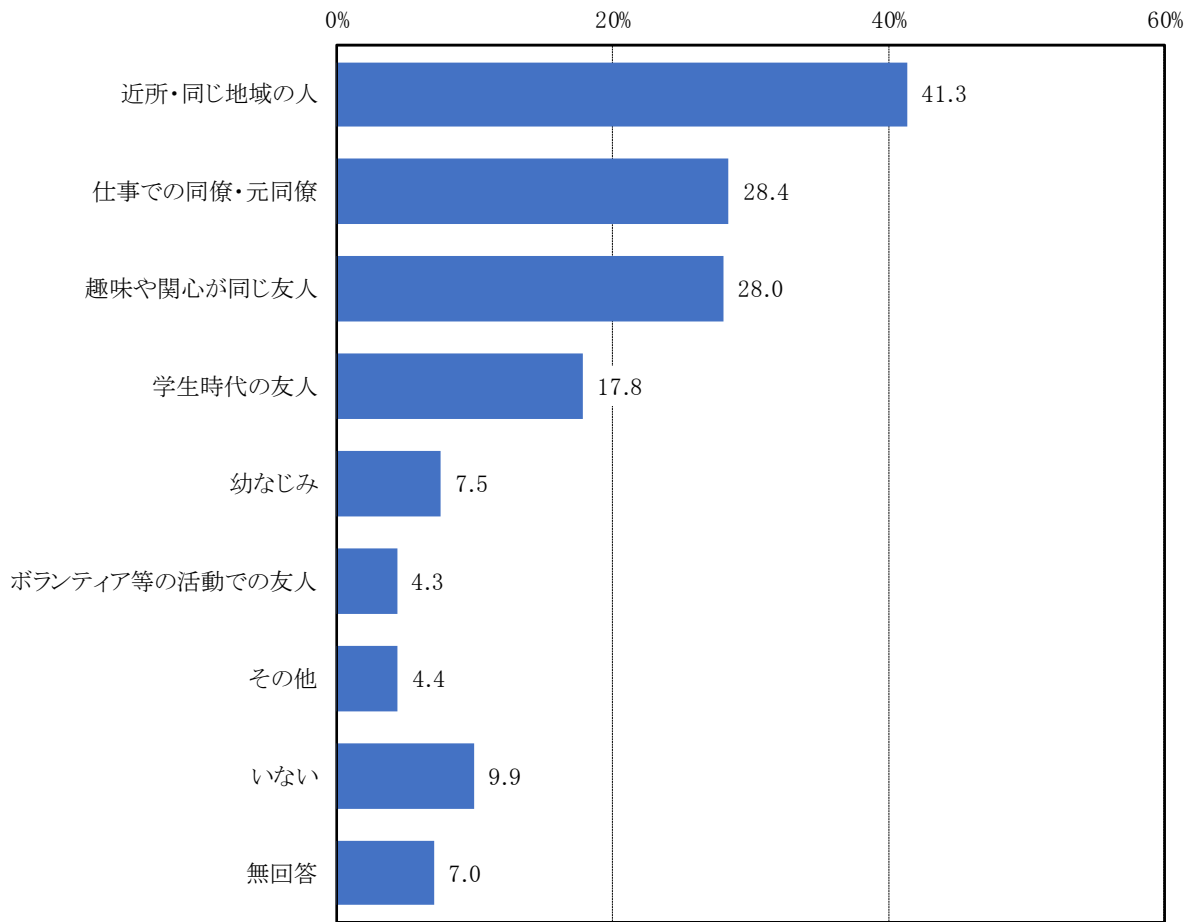
●友人・知人と会う頻度はどれくらいですかとたずねたところ、「週に何度かある」と回答した人の割合が最も高く、31.1%となっています。次いで、「月に何度かある」(22.4%)、「ほとんどない」(18.4%)と続いています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全体		1,120	7.9	31.1	22.4	16.6	18.4	3.6
圏域	早岐	191	9.4	33.0	24.1	13.1	17.3	3.1
	日宇	121	4.1	29.8	22.3	19.8	21.5	2.5
	山澄	156	5.8	36.5	17.3	18.6	19.2	2.6
	中部	80	3.8	32.5	30.0	15.0	18.8	0.0
	清水	126	13.5	22.2	21.4	17.5	18.3	7.1
	大野	164	7.3	30.5	25.6	17.1	16.5	3.0
	相浦	177	6.8	31.6	20.3	18.6	18.1	4.5
	吉井	89	11.2	28.1	20.2	14.6	20.2	5.6
	宇久	15	20.0	46.7	20.0	0.0	13.3	0.0
要介護度	要支援1	55	1.8	29.1	27.3	10.9	29.1	1.8
	要支援2	39	0.0	17.9	23.1	12.8	41.0	5.1
	要介護認定は受けていない	965	8.8	31.5	22.4	17.4	16.6	3.3

- 圏域別に分析すると、「週に何度かある」と回答した割合が最も高い圏域は「宇久」(46.7%)、2番目に高いのは「山澄」(36.5%)、3番目に高いのは「早岐」(33.0%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「週に何度かある」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(31.5%)、2番目に高いのは「要支援1」(29.1%)、3番目に高いのは「要支援2」(17.9%)となっています。

(7) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。



計:1,120人

- よく会う友人・知人はどんな関係の人ですかとたずねたところ、「近所・同じ地域の人」と回答した人が最も多く、41.3%となっています。次いで、「仕事での同僚・元同僚」(28.4%)、「趣味や関心が同じ友人」(28.0%)、「学生時代の友人」(17.8%)と続いています。

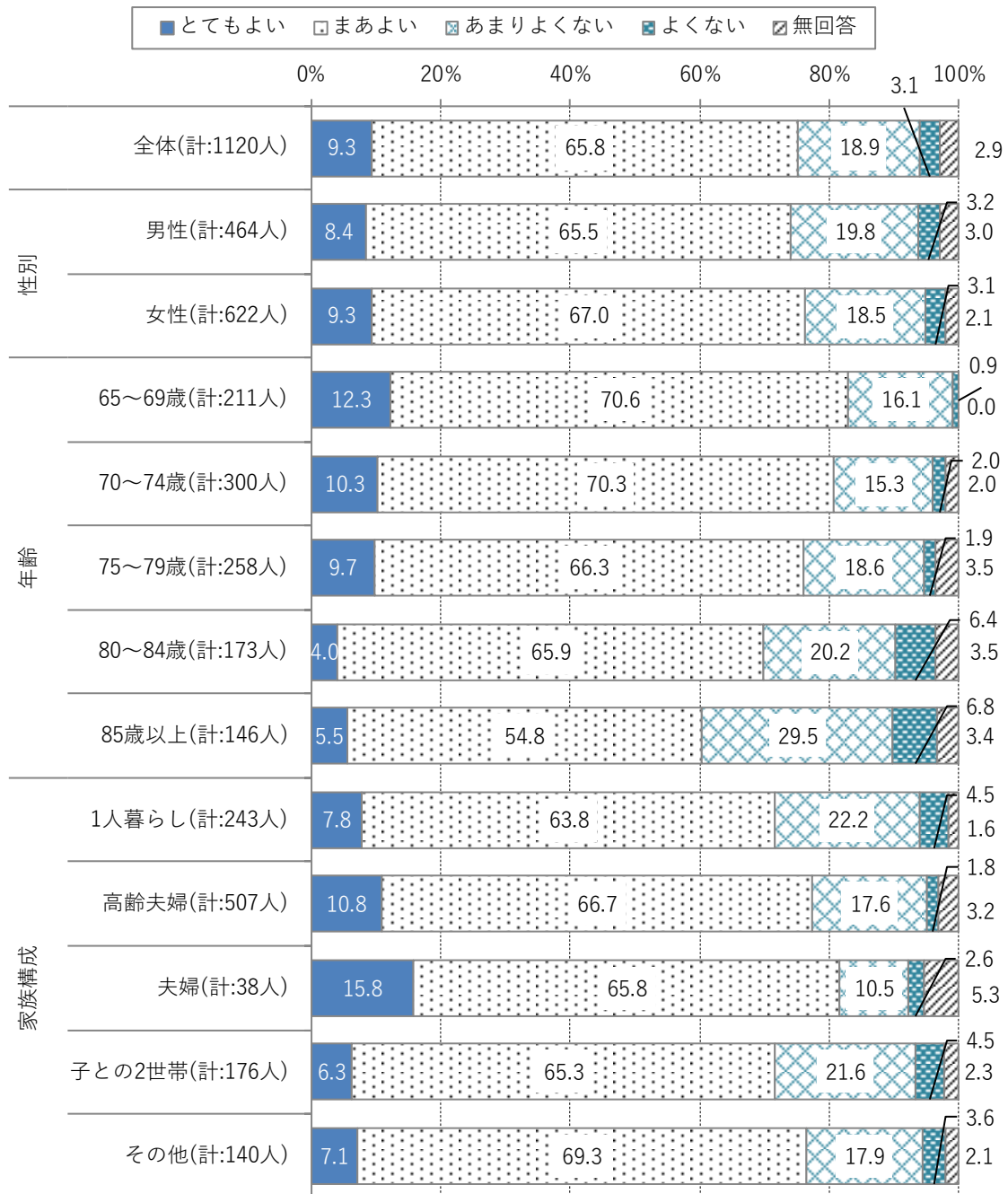
(圏域・要介護度別クロス)

		合計	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
全体		1,120	41.3	7.5	17.8	28.4	28.0	4.3	4.4	9.9	7.0
圏域	早岐	191	49.2	8.9	17.8	28.8	28.3	6.3	1.6	8.9	4.7
	日宇	121	36.4	9.9	18.2	25.6	28.1	4.1	5.0	11.6	5.0
	山澄	156	32.7	3.8	21.2	27.6	27.6	3.2	4.5	10.9	9.0
	中部	80	32.5	10.0	21.3	28.8	41.3	6.3	6.3	7.5	2.5
	清水	126	32.5	6.3	20.6	24.6	31.0	4.0	4.8	10.3	13.5
	大野	164	40.9	5.5	18.9	32.9	24.4	4.9	4.9	7.9	6.7
	相浦	177	45.8	6.2	11.9	28.8	29.4	2.8	5.6	12.4	5.6
	吉井	89	51.7	7.9	12.4	28.1	19.1	2.2	3.4	9.0	9.0
	宇久	15	73.3	40.0	20.0	26.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7
要介護度	要支援1	55	45.5	3.6	7.3	21.8	20.0	1.8	9.1	14.5	12.7
	要支援2	39	25.6	0.0	7.7	12.8	12.8	2.6	2.6	28.2	12.8
	要介護認定は受けていない	965	42.0	7.7	19.2	29.9	29.3	4.7	4.0	8.8	5.7

- 圏域別に分析すると、「近所・同じ地域の人」と回答した割合が最も高い圏域は「宇久」(73.3%)、2番目に高いのは「吉井」(51.7%)、3番目に高いのは「早岐」(49.2%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「近所・同じ地域の人」と回答した割合が最も高い要介護度は「要支援1」(45.5%)、2番目に高いのは「要介護認定は受けていない」(42.0%)、3番目に高いのは「要支援2」(25.6%)となっています。

問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。



●現在のあなたの健康状態はいかがですかとたずねたところ、「とてもよい」「まあよい」と回答した人の割合は75.1%となっています。一方、「あまりよくない」「よくない」と回答した人の割合は22.0%となっています。

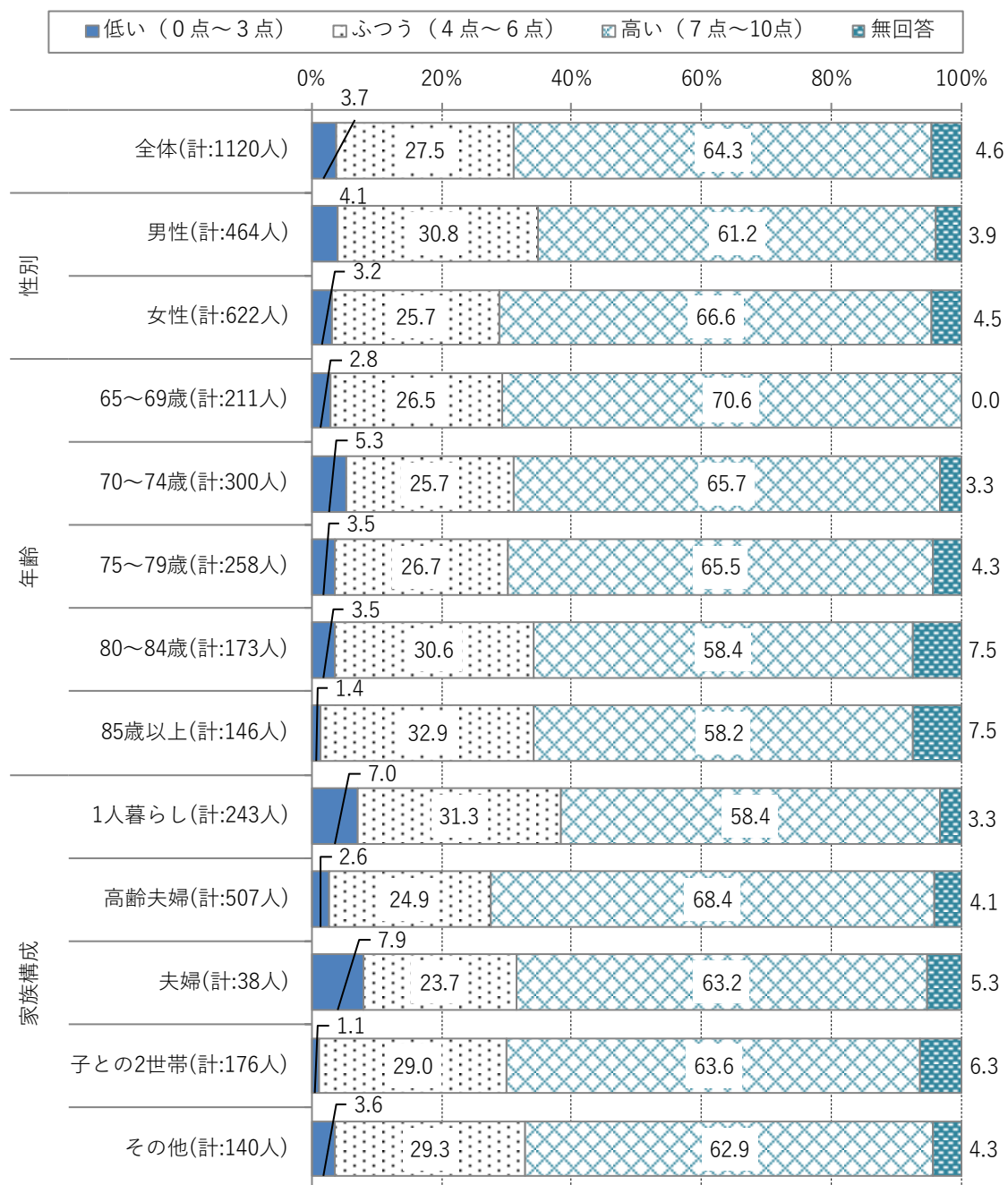
●年齢階層別にみると、加齢に伴って「とてもよい」又は「まあよい」と回答した人の割合が減少する傾向にあり、65～69歳では82.9%であったのが、85歳以上では60.3%になっています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
全体		1,120	9.3	65.8	18.9	3.1	2.9
圏域	早岐	191	12.6	68.1	14.7	3.1	1.6
	日宇	121	5.0	68.6	19.0	4.1	3.3
	山澄	156	9.0	65.4	21.2	0.6	3.8
	中部	80	7.5	71.3	20.0	1.3	0.0
	清水	126	13.5	63.5	16.7	2.4	4.0
	大野	164	10.4	59.8	24.4	3.0	2.4
	相浦	177	7.9	65.0	20.3	3.4	3.4
	吉井	89	6.7	65.2	14.6	9.0	4.5
	宇久	15	0.0	86.7	13.3	0.0	0.0
要介護度	要支援1	55	1.8	43.6	40.0	10.9	3.6
	要支援2	39	2.6	15.4	51.3	25.6	5.1
	要介護認定は受けていない	965	9.9	69.9	15.8	1.9	2.5

- 圏域別に分析すると、「まあよい」と回答した割合が最も高い圏域は「宇久」(86.7%)、2番目に高いのは「中部」(71.3%)、3番目に高いのは「日宇」(68.6%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「まあよい」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(69.9%)、2番目に高いのは「要支援1」(43.6%)、3番目に高いのは「要支援2」(15.4%)となっています。

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)



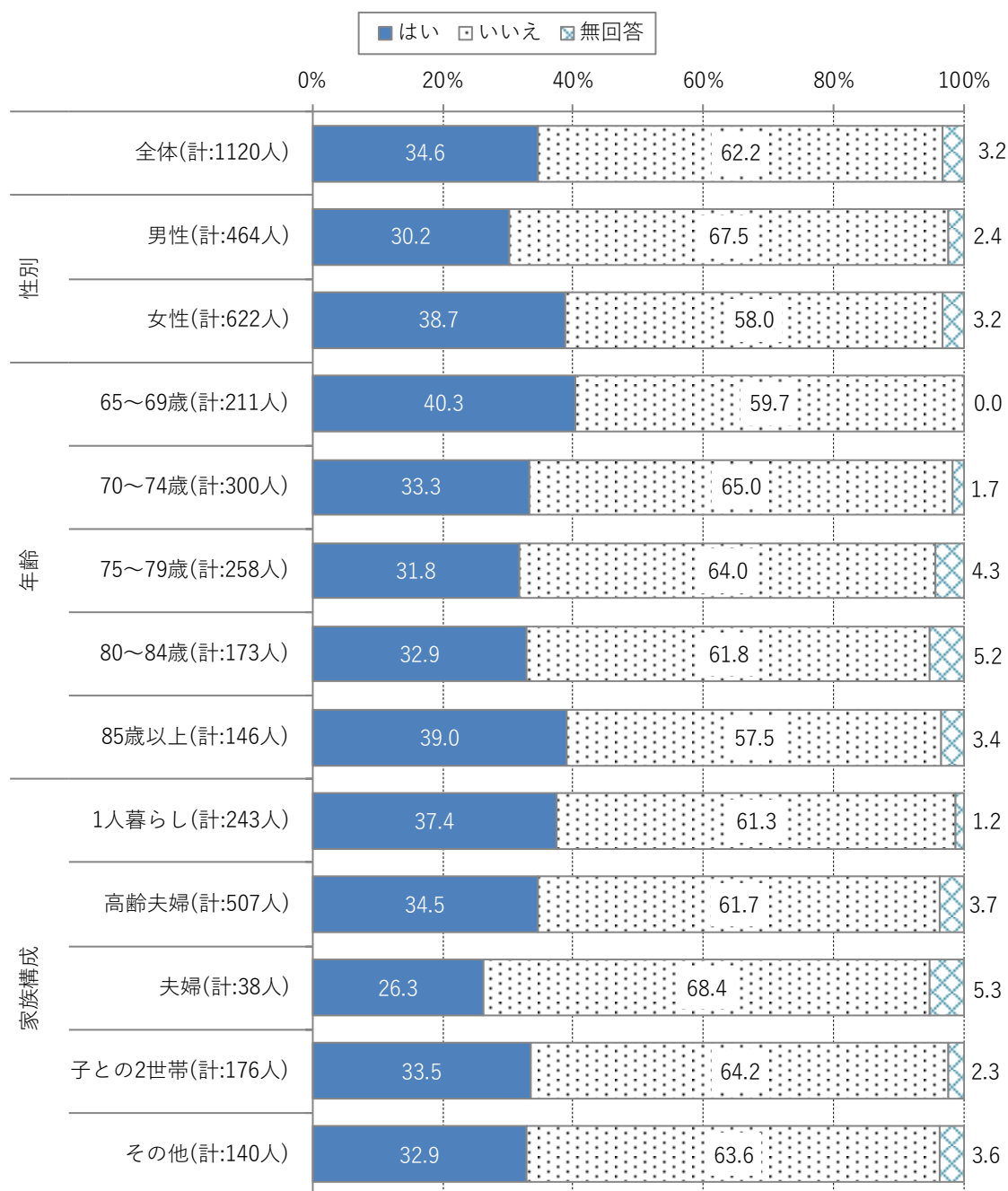
- あなたは、現在どの程度幸せですか(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)とたずねたところ、「高い(7点~10点)」と回答した人の割合は64.3%となっています。一方、「低い(0点~3点)」と回答した人の割合は、3.7%となっています。
- 家族構成別にみると、「低い(0点~3点)」と回答した人の割合は「夫婦」が比較的高くなっており、7.9%となっています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	低い(0点 ~3点)	ふつう(4 点~6点)	高い(7点 ~10点)	無回答
全体		1,120	3.7	27.5	64.3	4.6
圏 域	早岐	191	4.7	22.5	68.6	4.2
	日宇	121	2.5	30.6	64.5	2.5
	山澄	156	3.2	31.4	59.0	6.4
	中部	80	6.3	32.5	58.8	2.5
	清水	126	3.2	27.0	65.1	4.8
	大野	164	3.7	30.5	61.0	4.9
	相浦	177	2.3	25.4	67.8	4.5
	吉井	89	4.5	22.5	67.4	5.6
	宇久	15	6.7	26.7	60.0	6.7
要 介 護 度	要支援1	55	7.3	47.3	40.0	5.5
	要支援2	39	5.1	41.0	46.2	7.7
	要介護認定は受 けていない	965	3.3	25.5	67.2	4.0

- 圏域別に分析すると、「高い(7点~10点)」と回答した割合が最も高い圏域は「早岐」(68.6%)、2番目に高いのは「相浦」(67.8%)、3番目に高いのは「吉井」(67.4%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「高い(7点~10点)」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(67.2%)、2番目に高いのは「要支援2」(46.2%)、3番目に高いのは「要支援1」(40.0%)となっています。

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。



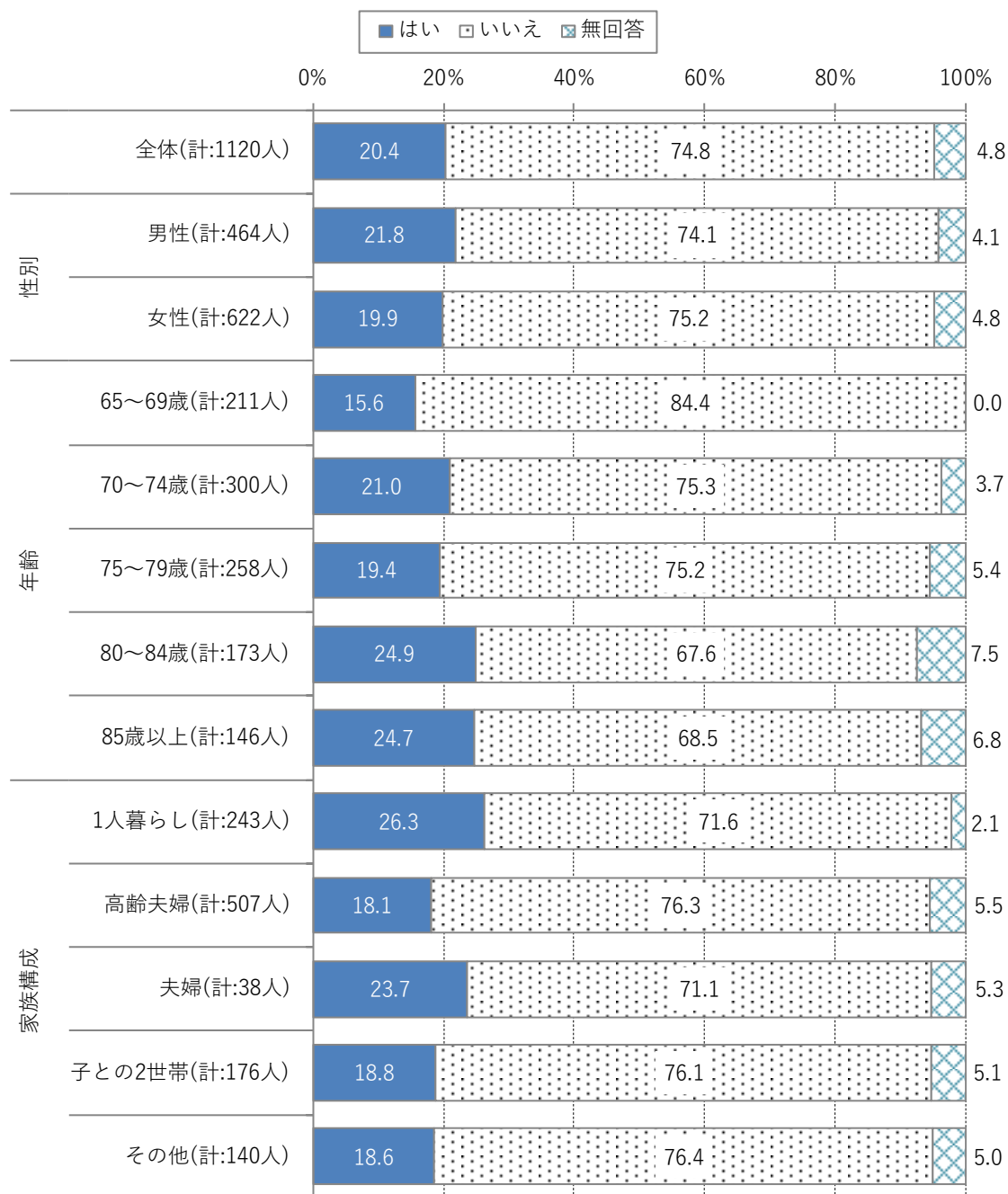
●この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は34.6%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は62.2%となっています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	はい	いいえ	無回答
全体		1,120	34.6	62.2	3.2
圏域	早岐	191	35.1	63.4	1.6
	日宇	121	24.8	73.6	1.7
	山澄	156	35.3	59.6	5.1
	中部	80	41.3	58.8	0.0
	清水	126	33.3	62.7	4.0
	大野	164	36.0	60.4	3.7
	相浦	177	32.2	63.3	4.5
	吉井	89	44.9	51.7	3.4
	宇久	15	26.7	66.7	6.7
要介護度	要支援1	55	54.5	45.5	0.0
	要支援2	39	51.3	43.6	5.1
	要介護認定は受けていない	965	32.4	64.7	2.9

- 圏域別に分析すると、「いいえ」と回答した割合が最も高い圏域は「日宇」(73.6%)、2番目に高いのは「宇久」(66.7%)、3番目に高いのは「早岐」(63.4%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「いいえ」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(64.7%)、2番目に高いのは「要支援1」(45.5%)、3番目に高いのは「要支援2」(43.6%)となっています。

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。



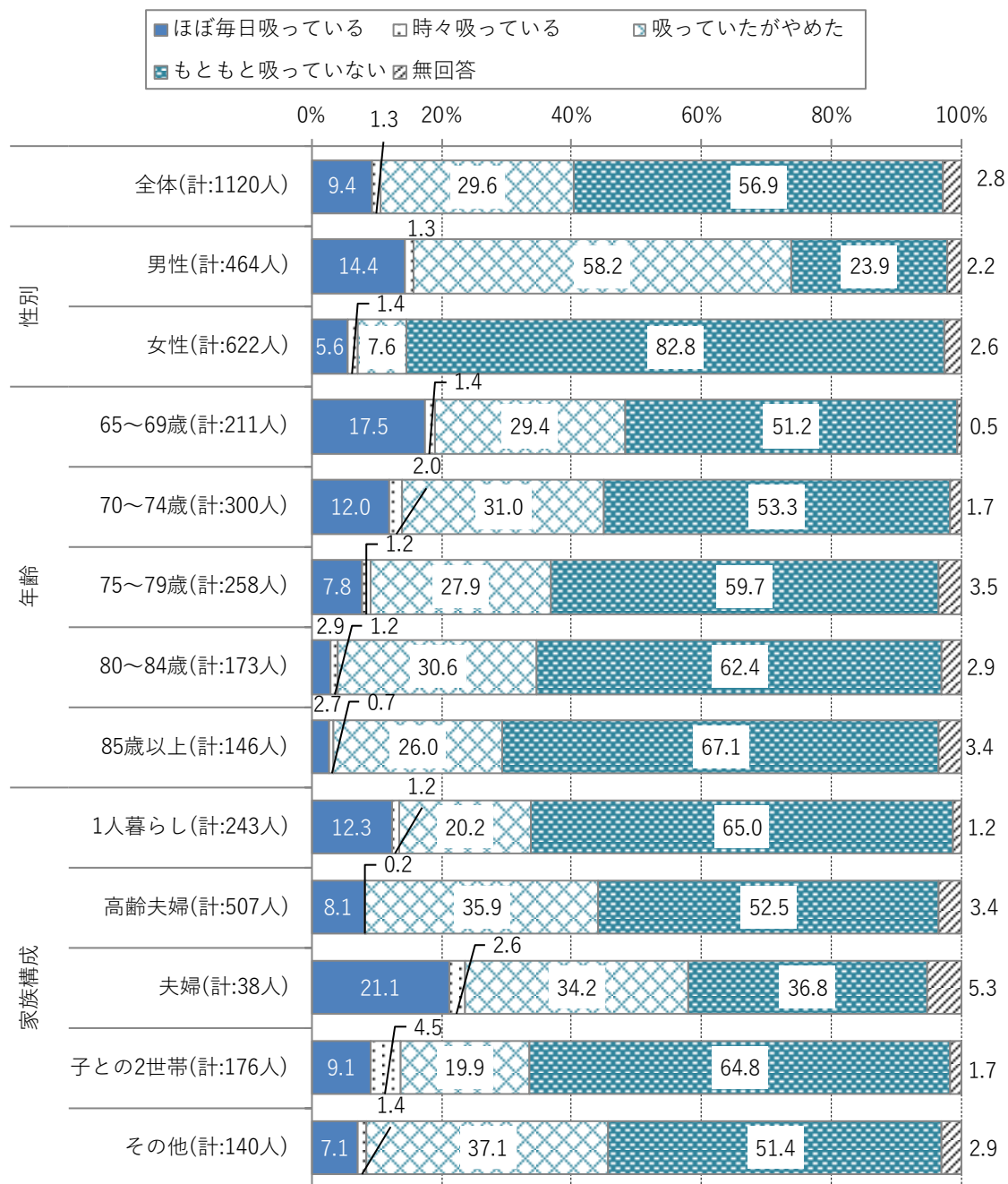
●この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は20.4%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は74.8%となっています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	はい	いいえ	無回答
全体		1,120	20.4	74.8	4.8
圏域	早岐	191	21.5	75.4	3.1
	日宇	121	16.5	78.5	5.0
	山澄	156	21.2	71.8	7.1
	中部	80	25.0	75.0	0.0
	清水	126	13.5	81.0	5.6
	大野	164	22.6	70.7	6.7
	相浦	177	22.0	72.9	5.1
	吉井	89	21.3	75.3	3.4
	宇久	15	13.3	80.0	6.7
要介護度	要支援1	55	40.0	60.0	0.0
	要支援2	39	46.2	48.7	5.1
	要介護認定は受けていない	965	17.7	77.6	4.7

- 圏域別に分析すると、「いいえ」と回答した割合が最も高い圏域は「清水」(81.0%)、2番目に高いのは「宇久」(80.0%)、3番目に高いのは「日宇」(78.5%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「いいえ」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(77.6%)、2番目に高いのは「要支援1」(60.0%)、3番目に高いのは「要支援2」(48.7%)となっています。

(5) タバコは吸っていますか。



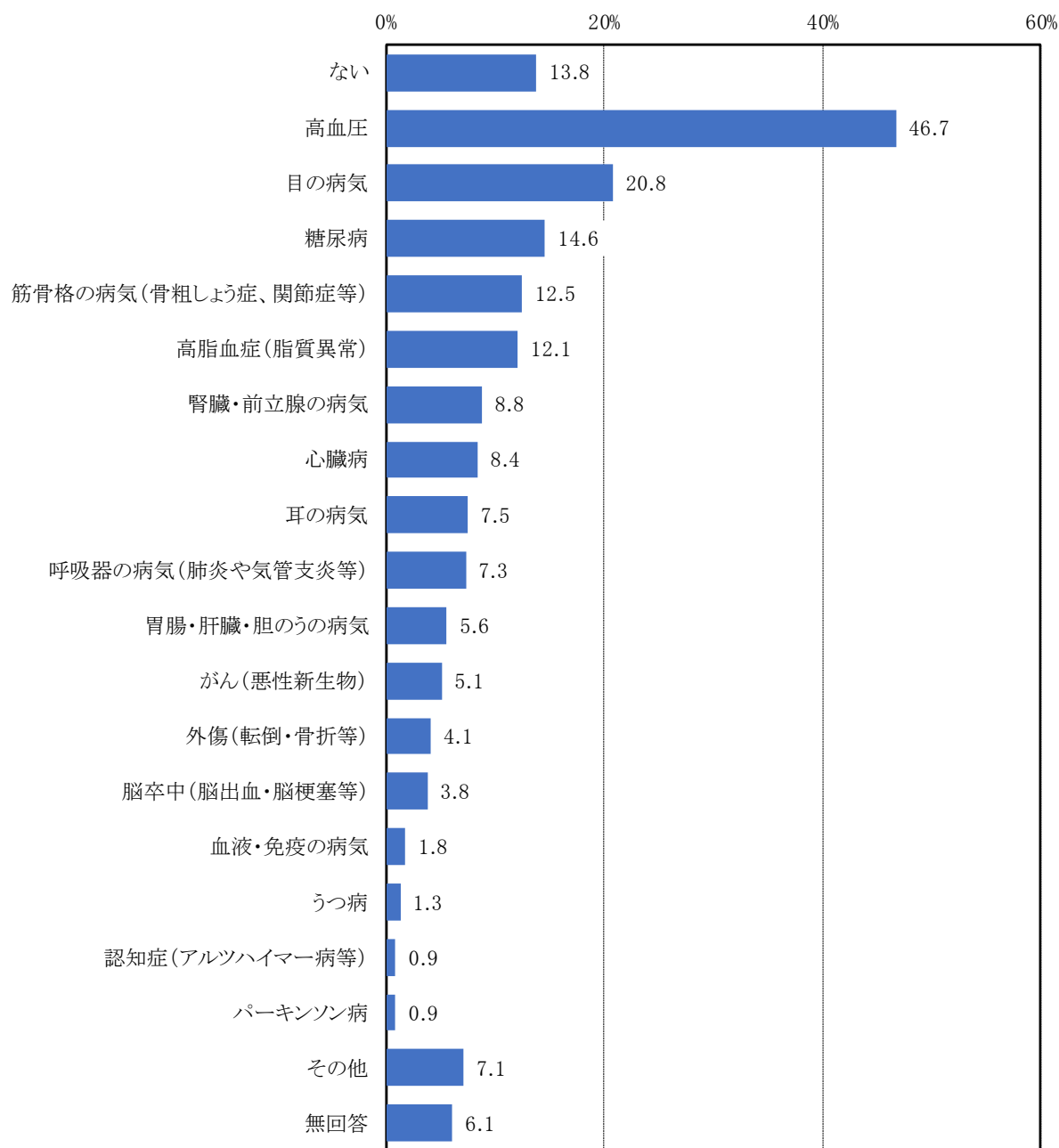
●タバコは吸っていますかとたずねたところ、「もともと吸っていない」と回答した人の割合が最も高く、56.9%となっています。次いで、「吸っていたがやめた」(29.6%)、「ほぼ毎日吸っている」(9.4%)と続いています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	ほぼ毎日 吸っている	時々吸って いる	吸っていた がやめた	もともと 吸っていない	無回答
全体		1,120	9.4	1.3	29.6	56.9	2.8
圏 域	早岐	191	6.3	2.1	28.3	61.8	1.6
	日宇	121	12.4	1.7	33.9	49.6	2.5
	山澄	156	8.3	1.9	29.5	56.4	3.8
	中部	80	10.0	1.3	35.0	53.8	0.0
	清水	126	9.5	1.6	28.6	57.1	3.2
	大野	164	11.0	0.0	24.4	62.2	2.4
	相浦	177	9.0	0.6	35.0	52.0	3.4
	吉井	89	11.2	1.1	22.5	60.7	4.5
	宇久	15	0.0	6.7	33.3	53.3	6.7
要 介 護 度	要支援1	55	1.8	0.0	23.6	74.5	0.0
	要支援2	39	12.8	5.1	17.9	59.0	5.1
	要介護認定は受 けていない	965	9.7	1.2	30.3	56.1	2.7

- 圏域別に分析すると、「もともと吸っていない」と回答した割合が最も高い圏域は「大野」(62.2%)、2番目に高いのは「早岐」(61.8%)、3番目に高いのは「吉井」(60.7%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「もともと吸っていない」と回答した割合が最も高い要介護度は「要支援1」(74.5%)、2番目に高いのは「要支援2」(59.0%)、3番目に高いのは「要介護認定は受けていない」(56.1%)となっています。

(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。



計:1,120人

●現在治療中、または後遺症のある病気はありますかとたずねたところ、「高血圧」と回答した人が最も多く、46.7%となっています。次いで、「目の病気」(20.8%)、「糖尿病」(14.6%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(12.5%)と続いています。

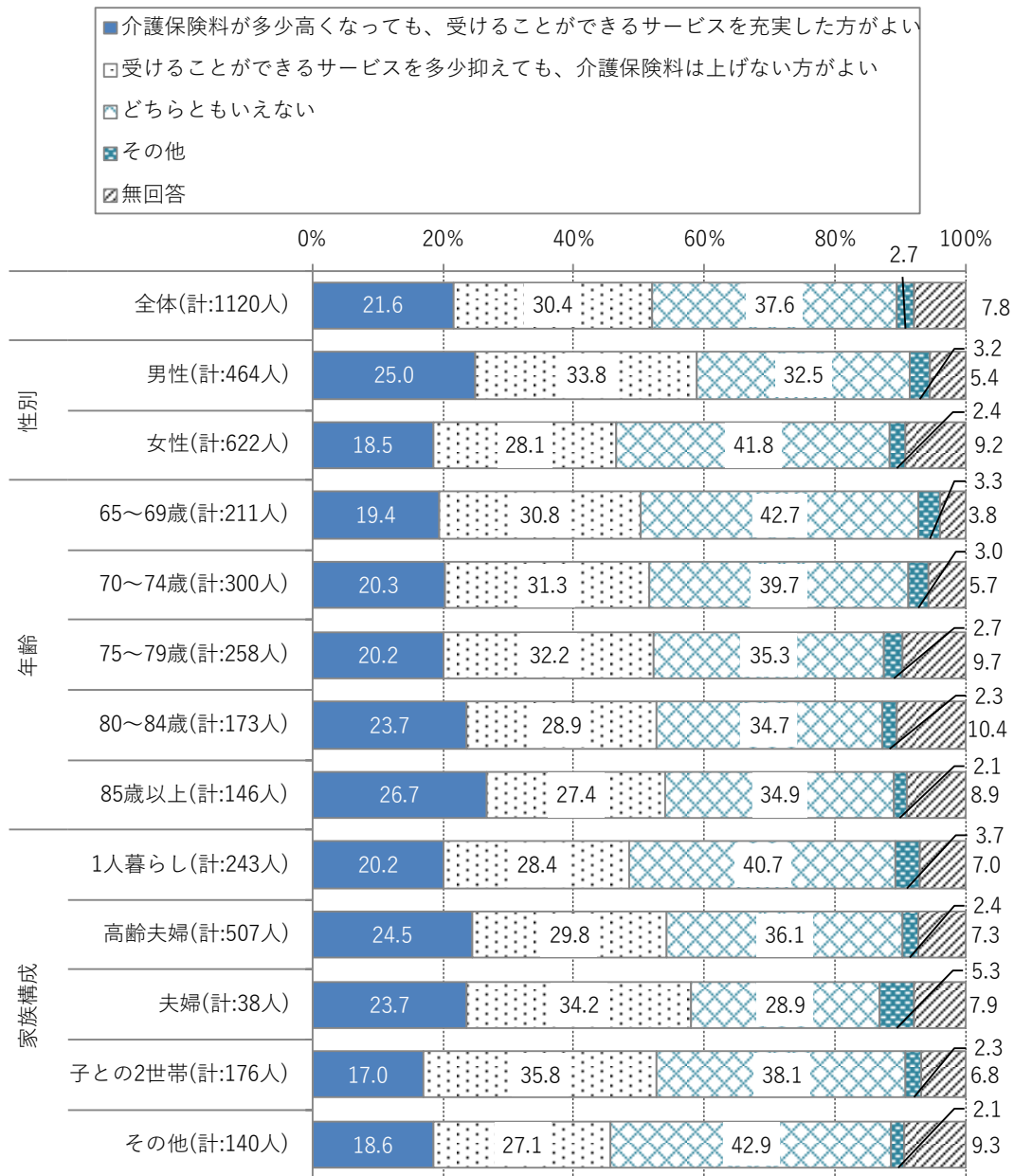
(圏域・要介護度別クロス)

	合計	ない	高血圧	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	
全体	1,120	13.8	46.7	3.8	8.4	14.6	12.1	7.3	5.6	8.8	12.5	
圏域	早岐	191	17.3	42.4	6.8	5.8	14.1	11.5	8.4	4.7	8.4	13.6
	日宇	121	12.4	47.9	5.0	6.6	21.5	12.4	8.3	4.1	9.9	14.0
	山澄	156	14.1	51.9	1.3	10.3	12.8	8.3	8.3	5.1	7.7	9.6
	中部	80	6.3	53.8	1.3	15.0	16.3	11.3	8.8	7.5	6.3	8.8
	清水	126	13.5	46.0	4.8	8.7	11.9	15.9	7.9	6.3	7.1	9.5
	大野	164	17.7	39.6	4.3	9.1	14.6	15.9	3.0	7.3	10.4	14.6
	相浦	177	10.7	48.6	2.3	7.9	14.1	10.2	7.9	5.6	12.4	13.0
	吉井	89	12.4	48.3	3.4	7.9	13.5	12.4	7.9	5.6	5.6	16.9
	宇久	15	20.0	46.7	0.0	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0	6.7	6.7
要介護度	要支援1	55	3.6	54.5	5.5	14.5	10.9	10.9	9.1	3.6	10.9	27.3
	要支援2	39	0.0	46.2	20.5	15.4	46.2	12.8	12.8	12.8	20.5	35.9
	要介護認定は受けていない	965	14.8	46.3	3.1	7.5	13.5	12.1	6.8	5.3	8.4	10.9
	合計	外傷(転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答	
全体	1,120	4.1	5.1	1.8	1.3	0.9	0.9	20.8	7.5	7.1	6.1	
圏域	早岐	191	2.1	4.2	2.6	1.0	0.5	0.0	28.8	7.3	5.8	5.8
	日宇	121	3.3	3.3	1.7	1.7	0.8	0.0	24.0	9.9	4.1	1.7
	山澄	156	5.1	2.6	1.3	1.3	0.6	1.3	17.3	4.5	9.6	6.4
	中部	80	5.0	5.0	0.0	1.3	1.3	0.0	17.5	6.3	5.0	10.0
	清水	126	4.0	4.8	4.0	2.4	0.0	1.6	15.9	7.1	11.1	7.1
	大野	164	3.7	6.1	2.4	2.4	0.6	1.2	22.6	9.1	7.9	5.5
	相浦	177	5.1	7.3	0.6	0.6	2.3	1.7	18.1	7.3	4.5	6.2
	吉井	89	6.7	9.0	1.1	0.0	1.1	0.0	18.0	9.0	6.7	7.9
	宇久	15	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	20.0	6.7	20.0	6.7
要介護度	要支援1	55	10.9	5.5	1.8	3.6	5.5	5.5	30.9	9.1	5.5	1.8
	要支援2	39	33.3	15.4	0.0	2.6	5.1	0.0	38.5	10.3	2.6	5.1
	要介護認定は受けていない	965	2.6	4.4	1.8	1.1	0.3	0.7	19.5	7.2	7.6	6.0

- 圏域別に分析すると、「高血圧」と回答した割合が最も高い圏域は「中部」(53.8%)、2番目に高いのは「山澄」(51.9%)、3番目に高いのは「相浦」(48.6%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「高血圧」と回答した割合が最も高い要介護度は「要支援1」(54.5%)、2番目に高いのは「要介護認定は受けていない」(46.3%)、3番目に高いのは「要支援2」(46.2%)となっています。

問8 介護保険制度について

(1) 介護保険にかかる費用は、高齢化が進み、介護を必要とする人が増え続けているため、今後高くなることが予測されます。あなたは介護保険料についてどう思いますか。



●介護保険にかかる費用は、高齢化が進み、介護を必要とする人が増え続けているため、今後高くなることが予測されます。あなたは介護保険料についてどう思いますかとたずねたところ、「どちらともいえない」と回答した人の割合が最も高く、37.6%となっています。次いで、「受けることができるサービスを多少抑えても、介護保険料は上げない方がよい」(30.4%)、「介護保険料が多少高くなっても、受けることができるサービスを充実した方がよい」(21.6%)と続いています。

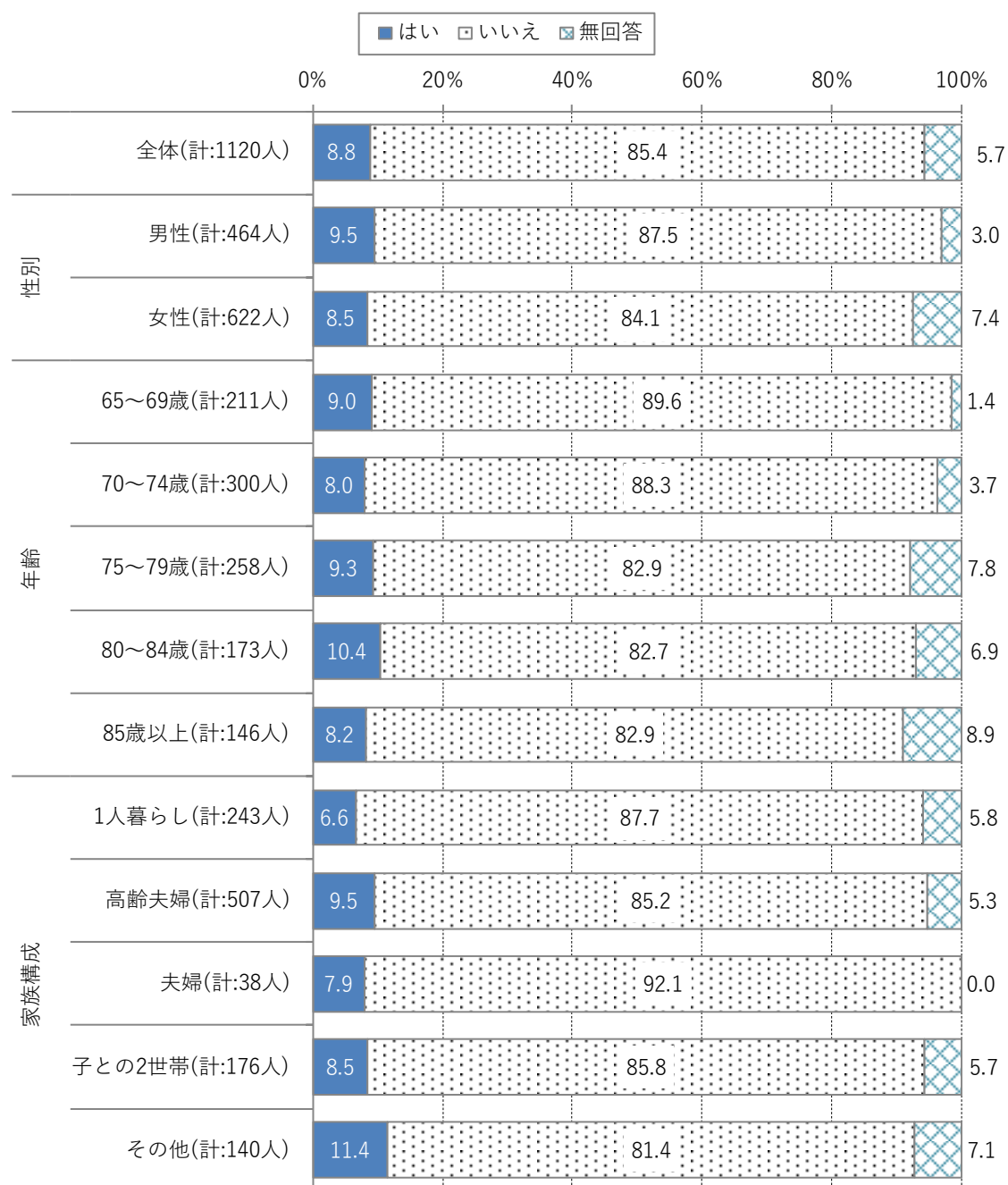
(圏域・要介護度別クロス)

		合計	介護保険料が多少高くなっても、受けることができるサービスが充実した方がよい	受けることができるサービスも、介護保険料は上げない方がよい	どちらともいえない	その他	無回答
全体		1,120	21.6	30.4	37.6	2.7	7.8
圏域	早岐	191	23.6	33.0	33.5	2.6	7.3
	日宇	121	27.3	28.9	35.5	1.7	6.6
	山澄	156	19.9	22.4	44.2	3.8	9.6
	中部	80	23.8	30.0	36.3	1.3	8.8
	清水	126	20.6	31.0	35.7	4.0	8.7
	大野	164	18.3	37.8	31.1	5.5	7.3
	相浦	177	21.5	27.7	43.5	0.6	6.8
	吉井	89	18.0	32.6	40.4	1.1	7.9
	宇久	15	20.0	26.7	46.7	0.0	6.7
要介護度	要支援1	55	25.5	20.0	40.0	1.8	12.7
	要支援2	39	33.3	35.9	25.6	0.0	5.1
	要介護認定は受けていない	965	21.5	30.8	38.0	3.0	6.7

- 圏域別に分析すると、「どちらともいえない」と回答した割合が最も高い圏域は「宇久」(46.7%)、2番目に高いのは「山澄」(44.2%)、3番目に高いのは「相浦」(43.5%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「どちらともいえない」と回答した割合が最も高い要介護度は「要支援1」(40.0%)、2番目に高いのは「要介護認定は受けていない」(38.0%)、3番目に高いのは「要支援2」(25.6%)となっています。

問9 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。



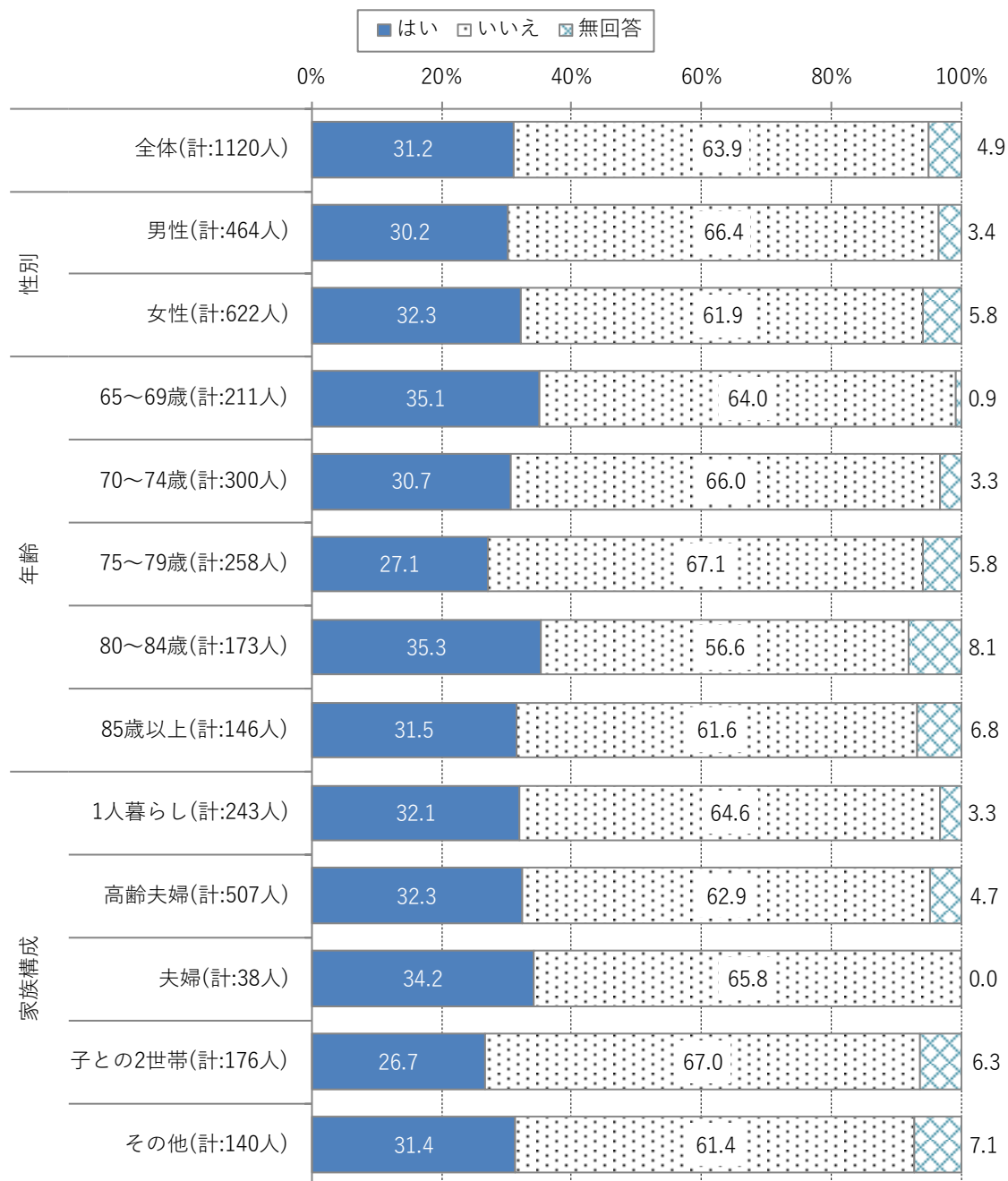
●認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は8.8%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は85.4%となっています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	はい	いいえ	無回答
全体		1,120	8.8	85.4	5.7
圏域	早岐	191	11.5	82.7	5.8
	日宇	121	8.3	86.8	5.0
	山澄	156	7.7	86.5	5.8
	中部	80	11.3	83.8	5.0
	清水	126	4.8	92.9	2.4
	大野	164	9.1	81.7	9.1
	相浦	177	7.9	86.4	5.6
	吉井	89	12.4	82.0	5.6
	宇久	15	0.0	93.3	6.7
要介護度	要支援 1	55	9.1	80.0	10.9
	要支援 2	39	5.1	87.2	7.7
	要介護認定は受けていない	965	8.6	86.7	4.7

- 圏域別に分析すると、「いいえ」と回答した割合が最も高い圏域は「宇久」(93.3%)、2番目に高いのは「清水」(92.9%)、3番目に高いのは「日宇」(86.8%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「いいえ」と回答した割合が最も高い要介護度は「要支援 2」(87.2%)、2番目に高いのは「要介護認定は受けていない」(86.7%)、3番目に高いのは「要支援 1」(80.0%)となっています。

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。



●認知症に関する相談窓口を知っていますかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は31.2%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は63.9%となっています。

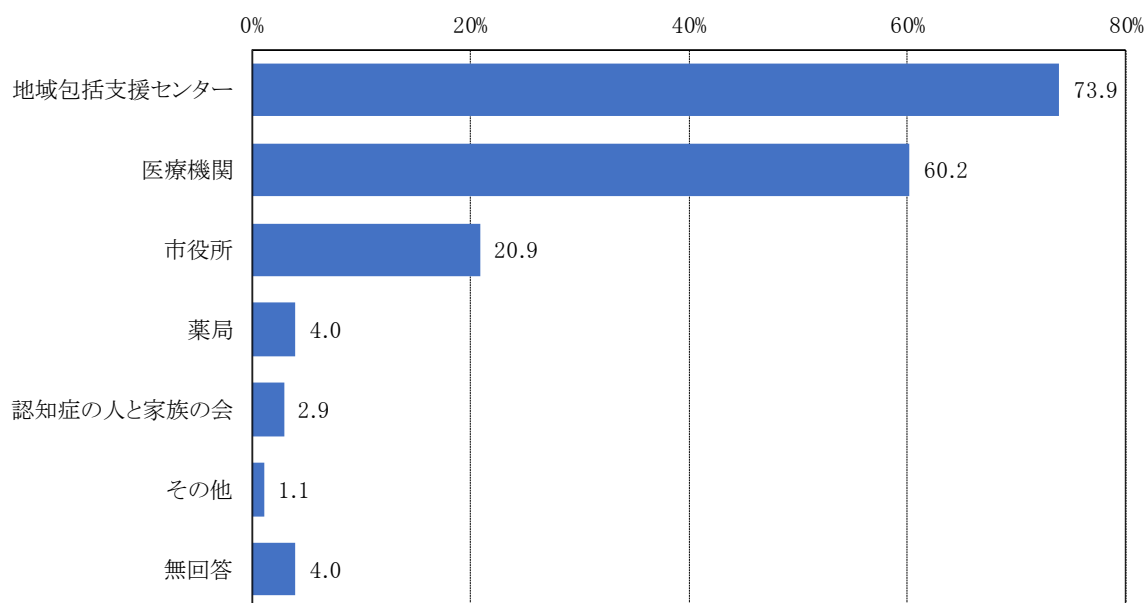
(圏域・要介護度別クロス)

		合計	はい	いいえ	無回答
全体		1,120	31.2	63.9	4.9
圏域	早岐	191	34.0	61.3	4.7
	日宇	121	38.0	56.2	5.8
	山澄	156	30.8	62.2	7.1
	中部	80	26.3	70.0	3.8
	清水	126	35.7	58.7	5.6
	大野	164	34.1	61.0	4.9
	相浦	177	23.7	73.4	2.8
	吉井	89	22.5	73.0	4.5
	宇久	15	40.0	53.3	6.7
要介護度	要支援1	55	34.5	56.4	9.1
	要支援2	39	48.7	48.7	2.6
	要介護認定は受けていない	965	30.9	65.2	3.9

- 圏域別に分析すると、「いいえ」と回答した割合が最も高い圏域は「相浦」(73.4%)、2番目に高いのは「吉井」(73.0%)、3番目に高いのは「中部」(70.0%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「いいえ」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(65.2%)、2番目に高いのは「要支援1」(56.4%)、3番目に高いのは「要支援2」(48.7%)となっています。

【(2)で「1.はい」と答えた方のみ】

① それはどこですか。



計: 349人

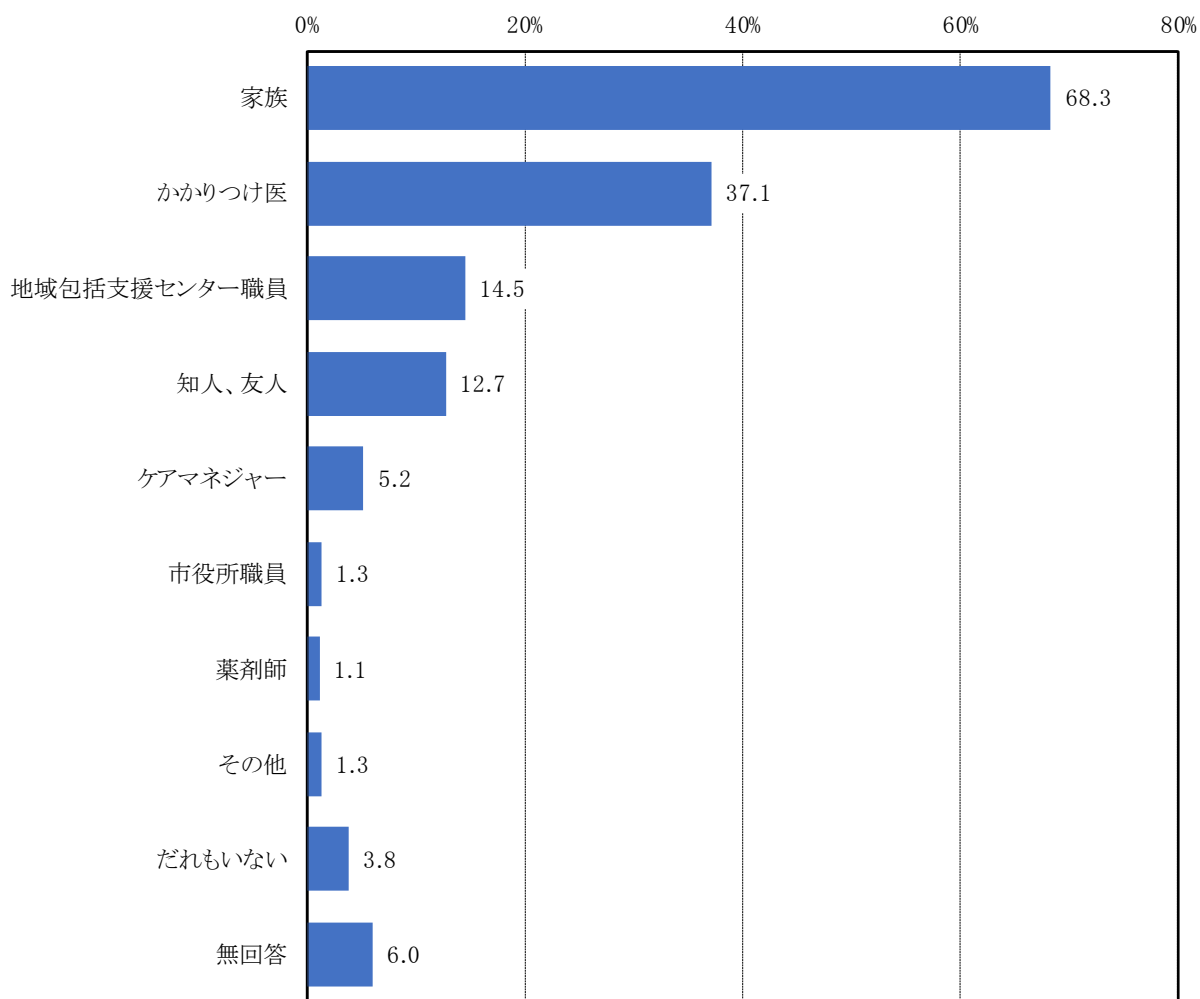
- 認知症に関する相談窓口を知っている人に、「それはどこですか」とたずねたところ、「地域包括支援センター」と回答した人が最も多く、73.9%となっています。次いで、「医療機関」(60.2%)、「市役所」(20.9%)、「薬局」(4.0%)と続いています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	地域包括支援センター	医療機関	薬局	認知症の人と家族の会	市役所	その他	無回答
全体		349	73.9	60.2	4.0	2.9	20.9	1.1	4.0
圏域	早岐	65	80.0	58.5	3.1	0.0	13.8	0.0	3.1
	日宇	46	71.7	63.0	6.5	2.2	28.3	2.2	4.3
	山澄	48	68.8	64.6	6.3	2.1	22.9	2.1	2.1
	中部	21	61.9	61.9	0.0	4.8	33.3	4.8	9.5
	清水	45	71.1	57.8	4.4	0.0	26.7	0.0	6.7
	大野	56	75.0	42.9	3.6	5.4	16.1	1.8	7.1
	相浦	42	76.2	73.8	2.4	4.8	14.3	0.0	0.0
	吉井	20	75.0	80.0	5.0	5.0	30.0	0.0	0.0
	宇久	6	100.0	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
要介護度	要支援1	19	68.4	63.2	15.8	5.3	10.5	5.3	10.5
	要支援2	19	78.9	52.6	5.3	0.0	15.8	5.3	0.0
	要介護認定は受けていない	298	74.5	60.4	3.4	3.0	22.1	0.7	3.7

- 圏域別に分析すると、「地域包括支援センター」と回答した割合が最も高い圏域は「宇久」(100.0%)、2番目に高いのは「早岐」(80.0%)、3番目に高いのは「相浦」(76.2%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「地域包括支援センター」と回答した割合が最も高い要介護度は「要支援2」(78.9%)、2番目に高いのは「要介護認定は受けていない」(74.5%)、3番目に高いのは「要支援1」(68.4%)となっています。

(3) 認知症について、心配なこと、気になることがある時、だれに相談しますか。



計:1,120人

- 認知症について、心配なこと、気になることがある時、だれに相談しますかとたずねたところ、「家族」と回答した人が最も多く、68.3%となっています。次いで、「かかりつけ医」(37.1%)、「地域包括支援センター職員」(14.5%)、「知人、友人」(12.7%)と続いています。

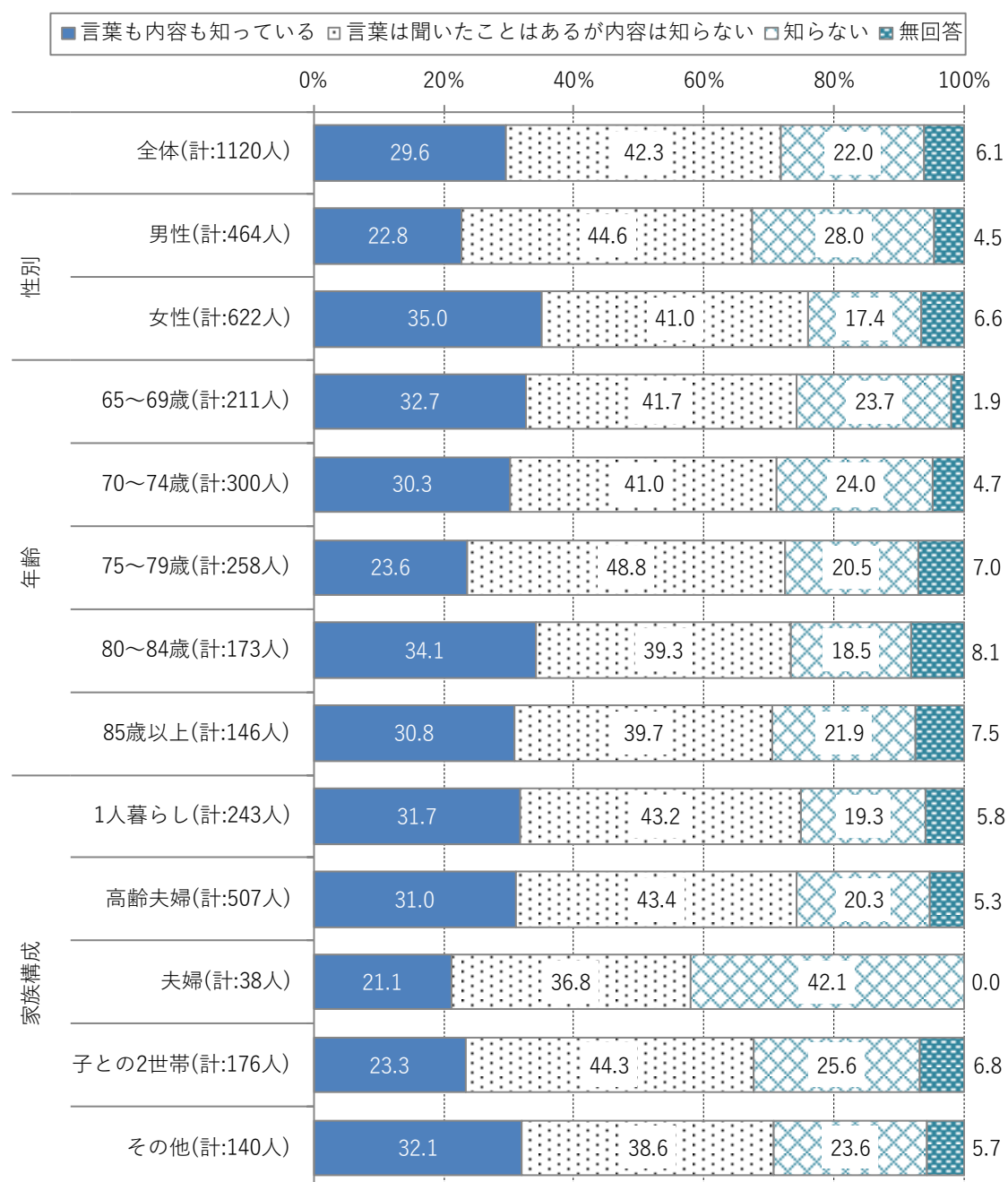
(圏域・要介護度別クロス)

		合計	家族	知人、友人	かかりつけ 医	薬剤師	地域包括支 援センター 職員	ケアマネ ジャー	市役所職員	その他	だれもいな い	無回答
全体		1,120	68.3	12.7	37.1	1.1	14.5	5.2	1.3	1.3	3.8	6.0
圏 域	早岐	191	62.8	8.9	36.6	1.0	16.8	4.7	1.0	1.0	5.8	5.2
	日宇	121	71.1	7.4	41.3	0.0	14.0	5.0	4.1	2.5	1.7	6.6
	山澄	156	58.3	12.8	34.0	0.0	14.7	3.8	0.0	1.9	7.1	7.1
	中部	80	66.3	15.0	33.8	1.3	13.8	3.8	2.5	1.3	3.8	7.5
	清水	126	74.6	15.9	41.3	2.4	9.5	4.0	0.8	1.6	1.6	4.8
	大野	164	72.6	17.1	32.3	1.8	18.3	7.9	1.2	1.2	2.4	4.9
	相浦	177	75.1	10.2	38.4	1.1	10.7	7.3	1.1	0.6	2.8	5.6
	吉井	89	62.9	16.9	41.6	1.1	16.9	3.4	1.1	0.0	4.5	6.7
	宇久	15	80.0	13.3	26.7	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	6.7	13.3
要 介 護 度	要支援 1	55	52.7	10.9	32.7	0.0	27.3	20.0	1.8	0.0	3.6	14.5
	要支援 2	39	64.1	5.1	43.6	5.1	38.5	30.8	0.0	2.6	0.0	2.6
	要介護認定は受 けていない	965	70.2	13.6	37.6	1.0	13.2	3.2	1.5	1.3	3.8	5.0

- 圏域別に分析すると、「家族」と回答した割合が最も高い圏域は「宇久」(80.0%)、2番目に高いのは「相浦」(75.1%)、3番目に高いのは「清水」(74.6%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「家族」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(70.2%)、2番目に高いのは「要支援 2」(64.1%)、3番目に高いのは「要支援 1」(52.7%)となっています。

問 10 地域包括ケアシステムについて

(1) 「地域包括ケアシステム」をご存知ですか。



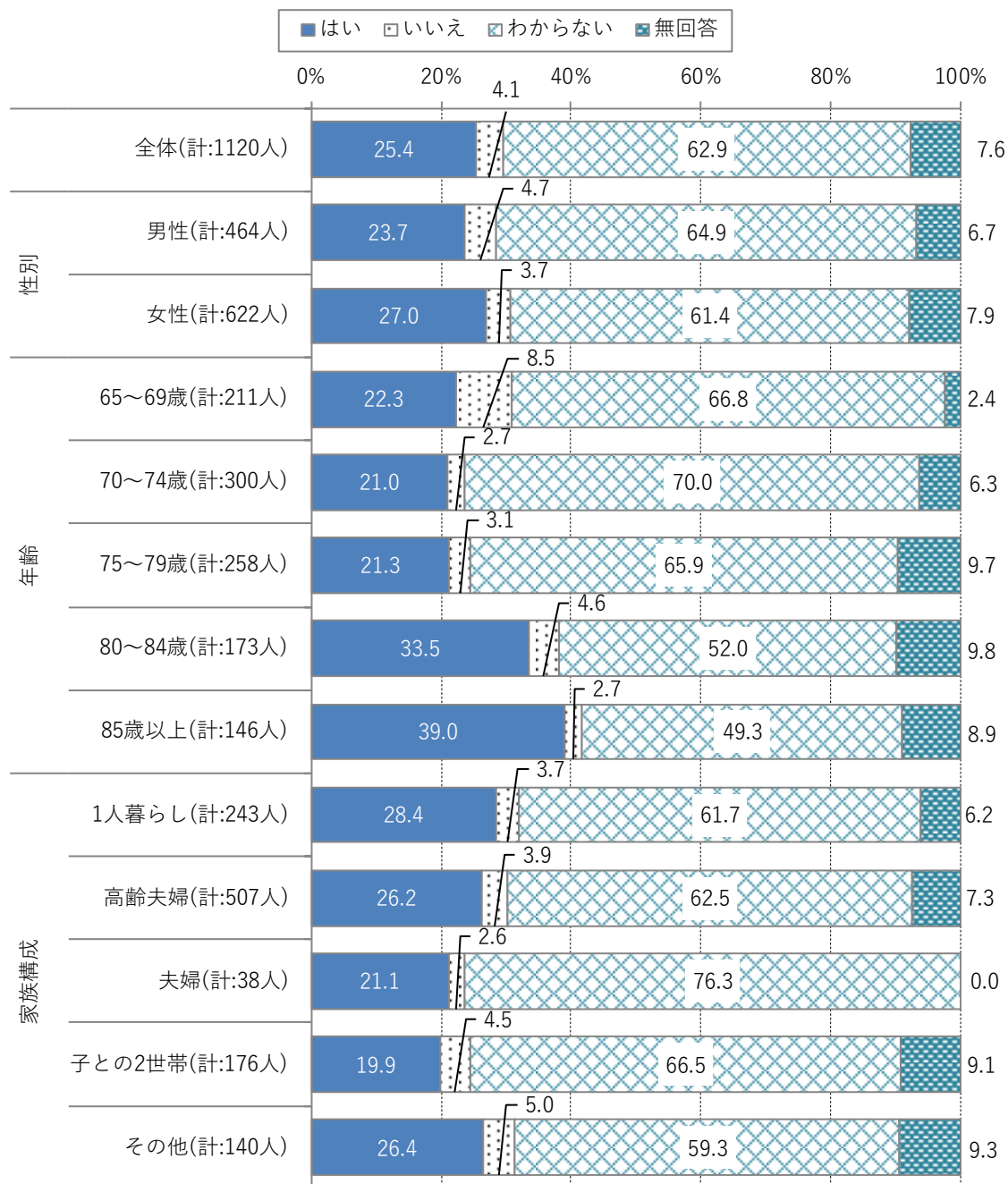
- 「地域包括ケアシステム」をご存知ですかとたずねたところ、「言葉は聞いたことはあるが内容は知らない」と回答した人の割合が最も高く、42.3%となっています。次いで、「言葉も内容も知っている」(29.6%)、「知らない」(22.0%)と続いています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	言葉も内容も知っている	言葉は聞いたことはあるが内容は知らない	知らない	無回答
全体		1,120	29.6	42.3	22.0	6.1
圏域	早岐	191	33.0	36.1	25.1	5.8
	日宇	121	33.1	43.8	16.5	6.6
	山澄	156	25.6	42.3	24.4	7.7
	中部	80	21.3	47.5	23.8	7.5
	清水	126	33.3	38.9	20.6	7.1
	大野	164	34.8	45.1	15.2	4.9
	相浦	177	23.7	48.0	23.2	5.1
	吉井	89	29.2	38.2	27.0	5.6
	宇久	15	33.3	33.3	33.3	0.0
要介護度	要支援1	55	49.1	20.0	16.4	14.5
	要支援2	39	53.8	33.3	10.3	2.6
	要介護認定は受けていない	965	27.9	44.7	22.7	4.8

- 圏域別に分析すると、「言葉は聞いたことはあるが内容は知らない」と回答した割合が最も高い圏域は「相浦」(48.0%)、2番目に高いのは「中部」(47.5%)、3番目に高いのは「大野」(45.1%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「言葉は聞いたことはあるが内容は知らない」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(44.7%)、2番目に高いのは「要支援2」(33.3%)、3番目に高いのは「要支援1」(20.0%)となっています。

(2) お住まいの地域で地域包括ケアシステムができていますか。



●お住まいの地域で地域包括ケアシステムができていますかとたずねたところ、「わからない」と回答した人の割合が最も高く、62.9%となっています。次いで、「はい」(25.4%)、「いいえ」(4.1%)と続いています。

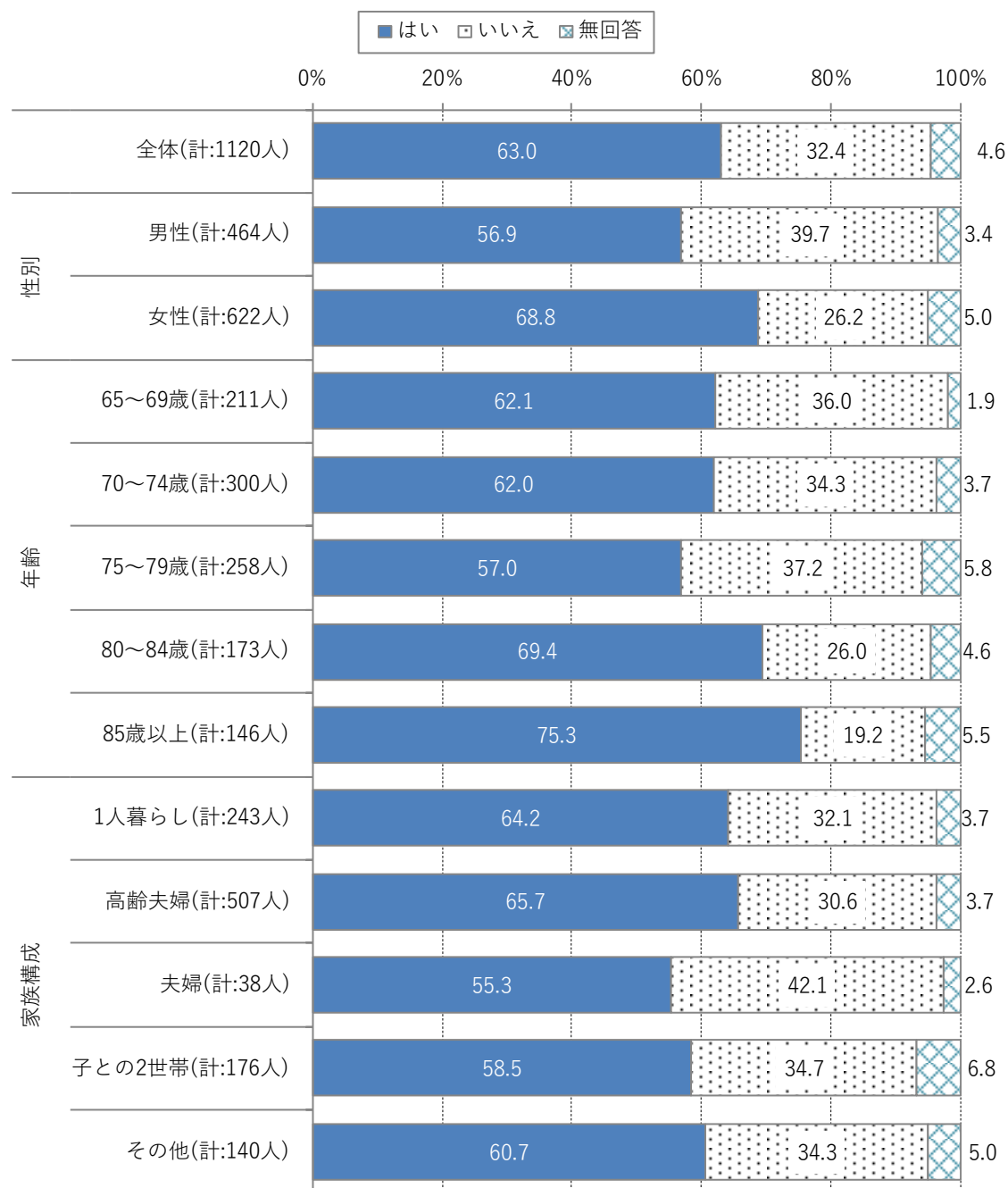
(圏域・要介護度別クロス)

		合計	はい	いいえ	わからない	無回答
全体		1,120	25.4	4.1	62.9	7.6
圏域	早岐	191	27.7	5.2	56.5	10.5
	日宇	121	29.8	1.7	62.8	5.8
	山澄	156	25.6	4.5	61.5	8.3
	中部	80	15.0	2.5	73.8	8.8
	清水	126	22.2	7.1	65.1	5.6
	大野	164	30.5	2.4	61.0	6.1
	相浦	177	22.6	3.4	67.2	6.8
	吉井	89	23.6	6.7	61.8	7.9
	宇久	15	26.7	0.0	60.0	13.3
要介護度	要支援1	55	50.9	5.5	32.7	10.9
	要支援2	39	61.5	0.0	30.8	7.7
	要介護認定は受けていない	965	22.7	4.2	66.2	6.8

- 圏域別に分析すると、「わからない」と回答した割合が最も高い圏域は「中部」(73.8%)、2番目に高いのは「相浦」(67.2%)、3番目に高いのは「清水」(65.1%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「わからない」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(66.2%)、2番目に高いのは「要支援1」(32.7%)、3番目に高いのは「要支援2」(30.8%)となっています。

問 11 地域包括支援センターについて

(1) 高齢者の介護および権利擁護、介護予防などの相談窓口として「地域包括支援センター」があることをご存じですか。



●高齢者の介護および権利擁護、介護予防などの相談窓口として「地域包括支援センター」があることをご存じですかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は 63.0%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は 32.4%となっています。

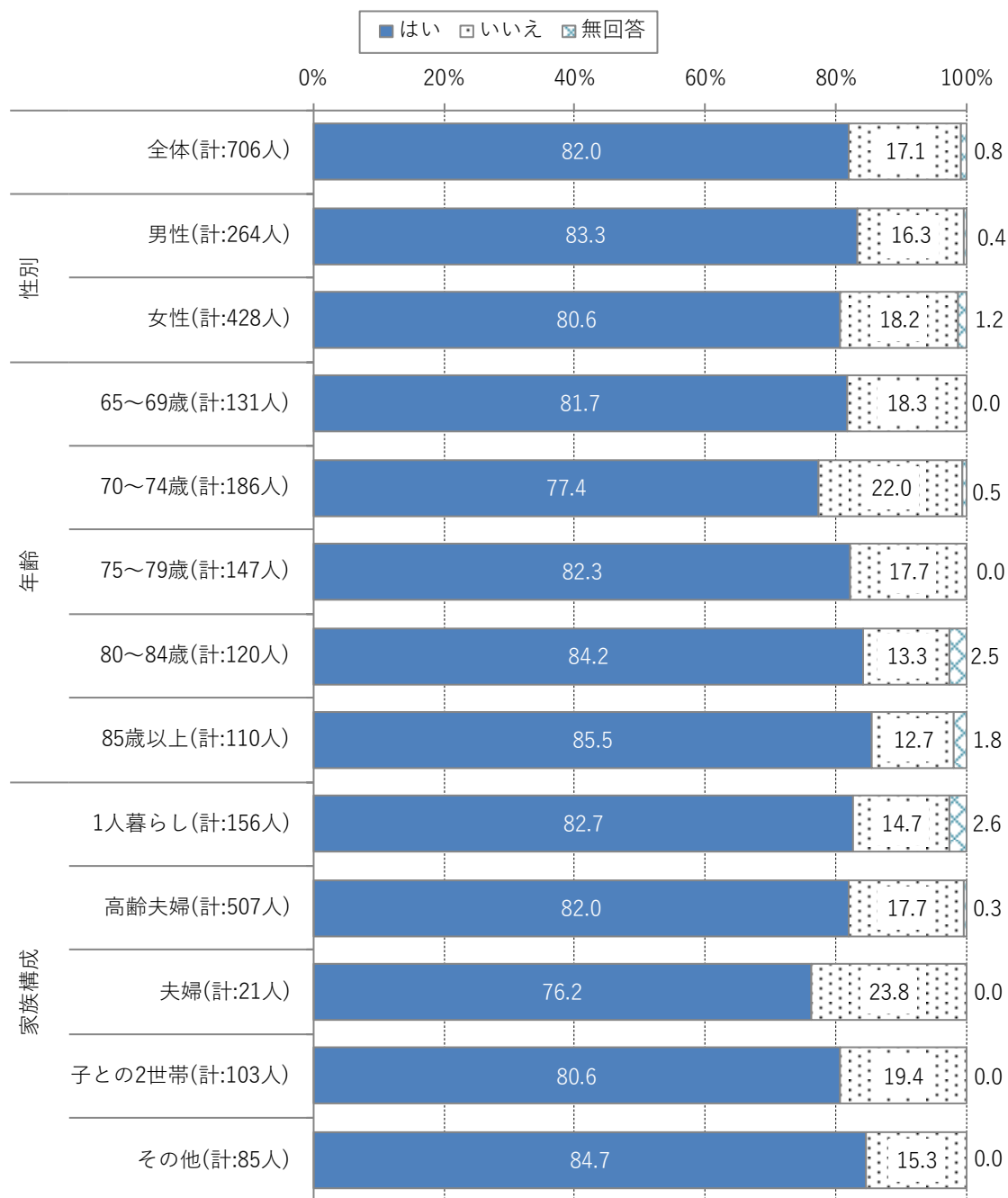
(圏域・要介護度別クロス)

		合計	はい	いいえ	無回答
全体		1,120	63.0	32.4	4.6
圏域	早岐	191	61.3	34.6	4.2
	日宇	121	71.1	25.6	3.3
	山澄	156	61.5	32.1	6.4
	中部	80	50.0	43.8	6.3
	清水	126	58.7	36.5	4.8
	大野	164	76.2	20.7	3.0
	相浦	177	59.3	36.7	4.0
	吉井	89	57.3	38.2	4.5
	宇久	15	73.3	13.3	13.3
要介護度	要支援1	55	78.2	14.5	7.3
	要支援2	39	92.3	7.7	0.0
	要介護認定は受けていない	965	61.7	34.5	3.8

- 圏域別に分析すると、「はい」と回答した割合が最も高い圏域は「大野」(76.2%)、2番目に高いのは「宇久」(73.3%)、3番目に高いのは「日宇」(71.1%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「はい」と回答した割合が最も高い要介護度は「要支援2」(92.3%)、2番目に高いのは「要支援1」(78.2%)、3番目に高いのは「要介護認定は受けていない」(61.7%)となっています。

【(1) で「1.はい」と答えた方のみ】

① 「地域包括支援センター」の場所をご存じですか。



●高齢者の介護および権利擁護、介護予防などの相談窓口として「地域包括支援センター」があることを知っている人に、「地域包括支援センター」の場所をご存じですかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は82.0%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は17.1%となっています。

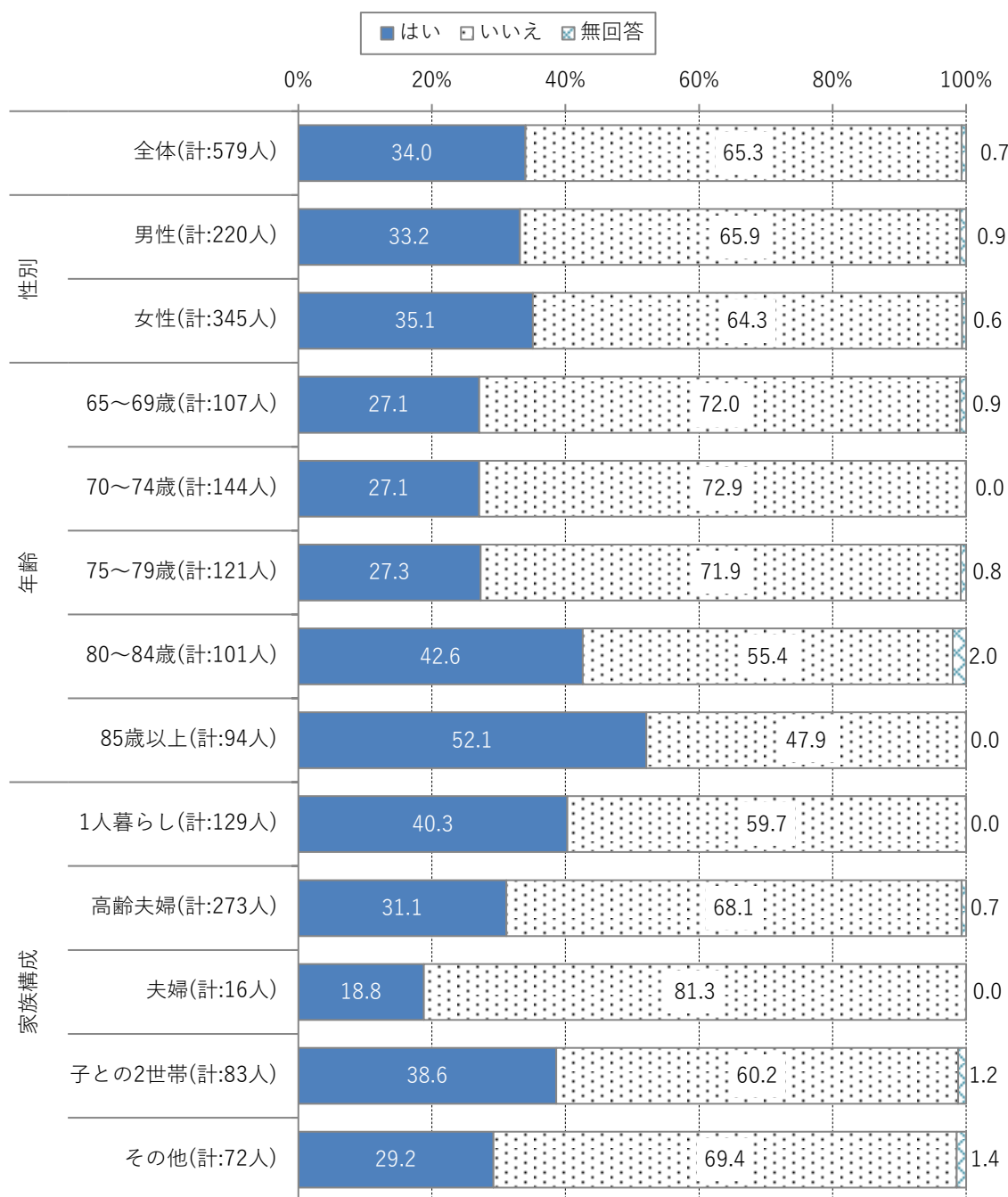
(圏域・要介護度別クロス)

		合計	はい	いいえ	無回答
全体		706	82.0	17.1	0.8
圏域	早岐	117	77.8	21.4	0.9
	日宇	86	87.2	11.6	1.2
	山澄	96	81.3	15.6	3.1
	中部	40	77.5	22.5	0.0
	清水	74	77.0	23.0	0.0
	大野	125	88.8	11.2	0.0
	相浦	105	79.0	21.0	0.0
	吉井	51	80.4	17.6	2.0
	宇久	11	100.0	0.0	0.0
要介護度	要支援1	43	90.7	9.3	0.0
	要支援2	36	86.1	11.1	2.8
	要介護認定は受けていない	595	81.5	17.8	0.7

- 圏域別に分析すると、「はい」と回答した割合が最も高い圏域は「宇久」(100.0%)、2番目に高いのは「大野」(88.8%)、3番目に高いのは「日宇」(87.2%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「はい」と回答した割合が最も高い要介護度は「要支援1」(90.7%)、2番目に高いのは「要支援2」(86.1%)、3番目に高いのは「要介護認定は受けていない」(81.5%)となっています。

【(1)の①で「1.はい」と答えた方のみ】

② 「地域包括支援センター」を利用されたことがありますか。



- 「地域包括支援センター」の場所を知っていると回答した人に、「地域包括支援センター」を利用されたことがありますかとたずねたところ、「はい」と回答した人の割合は34.0%となっています。一方、「いいえ」と回答した人の割合は65.3%となっています。

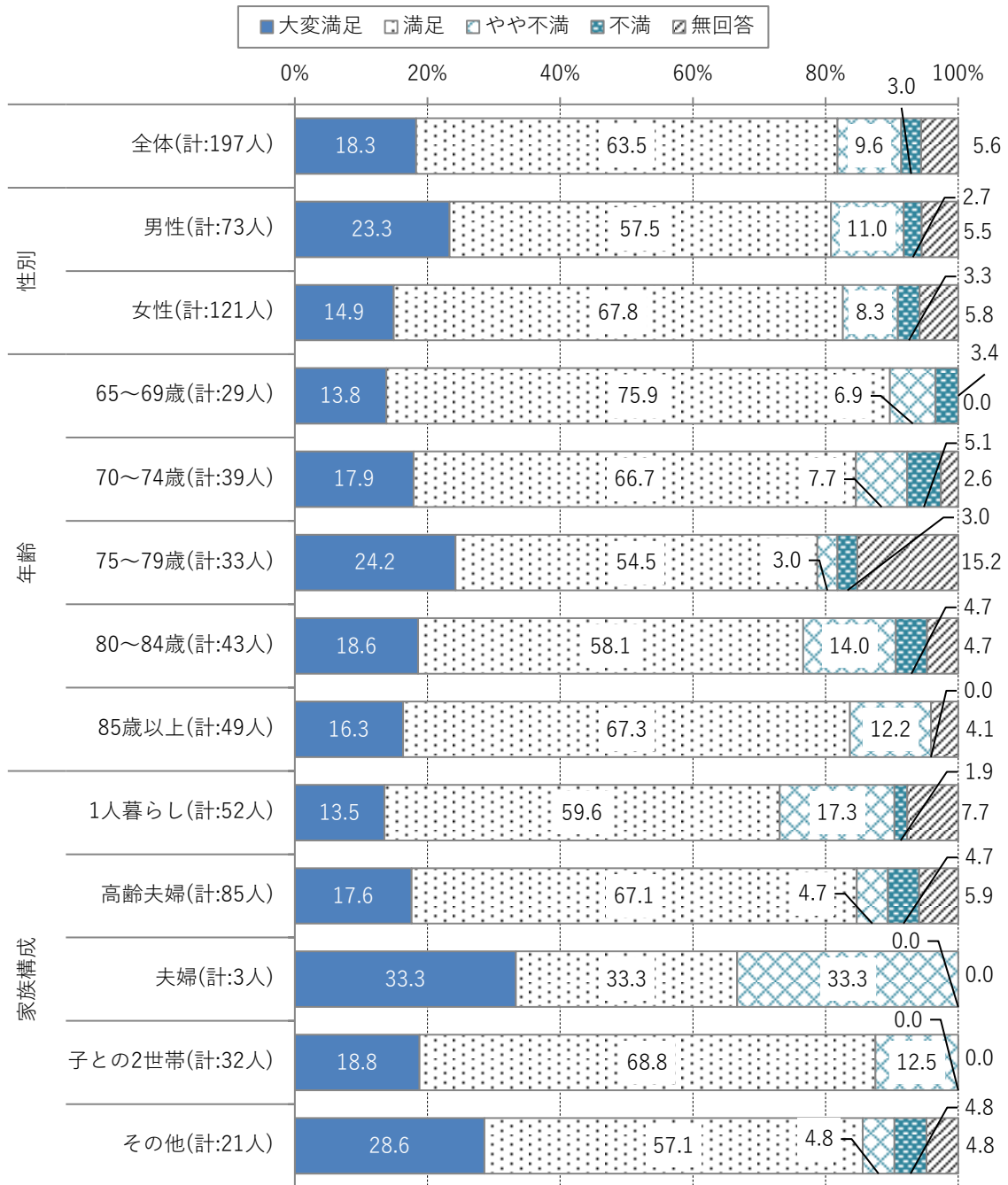
(圏域・要介護度別クロス)

		合計	はい	いいえ	無回答
全体		579	34.0	65.3	0.7
圏域	早岐	91	39.6	60.4	0.0
	日宇	75	45.3	54.7	0.0
	山澄	78	42.3	57.7	0.0
	中部	31	25.8	74.2	0.0
	清水	57	22.8	75.4	1.8
	大野	111	36.9	61.3	1.8
	相浦	83	32.5	66.3	1.2
	吉井	41	12.2	87.8	0.0
	宇久	11	0.0	100.0	0.0
要介護度	要支援1	39	97.4	2.6	0.0
	要支援2	31	83.9	16.1	0.0
	要介護認定は受けていない	485	24.9	74.2	0.8

- 圏域別に分析すると、「いいえ」と回答した割合が最も高い圏域は「宇久」(100.0%)、2番目に高いのは「吉井」(87.8%)、3番目に高いのは「清水」(75.4%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「いいえ」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(74.2%)、2番目に高いのは「要支援2」(16.1%)、3番目に高いのは「要支援1」(2.6%)となっています。

【(1)の②で「1.はい」と答えた方のみ】

③ 「地域包括支援センター」を利用されていかがでしたか。



● 「地域包括支援センター」を利用したことがあると回答した人に、「地域包括支援センター」を利用されていかがでしたかとたずねたところ、「満足」と回答した人の割合が最も高く、63.5%となっています。次いで、「大変満足」(18.3%)、「やや不満」(9.6%)と続いています。

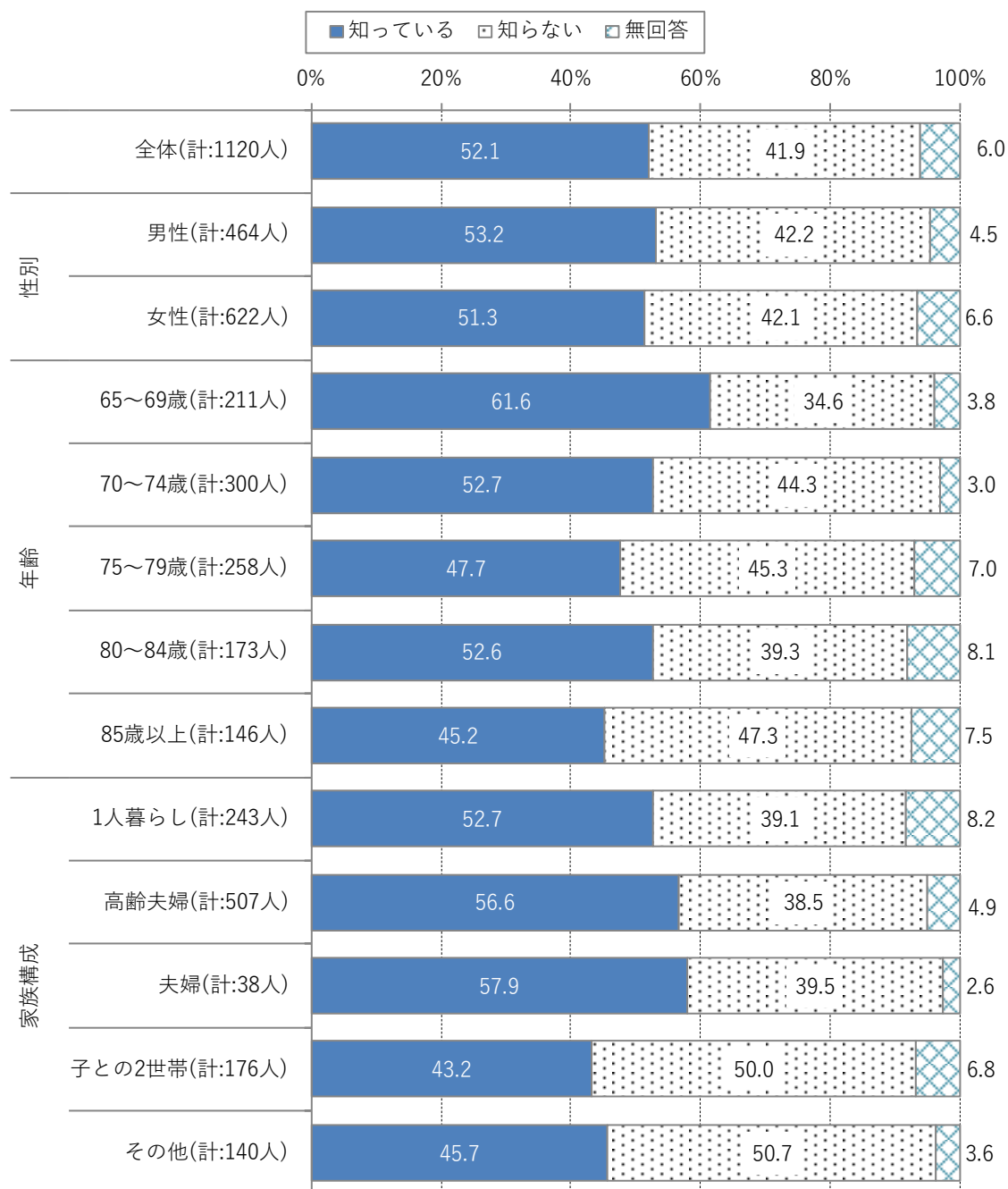
(圏域・要介護度別クロス)

		合計	大変満足	満足	やや不満	不満	無回答
全体		197	18.3	63.5	9.6	3.0	5.6
圏域	早岐	36	13.9	66.7	5.6	2.8	11.1
	日宇	34	32.4	61.8	2.9	0.0	2.9
	山澄	33	18.2	57.6	12.1	6.1	6.1
	中部	8	25.0	62.5	12.5	0.0	0.0
	清水	13	23.1	61.5	15.4	0.0	0.0
	大野	41	9.8	73.2	12.2	2.4	2.4
	相浦	27	14.8	55.6	14.8	3.7	11.1
	吉井	5	20.0	60.0	0.0	20.0	0.0
	宇久	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要介護度	要支援1	38	15.8	68.4	2.6	7.9	5.3
	要支援2	26	23.1	61.5	11.5	0.0	3.8
	要介護認定は受けていない	121	17.4	65.3	9.1	2.5	5.8

- 圏域別に分析すると、「満足」と回答した割合が最も高い圏域は「大野」(73.2%)、2番目に高いのは「早岐」(66.7%)、3番目に高いのは「中部」(62.5%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「満足」と回答した割合が最も高い要介護度は「要支援1」(68.4%)、2番目に高いのは「要介護認定は受けていない」(65.3%)、3番目に高いのは「要支援2」(61.5%)となっています。

問 12 成年後見制度について

(1) 認知症などで判断能力が不十分な人の金銭管理や契約などを家庭裁判所が選任した者が本人に代わって行う「成年後見制度」についてご存知ですか。



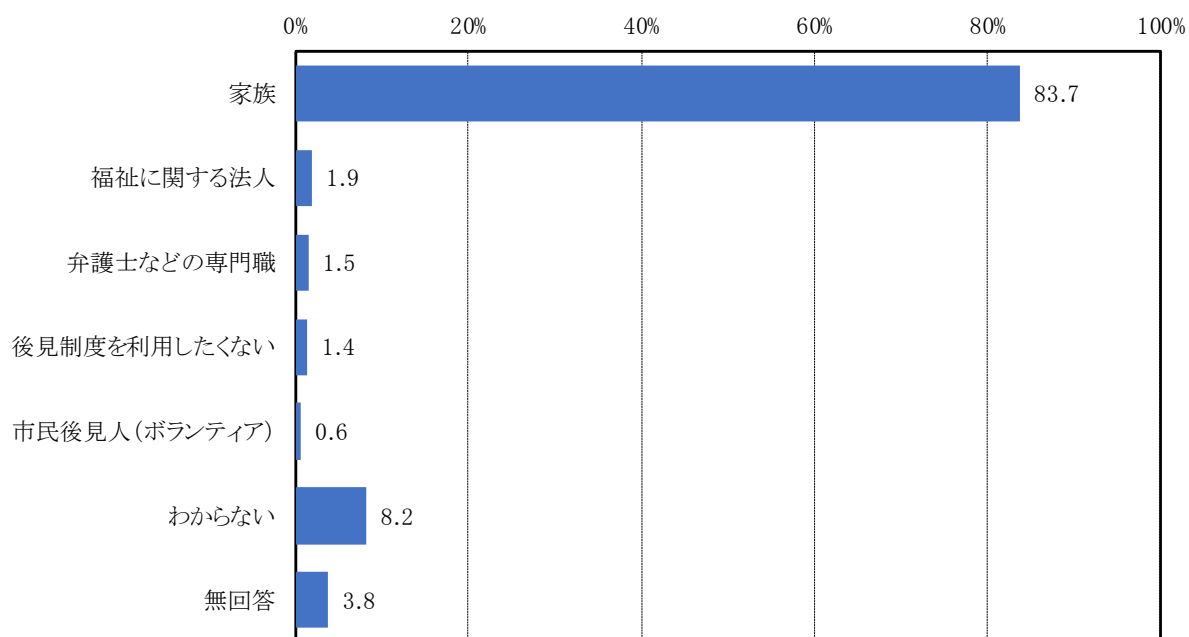
●認知症などで判断能力が不十分な人の金銭管理や契約などを家庭裁判所が選任した者が本人に代わって行う「成年後見制度」についてご存知ですかとたずねたところ、「知っている」と回答した人の割合は52.1%となっています。一方、「知らない」と回答した人の割合は41.9%となっています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	知っている	知らない	無回答
全体		1,120	52.1	41.9	6.0
圏域	早岐	191	47.1	46.6	6.3
	日宇	121	52.9	43.0	4.1
	山澄	156	53.2	37.8	9.0
	中部	80	51.3	41.3	7.5
	清水	126	56.3	35.7	7.9
	大野	164	54.9	42.1	3.0
	相浦	177	51.4	43.5	5.1
	吉井	89	52.8	42.7	4.5
	宇久	15	40.0	46.7	13.3
要介護度	要支援 1	55	45.5	47.3	7.3
	要支援 2	39	43.6	53.8	2.6
	要介護認定は受けていない	965	54.0	40.3	5.7

- 圏域別に分析すると、「知っている」と回答した割合が最も高い圏域は「清水」(56.3%)、2番目に高いのは「大野」(54.9%)、3番目に高いのは「山澄」(53.2%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「知っている」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(54.0%)、2番目に高いのは「要支援 1」(45.5%)、3番目に高いのは「要支援 2」(43.6%)となっています。

(2) 自身の判断能力が不十分になった際、どういった方に、財産の管理や病院の手続き等の生活を保護する「成年後見人」になってほしいですか。



計:1,120人

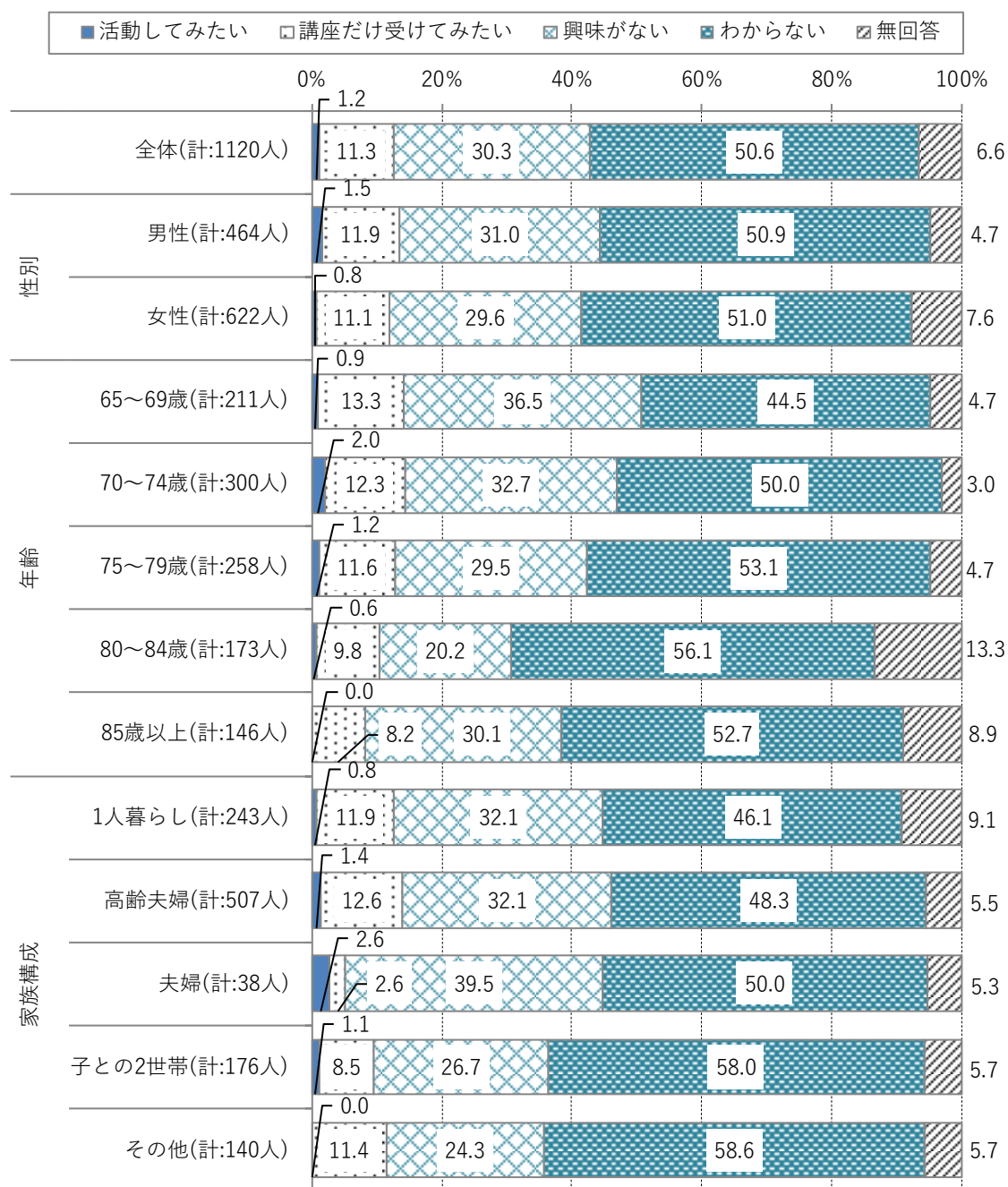
●自身の判断能力が不十分になった際、どういった方に、財産の管理や病院の手続き等の生活を保護する「成年後見人」になってほしいですかとたずねたところ、「家族」と回答した人が最も多く、83.7%となっています。次いで、「わからない」(8.2%)、「福祉に関する法人」(1.9%)と続いています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	家族	弁護士などの 専門職	市民後見人 (ポラン ティア)	福祉に關す る法人	後見制度を 利用したく ない	わからない	無回答
全体		1,120	83.7	1.5	0.6	1.9	1.4	8.2	3.8
圏 域	早岐	191	82.2	2.6	0.0	1.6	1.0	9.4	3.7
	日宇	121	85.1	1.7	2.5	3.3	3.3	5.0	3.3
	山澄	156	75.6	0.0	1.3	1.9	2.6	12.8	6.4
	中部	80	78.8	2.5	0.0	5.0	0.0	7.5	6.3
	清水	126	87.3	1.6	0.0	0.8	0.8	4.8	4.8
	大野	164	86.0	1.8	1.2	1.8	2.4	6.7	2.4
	相浦	177	87.6	1.1	0.0	0.0	0.6	8.5	2.8
	吉井	89	85.4	1.1	0.0	3.4	0.0	9.0	2.2
	宇久	15	86.7	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	0.0
要 介 護 度	要支援 1	55	76.4	1.8	0.0	1.8	0.0	12.7	7.3
	要支援 2	39	89.7	0.0	0.0	0.0	0.0	10.3	0.0
	要介護認定は受 けていない	965	84.8	1.7	0.6	1.9	1.7	7.5	3.3

- 圏域別に分析すると、「家族」と回答した割合が最も高い圏域は「相浦」(87.6%)、2番目に高いのは「清水」(87.3%)、3番目に高いのは「宇久」(86.7%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「家族」と回答した割合が最も高い要介護度は「要支援 2」(89.7%)、2番目に高いのは「要介護認定は受けていない」(84.8%)、3番目に高いのは「要支援 1」(76.4%)となっています。

(3) 本市では成年後見制度を必要とする方の地域での見守り支援や市民後見人としての活動を行う「成年後見支援員」の養成を行っております。成年後見支援員の活動に興味がありますか。



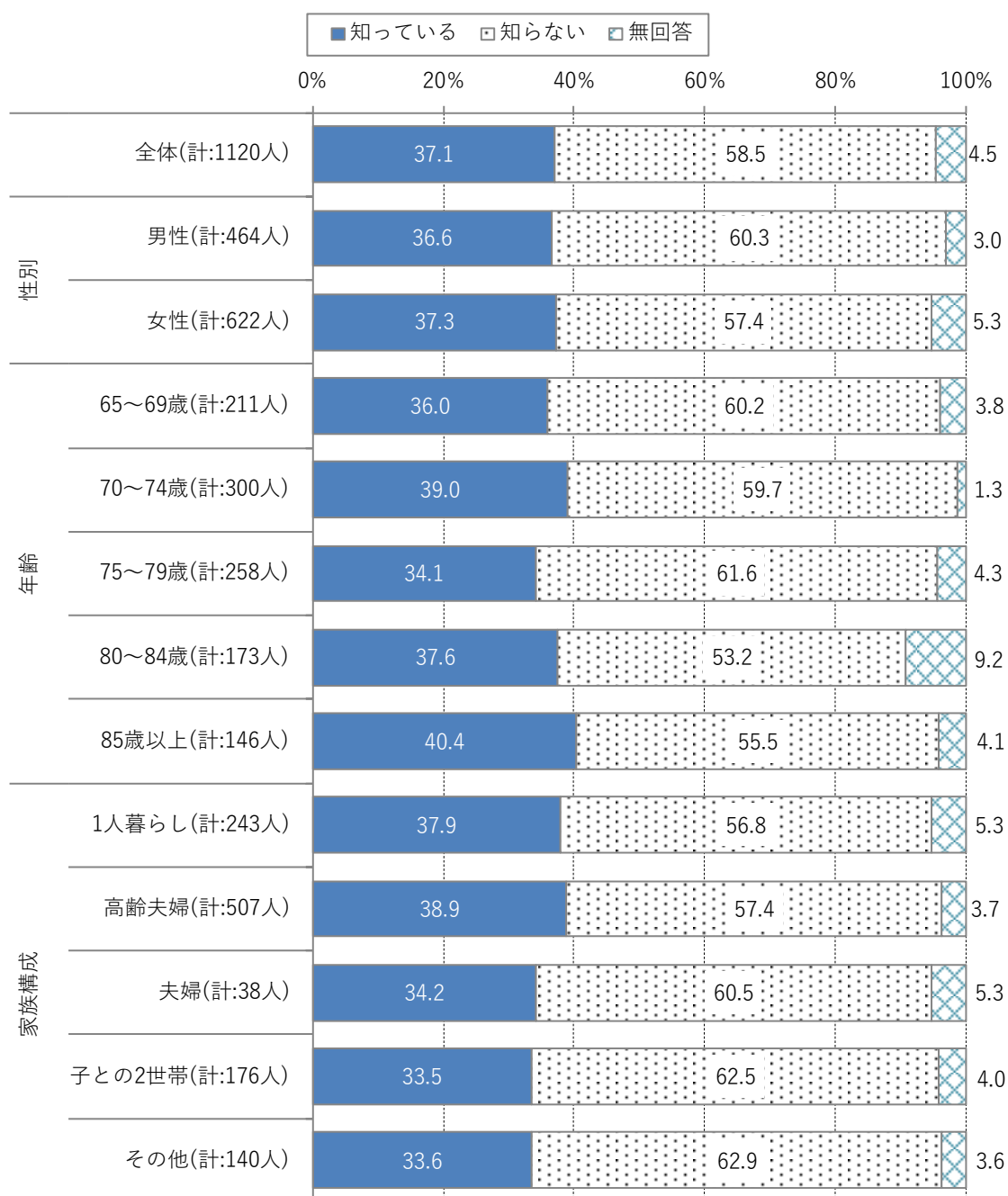
●本市では成年後見制度を必要とする方の地域での見守り支援や市民後見人としての活動を行う「成年後見支援員」の養成を行っております。成年後見支援員の活動に興味がありますかとたずねたところ、「わからない」と回答した人の割合が最も高く、50.6%となっています。次いで、「興味がない」(30.3%)、「講座だけ受けてみたい」(11.3%)と続いています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	活動してみたい	講座だけ受けてみたい	興味がない	わからない	無回答
全体		1,120	1.2	11.3	30.3	50.6	6.6
圏域	早岐	191	2.1	15.2	29.8	45.0	7.9
	日宇	121	3.3	14.9	23.1	54.5	4.1
	山澄	156	1.9	10.9	25.6	57.1	4.5
	中部	80	1.3	13.8	28.8	47.5	8.8
	清水	126	0.0	8.7	34.9	48.4	7.9
	大野	164	0.0	13.4	38.4	43.9	4.3
	相浦	177	0.6	4.5	31.6	57.1	6.2
	吉井	89	0.0	10.1	27.0	52.8	10.1
	宇久	15	0.0	6.7	26.7	46.7	20.0
要介護度	要支援1	55	0.0	10.9	25.5	56.4	7.3
	要支援2	39	2.6	12.8	17.9	59.0	7.7
	要介護認定は受けていない	965	1.2	11.6	31.5	49.6	6.0

- 圏域別に分析すると、「わからない」と回答した割合が最も高い圏域は「山澄」「相浦」(57.1%)、2番目に高いのは「日宇」(54.5%)、3番目に高いのは「吉井」(52.8%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「わからない」と回答した割合が最も高い要介護度は「要支援2」(59.0%)、2番目に高いのは「要支援1」(56.4%)、3番目に高いのは「要介護認定は受けていない」(49.6%)となっています。

(4) 将来、自身の判断能力の低下に備えて、あらかじめ自分の財産を管理する人（後見人等）を決めておく「任意後見制度」についてご存じですか。



●将来、自身の判断能力の低下に備えて、あらかじめ自分の財産を管理する人（後見人等）を決めておく「任意後見制度」についてご存じですかとたずねたところ、「知っている」と回答した人の割合は37.1%となっています。一方、「知らない」と回答した人の割合は58.5%となっています。

(圏域・要介護度別クロス)

		合計	知っている	知らない	無回答
全体		1,120	37.1	58.5	4.5
圏域	早岐	191	36.6	58.1	5.2
	日宇	121	38.8	57.9	3.3
	山澄	156	34.0	60.9	5.1
	中部	80	35.0	58.8	6.3
	清水	126	37.3	56.3	6.3
	大野	164	44.5	53.0	2.4
	相浦	177	33.3	63.3	3.4
	吉井	89	38.2	57.3	4.5
	宇久	15	26.7	66.7	6.7
要介護度	要支援 1	55	34.5	58.2	7.3
	要支援 2	39	48.7	51.3	0.0
	要介護認定は受けていない	965	37.4	58.7	3.9

- 圏域別に分析すると、「知らない」と回答した割合が最も高い圏域は「宇久」(66.7%)、2番目に高いのは「相浦」(63.3%)、3番目に高いのは「山澄」(60.9%)となっています。
- 要介護度別に分析すると、「知らない」と回答した割合が最も高い要介護度は「要介護認定は受けていない」(58.7%)、2番目に高いのは「要支援 1」(58.2%)、3番目に高いのは「要支援 2」(51.3%)となっています。

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査票

市民の皆様には、日頃から市政に対し、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

このアンケート調査は、佐世保市老人福祉計画及び第9期介護保険事業計画を策定するにあたり、皆様の生活状況や健康状態、介護・福祉サービスに対するご意見等をうかがい、計画策定の基礎資料とするとともに、今後の保健福祉行政に活かすことを目的として、佐世保市が実施するものです。

調査対象者は、介護保険被保険者台帳から無作為に抽出したもので、特別な意図により選ばれたものではありません。また、調査の実施にあたっては佐世保市個人情報保護条例に基づき、適正な管理・運営を行うとともに、調査結果集計後、速やかに焼却処分を行います。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、本調査の趣旨にご理解を賜り、ご協力をお願い申し上げます。

なお、本調査票のご返送をもちまして、個人情報の保護および活用目的にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

- 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
- 調査票は、11月30日(水)までに同封の回収用封筒（切手不要）に入れて、ポストに投函してください。

お問い合わせ先 佐世保市保健福祉部長寿社会課 庶務係
電話 0956-24-1111（内線5301）

1-2000

本調査票の記入者や、あて名のご本人の情報についてうかがいます。

記 入 日	令和 年 月 日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。	
1. あて名のご本人が記入	
2. ご家族が記入 (あて名のご本人からみた続柄)	
3. その他	

※以下はあて名のご本人の情報を記入してください。

年齢・性別	() 歳	男	女	
居 住 地 区 ※わからない場合は、 24. () 町に 町名をご記入 ください。	1. 宮・広田	2. 三川内	3. 針尾・江上	
	4. 早岐	5. 日宇	6. 戸尾・光園・山手	
	7. 清水・大久保	8. 春日	9. 金比良・赤崎・九十九	
	10. 天神・福石・木風	11. 潮見・白南風	12. 小佐世保	
	13. 大野	14. 柚木	15. 日野	
	16. 宇久	17. 相浦・黒島・高島	18. 中里・皆瀬	
	19. 吉井	20. 世知原	21. 浅子・小佐々	
	22. 江迎	23. 鹿町	24. () 町	
	要 介 護 度	1. 要支援 1		
		2. 要支援 2		
3. 要介護認定は受けていない				

あなたのご家族や生活状況について

問 1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 1人暮らし | 2. 夫婦2人暮らし(配偶者 65歳以上) |
| 3. 夫婦2人暮らし(配偶者 64歳以下) | 4. 息子・娘との2世帯 |
| 5. その他 | |

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

1. 介護・介助は必要ない 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(いくつでも)

- | | | |
|---------------------|------------------|---------------|
| 1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) | 2. 心臓病 | 3. がん (悪性新生物) |
| 4. 呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等) | 5. 関節の病気 (リウマチ等) | |
| 6. 認知症 (アルツハイマー病等) | 7. パーキンソン病 | 8. 糖尿病 |
| 9. 腎疾患 (透析) | 10. 視覚・聴覚障害 | 11. 骨折・転倒 |
| 12. 脊椎損傷 | 13. 高齢による衰弱 | 14. その他 () |
| 15. 不明 | | |

【(2)において「3. 現在、何らかの介護を受けている」を選択した方のみ】

②主にどなたの介護、介助を受けていますか。(いくつでも)

- | | | |
|----------------|------------|----------|
| 1. 配偶者(夫・妻) | 2. 息子 | 3. 娘 |
| 4. 子の配偶者 | 5. 孫 | 6. 兄弟・姉妹 |
| 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他 () | |

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. ふつう
4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある

(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。

1. 持家（一戸建て） 2. 持家（集合住宅）
3. こうえいちんたいじゅうたく 公営賃貸住宅 4. みんかんちんたいじゅうたく 民間賃貸住宅（一戸建て）
5. みんかんちんたいじゅうたく 民間賃貸住宅（集合住宅） 6. 借家
7. その他

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(3) 15分位続けて歩いていますか。

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。

1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか。

1. とても不安である 2. やや不安である
3. あまり不安でない 4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか。

1. ほとんど外出しない 2. 週1回
3. 週2～4回 4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

1. とても減っている 2. 減っている
3. あまり減っていない 4. 減っていない

(8) 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)

1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク
4. 自動車(自分で運転) 5. 自動車(人に乗せてもらう) 6. 電車
7. 路線バス 8. 病院や施設のバス 9. 車いす
10. 電動車いす(カート) 11. 歩行器・シルバーカー
12. タクシー 13. その他()

問3 食べることについて

(1) 身長・体重

身長 cm 体重 kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

1. はい 2. いいえ

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか。

1. はい 2. いいえ

<p>(4) 口の渇きが気になりますか。</p>		
1. はい	2. いいえ	
<p>(5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。</p>		
1. はい	2. いいえ	
<p>(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。 （成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です）</p>		
1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用		
2. 自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし		
3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用		
4. 自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし		
<p>【(6) で「1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」と答えた方のみ】</p>		
<p>①毎日入れ歯の手入れをしていますか。</p>		
1. はい	2. いいえ	
<p>(7) 6か月間で 2～3kg 以上の体重減少がありましたか。</p>		
1. はい	2. いいえ	
<p>(8) どなたかと食事をとる機会がありますか。</p>		
1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある
4. 年に何度かある	5. ほとんどない	

(10) 本や雑誌を読んでいますか。	
1. はい	2. いいえ
(11) どういったものから情報を得ていますか。(いくつでも)	
1. 新聞 2. テレビ 3. 市の広報誌 4. インターネット 5. その他()	
(12) スマートフォンは利用していますか。	
1. はい	2. いいえ
(13) 健康についての記事や番組に関心がありますか。	
1. はい	2. いいえ
(14) 友人の家を訪ねていますか。	
1. はい	2. いいえ
(15) 家族や友人の相談にのっていますか。	
1. はい	2. いいえ
(16) 趣味はありますか。	
1. 趣味あり	→ ()
2. 思いつかない	
(17) 生きがいがありますか。	
1. 生きがいあり	→ ()
2. 思いつかない	

(18) あなたが、日頃感じている「漠然とした不安感」のうちもっとも多いのはどのような不安ですか。(1つを選択)

1. 「健康」に対するもの(病気や高齢化による衰え)
2. 「金銭」に対するもの(年金・貯蓄等の生活資金がない、やり繰り管理が困難)
3. 「心の支え」に対するもの(頼れる配偶者・子・親族がいない、疎遠である)
4. 「災害・防犯」に対するもの(急な災害や犯罪に遭遇した際に防げるか避難できるか)
5. 「終末期・死」に対するもの(葬祭を託すものがない、孤独死するのではないか)
6. 「親族の将来」に対するもの(自身の死後に子・配偶者が生活できるか)
7. その他 ()

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
※① - ⑧それぞれに回答してください。

	週4回 以上	週 2~3回	週1回	月 1~3 回	年に数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループや クラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ いきいき百歳体操	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いませんか。

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい |
| 3. 参加したくない | 4. すでに参加している |

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いませんか。

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい |
| 3. 参加したくない | 4. すでに参加している |

(4) 地域住民の有志によって高齢者支援に関するボランティア活動を始めるとしたら、あなたはその活動にボランティアとして参加してみたいと思いませんか。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい | 3. 参加したくない |
|------------|------------|------------|

【(4)で「1. 是非参加したい」「2. 参加してもよい」と答えた方のみ】

①どんなボランティアなら参加できますか。(いくつでも)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 日常生活のお世話（買い物、ごみ出し、電球等の交換など） |
| 2. 外出支援（通院、買い物等への付き添いなど） |
| 3. 高齢者宅に出向いての話し相手 |
| 4. 高齢者が入所する施設でのお世話（話し相手や配膳等の手伝いなど） |
| 5. その他（ ） |

(5) 地域住民の有志による高齢者支援に関するボランティア活動があったとしたら、あなたはどんなことをしてもらいたいと思いませんか。(いくつでも)

- | | | |
|---------------------|------------|----------|
| 1. 掃除（窓、網戸、庭、仏壇、墓等） | 2. 洗濯 | 3. 家具の移動 |
| 4. 大型ごみのごみ出し | 5. 朝のごみ出し | 6. 電球の交換 |
| 7. 布団干し | 8. 買い物代行 | 9. 話し相手 |
| 10. 調理 | 11. その他（ ） | |

(6) (5) において、ボランティア活動を有料でも利用したいですか。

1. はい 2. 金額による 3. いいえ

問6 たすけあいについて
あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他（ ） 8. そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他（ ） 8. そのような人はいない

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他（ ） 8. そのような人はいない

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他（ ） 8. そのような人はいない

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(いくつでも)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ | 2. 社会福祉協議会・民生委員 |
| 3. ケアマネジャー | 4. 医師・歯科医師・看護師 |
| 5. 地域包括支援センター・役所・役場 | 6. その他 () |
| 7. そのような人はいない | |

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない | |

(7) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

- | | | |
|-------------------|---------------|------------|
| 1. 近所・同じ地域の人 | 2. 幼なじみ | 3. 学生時代の友人 |
| 4. 仕事での同僚・元同僚 | 5. 趣味や関心が同じ友人 | |
| 6. ボランティア等の活動での友人 | | |
| 7. その他 () | 8. いない | |

問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

- | | | | |
|----------|---------|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい | 3. あまりよくない | 4. よくない |
|----------|---------|------------|---------|

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

とても 不幸											とても 幸せ
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

1. はい

2. いいえ

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

1. はい

2. いいえ

(5) タバコは吸っていますか。

1. ほぼ毎日吸っている

2. 時々吸っている

3. 吸っていたがやめた

4. もともと吸っていない

(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

1. ない

2. 高血圧

3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)

4. 心臓病

5. 糖尿病

6. 高脂血症 (脂質異常)

7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)

8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気

9. 腎臓・前立腺の病気

10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)

11. 外傷 (転倒・骨折等)

12. がん (悪性新生物)

13. 血液・免疫の病気

14. うつ病

15. 認知症 (アルツハイマー病等)

16. パーキンソン病

17. 目の病気

18. 耳の病気

19. その他 ()

問 8 介護保険制度について

(1) 介護保険にかかる費用は、高齢化が進み、介護を必要とする人が増え続けているため、今後高くなることが予測されます。あなたは介護保険料についてどう思いますか。

《参考》現在の介護保険料の基準月額比較

全国平均	長崎県平均	佐世保市
6,014円	6,254円	5,822円

1. 介護保険料が多少高くなっても、受けることができるサービスを充実した方がよい
2. 受けることができるサービスを多少抑えても、介護保険料は上げない方がよい
3. どちらともいえない
4. その他 ()

問 9 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

1. はい
2. いいえ

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

1. はい
2. いいえ

【(2)で「1. はい」と答えた方のみ】

①それはどこですか。(いくつでも)

1. 地域包括支援センター
2. 医療機関
3. 薬局
4. 認知症の人と家族の会
5. 市役所
6. その他 ()

(3) 認知症について、心配なこと、気になることがある時、だれに相談しますか。

- | | | |
|----------|-----------------|------------|
| 1. 家族 | 2. 知人、友人 | 3. かかりつけ医 |
| 4. 薬剤師 | 5. 地域包括支援センター職員 | 6. ケアマネジャー |
| 7. 市役所職員 | 8. その他 () | 9. だれもない |

問 10 地域包括ケアシステムについて

(1) 「地域包括ケアシステム」をご存知ですか。

※地域包括ケアシステムとは：高齢者が、健康なときも要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、それぞれの地域で医療・介護・予防・住まい・生活支援等がその人の生活や身体状況にあわせて提供される仕組みのこと。

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1. 言葉も内容も知っている | 2. 言葉は聞いたことはあるが内容は知らない |
| 3. 知らない | |

(2) お住まいの地域で地域包括ケアシステムができていますか。

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

問 11 地域包括支援センターについて

(1) 高齢者の介護および権利擁護、介護予防などの相談窓口として「地域包括支援センター」があることをご存じですか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

【(1) で「1. はい」と答えた方のみ】

① 「地域包括支援センター」の場所をご存じですか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

【(1) の①で「1. はい」と答えた方のみ】

② 「地域包括支援センター」を利用されたことがありますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

【(1)の②で「1.はい」と答えた方のみ】

③「地域包括支援センター」を利用されていかがでしたか。

1. 大変満足 2. 満足 3. やや不満 4. 不満

問 12 成年後見制度について

(1) 認知症などで判断能力が不十分な人の金銭管理や契約などを家庭裁判所が選任した者が本人に代わって行う「成年後見制度」についてご存知ですか。

1. 知っている 2. 知らない

(2) 自身の判断能力が不十分になった際、どういった方に、財産の管理や病院の手続き等の生活を保護する「成年後見人」になってほしいですか。

1. 家族 2. 弁護士などの専門職 3. 市民後見人(ボランティア)
4. 福祉に関する法人 5. 後見制度を利用したくない 6. わからない

(3) 本市では成年後見制度を必要とする方の地域での見守り支援や市民後見人としての活動を行う「成年後見支援員」の養成を行っております。成年後見支援員の活動に興味がありますか。

1. 活動してみたい 2. 講座だけ受けたい 3. 興味がない 4. わからない

(4) 将来、自身の判断能力の低下に備えて、あらかじめ自分の財産を管理する人(後見人等)を決めておく「任意後見制度」についてご存じですか。

1. 知っている 2. 知らない

■■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。■■■■